

訟務資料 701-672

平成 30 年 3 月

訟務関係文書

# 用字用語例集

(第九版)

法務省訟務局訟務企画課

訟務関係文書用字用語例集

(第九版)

法務省訟務局訟務企画課

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



## は し が き

本書は、訟務資料として昭和55年に初版が発行され、昭和56年の「常用漢字表」の告示などを受けて、昭和58年に第二版が発行され、また、昭和61年の「現代仮名遣い」の告示、昭和63年の法令及び公用文において従来大書きすることが慣行とされていた拗音・促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記の小書きなどから、平成元年に第三版が発行され、平成3年の「外来語の表記」の告示、平成5年の法務省の公文書の用紙の規格及び左横書きの訓令の制定等により、平成8年3月に第四版が発行され、さらに、準備書面等の内容を明確かつ正確に書き表すのに資すべく、使用頻度の高い専門用語について、従来の用字用語例の一部を改訂し、平成10年10月に第五版が発行された。

そして、平成15年及び同19年に使用を統一すべきとの要望があった用語について、新たに登載した第六版及び第七版がそれぞれ発行された。

平成23年には、平成22年内閣告示第2号等により、公用文において新たに使用することができることとなった字種及び音訓等について追加・変更し、さらに使用頻度の高い専門用語について追加するなどし、第八版が発行された。

この度、第八版発行以来7年が経過し、更に使用を統一すべきとの要望があった用語について、追加、変更又は削除し、第九版を発行することとした。

本書には、資料として、「常用漢字表」等の告示並びに公用文及び法令用語関係の諸通知を掲載した。日常の訟務関係文書及び準備書面等の作成の際に、この第九版が活用され、文書作成事務の円滑に役立てられれば幸いである。

平成30年3月

法務省訟務局訟務企画課訟務調査室

## 目 次

用字用語例	3
資 料	203
1 常用漢字表等関係	
○常用漢字表（抄）	203
○送り仮名の付け方	242
○現代仮名遣い	253
○外来語の表記	267
○外来語・外国語の使用について	285
2 公用文、法令用語関係	
○公文書用の紙の規格及び左横書きに関する訓令	286
○公文書用の紙の規格及び左横書きに関する訓令の 実施について	287
○公用文における漢字使用等について	291
○法令における漢字使用等について	297
○公用文作成の要領	310
○法令における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の 表記について	321
○内閣に係る公用文における拗音及び促音に用いる 「や・ゆ・よ・つ」の表記について	323
○国民にわかりやすい適切な用語の使用について	324
3 同音漢字、異字同訓漢字関係	
○同音の漢字による書きかえ	325
○「異字同訓」の漢字の用法	332
○「異字同訓」の漢字の用法例（追加字種・追加音訓関連）	349

用 字 用 語 例



## 凡 例

- 1 本表は、次の内閣告示等を参考として五十音順に作成した。
  - (1) 常用漢字表（平成 22 年 11 月 30 日付け内閣告示第 2 号）
  - (2) 送り仮名の付け方（昭和 48 年 6 月 18 日付け内閣訓令第 2 号）
  - (3) 現代仮名遣い（昭和 61 年 7 月 1 日付け内閣訓令第 1 号）
  - (4) 公用文における漢字使用等について（平成 22 年 11 月 30 日付け内閣訓令第 1 号）
  - (5) 公用文作成の要領（昭和 27 年 4 月 4 日付け内閣官房長官依命通知）
  - (6) 法令における漢字使用等について（平成 22 年 11 月 30 日付け内閣法制次長通知）
- 2 本表に使用した略号は、次のとおりである。
  - ◎……「法令における漢字使用等について」に例示されている語である。
  - ……常用漢字表の付表に掲げられている語である。
  - ×……常用漢字表に含まれていない漢字、音訓等による書き方
  - ※……例示のように用いる場合の書き方
  - 〈動〉……動詞の意識が残っているような場合の書き方
  - 〈表記〉……表に記入したり、記号的に用いたりする場合の書き方
- 3 本表の品詞欄には、登載用字の一般的な使用を考慮した品詞名を掲げた。したがって、備考欄の用例の中には、掲記した品詞とそぐわないものもある。なお、備考欄中〔 〕で表示した語句は、用字・送り仮名欄の用字を言い換えて使用するのが相当と認められるものである（法令用語等）。また、（ ）は参考としての説明等である。
- 4 専門用語を書き表す場合には、特別な漢字使用をするものとしているが、この場合において、読みにくいと思われるような場合は、必要に応じて、振り仮名を用いる等、適切な配慮をするものとする（「公用文における漢字使用等について」（平成 22 年 11 月 30 日付け内閣訓令第 1 号）の別紙 3 (2) (3) 参照。）。

なお、専門用語は、必要な場合のみ使用し、必要でない場合には、他の表現とすべきである。

- 5 本表に登載されていない用語については、専門用語又は特殊用語を書き表す場合などは、必要に応じて、特別な漢字使用をして差し支えないものとし、その場合において、専門用語等で読みにくいと思われるような場合は、必要に応じて、振り仮名を用いる等、適切な配慮をするものとする（「公用文における漢字使用等について」（平成22年11月30付け内閣訓令第1号）の別紙3(2)(3)参照。）。

(あい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あいれない	相いれない	連語	×相容れない
あいかわず	相変わず	副	
あいがん	愛 玩	名	
あいさつ	挨拶	名	
あいず	合 図	名	◎
あいだ	間	名	
あいだがら	間 柄	名	二人の間柄
あいついで	相次いで	副	
あいづち	相 づ ち	名	×相槌
あいて	相 手	名	
あいにく	あいにく	副	×生憎
あいま	合 間	名	◎
あいまい	曖 昧	名	
あいまって	あいまって	連語	×相俟って
あいろ	あ い 路	名	×隘路
あ う	合 う	動	計算が合う、落ち合う
	会 う	動	客と会う
	遭 う	動	災難に遭う
あえて	あえて	副	×敢て
あおぐ	仰 ぐ	動	決裁を仰ぐ
	あ お ぐ	動	×扇ぐ。扇であおぐ
あからむ	明 ら む	動	空が明らむ
	赤 ら む	動	顔が赤らむ
あかり	明 か り	名	電灯の明かり
あがる	上 が る	動	効果が上がる、物価が上がる
	掲 が る	動	歓声が揚がる、花火が揚がる
	挙 が る	動	証拠が挙がる

## (あか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あかるい	明 る い	形	
あかるみ	明 る み	名	明るみに出る
あきかん	空 き 缶	名	
あきない	商 い	名	
あきらかだ	明 ら か だ	形動	
あきらめる	諦 め る	動	
あくまで	飽 く まで	副	飽くまで闘う
あくる	明 く る	連	明るる朝
あげく	挙 げ 句	名	…した挙げ句
あげて	挙 げ て	副	挙げて当局の努力に待つ
あけぼの	あ け ぼ の	名	×曙。あけぼのの光
あける	開 け る	動	窓を開ける、店を開ける
	明 け る	動	夜が明ける、年が明ける
	空 け る	動	時間を空ける、家を空ける
あげる	上 げ る	動	腕前を上げる、品物を上げる
	…(て) あげる		※図書を貸してあげる
	掲 げ る	動	たこを掲げる、船荷を掲げる
	挙 げ る	動	例を挙げる、全力を挙げる
あけわたし	明 渡 し	名	◎明渡し期日
あけわたしせいきゅう	明 渡 請 求	名	
あけわたす	明 け 渡 す	動	
あご	顎	名	
あこがれる	憧 れ る	動	×惚れる
あざける	嘲 る	動	嘲るような口調、人の嘲りを受ける
あざむく	欺 く	動	
あざやかだ	鮮 や か だ	形動	

## (あし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あし	脚	名	机の脚
	足	名	足音、手足、足しげく通う
あしがかり	足 掛 か り	名	
あしなみ	足 並 み	名	
あじわう	味 わ う	動	
あす	明 日	名	□
あずかりきん	預 り 金	名	◎
あずかる	あ ず か る	動	×与る。相談にあずかる
	預 か る	動	金を預かる
あずき	小 豆	名	□
あずけいれきん	預 入 金	名	◎
あせる	焦 る	動	勝ちを焦る
	あ せ る	動	×褪せる。色があせる
あぜん	あ 然	名	×哑然。あ然とするばかりである
あたい	価 値	名	価が高くて買えない、商品に価を付ける
	値	名	一見に値する、称賛に値する
あたかも	あ た か も	副	×恰も。あたかも…のような
あたたかい	暖 か い	形	暖かい空気、暖かい心
	温 か い	形	温かいもてなし、温かい料理
あたまうち	頭 打 ち	名	
あたまきん	頭 金	名	
あたらしい	新 し い	形	
あたり	辺 り	名	辺り一面、辺り近所
	当 た り	名	当たりくじ、当たり役、一日当たり
	…(に) 当たり		×…にあたり。開会に当たり
あたりまえ	当 た り 前	名	

## (あた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あたる	あたる	動	×中たる 食べ物にあたる、毒にあたる
	当たる	動	×談たる。予報が当たる
あちら	あちら	代	×彼方
あつい	暑い	形	暑い部屋、暑がり屋
	熱い	形	熱い湯
	厚い	形	厚い壁、支持者の層が厚い、 手厚いもてなし
	あつい	形	×篤い。病があつい
あつかい	扱 い	名	客扱い
あつかう	扱 う	動	
あつさ	暑 さ	名	
	熱 さ	名	
	厚 さ	名	
あっせん	あっせん	名	×斡旋
あつまり	集 まり	名	
あつまる	集 まる	動	
あつめる	集 める	動	
あつらえる	あつらえる	動	×誂える。服をあつらえる
あて	宛	接尾	宛先、宛名 (・・・宛ての文書)
	当て	名	当て外れ
あてはまる	当てはまる	動	
あてる	当てる	動	日光に当てる
	充てる	動	保安要員に充てる、建築費に 充てる
あと	後	名	後の祭り、後から行く
	跡	名	屋敷跡、苦心の跡が見える、 足跡、容疑者の跡を追う
	痕	名	傷痕、弾丸の痕、手術の痕(跡)

## (あと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あとつぎ	後継ぎ・跡継ぎ	名	会長の後継ぎ、商売の跡継ぎ
あとばらい	後 払	名	
あとまわし	後 回 し	名	
あともどり	後 戻 り	名	
あながち	あながち	副	×強ち
あなた	あなた	代	×貴方
あなどる	侮 る	動	
あばく	暴 く	動	
あびせる	浴 び せる	動	
あぶない	危 な い	形	
あふれる	あふれる	動	×溢れる。川の水があふれる
あぶれる	あぶれる	動	×溢れる。仕事にあぶれる
あます	余 す	動	余す所なく
あまた	あまた	副	×数多。あまたの先例
あまつさえ	あまつさえ	副	×剩え
あまねく	あまねく	副	×普く・遍く
あまり	余 り	副	余り良くない
	余 り	名	余りがでる、100円の余り
あまりに	余 り に	副	損失が余りに大きい
あまんずる	甘 ん ず る	動	薄給に甘んずる
あみあげぐつ	編 上 靴	名	◎
あめあがり	雨 上 が り	名	
あやうい	危 う い	形	
あやしい	怪 し い	形	怪しい行動、空模様が怪しい
	妖 し い	形	妖しい魅力、妖しく輝く瞳
あやしむ	怪 し む	動	
あやつる	操 る	動	

## (あや)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あやぶむ	危ぶむ	動	
あやまち	過ち	名	
あやまり	誤り	名	二重の誤り
	謝り	名	平謝り
あやまる	誤る	動	×謬る。適用条文を誤る
	謝る	動	不行届きを謝る
あゆみ	歩み	名	
あゆみより	歩み寄り	名	
あらい	荒い	形	気が荒い、金遣いが荒い
	粗い	形	きめが粗い、仕事が粗い
あらいざらい	洗いざらい	名	×洗い浚い。洗いざらい打ち明ける
あらいざらし	洗いざらし	名	×洗い晒し
あらかじめ	あらかじめ	副	×予め
あらし	嵐	名	砂嵐
あらず	あらず	連語	×非ず。さにあらず
あらそい	争い	名	
あらそう	争う	動	
あらただ	新ただ	形動	新たに設ける、新たな仕事
あらためて	改めて	副	改めてお知らせします
あらためる	改める	動	
あらまし	あらまし	名	法律のあらまし
あらゆる	あらゆる	連体	×凡ゆる
あらわす	表す	動	言葉に表す、喜びを顔に表す
	現す	動	姿を現す
	著す	動	書物を著す
あらわれる	表れる	動	顔に表れる
	現れる	動	太陽が現れる

## (あり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ありあり	ありあり	副	ありありと目に浮かぶ
ありあわせ	有り合わせ	名	
ありうる	あり得る	動	
ありか	在りか	名	×在り処。宝物の在りか
ありかた	在り方	名	行政の在り方
ありがたい	有り難い	形	
ありがたみ	有り難み	名	
ありがとう	ありがとう	感	×有り難う。ありがとうございます
ありがね	有り金	名	
ありさま	有様	名	世の有様
ありしひ	在りし日	名	在りし日の面影
ある	ある	連体	×或。ある日
	在る	動	日本はアジアの東に在る
	有る	動	財産が有る、子が有る
	ある		※その点に問題がある
	…(て)ある		書いてある
あるいは	あるいは	副	×或は
あるく	歩く	動	
あれる	荒れる	動	
あわせかみ	合わせ鏡	名	
あわせて	あわせて	接	
	併せて	副	併せてお願いする
あわせる	合わせる	動	力を合わせる、時計を合わせる
	併せる	動	二つの会社を併せる
あわただしい	慌ただしい	形	
あわだつ	泡立つ	動	
あわてる	慌てる	動	

(あわ, い)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
あわれ	哀れ	名	
あわれだ	哀れだ	形動	
あわれむ	哀れむ	動	
あんずる	案ずる	動	身の上を案ずる
あんに	暗に	副	暗に認める
あんぶん	案分	名	
	案分	名	(専門用語として使用する)
い	い	名	(専門用語)(いぐさ科の植物)
いあわせる	居合わせる	動	
いいあい	言い合い	名	
いいあらそう	言い争う	動	
いいかえす	言い返す	動	
いいかえる	言い換える	動	
いいかげん	いい加減	名	いい加減の温度, いい加減な男
いいかた	言い方	名	
いいがたい	言い難い	形	
いいきる	言い切る	動	
いいだす	言い出す	動	
いいつける	言い付ける	動	
いいつたえ	言い伝え	名	
いいなおし	言い直し	名	
いいのこす	言い残す	動	
いいぶん	言い分	名	
いいもらす	言い漏らす	動	
いいわけ	言い訳	名	

(いい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いいわたし	言渡し	名	◎
いいわたしきじつ	言渡期日	名	
いいわたす	言い渡す	動	
いう	言う	動	×云う・謂う。彼の言うこと, 物を言う (誤りとはいえない, 第〇条にいう…)
	……いう		日本という国家, そういうこと, …という場合
いうことができる	いうことができる		
いうふうに	いうふうに		×言う風に
いうまでもなく	いうまでもなく		
いえども	いえども		×雖も。[…でも, …であっても]
いえる	癒える	動	傷が癒える
いおう	硫黄	名	□
いかが	いかが	副	×如何。いかがいたしましょうか
いかく	威嚇	名	
いかす	生かす	動	生かすも殺すも
	いかす	動	×活かす。特性をいかす
いかなる	いかなる	連体	×如何なる。いかなる場合にも
いかに	いかに	副	×如何に。いかにしようとも
いかりくるう	怒り狂う	動	
いかん	いかん	名	×如何。理由のいかんによって
いきおい	勢い	名	勢いが悪い
	勢い	副	勢い責任が重くなる
いきがい	生きがい	名	
いきかえり	行き帰り	名	×往き帰り
いきがかり	行き掛かり	名	
いきき	行き来	名	×往来

## (いき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いきさつ	いきさつ	名	×経緯(けいい)
いきづまる	行き詰まる	動	
いきどおる	憤る	動	
いきぬき	息抜き	名	
いきのこり	生き残り	名	
いぎもうしたて	異議申立て	名	
いきもの	生き物	名	
いきる	生きる	動	
いきわかれ	生き別れ	名	
いく	行く	動	学校へ行く
	…(て)いく		※負担が増えていく、実施していく
いく(ゆく)	逝く	動	惜しまれながら逝く
いくじ	意気地	名	□
いくつ	幾つ	名	幾つ残るか
いくら	幾ら	名	全部で幾らか、幾ら泣いても
いけい	畏敬	名	畏敬の念を抱く
いけどり	生け捕り	名	
いけない	いけない	連語	それはいけない、いけな子
いけばな	生け花	名	
いこい	憩い	名	
いこう	憩う	動	
いごん(ゆいごん)	遺言	名	
いさぎよい	潔い	形	
いささか	いささか	副	×些か
いさましい	勇ましい	形	
いさむ	勇む	動	
いし	意志	名	意志が強い

## (いし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	意思	名	意思表示、意思の疎通を欠く
	遺志	名	遺志を継ぐ
いしずえ	礎	名	
いしづくり	石造り	名	
いじっぱり	意地っ張り	名	
いしゃりょう	慰謝料	名	×慰藉料
いしゆく	萎縮	名	腎臓が萎縮する
	畏縮	名	権威の前に畏縮する
いじょう	異状	名	全員異状なし
	異常	名	異常な事態
	委譲	名	国の権限を地方に委譲する
	移譲	名	政権を移譲する
いしょく	委嘱	名	×依嘱
いす	椅子	名	
いずれ	いずれ	代	×何れ
いぜん	依然	副	依然として昔のまま
	以前	名	以前歩いた道
いそがしい	忙しい	形	
いそぎ	急ぎ	名	急ぎの用
いそしむ	いそしむ	動	×勤しむ。勉学にいそしむ
いだく	抱く	動	×懐く
いたしかた	致し方	名	致し方ない
いたす	……いたす		御案内いたします、お願いいたします
	致す	動	思いを致す、不徳の致すところ
いたずら	いたずら	名	×徒。いたずらに時間を費やす
いただき	頂	名	山の頂

## (いた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いただきもの	頂き物	名	
いただく	頂く	動	×戴く。雪を頂く、御返事を頂きたい
	…(て)いただく		※報告していただく
いたって	至って	副	至って壮健である
いたましい	痛ましい	形	
いたむ	悼む	動	死を悼む
	痛む	動	傷口が痛む
	傷む	動	家の屋根が傷む、果物が傷む
いためる	痛める	動	胃を痛める
	傷める	動	品物を傷める
いたり	至り	名	光栄の至り
いたる	至る	動	×到る。東京に至る、大事に至らない
いたるところ	至る所	名	
いちいち	いちいち	副	×一一・一々。いちいち点検する
いちおう	一応	副	
いちがいに	一概に	副	
いちじ	一時	名	一時しのぎ、一時金
いちじのがれ	一時逃れ	名	
いちじばらい	一時払い	名	
いちじるしい	著しい	形	
いちず	いちず	名	×一途。いちずに願う
いちどう	一堂	名	職員一同
	一堂	名	一堂に会する
いちばん	一番	副	一番左の列
いちまつ	一抹	名	一抹の不安
いちやづけ	一夜潰け	名	

## (いつ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いつ	いつ	代	×何時
いつか	いつか	副	×何時か
いつくしむ	慈しむ	動	
いっこう	一向	副	一向に差し支えない
いっこだて	一戸建て	名	
いっさい	一切	副	一切関知しない
いっしゅう	一蹴	名	要求を一蹴する
いっしょ	一緒	名	一緒に行く
いっする	逸する	動	
いっせい	一斉	名	一斉捜査、一斉に行う
いっそう	一層	副	一層の努力
いったいぜんたい	一体全体	副	
いつだつ	逸脱	名	裁量権の範囲の逸脱
いったん	一旦	副	
いっとう	一棟	名	
いっぱい	一杯	名	
いっぺんに	一遍に	副	一遍に片付ける
いつも	いつも	副	×何時も
いつわり	偽り	名	
いつわる	偽る	動	
いどう	異動	名	人事の異動
	移動	名	部隊の移動
	異同	名	語句の異同
いとなむ	営む	動	
いどほり	井戸掘り	名	
いどむ	挑む	動	
いな	否	名	事実か否か



(いな)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いなか	田舎	名	□
いなめない	否めない		それが事実であることは否めない
いなや	否や		起きるや否や
いならぶ	居並ぶ	動	
いにしえ	いにしえ	名	×古。いにしえの都
いぬき	居抜き	名	
いねむり	居眠り	名	
いのこり	居残り	名	
いのちがけ	命懸け	名	
いのちとり	命取り	名	
いのちびろい	命拾い	名	
いのり	祈り	名	
いばる	威張る	動	
いぶかる	いぶかる	動	×訝かる
いぶき	息吹	名	□
いまましい	忌まましい	形	
いまさら	今更	副	今更泣いても遅い
いましめる	戒める	動	
いまだ	いまだ	副	×未だ
いまわしい	忌まわしい	形	
いみあい	意味合い	名	
いやおうなく	いや応なく	副	×否応なく
いやがる	嫌がる	動	
いやけ	嫌気	名	
いやしい	卑しい	形	×賤しい
いやしくも	いやしくも	副	×苟も。いやしくも公務員たる者は

(いよ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いよいよ	いよいよ	副	×愈
いよく	意欲	名	×意慾
いりあいけん	入会権	名	
いりえ	入り江	名	
いりく(ぐ)ち	入り口	名	
いる	煎る	動	×炒る。煎り豆
	入る	動	気に入る、念の入った話
	居る	動	部屋に居る
	いる		※ここに関係者がいる
	要る	動	金が必要、保証人が要る、承諾が必要
	射る	動	的を射る
	鑄る	動	銅貨を鑄る
いれかえ	入替え	名	◎
いれかえる	入れ替える	動	
いれぢえ	入れ知恵	名	
いれば	入れ歯	名	
いれもの	入れ物	名	
いれる	入れる	動	×容れる。手に入れる
いろあい	色合い	名	
いろいろ	いろいろ	副	×種々・色々。いろいろな出来事
いろづく	色づく	動	
いろどり	彩り	名	
いわい	祝い	名	
いわいざけ	祝い酒	名	
いわざるをえない	いわざるを得ない		
いわば	言わば	副	×謂ば

## (いわ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
いわゆる	いわゆる	連体	×所謂
いわれ	いわれ	名	×謂れ。いわれのある寺
いわんや	いわんや	副	×況や。[いうまでもなく]
いんこう	咽 喉	名	
	淫 行	名	
いんねん	因 縁	名	
いんべい	隠 蔽	名	
いんめつ	隠 滅	名	×湮滅。[無くする] 証拠隠滅
ういういしい	初々しい	形	
うえ	上		身の上, 決定の上
うえき	植 木	名	◎
うえつけ	植 付 け	名	◎
うえつける	植え付ける	動	
うえる	植 え る	動	木を植える
	飢 え る	動	愛情に飢える
うえん	う 遠	名	×迂遠。う遠な方法
うおつりようぐ	魚釣用具	名	◎
うかい	う 回	名	×迂回。工事中につき回する
うかがい	伺 い	名	伺いを立てる
	[進退] 伺	名	◎
うかがう	うかがう	動	×窺う。機会をうかがう
	伺 う	動	都合を伺う, 話を伺う
うかぶ	浮 か ぶ	動	
うかる	受 か る	動	
うきしずみ	浮 き 沈 み	名	

## (うき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
うきぶくろ	浮 袋	名	◎
うきよえ	浮 世 絵	名	◎
うく	浮 く	動	
うけあう	請 け 合 う	動	
うけいれ	受 入 れ	名	◎
うけいれがく	受 入 額	名	◎
うけいれさき	受 入 先	名	◎
うけいれねんがっ び	受入年月日	名	◎
うけいれる	受け入れる	動	
うけおい	請 負	名	◎
うけおう	請 け 負 う	動	
うけぐち	受 け 口	名	
うけざら	受 皿	名	◎
うけしょ	請 書	名	
うけたまわる	承 る	動	
うけつぐ	受け継ぐ	動	
うけつけ	受 付	名	◎
うけつけがかり	受 付 係	名	◎
うけつける	受け付ける	動	
うけとり	受 取	名	◎
うけとりにん	受 取 人	名	◎
うけとる	受け取る	動	
うけはらいきん	受 払 金	名	◎
うけもち	受 持 ち	名	◎
うけもつ	受け持つ	動	
うけもどす	請 け 戻 す	動	

## (うけ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
うける	受ける	動	×享ける・承ける 保護を受ける, 相談を受ける
	請ける	動	仕事を請ける
うけわたし	受渡し	名	◎
うごかす	動かす	動	
うごき	動き	名	
うごく	動く	動	
うしなう	失う	動	
うしろ	後ろ	名	
うしろすがた	後ろ姿	名	
うしろむき	後ろ向き	名	
うしろめたい	後ろめたい	形	
うすぐらい	薄暗い	形	
うずまき	渦巻	名	◎
うずまく	渦巻く	動	
うすまる	薄まる	動	
うずまる	うずまる	動	×埋まる。土砂にうずまる
うずめる	うずめる	動	×埋める。穴をうずめる
うたう	うたう	動	×謳う。条文にうたう
	歌う	動	鳥が歌う
	謡う	動	謡曲を謡う
うたがい	疑い	名	
うたがう	疑う	動	
うたがわしい	疑わしい	形	
うち	内	名	部屋の内, 内側
	うち		×中。そのうちに連絡する, 委員のうちから
うちあげ	打ち上げ	名	

## (うち)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
うちあける	打ち明ける	動	
うちあわせ	打合せ	名	◎
うちあわせかい	打合せ会	名	◎
うちあわせしつ	打合せ室	名	
うちあわせる	打ち合わせる	動	
うちきり	打ち切り	名	◎
うちきりほしょう	打ち補償	名	◎
うちきる	打ち切る	動	
うちけし	打ち消し	名	
うちけす	打ち消す	動	
うちこむ	打ち込む	動	
うちだす	打ち出す	動	
うちとける	打ち解ける	動	
うちぬく	打ち抜く	動	×打ち貫く
うちばらい	内払	名	◎
うちひも	打ちひも	名	×打ち紐
うちやぶる	打ち破る	動	
うちわけ	内訳	名	
うつ	打つ	動	電報を打つ, 心を打つ話
	討つ	動	賊を討つ
	撃つ	動	鉄砲を撃つ
うつ	鬱	名	憂鬱
うつくしい	美しい	形	
うつし	写し	名	答弁書の写し
うつしかえ	移替え	名	◎
うったえ	訴え	名	
うったえる	訴える	動	訴えを起こす

## (うつ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
うつりかわり	移り変わり	名	
うつる	移る	動	都が移る、時が移る
	写る	動	写真に写る
	映る	動	壁に影が映る、鏡に映る
うつわ	器	名	
うとむ	疎む	動	
うながす	促す	動	
うなづく	うなづく	動	×頷く・首肯く
うのみ	うのみ	名	×鵜呑み。話をうのみにする
うばう	奪う	動	
うまる	埋まる	動	
うまれ	生	名	◎<表記>昭和19年10月16日生
	生まれ	名	下町生まれ、生まれつき
うまれる	生まれる	動	京都に生まれる
	産まれる	動	予定日が来ても産まれない
うむ	生む	動	新記録を生む、傑作を生む
	産む	動	卵を産む、産みの苦しみ
うめあわせる	埋め合わせる	動	
うめたて	埋立て	名	◎
うめたてくいき	埋立区域	名	◎
うめたてじぎょう	埋立事業	名	◎
うめたてち	埋立地	名	◎
うめたてめんきょ	埋立免許	名	
うめたてる	埋め立てる	動	
うめぼし	梅干し	名	
うめる	埋める	動	

## (うも)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
うもれる	埋もれる	動	
うやうやしい	恭しい	形	
うやまう	敬う	動	
うらうち	裏打ち	名	
うらがき	裏書	名	◎
うらぎり	裏切り	名	
うらぎる	裏切る	動	
うらづけ	裏付け	名	
うらなう	占う	動	
うらむ	恨む	動	
うらめしい	恨めしい	形	
うらやましい	羨ましい	形	
うらやむ	羨む	動	
うりあげ	売上げ	名	◎
	売上〔高〕	名	◎
うりおしみ	売惜しみ	名	◎
うりかい	売り買い	名	
うりかけきん	売掛金	名	◎
うりきれ	売り切れ	名	
うりこ	売り子	名	
うりこむ	売り込む	動	
うりだし	売出し	名	◎
うりだしはっこう	売出發行	名	◎
うりだす	売り出す	動	
うりて	売手	名	◎
うりぬし	売主	名	◎
うりね	売値	名	◎

## (うり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
うりば	売場	名	◎
うりはらい	売払い	名	◎
うりはらう	売り払う	動	
うりもの	売り物	名	
うりわたし	売渡し	名	◎
うりわたしのかく	売渡価格	名	◎
うりわたしさき	売渡先	名	◎
うりわたす	売り渡す	動	
うる	得る	動	得るところ、…し得る
	売る	動	商品を売る
うるおう	潤う	動	
うるわしい	麗しい	形	
うれい	愁い	名	愁いに沈む、春の愁い
	憂い	名	後顧の憂い、災害を招く憂いがある
うれのこる	売れ残る	動	
うれゆき	売行き	名	◎
うれる	売れる	動	
	熟れる	動	
うろおぼえ	うろ覚え	名	うろ覚えの話
うわき	浮気	名	□
うわつく	浮つく	動	□
うわぬり	上塗り	名	
うわまわる	上回る	動	
うわむき	上向き	名	
うんぬん	うんぬん	名	×云々

## (えか、お)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
えがお	笑顔	名	□
えがく	描く	動	
えがたい	得難い	形	
えさ	餌	名	
えまきもの	絵巻物	名	◎
えらい	偉い	形	
えらぶ	選ぶ	動	
えりごのみ	えり好み	名	×選り好み
えりすぐり	えりすぐり	名	×選りすぐり
えりぬき	えり抜き	名	×選り抜き。えり抜きの選手
えりまき	襟巻	名	◎
えりわけ	えり分ける	動	×選り分ける
える	得る	動	許可を得る、やむを得ない
	獲る	動	鹿を獲る
えんぎり	縁切り	名	
えんぐみ	縁組	名	◎
えんこん	怨恨	名	
えんだか	円高	名	円高ドル安
えんだて	円建て	名	円建て輸出
えんつづき	縁続き	名	
えんむすび	縁結び	名	
えんやす	円安	名	円安ドル高
お	お……………	接頭	お願い、お礼
おいかける	追い掛ける	動	
おいこし	追越し	名	◎

## (おい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おいこす	追い越す	動	
おいこむ	老い込む	動	父が急に老い込む
	追い込む	動	窮地に追い込む
おいつく	追い付く	動	
おいて	…(に) おいて		×…於て。東京において開催する、本件において
	…(を) おいて		×措いて。彼をおいて適任者はいない
おいまわす	追い回す	動	
おいめ	負い目	名	
おいわけ	追分	名	
おう	負う	動	責任を負う
	追う	動	泥棒を追う
おうじる	応じる	動	注文に応じる
おうずる	応ずる	動	請求に応ずる
おうせい	旺盛	名	
おうだ	殴打	名	頭を殴打する
おうたい	応対	名	×応待
おうと	おう吐	名	×嘔吐
おうとつ	凹凸	名	凹凸の激しい道
おうれんず	凹レンズ	名	
おえる	終える	動	
おおい	多い	形	人口が多い
	覆い	名	荷台の覆い
おおいに	大いに	副	大いに利用する
おおいり	大入り	名	
おおう	覆う	動	
おおうつし	大写し	名	

## (おお)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おおがかり	大掛かり	名	
おおかた	大方	名	大方の読者
	大方	副	大方まとまる
おおきい	大きい	形	
おおきさ	大きさ	名	
おおきな	大きな	連体	
おおさわぎ	大騒ぎ	名	
おおしい	雄々しい	形	
おおせ	仰せ	名	仰せのとおり
おおぜい	大勢	名	
おおだてもの	大立者	名	政界の大立者
おおづめ	大詰め	名	いよいよ大詰めに近づく
おおどおり	大通り	名	
おおむね	おおむね	副	×概ね
おおやけ	公	名	公の費用、意見を公にする
おおよそ	おおよそ	副	×大凡
おかげ	お陰	名	お陰で元気になった
おかしらつき	尾頭付き	名	
おかす	犯す	動	過ちを犯す、法を犯す
	侵す	動	権利を侵す、国境を侵す
	冒す	動	危険を冒す、豪雨を冒して行く
おがむ	拝む	動	
おきあい	沖合	名	◎
おきあがる	起き上がる	動	
おきかえる	置き換える	動	
おきざり	置き去り	名	
おぎない	補い	名	

## (おぎ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おぎなう	補 う	動	
おきば	置 場	名	◎
おきみやげ	置き土産	名	
おきもの	置 物	名	◎
おきょう	お 経	名	
おきる	起 きる	動	
お く	お く	動	×措く。何はさておき
	置 く	動	物を置く、役員を置く、念頭に置く
	… (て) おく		※通知しておく
おくがき	奥 書	名	◎
おくそく	臆 測	名	◎ ×憶測。臆説
おくづけ	奥 付	名	◎
おくらす	遅 ら す	動	
おくりかえす	送り返す	動	
おくりがな	送り仮名	名	
おくりさき	送 り 先	名	
おくりむかえ	送り迎え	名	
おくりもの	贈 物	名	◎
お くる	送 る	動	荷物を送る、卒業生を送る
	贈 る	動	感謝状を贈る
お くれ	後 れ	名	人に後れをとる
	遅 れ	名	遅れを取り戻す
お ける	お ける	連	×於ける
お こす	起 こす	動	訴訟を起こす
	興 ます	動	産業を興す
	お こす	動	火をおこす
おごそか	厳 か	形	

## (おこ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おこたる	怠 る	動	
おこない	行 い	名	
おこなう	行 う	動	
おこなわれる	行 われる	動	
お こる	起 こる	動	事件が起こる
	興 る	動	国が興る
	怒 る	動	ひどく怒る
	お こる	動	火がおこる
おさえる	押 さえる	動	証拠を押さえる
	抑 え る	動	要求を抑える
おさめ	納 め	名	仕事納め、この世の見納め
おさめる	収 め る	動	成功を収める
	治 め る	動	領地を治める
	納 め る	動	税を納める
	修 め る	動	学を修める
お じ	叔父・伯父	名	□
おしあう	押し合う	動	
おし い	惜 し い	形	
おじいさん	おじいさん	名	×お爺さん
おしいる	押し入る	動	
おしうり	押 売	名	◎
おし え	教 え	名	
おしえご	教 え 子	名	
おしえる	教 え る	動	
おしかける	押し掛ける	動	
おしきせ	お仕着せ	名	
おしきる	押し切る	動	

## (おし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おしすすめる	押し進める	動	
おしせまる	押し迫る	動	
おしだしぎ	押し出機	名	◎
おしだす	押し出す	動	
おしつける	押し付ける	動	
おしなべて	おしなべて	副	×押し並べて
おしのび	お忍び	名	
おしはかる	押し量る	動	
おしむ	惜しむ	動	別れを惜しむ
おしもんどう	押し問答	名	
おじょうさん	お嬢さん	名	
おしよせる	押し寄せる	動	
おす	押す	動	×捺す。印を押す, ベルを押す
	推す	動	会長に推す
おそい	遅い	形	
おそう	観う	動	
おそらく	恐らく	副	
おそれ	おそれ	名	×虞。洪水のおそれがある, ...のおそれがある
	恐れ	名	恐れを抱く
	畏れ	名	神に畏(恐れ)を抱く
おそれる	恐れる	動	死を恐れる
	畏れる	動	師を畏れ敬う 神を畏(恐)れる
おそろしい	恐ろしい	形	
おそわる	教わる	動	
おたがい	お互い	名	

## (おた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おだやかだ	穏やかだ	形動	
おちあう	落ち合う	動	
おちいる	陥る	動	
おちこむ	落ち込む	動	
おちつき	落ち着き	名	
おちど	落ち度	名	
おちば	落ち葉	名	
おちる	落ちる	動	
おって	おって	接続	×追而。おって, 日時は…,
	追って	副	時間は追って知らせる, 追 って主張する
おってがき	追って書き	名	
おどかす	脅かす	動	
おとぎばなし	おとぎ話	名	×お伽噺
おどし	脅し	名	
おとしいれる	陥れる	動	
おとしもの	落とし物	名	
おとす	落とす	動	
おどす	脅す	動	×威す
おとずれる	訪れる	動	
おととい	おととい	名	×一昨日(いっさくじつ)
おとし	おとし	名	×一昨年(いっさくねん)
おとな	大人	名	□
おとめ	乙女	名	□
おとる	劣る	動	
おどる	踊る	動	リズムに乗って踊る
	躍る	動	胸が躍る



## (おと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おとろえ	衰 え	名	
おどろく	驚 く	動	
おなじ	同 じ	連体	
おのおの	各・各々	名	各方、各々席に着く
おのずから	おのずから	副	×自ら。おのずから理解できる
おば	叔母・伯母	名	□
おばあさん	おばあさん	名	×お婆さん
おばけ	お化け	名	
おび	帯	名	
おびたしい	おびたしい	形	×夥しい
おびどめ	帯 留	名	◎
おびやかす	脅 かす	動	
おびる	帯 びる	動	
おぼえ	覚 え	名	
おぼえがき	覚 書	名	◎
おぼしめし	おぼしめし	名	×思し召し。神様のおぼしめし
おぼつかない	おぼつかない	形	×覚束ない
おぼれる	溺 れる	動	
おめみえ	お目見え	名	
おもいあがる	思い上がる	動	
おもいあたる	思い当たる	動	
おもいおこす	思い起こす	動	
おもいかえす	思い返す	動	
おもいきる	思い切る	動	
おもいこむ	思い込む	動	
おもいすごし	思い過ごし	名	
おもいだす	思い出す	動	

## (おも)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おもいたつ	思い立つ	動	
おもいちがい	思い違い	名	
おもいつき	思い付き	名	
おもいつめる	思い詰める	動	
おもいで	思い出	名	
おもいとどまる	思いとどまる	動	×思い止まる
おもいのこす	思い残す	動	
おもいやり	思いやり	名	×思い遣り
おも う	思 う	動	
おもしろい	面白 い	形	
おもだ	主 だ	形動	
おもたい	重 た い	形	
おもて	表 面	名	表と表、表で遊ぶ
おもてむき	表 向 き	名	矢面に立つ、面を伏せる
おもな	主 な	連体	主な内容
おもに	主 に	副	主に学生が利用する
おもみ	重 み	名	
おもむき	趣	名	手紙の趣
おもむく	赴 く	動	任地に赴く
おもむろに	おもむろに	副	×徐に
おももち	面 持 ち	名	
おもや	母屋・母家	名	□
おもわく	思 わ く	名	×思惑
おもわず	思 わ ず	副	
おもんずる	重 ん ずる	動	
おもんばかり	おもんばかり	動	×慮る

## (おや)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おやこづれ	親子連れ	名	
おやゆずり	親譲り	名	
およそ	およそ	副	×凡そ
および	及び	接続	A及びB
およびごし	及び腰	名	
およぶ	及ぶ	動	
およぼす	及ぼす	動	
おり	折	名	その折、…する折
	織り	名	織りが粗い、絹織り
	〔博多〕織	名	◎
おりあい	折り合い	名	
おりあう	折り合う	動	
おりおり	折々	名	四季折々
おりかえしせん	折返線	名	◎
おりかえす	折り返す	動	
おりかさなる	折り重なる	動	
おりがみつぎ	折り紙付き	名	
おりから	折から	副	×折柄。折からの雨で…
おりこみ	折り込み	名	
おりこむ	織り込む	動	金糸を織り込む
	折り込む	動	新聞にチラシを折り込む
おりたたむ	折り畳む	動	
おりたつ	降り立つ	動	ホームに降り立つ
おりづめ	折詰	名	◎
おりづる	折り鶴	名	
おりばこ	折り箱	名	
おりめ	折り目	名	

## (おり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
おりもと	織元	名	◎
おりもの	織物	名	◎
おりる	下りる	動	許可が下りる、錠が下りる
	降りる	動	電車を降りる、霜が降りる
おる	おる	動	×居る。…しております
	折る	動	枝を折る
	織る	動	布を織る
おれ	俺	名	
おろか	愚か	名	
	…(は)おろか	形動	×疎か。金はおろか命までも
おろかしい	愚かしい	形	
おろかも	愚か者	名	
おろし	卸	名	卸で売る
おろしうり	卸売	名	◎
おろししょうや	卸商	名	
おろしと(ど)ん	卸問屋	名	
おろしね	卸値	名	
おろす	下ろす	動	貯金を下ろす、枝を下ろす
	卸す	動	小売に卸す
	降ろす	動	主役から降ろす
おろそか	おろそか	名	×疎か。練習をおろそかにする
おわり	終	名	◎＜表記＞
	終わり	名	×了り。映画の終わり
おわる	終わる	動	

## (か)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
か	箇	名	箇条、箇所
	か	名	×ヶ、2箇所、3箇所。2か所、3か年
が	蛾	名	
かあさん	母さん	名	□
かい	かい	名	×甲斐。努力したかいがある
かいあげ	買上げ	名	◎
かいあげひん	買上品	名	◎
かいあげる	買い上げる	動	
かいあさる	買いあさる	動	×買い漁る
かいいれ	買入れ	名	◎
かいいれる	買い入れる	動	
かうけ	買受け	名	
かうけけん	買受権	名	
かうけにん	買受人	名	◎
かうける	買い受ける	動	
かいおき	買い置き	名	
かいかえ	買換え	名	◎
かいかえる	買い換える	動	
かいかけきん	買掛金	名	◎
がいかだてさいけん	外貨建債権	名	◎
かいざん	改ざん	名	×改竄
がいさんばらい	概算払	名	◎
がいして	概して	副	概して良好である
かいしめ	買占め	名	◎
かいしめる	買い占める	動	
かいしゅん	改 <sup>しゅん</sup> 検	名	(専門用語として使用する) ×悔後。改後の情〔改心〕

## (かい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かいする	解する	動	意味を解する
	介する	動	人を介する、意に介する
	会する	動	一堂に会する
がいぜんせい	蓋然性	名	(専門用語として使用する)
かいぞえ	介添え	名	
かいだし	買い出し	名	
かいだめ	買だめ	名	×買い溜め
かいちん	開陳	名	
かいつけ	買い付け	名	
かいて	買手	名	◎
かいてい	改定	名	運賃改定
	改訂	名	辞書を改訂する
かいとう	回答	名	質問に回答する
	解答	名	第2問の解答
かいとり	買取り	名	◎
かいとる	買い取る	動	
かいぬし	買主	名	◎
	飼主	名	
かいね	買値	名	◎
かいねこ	飼猫	名	
かいめつ	壊滅	名	◎ ×潰滅
かいもどし	買戻し	名	◎
かいもどす	買戻す	動	
かいもの	買物	名	◎
かいう	潰瘍	名	胃潰瘍
かいらん	壊乱	名	◎ ×潰乱
かう	交う	動	飛び交う

## (かう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	飼 う	動	犬を飼う
	買 う	動	本を買う
かえす	返 す	動	借金を返す
	帰 す	動	家に帰す
かえって	かえって	動	×却って
かえりみる	省 みる	動	自らを省みる
	顧 みる	副	過去を顧みる
かえる	返 る	動	自然に返る
	帰 る	動	古巣に帰る
	代 える	動	書面をもって挨拶に代える
	変 える	動	形を変える, 観点を変える
	替 える	動	商売を替える
	換 える	動	物を金に換える
	か える	動	×孵る。ひながかえる
かおあわせ	顔合わせ	名	
かおみしり	顔見知り	名	
かおむけ	顔向け	名	
かおり	香 り	名	茶の香り
	薫 り	名	風の薫り
かおる	香 る	動	花が香る
	薫 る	動	風薫る5月
かかえる	抱 える	動	
かかげる	掲 げる	動	
かがやかしい	輝 かしい	形	
かがやく	輝 く	動	
かかり	係 掛	名	庶務係 出札掛

## (かか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かかりいん	係 員	名	
かか	か かる	連体	×斯かる。[このような], かかる事態は
かる	か かる	動	×罹る。病気にかかる
	係 る	動	国税の徴収に係る訴訟
	架 かる	動	橋が架かる
	掛 かる	動	時間が掛かる
	懸 かる	動	優勝が懸かる
かかわらず	かかわらず	連語	×拘らず。晴雨にかかわらず
かかわる	関 わる	動	×係わる・拘わる。命に関わる
かき	かき……	接頭	かき消す
かぎ	鍵	名	×鉤。鍵で開ける
かきあやまり	書き誤り	名	
かきいれ	書き入れ	名	
かきいれどき	書き入れ時	名	
かきおき	書き置き	名	
かきおろす	書き下ろす	動	
かきかえ	書 換 え	名	◎
かきかえる	書き換える	動	
かきかた	書 き 方	名	
かきこむ	書き込む	動	
かきそえる	書き添える	動	
かきぞめ	書き初め	名	
かきだし	書き出し	名	
かきつけ	書 付	名	◎
かきとめ	書 留	名	◎
かきとる	書き取る	動	

## (かき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かきなおす	書き直す	動	
かきぬく	書き抜く	動	
かきまぜる	かき混ぜる	動	×掻き混ぜる
かきまわす	かき回す	動	×掻き回す
かきみだす	かき乱す	動	×掻き乱す
かきもの	書き物	名	
かぎり	限り	名	力の限りを尽くす、 …(しない) 限り
かぎる	限る	動	人数は10人に限る
かく	かく	動	×掻く。かゆい所をかく、汗 をかく、恥をかく
	描く	動	×画く。絵を描く、地図を描く
	書く	動	手紙を書く、本を書く
	欠く	動	礼を欠く
かく	嗅ぐ	動	
かくがり	角刈り	名	
かくかんせつ	顎関節	名	
かくしごと	隠し事	名	
かくしだて	隠し立て	名	
かくす	隠す	動	
かくする	画する	動	一線を画する
かくせい	覚醒	名	
かくづけ	格付	名	◎
かくれる	隠れる	動	
かけ	欠け	名	月の満ち欠け、欠け茶わん
	掛け	名	掛けで買う
	賭け	名	賭けをする
かげ	陰	名	山の陰、陰の声、陰口を利く

## (かけ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	影	名	障子に影が映る、影が薄い
がけ	崖	名	
かけあう	掛け合う	動	
かけあし	駆け足	名	
かけかえ	掛け替え	名	
かけきん	掛金	名	◎
かけごえ	掛け声	名	
かけこむ	駆け込む	動	
かけざん	掛け算	名	
かけじく	掛け軸	名	
かけず	掛け図	名	
かけだす	駆け出す	動	
かけね	掛け値	名	
かけひき	駆け引き	名	
かけまわる	駆け回る	動	
かけもち	掛け持ち	名	
かげり	陰り	名	表情に陰りがある
かける	掛ける	動	腰を掛ける、保険を掛ける、 声を掛ける、電話を掛ける
	懸ける	動	賞金を懸ける、命を懸ける
	…(に) かける		※閑談にかける
	架ける	名	橋を架ける、電線を架ける
	駆ける	名	グラウンドを駆ける
	欠ける	動	刃が欠ける、常識に欠ける
	賭ける	動	金品を賭ける
かこい	囲い	名	
かこく	苛酷・過酷	名	苛酷(過酷)な労働条件

## (かこ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かごばらい	過 誤 払	名	◎
かこむ	囲 む	動	
かさねる	重 ね る	動	重ね着
かさむ	か さ む	動	×嵩む。費用がかさむ
かし	瑕 疵	名	道路の瑕疵[きず、欠陥](専門用語として使用する)
	貸 し	名	千円の貸しがある
	下 肢	名	
かしかた	貸 方	名	◎
かしきり	貸 切 り	動	◎
かしきん	貸 金	名	◎
かしこい	賢 い	形	
かしこさ	賢 さ	名	
かしこし	貸 越 し	名	◎
かしこしきん	貸 越 金	名	◎
かししつ	貸 室	名	◎
かしせき	貸 席	名	◎
かしだおれ	貸 倒 れ	名	◎
かしだおれひきあてきん	貸倒引当金	名	◎
かしだし	貸 出 し	名	◎
かしだしきん	貸 出 金	名	◎
かしだしひょう	貸 出 票	名	◎
かしだす	貸 し 出 す	動	
かしちん	貸 賃	名	
かしつけ	貸 付 け	名	◎
	貸付[金]	名	◎
かして	貸 手	名	

## (かし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かしぬし	貸 主	名	◎
かしぶね	貸 船	名	◎
かしほん	貸 本	名	◎
かしま	貸 間	名	◎
かしゃ	貸 家	名	◎
かしょ	箇 所	名	×2箇所
かしょう	過 小	名	過小評価
	過 少	名	過少申告
かじょうがき	箇 条 書	名	◎
かしわたしぎょう	貸 渡 業	名	◎
かす	貸 す	動	金を貸す
かすか	か す か	形動	×微か・幽か。かすかな音、かすかに見える
かする	課 す る	動	税を課する
	科 す る	動	刑を科する
かぜ	風 邪	名	□
	風	名	
かせぎ	稼 ぎ	名	
かせぐ	稼 ぐ	動	
かぞえどし	数 え 年	名	
かぞえる	数 え る	動	
かた	方	名	あっせん方、話し方、あなた方
	片	接頭	片親、片手、片一方
	形	名	形見、跡形もなく
	型	名	血液型、型にはまる
	肩	名	路肩、肩書、肩が張る
	渴	名	干渴

## (かた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かた い	難 い	形	想像に難くない、許し難い
	固 い	形	団結が固い、頭が固い、固く信じる
	堅 い	形	堅い材木、手堅い商売
	硬 い	形	硬い石、硬い表現
かたがき	肩 書	名	◎
かたがた	…かたがた	接尾	×…旁々。お礼かたがた
	方 々	名	御来場の方々
かたがわり	肩 代わり	名	
かたき	敵	名	商売敵
かたぎ	かたぎ	名	×気質。職人かたぎ
	堅 気	名	堅気な人
かたくるしい	堅 苦しい	形	
かたこり	肩 凝り	名	
かたず	固 唾	名	□
かたづける	片 付ける	動	
かたまる	固 まる	動	
かたむく	傾 く	動	
かたやぶり	型 破り	名	
かたよる	偏 る	動	
かたらう	語 らう	動	
かたりあう	語 り合う	動	
かたりぐさ	語 り草	名	
かたる	語 る	動	
かたわら	傍 ら	名	仕事の傍ら勉強する
かち	勝 ち	名	
がち	… がち	接尾	×…勝ち。休みがち

## (かち)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かちこす	勝ち越す	動	
かちまけ	勝ち負け	名	
かちゅう	渦 中	名	
かつ	か つ	接続	×且つ
	勝 つ	動	
かつきてき	画 期 的	形動	
かつこ	括 弧	名	括弧でくくる
	各 個	名	各個撃破
	各 戸	名	各戸に配布する
かつこがき	括 弧 書き	名	
かつて	か つ て	副	×曾て。かつて読んだことがある
かつて	勝 手	名	勝手次第、勝手が違う
かつてだ	勝 手 だ	形動	
がってん(がてん)	合 点	名	合点がいく
かつとう	葛 藤	名	
かてい	過 程	名	進行の過程
	課 程	名	研修課程
	仮 定	名	仮定の話
かどう	稼働・稼動	名	稼働人口、機械を稼働させる
かな	仮 名	名	□ 仮名書き、片仮名、平仮名
かなう	か な う	動	×叶う・適う。 願いがかなう、道理にかなう
かなきりごえ	金 切 り 声	名	
かなしい	悲 し い	形	
かなしばり	金 縛 り	名	
かなしむ	悲 し む	動	
かなた	か な た	代	×彼方。はるかかなた

(かな)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かなめ	要	名	肝腎要、扇の要
かならず	必ず	副	必ず提出する
かならずしも	必ずしも	副	必ずしも事実とはいえない
かなり	かなり	副	×可成り。かなり上手だ
かねあい	兼ね合い	名	費用との兼ね合い
かねかし	金貸し	名	
かねぐり	金繰り	名	
かねづかい	金遣い	名	
かねづつみ	金包み	名	
かねづまり	金詰まり	名	
かねて	かねて	副	×予て。かねて相談していた
かねまわり	金回り	名	
かねもち	金持ち	名	
かねる	兼ねる	動	
かの	かの	連体	×彼の。かの有名な事件
かのじょ	彼女	代	
かばらい	過払い	名	
かひ	可否	名	可否を論ずる
かぶる	かぶる	動	×冠る・被る。帽子をかぶる
かぶわけ	株分け	名	
かまう	構う	動	構わない、お構いなく
かまえる	構える	動	
がまん	我慢	名	
かみあう	かみ合う	名	×噛み合う
かみきる	かみ切る	動	×噛み切る
かみくず	紙くず	名	×紙屑
かみづつみ	紙包み	名	

(かむ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かむ	かむ	動	×咬む・噛む
かもしだす	醸し出す	動	
かもしれない	…かもしれない		※間違いかもしれない
かもす	醸す	動	
かよう	通う	動	
からい	辛い	形	
からくも	辛くも	副	
からだ	体	名	×軀・身体
からだつき	体つき	名	
からまる	絡まる	動	
からまわり	空回り	名	
からみつ	絡み付く	動	
からむ	絡む	動	
かり	狩り	名	潮干狩り
	仮	名	仮処分、仮の名前
	借り	名	借りを返す
	刈り	名	刈り入れ、稲刈り
かりあげ	借上げ	名	
かりあげる	借り上げる	動	
かりいれ	借入れ	名	◎
	借入〔金〕	名	◎
	刈り入れ	名	
かりいれる	借り入れる	動	
かりうけ	借受け	名	◎
かりうけにん	借受人	名	◎
かりうける	借り受ける	動	
かりかえ	借換え	名	◎



(かり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かりかし	借り貸し	名	
かりかた	借方	名	◎
かりぎ	借り着	名	
かりきる	借り切る	動	
かりこし	借り越し	名	
かりこしきん	借越金	名	◎
かりこむ	刈り込む	動	
かりしっこうせん げんつきはんけつ	仮執行宣言付判決	名	
かりしょぶん	仮処分	名	
かりずまい	仮住まい	名	
かりたてる	駆り立てる	動	
かりて	借り手	名	
かりとり	刈取り	名	◎
かりとりき	刈取機	名	◎
かりとる	刈り取る	動	
かりに	仮に	副	
かりぬし	借主	名	◎
かりばらい	仮払い	名	
かりる	借りる	動	
かりわたしきん	仮渡金	名	◎
かるい	軽い	形	
かるがるしい	軽々しい	形	
かれ	彼	代名	
かれくさ	枯れ草	名	
かれら	彼ら	代名	×彼等
かろうじて	辛うじて	副	

(かる)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かるやかだ	軽やかだ	形	
かわ	皮	名	毛皮, 化けの皮, 木の皮
	革	名	革の靴, なめし革
	川	名	川岸, 小川
	河	名	河口湖
がわ	側	名	裏側, 片側 「側」は「かわ」とも。
かわいい	かわいい	形	×可愛い
かわきり	皮切り	名	皮切りの挨拶
かわく	乾く	動	空気が乾く, 干し物が乾く
	渴く	動	喉が渴く
かわす	交わす	動	文書を交わす
かわせ	為替	名	□
かわぞい	川沿い	名	
かわびらき	川開き	名	
かわら	瓦	名	
	河原・川原	名	□
かわり	代わり	名	身代わり
	変わり	名	心変わり, 変わり種
	替わり	名	入れ替わり, 代替わり
	換わり	名	
かわりもの	変わり者	名	
かわる	代わる	動	父に代わって言う
	変わる	動	位置が変わる
	替わる	動	社長が替わる
	換わる	動	金に換わる
かんか	看過	名	

## (かん)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
かんがえ	考 え	名	
かんがえかた	考 え 方	名	
かんがえなおす	考 え 直 す	動	
かんがえる	考 え る	動	
かんかつちがい	管 轄 違 い	名	
かんがみる	鑑 み る	動	
かんきり	缶 切	名	◎
がんぐ	玩 具	名	
かんげき	間 隙	名	間隙を縫う
がんこ	頑 固	名	
かんしょう	鑑 賞	名	美術鑑賞
	観 賞	名	熱帯魚の観賞
	勸 奨	名	退職勸奨
	干 渉	名	選挙干渉
かんじる	感 じ る	動	
かんじん	肝 腎	名	◎ ×肝心
かんずる	感 ず る	動	
かんづく	感 づ く	動	
かんづめ	缶 詰	名	◎
かんぬし	神 主	名	
かんばしい	芳 し い	形	
がんばる	頑 張 る	動	
かんぺき	完 璧	名	
かんべん	勘 弁	名	
かんむり	冠	名	
かんよ	関 与	名	×干与

## (きあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
きあい	気 合	名	
きあわせる	来合わせる	動	
きいん	起 因	名	
きえる	消 え る	動	
きおい	気 負 い	名	
きおくれ	気 後 れ	名	
きおち	気 落 ち	名	
きがえる	着 替 え る	動	
きがかり	気掛かり・気懸かり	名	
きかせる	聞 か せ る	動	
きがね	気 兼 ね	名	
きがまえ	気 構 え	名	
きがるだ	気 軽 だ	形動	
きがわり	気 変 わ り	名	
ききあやまる	聞 き 誤 る	動	
ききあわせる	聞 き 合 わ せ る	動	
ききいれる	聞 き 入 れ る	動	
ききおく	聞 き 置 く	動	
ききおとす	聞 き 落 と す	動	
ききおぼえ	聞 き 覚 え	名	
ききおよぶ	聞 き 及 ぶ	動	
ききかえす	聞 き 返 す	動	
ききがき	聞 き 書 き	名	
ききかた	聞 き 方	名	
ききぐるしい	聞 き 苦 しい	形	
ききこみ	聞 き 込 め	名	
ききすてる	聞 き 捨 て る	動	

(きき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ききそこなう	聞き損なう	動	
ききちがい	聞き違い	名	
ききつたえる	聞き伝える	動	
ききて	聞き手	名	
ききとる	聞き取る	動	
ききなおす	聞き直す	動	
ききながす	聞き流す	動	
ききめ	効き目	名	
ききもらす	聞き漏らす	動	
ききわける	聞き分ける	動	
ききわすれる	聞き忘れる	動	
きく	聞く	動	話し声を聞く、うわさを聞く
	聴く	動	審議会の意見を聴く、音楽を聴く
	効く	動	薬が効く、宣伝が効く
	利く	動	目が利く、機転が利く
きぐ	危惧	名	
きくばり	気配り	名	
きげん	機嫌	名	
きげんつき	期限付	名	◎
きこえる	聞こえる	動	
きざし	兆し	名	動乱の兆しがある
きざむ	刻む	動	
きず	傷	名	×疵・瑕
きすう	帰すう	名	×帰趨。勝敗の帰すうは予断を許さない
きずきあげる	築き上げる	動	
きずく	築く	動	

(きす)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
きずつく	傷つく	動	
きずな	きずな	名	×絆。家族のきずな
きする	期する	動	必勝を期する、再会を期する
	帰する	動	罪を他人に帰する、水泡に帰する
	記する	動	由来を記する、心に記する
きせい	規制	名	
きそう	競う	動	
きそく	羈束	名	(専門用語として使用する) 〔拘束〕
きそん	毀損	名	
きたえる	鍛える	動	
きたす	来す	動	支障を来す
きだて	気立て	名	
きたない	汚い	形	
きたる	来る	連体	来る○月○日
きづかう	気遣う	動	
きづかれ	気疲れ	名	
きづく	気付く	動	
きつけ	着付け	名	着物の着付け
	気付け	名	気付け薬
きづけ	気付	名	◎法務省訟務局訟務企画課気付
きっする	喫する	動	惨敗を喫する
きって	切手	名	◎
きつぶ	切符	名	◎
きづまり	気詰まり	名	
きてい	規定程	名	第○条の規定による協議
	規程	名	文書取扱規程

(きと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
きどる	気取る	動	気取って歩く
きにいる	気に入る	動	
きのう	昨日	名	□
きのり	気乗り	名	
きはく	気迫	名	気迫に押される
	希薄	名	×希薄。空気が希薄だ
きばらし	気晴らし	名	
きびしい	厳しい	形	
きふ	寄附	名	
きまり	決まり	名	
きまる	決まる	動	
きみじかだ	気短だ	形動	
ぎむづけそしょう	義務付け訴訟	名	(義務付ける)
きめ	きめ	名	きめが細かい
	決め	名	取り決め
きめて	決め手	名	
きめる	決める	動	
きもち	気持ち	名	
きゃくあつかい	客扱い	名	
ぎゃくもどり	逆戻り	名	
きやすめ	気休め	名	
きゅうかねがい	休暇願	名	
きゅうきよ	急きよ	副	×急遽。急きよ出張する
きゅうふ	給付	名	
きよい	清い	形	
きょう	今日	名	□
きょうあい	狭あい	名	×狹隘。[狭い] 狭あいな谷間

(きよ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
きょうかつ	恐喝	名	
きょうぎずみ	協議済み	名	
ぎょうぎょうしい	仰々しい	形	
きょうじゅ	享受	名	
きょうせい	矯正	名	
きよらかだ	清らかだ	形動	
きらう	嫌う	動	
きりあげ	切上げ	名	◎
きりあげる	切り上げる	動	
きりかえ	切替え	名	◎
きりかえくみあい	切替組合員	名	◎
いん			
きりかえす	切り返す	動	
きりかえび	切替日	名	◎
きりかえる	切り替える	動	
きりかぶ	切り株	名	
きりきず	切り傷	名	
きりくず	切りくず	名	×切り屑
きりくち	切り口	名	
きりこうじょう	切り口上	名	
きりさげ	切下げ	名	◎
きりさげる	切り下げる	動	
きりさめ	霧雨	名	
きりすて	切捨て	名	◎
きりすてる	切り捨てる	動	
きりだす	切り出す	動	
きりたつ	切り立つ	動	切り立った岩壁

(きり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ぎりだて	義理立て	名	
きりつ	規律	名	規律を守る
きりつち	切土	名	◎
きりつめる	切り詰める	動	
きりとおし	切り通し	名	
きりとり	切取り	名	◎
きりとり	切り取る	動	
きりぬき	切り抜き	名	
きりぬける	切り抜ける	動	
きりばな	切り花	名	
きりはなし	切離し	名	◎
きりはなす	切り離す	動	
きりばり	切り張り	名	
きりふだ	切り札	名	
きりまわす	切り回す	動	
きりみ	切り身	名	
きる	着る	動	
	切る	動	野菜を切る
	斬る	動	刀で斬る
きれあじ	切れ味	名	
きれつ	亀裂	名	
きわだつ	際立つ	動	
きわまる	極まる	動	不都合極まる言動
	窮まる	動	進退窮まる
きわみ	極み	名	ぜいたくの極みを尽くす
きわめつき	極め付き	名	
きわめて	極めて	副	

(きわ、くあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
きわめる	究める	動	学を究める
	極める	動	見極める、栄華を極める
	窮める	動	真理を窮める
きんこ	禁錮	名	
きんしょう	僅少	名	
ぐあい	具合	名	
くい	悔い	名	
くいあらためる	悔い改める	動	
くいこみ	食い込み	名	
くいさがる	食い下がる	動	
くいすぎ	食い過ぎ	名	
くいちがい	食い違い	名	
くいちがう	食い違う	動	
くいつめる	食い詰める	動	
くいとめる	食い止める	動	
くいにげ	食い逃げ	名	
くいもの	食い物	名	
くいる	悔いる	動	
くぎ	くぎ	名	×釘。くぎを打つ
くぎり	区切り	名	仕事の区切りをつける
	句切り	名	文章の句切り
くぐりぬける	くぐり抜ける	動	×潜り抜ける
くくる	くくる	動	×括る。括弧でくくる
くぐる	くぐる	動	×潜る。法網をくぐる
くさい	臭い	形	

## (くさ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
くさむら	草 むら	名	×草叢
くさる	腐 る	動	
くさわけ	草 分 け	名	
くじく	く じ く	動	×挫く。足をくじく
くじびき	く じ 引	名	◎
くずしがき	崩し書き	名	
くずす	崩 す	動	
くすり	薬	名	
ください	下 さい	動	回答を下さい、資料を下さい
	…(て) ください		※問題点を話してください
くだす	下 す	動	判決を下す、命令を下す
くだもの	果 物	名	□
くだり	下 り	名	下り列車、下り坂
くだる	下 る	動	川を下る、坂を下る
くちおしい	口 惜 しい	形	
くちごたえ	口 答 え	名	
くちはてる	朽ち果てる	動	
くちる	朽 ち る	動	
くつがえる	覆 る	動	
くつしたどめ	靴 下 留	名	◎
くつろぐ	くつろぐ	動	×寛ぐ
くどく	口 説 く	動	
くばる	配 る	動	
くまなく	くまなく	副	×限なく
くみ	組	名	組の主任、組長
	組 み	名	<動>活字の組みが緩む
くみあい	組 合	名	◎

## (くみ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
くみあう	組 み 合 う	動	
くみあげる	くみ上げる	動	×汲み上げる
くみあわせ	組 合 せ	名	◎
くみあわせる	組み合わせせる	動	
くみいれ	組 入 れ	名	◎
くみいれきん	組 入 金	名	◎
くみいれる	組み入れる	動	
くみかえ	組 替 え	名	◎
くみかえる	組み替える	動	
くみかた	組 み 方	名	
くみこむ	組 み 込 む	動	
くみだす	くみ出す	動	×汲み出す
くみたて	組 立 て	名	◎
くみたてこう	組 立 工	名	◎
くみたてる	組み立てる	動	
くみとりべんじょ	くみ取便所	名	◎
くむ	く む	動	×汲む。水をくむ
	酌 む	動	酒を酌み交わす
	組 む	動	足場を組む
くもり	曇 る	名	◎<表記>
	曇 り	名	曇り後晴れ、曇りガラス
くやしい	悔 し い	形	
くやむ	悔 や む	動	
くら	蔵	名	×庫。蔵座敷、蔵払い
	倉 庫	名	倉敷料、倉荷証券
くらい	位	名	位取り、位が高い

(くら)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	…くらい・ぐらい	助	×…位。どのくらい、二十歳ぐらいの人
	暗い	形	暗い部屋
くらう	食らう	動	
くらしきりょう	倉敷料	名	◎
くらしむき	暮らし向き	名	
くらす	暮らす	動	
くらべる	比べる	動	×較べる
くりあげ	繰上げ	名	◎
くりあげしょうかん	繰上償還	名	◎
くりあげる	繰り上げる	動	
くりあわせる	繰り合わせる	動	
くりいれ	繰入れ	名	◎
くりいれきん	繰入金	名	◎
くりいれげんどがく	繰入限度額	名	◎
くりいれりつ	繰入率	名	◎
くりいれる	繰り入れる	動	
くりかえ	繰替え	名	◎
くりかえきん	繰替金	名	◎
くりかえし	繰返し	名	
くりかえす	繰返す	動	
くりかえる	繰り替える	動	
くりこし	繰越し	名	◎
	繰越〔金〕	名	◎
くりさげ	繰下げ	名	◎
くりさげる	繰り下げる	動	

(くり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
くりだす	繰り出す	動	
くりのべ	繰延べ	名	◎
くりのべしさん	繰延資産	名	◎
くりのべる	繰り延べる	動	
くりもどし	繰戻し	名	◎
くりもどす	繰り戻す	動	
くる	来る	動	人が来る
	…(て)くる		※寒くなってくる
	繰る	動	糸を繰る
くるう	狂う	動	
くるおいしい	狂おいしい	形	
くるしい	苦ししい	形	
くるしがる	苦しがる	動	
くるしまぎれ	苦し紛れ	名	
くるしみ	苦しみ	名	
くれ	暮れ	名	暮れ方
くれぐれも	くれぐれも	副	×呉々も
くれる	くれる	動	×呉れる。資料をくれる
	…(て)くれる		援助してくれる
	暮れる	動	日が暮れる
くろい	黒い	形	
くろうと	玄人	名	□
くわえる	加える	動	
くわけ	区分け	名	
くわしい	詳しい	形	×委しい・精しい
くわずぐらい	食わず嫌い	名	
くわだて	企て	名	

(くわ、け)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
くわだてる	企てる	動	
くわり	区割り	名	
くわわる	加わる	動	
くんじ	訓示	名	法務大臣訓示
	訓辞	名	訓辞を垂れる
ぐんしゅう	群衆	名	群衆をかき分ける
	群集	名	群集心理
げ	…………げ	接尾	惜しげ
けい	経緯	名	これまでの経緯
けいがい	形骸	名	形骸化する
けいこ	稽古	名	
けいこく	溪谷	名	
けいそう	係争	名	×繫争。係争中の事件、係争物
けいぞく	係属	名	×繫属。訴訟係属
	継続	名	継続審査
けいべつ	軽蔑	名	
けいもう	啓蒙	名	(専門用語として使用する)
けいり	経理	名	
けおりもの	毛織物	名	
けが	けが	名	×怪我
けがす	汚す	動	
げきしゅう	激臭	名	
げきしょ	激暑	名	
げきしん	激震	名	
げきじん	激甚	名	

(けき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
げきする	激する	動	言葉が激する
げきつう	激痛	名	
げきどく	劇毒	名	
げきぶつ	劇物	名	
げきへん	激変	名	
げきやく	劇薬	名	
けさ	今朝	名	□
けしいん	消印	名	◎
けしき	景色	名	□
けしきばむ	気色ばむ	動	
けしごむ	消しゴム	名	
けしとめる	消し止める	動	
けす	消す	動	
けずる	削る	動	
けた	桁	名	三桁、桁違い
けたい	懈怠	名	(専門用語として使用する) [怠り]
けだし	けだし	副	×蓋し
けっかい	決壊	名	◎ ×決潰
けっこう	結構	副	結構な品物、結構役に立つ
けっして	決して	副	
けつじょ	欠如	名	
けつする	決する	動	
けっせきとどけ	欠席届	名	
げっぶばらい	月賦払	名	◎
けなみ	毛並み	形	
けむい	煙い	形	



## (けむ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
けむたい	煙 たい	形	
けむり	煙	名	
けむる	煙 る	動	
ける	蹴 る	動	申出を蹴る、蹴散らす
けわしい	険 しい	形	
けんお	嫌 悪	名	
げんがわ	絃 側	名	右絃、左絃
けんぎ	嫌 疑	名	
げんきんばらい	現金 払	名	◎
けんけつ	欠 缺	名	(専門用語として使用する)
けんさく	検 索	名	
けんさずみしょう	検査済証	名	
けんさん	研 さん	名	×研鑽
けんじゅう	拳 銃	名	
げんずる	減 ずる	動	
けんそん	謙 遜	名	
けんていずみ	検定済み	名	
けんとうちがい	見当違い	名	
げん に	現 に	副	現に経験した事実
	厳 に	副	厳に謹む
けんらん	けんらん	名	×絢爛
けんれん	牽 連	名	(専門用語として使用する) [関連]
けんろう	堅 ろう	名	×堅牢

## (こ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
こ	こ…………	接頭	ごべんたつ、ごもっとも
	御…………	接頭	御挨拶、御案内
こ い	濃 い	形	
	恋	名	
こ い	語 彙	名	
こいしい	恋 しい	形	
こ う	こ う	副	こういう問題
	恋 う	動	恋い慕う
	請 う	動	許しを請(乞)う、案内を請(乞)う
	乞 う	動	乞う御期待
こうかん	強 姦	名	
こうげきぼうぎょ	攻撃防御	名	×攻撃防禦
こうこう	口 腔	名	(専門用語として使用する)
こうさ	交 差	名	×交叉。交差点
こうずい	洪 水	名	
こうずる	講 ずる	動	措置を講ずる
	高 ずる	動	病気が高ずる
こうそく	梗 塞	名	脳梗塞、心筋梗塞
こうたい	交替・交代	名	交替で看護する、勤務を交代する
こうでい	拘 泥	名	
こうてつ	更 迭	名	大臣の更迭
こうとう	喉 頭	名	
こうはん	広 範	名	◎ ×広汎
こうふ	交 付	名	補助金の交付
	公 布	名	法律の公布
こうほう	公 報	名	戦死の公報

## (こう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	広 報	名	広報活動
ごうまん	傲慢	名	
こうむる	被る	動	×蒙る。損害を被る
こうよう	高揚	名	×昂揚
こうり	小売	名	◎
	小売〔商〕	名	◎
こうりゅう	勾留	名	勾留状
	拘留	名	拘留場
こ え	肥 声	名	下肥
	肥 声	名	歌声
こ え る	肥え る	動	肥えた土地
	越え る	動	山を越える
	超え る	動	100万円を超える額
こ お り	氷	名	氷をかく
こおりつく	凍り付く	動	
こおりづめ	氷詰 め	名	
こ お る	凍 る	動	湖水が凍る、土が凍る
こ が す	焦 が す	動	
こ が ら し	木枯 ら し	名	
こかんせつ	股関節	名	
こぎって	小切手	名	◎
こ く	こ く	副	×極。ごく新しい
こくもつ	穀物	名	
こげちゃいろ	焦げ茶色	名	
こげつく	焦げ付く	動	
こけらおとし	こけら落とし	名	×柿落とし
こ こ	こ こ	代	×此処

## (ここ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	個々	名	個々の問題
ここえる	凍える	動	
ここち	心地	名	□ 居心地
ここに	ここに	副	
こころあたり	心当たり	名	
こころえ	心得	副	心得違い
こころがけ	心掛け・心懸け	名	
こころがまえ	心構え	名	
こころくばり	心配り	名	
こころぐるしい	心苦しい	形	
こころざし	志	名	
こころざす	志す	動	
こころづくし	心尽くし	名	
こころづけ	心付け	名	
こころづもり	心積り	名	
こころづよい	心強い	形	
こころのこり	心残り	名	
こころぼそい	心細い	形	
こころみ	試み	名	
こころみる	試みる	動	
こころもとない	心もとない	形	×心許無い
こころよい	快い	形	
こしかける	腰掛ける	動	
こしらえる	こしらえる	動	×拵える。服をこしらえる
こ す	越す	動	峠を越す、年を越す、引越す
	超す	動	1000万人を越す人口
こぞって	こぞって	副	×挙って。こぞって賛成する

## (こと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
こたえ	答	名	◎＜表記＞
	答 え	名	答えを出す
こたえる	応 える	動	期待に応える
	答 える	動	質問に答える
こだち	木 立	名	◎
こだわる	こだわる	動	金にこだわる
こづつみ	小 包	名	◎
こ と	事	名	事に当たる、事を起こす
	こ と		※許可しないことがある
	言	名	言葉
	異	名	意見を異にする
ことがら	事 柄	名	
ごとく	ご と く	助動	×如く。[ように] 前述のごとく
ことごとく	ことごとく	副	×悉く。ことごとく反対する
ことさら	殊 更	副	殊更強調する
ことし	今 年	名	□
ことづける	言 付 ける	動	
ことづて	言 づ て	名	×言伝
ことなる	異 なる	動	
ことに	殊 に	副	殊に優れている
ごとに	…ごとに	接尾	×…毎に。5分ごとに
ことのほか	殊 の 外	副	殊の外、喜ばしい
こども	子 供	名	
ことわり	ことわり	名	×理。ことわりになう
	断 り	名	断りもなしに休む
ことわりじょう	断 り 状	名	

## (こと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ことわる	断 る	動	
この	こ の	連体	×此の。この机、この点
このごに	この 期 に		この期に及んで
このさい	こ の 際	名	×此の際
このたび	こ の 度	名	×此の度
このましい	好 ま しい	形	
このむ	好 む	動	
こばむ	拒 む	動	
ごびゅう	誤 謬	名	(専門用語として使用する) [誤り]
ごぶさた	御無沙汰	名	
こぶし	拳	名	握り拳
こまかい	細 か い	形	
こまかだ	細 か だ	形動	
こまりはてる	困り果てる	動	
こまる	困 る	動	
ごみ	ご み	名	ごみ箱
こみあう	込み合う・混み合う	動	
こみやきば	ごみ焼場	名	
こむ	込 む	動	負けが込む、手の込んだ仕事
	混 む	動	電車が混(込)む、混(込)み合う
こもり	子 守	名	◎
こもる	籠 も る	動	煙が籠もる、穴倉に籠もる 心が籠もる
こやし	肥 や し	名	
こよう	雇 用	名	×雇傭
ごようおさめ	御用納め	名	
ごようはじめ	御用始め	名	

(こら, さい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
こらす	凝らす	動	肩を凝らす, 工夫を凝らす
	懲らす	動	悪人を懲らす
こりる	懲りる	動	
こる	凝る	動	
これ	これ	代	×是・之
ころ	頃	名	日頃, 近頃, 手頃, 頃合い この頃, 3日頃
ころがす	転がす	動	
ころす	殺す	動	
ころぶ	転ぶ	動	
こわがる	怖がる	動	×恐がる
こわす	壊す	動	×毀す
こんせき	痕跡	名	
こんだて	献立	名	◎
こんてい	根底	名	×根柢
こんぶ・こぶ	昆布	名	
こんまけ	根負け	名	
さい	才	名	才能, 才覚, 秀才
	歳	名	歳末, 歳月, 二十歳
さいご	最期	名	悲運の最期を逃げる
	最後	名	最後に出発する
さいしょうげんど	最小限度	名	×最少限度
さいはい	采配	名	
さいわい	幸い	名	
さいわいだ	幸いだ	形動	

(さい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
さいわいに	幸いに	副	
さえぎる	遮る	動	
さおだけ	さお竹	名	×竿竹
さかい	境	名	生死の境
さかいめ	境目	名	
さかさ	逆さ	名	
さがしだす	捜し出す	動	
さがす	捜す	動	犯人を捜す
	探す	動	空き家を探す, あらを探す
さかだち	逆立ち	名	
さかのぼる	遡る	動	
さからう	逆らう	動	
さかり	盛り	名	働き盛り
さがる	下がる	動	
さかんだ	盛んだ	形動	
さき	先	名	先に立つ, 庭先
	崎	名	観音崎
さきがけ	先駆け	名	×魁
さきどりとっけん	先取特権	名	◎
さきに	さきに	副	×先に。さきにお知らせした
さきばしる	先走る	動	
さきばらい	先払い	名	
さきほこる	咲き誇る	動	
さきほど	先ほど	名	×先程
さきゆき	先行き	名	
さきんずる	先んずる	動	
さく	割く	動	時間を割く, 人手を割く

## (さく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	裂く	動	布を裂く、仲を裂く
	咲く	動	花が咲く
さく	柵	名	
さくい	作為	名	作為義務
さくご	錯誤	名	試行錯誤
さくする	策する	動	一計を策する
さくせい	作成	名	契約書の作成
	製作	名	(物品を作ること。製作)
さくつ(づ)け	作付け	名	
さくつ(づ)けめんせき	作付面積	名	◎
さくてい	策定	名	予算案を策定する
さぐる	探る	動	
さげすむ	蔑む	動	×貶む。相手を蔑む
さげぶ	叫ぶ	動	
さける	避ける	動	人目を避ける
	裂ける	動	地面が裂ける
さげる	下げる	動	値段を下げる、軒を下げる
	提げる	動	手に提げる
さげわたす	下げ渡す	動	
ささいな	ささいな	形動	×些細な。ささいな出来事
ささえ	支える	動	
ささげる	ささげる	動	×捧げる。供物をささげる
ささやか	ささやか	形動	×細やか。ささやかな贈物
ささやく	ささやく	動	×囁く。耳元でささやく
ささる	刺さる	動	
さしあげる	差し上げる	動	

## (さし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
さしあたり	差し当たり	副	
さしいれ	差し入れ	名	お菓子の差し入れ
さしいれる	差し入れる	動	
さしえ	挿絵	名	◎ ×挿画
さしおく	差し置く	動	課長を差し置いて部長に話す
さしおさえ	差し押え	名	◎
	差押〔命令〕	名	◎
さしおさえる	差し押さえる	動	
さしかえ	差し替え	名	
さしかえる	差し替える	動	
さしかかる	差し掛かる	動	
さしがね	差し金	名	
ざしき	座敷	名	◎
さしさわり	差し障り	名	
さしさわる	差し障る	動	
さしず	指図	名	◎
さしずめ	さしずめ	副	さしずめ計画どおり
さしせまる	差し迫る	動	
さしだしぐち	差し出し口	名	
さしだしにん	差し出人	名	◎
さしだす	差し出す	動	
さしつかえ	差し支え	名	
さしつかえる	差し支える	動	□
さしつかわす	差し違わす	動	
さしでがましい	差し出がましい	形	
さしとめ	差し止め	名	◎
さしとめせいきゅう	差し止請求	名	

(さし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
さしとめる	差し止める	動	
さしはさむ	差し挟む	動	疑いを差し挟む
さしひかえる	差し控える	動	
さしひき	差引き	名	◎
さしひきかんじょう	差引勘定	名	◎
さしひきぼ	差引簿	名	◎
さしひく	差し引く	動	
さしまわし	差し回し	名	差し回しの車
さしもどし	差戻し	名	◎
さしもどししん	差戻審	名	
さしもどす	差し戻す	動	
さす	指す	動	指し示す, 目的地を指して進む
	差す	動	傘を差す, 差しつ差されつ
	刺す	動	人を刺す, とげが刺さる
	挿す	動	花瓶に花を挿す
さすがに	さすがに	副	×流石に。さすがに暑い, さすがの名人も
さずける	授ける	動	
ざせつ	挫折	名	
さそいだす	誘い出す	動	
さそう	誘う	動	
さた	沙汰	名	音沙汰もない
さだか	定か	形動	行方は定かではない
さだまる	定まる	動	
さだめ	定め	名	
さだめし	定めし	副	定めしお困りだろう
さだめる	定める	動	

(さち)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
さち	幸	名	海の幸, 山の幸
さつうれ	札入れ	名	
さつきゅう (そうきゅう)	早急	名	早急に対処する
さっする	察する	動	察するところ
さっそく	早速	副	早速連絡する
さて	さて	接	さて次に
さとうづけ	砂糖漬	名	◎
さとす	論ず	動	
さとる	悟る	動	
さばき	裁き	名	法の裁き
	さばき	名	×捌き。手綱のさばき
さばく	さばく	動	×捌く。品物をさばく
	裁く	動	罪を裁く
さびしい	寂しい	形	
さびしげだ	寂しげだ	形動	
さびどめ	さび止め	名	×錆止め
さびる	さびる	動	×錆びる
さびれる	寂れる	動	町が寂れる
さほど	さほど	副	×左程。さほど重要ではない
さま	様	名	様にならない, ○○様
さまざまに	様々に	形動	
さます	冷ます	動	湯を冷ます
	覚ます	動	目を覚ます, 眠りを覚ます
	さます	動	×醒ます。酔いをさます
さまたげる	妨げる	動	
さまよう	さまよう	動	×彷徨う
さみしい	さみしい	形	×寂しい・淋しい

(さみ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
さみだれ	五月雨	名	□
さむい	寒い	形	
さむぞら	寒空	名	
さめる	冷める	動	料理が冷める, 熱が冷める
	覚める	動	目が覚める, 迷いが覚める
	さめる	動	×醒める・褪める。酔いがさめる, 色がさめる
さらい	再来…		再来週, 再来年
さらさら	さらさら	副	×更々。そんな気はさらさらない
	さらさら	副	さらさらした砂
さらに	さらに	接続	さらに, …
	更に	副	更に検討する
さる	去る	動	冬が去る, 去るに当たり
	去る	連体	去る五日
さわがしい	騒がしい	形	
さわぎ	騒ぎ	名	
さわぐ	騒ぐ	動	
さわやか	爽やか	形動	爽やかだ
さわり	触り	名	手触り, 話の触り
	障り	名	治療の障りになる
さわる	触る	動	品物に触らないこと
	障る	動	気に障る
さんか	傘下	名	傘下の組合
ざんじ	暫時	名	暫時休憩します
さんしゃく	参酌	名	事情を参酌する
さんしょくずり	三色刷り	名	
さんばし	棧橋	名	

(さん, しあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
さんみいったい	三位一体	名	
さんろく	山麓	名	
しあい	試合	名	◎
しあげ	仕上げ	名	
しあげきかい	仕上機械	名	◎
しあげこう	仕上工	名	◎
しあわせ	幸せ	名	×仕合わせ
しあわせだ	幸せだ	形動	
しい	恣意	名	
しいたげる	虐げる	動	
しいて	強いて	副	
しいる	強いる	動	
しいれ	仕入れ	名	
しいれかかく	仕入価格	名	
しかえし	仕返し	名	
しかけはなび	仕掛花火	名	◎
しかけひん	仕掛品	名	◎
しかける	仕掛ける	動	
しかし	しかし	接続	×然し・併し
しかしながら	しかしながら	接続	×併し乍ら
しかた	仕方	名	仕方がない
じかに	じかに	副	×直に
しかも	しかも	接続	×然も
しかる	叱る	動	子供を叱る
しかるに	しかるに	接続	×然るに

(しか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
しかるべく	しかるべく	副	×然るべく。しかるべく御配慮願う
じかんわり	時間割	名	
しきあみ	敷網	名	◎
しきい	敷居	名	◎
しきいし	敷石	名	◎
しききん	敷金	名	◎
じきじき	直々	名	直々の話
しきたり	仕来り	名	昔からの仕来り
しきち	敷地	名	◎
しきふ	敷布	名	◎
しきもの	敷物	名	◎
しきり	仕切り	名	
しきりに	しきりに	副	×頻りに
しきる	仕切る	動	
じくうけ	軸受	名	◎
しくみ	仕組み	名	
しげき	刺激	名	×刺戟
しげる	茂る	動	×繁る。若葉が茂る
じご	じ後	名	×爾後・自後。[その後]
	事後	名	事後承諾
しこうひん	嗜好品	名	(専門用語として使用する)
しごく	至極	名	迷惑至極だ
しこむ	仕込む	動	
しさい	子細	名	×仔細。子細を話す
じしゃく	磁石	名	
しじゅう	始終	名	一部始終を語る

(しし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ししゅつずみがく	支出清額	名	
しずかだ	静かだ	形動	
しずむ	沈む	動	
しずめる	沈める	動	船を沈める
	静める	動	気を静める
	鎮める	動	反乱を鎮める、痛みを鎮める
しする	資する	動	会の発展に資する
じする	侍する	動	先生のそばに侍する
	持する	動	滴を持する
	辞する	動	役員を辞する
したい	肢体	名	
しだい	次第	名	式次第、…する次第である
したう	募う	動	
したうけ	下請	名	◎
したうけこうじ	下請工事	名	◎
したがう	従う	動	法律に従う
したがえる	従える	動	
したがき	下書き	名	
したがって	したがって	接続	×従って。したがって、…
	従って	副	仕事が進むに従って、年をとるに従って
したく	支度	名	
しだし	仕出し	名	
したしい	親しい	形	
しだしや	仕出屋	名	◎
したしらべ	下調べ	名	
したためる	したためる	動	×認める。手紙をしたためる



(した)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
したたる	滴る	動	
したづみ	下積み	名	
したて	仕立て	名	
したてけん	仕立券	名	◎
したてもの	仕立物	名	◎
したてや	仕立屋	名	◎
したてる	仕立てる	動	
したばたらき	下働き	名	
したまわる	下回る	動	
したみ	下見	名	
したむぎ	下向き	名	商売が下向きになる
したよみ	下読み	名	
しちいれ	質入れ	名	
しちいれしょうけん	質入証券	名	◎
しつけ	しつけ	名	×糞。しつけの厳しい家庭
	仕付け	名	仕付け糸
じつじょう	実情	名	
しっする	失する	動	時機を失する
しっせき	叱責	名	叱責を受ける
しっそう	失踪	名	
しつと	嫉妬	名	嫉妬する、嫉妬心
じつと	じつと	副	じつと立っている
じつに	実に	副	
しっぺい	疾病	名	
しっぽ	尻尾	名	□
しな	品	名	

(しな)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
しない	竹刀	名	□
しなぎれ	品切れ	名	
しなさだめ	品定め	名	
じなり	地鳴り	名	
しにぎわ	死に際	名	
しにせ	老舗	名	□
しにたえる	死に絶える	動	
しにどき	死に時	名	
しにわかれ	死に別れ	名	
しぬ	死ぬ	動	
しのぐ	しのぐ	動	×凌ぐ。暑さをしのぐ、先輩をしのぐ
しのぶ	忍ぶ	動	不便を忍ぶ
	しのぶ	動	×偲ぶ・慕ぶ。故郷をしのぶ
しばしば	しばしば	副	×屢々
しばふ	芝生	名	□
しはらい	支払	名	◎
しはらいえんき	支払延期	名	
しはらいずみ	支払済み	名	
しはらいにん	支払人	名	
しはらいもとうけだか	支払元受高	名	◎
しばらう	支払う	動	
しばらく	しばらく	副	×暫く
しばる	縛る	動	
じびき	字引	名	◎
じびきあみ	地引き網	名	
じひびき	地響き	名	

## (しふ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
しぶい	渋 い	形	
しぶしぶ	渋 々	副	渋々承諾する
しぶる	渋 る	動	
しぼる	絞 る	動	手ぬぐいを絞る
	搾 る	動	乳を搾る
しまい	仕 舞	名	
しまう	仕 舞 う	動	店を仕舞う
	… (て) しまう		※書いてしまう
しまつ	始 末	名	始末書
しまつする	始末する	動	×仕末する
しまる	閉 まる	動	戸が閉まる
	絞 まる	動	首が絞まって苦しい
	締 まる	動	ひもが締まる
しみる	染 むる	動	インクが染みる
	し むる	動	×沁みる・浸みる・滲みる・ 凍みる。煙が目にしみる
しむけ	仕 向 け	名	
しむけち	仕 向 地	名	◎
しむける	仕 向 ける	動	
じむとりあつかい	事務取扱	名	◎
じむひきつぎ	事務引継	名	◎
しめきり	締 切 り	名	◎
しめきりび	締 切 日	名	◎
しめきる	締め切る	動	
しめくり	締めくり	名	×締め括り
しめしあわせる	示し合わせる	動	
しめす	示 す	動	根拠を示す

## (しめ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	湿 す	動	水で喉を湿す
しめだす	締め出す	動	
しめる	湿 る	動	土が湿る
	占 め る	動	多数を占める
	閉 め る	動	蓋を閉める、店を閉める
	絞 め る	動	首を絞める
	締 め る	動	ねじを締める、心を引き締める
しもん	諮 問	名	諮問機関
	指 紋	名	指紋を採る
しゃくりょう	酌 量	名	
しゃする	謝 す る	動	厚意を謝する
しゃだん	遮 断	名	
じゃっき	惹 起	名	(専門用語として使用する)
しゃへい	遮 弊	名	
じやり	砂 利	名	□
しゃりょう	車 両	名	×車輛
じゅう	汁	名	果汁
しゅうちしん	羞 恥 心	名	
じゅうぶん	十 分	名	×充分。十分な手当
しゅうれん	修 練	名	
しゅかんしゃ	主 管 者	名	
しゅくしょう	縮 小	名	×縮少
しゅじゅ	種 々	副	
しゅつえん	出 捐	名	(専門用語として使用する)
しゅよう	腫 瘍	名	悪性の腫瘍
しゅんこう	竣 功	名	(専門用語として使用する) ×竣工。〔完成〕

## (しゅ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
じゅんしゅ	遵守	名	
じゅんずる	殉ずる	動	国に殉ずる
	準ずる	動	先例に準ずる
しゅんべつ	しゅん別	名	×峻別
しょうかい	紹介	名	知人に紹介する
	照会	名	本籍地に照会する
しょうがい	生涯	名	生涯の仕事
	障害	名	×障碍。障害物
	傷害	名	傷害罪
	涉外	名	涉外係
しょうかん	召換	名	
しょうきやく	消却	名	負債の消却
	償却	名	減価償却
	焼却	名	書類を焼却する
じょうきょう	状況	名	
しょうけい	憧憬	名	「憧憬」は「どうけい」とも
じょうけんつき	条件付	名	◎条件付の許可
じょうけんつきさ いよう	条件付採用	名	
しょうこしらべ	証拠調べ	名	
しょうこりもなく	性懲りもなく	名	
しょうさ	小差	名	小差で勝つ
	証左	名	証左を求める
しょうしゅう	召集	名	国会の召集
	招集	名	株主総会の招集
じょうず	上手	名	□
しょうずみ	使用済み	名	

## (しよ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
しょうずみねんり よう	使用済燃料	名	
しょうする	証する	動	適法性を証する
	称する	動	自ら名人と称する
	賞する	動	花を賞する
しょうそう	尚早	名	
しょうちゅう	焼酎	名	
しょうへい	招へい	名	×招聘
じょじょに	徐々に	副	
しょせん	所詮	名	
しょとくわり	所得割	名	◎
しょほうせん	処方箋	名	
しよりずみ	処理済み	名	
じらい	じらい	副	×爾来。〔以後、その後〕
しらが	白髪	名	□
しらける	白ける	動	
しらせ	知らせ	名	
しらべ	調べ	名	調べが済む、笛の調べ
しらべる	調べる	動	
しり	尻	名	尻込み、目尻、尻餅
しりあう	知り合う	動	
しりあがり	尻上がり	名	
しりきれ	尻切れ	名	
しりぞく	退く	動	
しりぞける	退ける	動	×斥ける
しるし	印	名	印を付ける、記念の印
しるす	記す	動	×印す・誌す。姓名を記す、心に記す

(しる)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
しるべ	しるべ	名	×導べ・標。道しるべ
	知るべ	名	知るべを頼る
しれない	…(かも)しれない		※間違いかもしれない
しれる	知れる	動	名の知れた人
しろうと	素人	名	□
しろびかり	白光り	名	
しわけ	仕分	名	◎
しわける	仕分ける	動	
しわよせ	しわ寄せ	名	×皺寄せ
しん	芯	名	
しんがい	侵害	名	
	浸害	名	(水浸しにして害する。専門用語として使用する)
しんかぶかいつけ けいやくしょ	新株買付契約書	名	◎
しんこうがかり	進行係	名	
しんし	真摯	名	
しんしゃく	斟酌	名	(専門用語として使用する) [参酌]
しんしょう	心証	名	心証を害する
しんじょう	身上	名	身上を潰す
	信条	名	思想信条の自由
	心情	名	遺族の心情を察する
	真情	名	真情を吐露する
	身上	名	身上調査
しんしょく	侵食	名	×侵蝕。領土を侵食する
	浸食	名	×浸蝕。海岸が浸食される
しんしんこうじゃく	心身耗弱	名	
しんせき	親戚	名	

(しん、すい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
じんぞう	腎臓	名	
じんだい	甚大	名	被害甚大
しんたいうかがい	進退伺	名	
しんちよく	進捗	名	
しんにゅう	侵入	名	家宅侵入
	浸入	名	水が浸入する
しんびょう	信ぴょう	名	×信憑
しんぼく	親睦	名	親睦を図る、親睦会
じんもん	尋問	名	×訊問
しんようがし	信用貸し	名	
すいあげる	吸い上げる	動	
すいこう	遂行	名	任務を遂行する
	推考	名	制度の変革を推考する
	推こう	名	×推敲。文章を推こうする
すいこむ	吸い込む	動	
すいどう	出納	名	
すいにん	推認	名	推認する
ずいぶん	随分	副	
すうせい	すう勢	名	×趨勢
すえおき	据置き	名	◎
	据置〔期間〕	名	◎
すえおく	据え置く	動	
すえおそろしい	末恐ろしい	形	
すえつけ	据付け	名	◎
すえつける	据え付ける	動	

(すき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
すぎ	過ぎ	名	食べ過ぎ、10時過ぎ
すぎきらい	好き嫌い	名	
すぎさる	過ぎ去る	動	
すぎない	…(に) すぎない		※調査だけにすぎない
すぎなみき	杉並木	名	
すぎま	隙間・透き間	名	法の隙間(透き間)
すぎる	過ぎる	動	期限が過ぎる
	すぎる		少なすぎる、言いすぎる
すくいだす	救い出す	動	
すくう	救う	動	
すくない	少ない	形	
すくなくらず	少なからず	副	
すくなくとも	少なくとも	副	×少くとも
すぐに	すぐに	副	×直に
すぐれる	優れる	動	
すける	透ける	動	
すこし	少し	副	
すごす	過ごす	動	
すごぶる	すごぶる	副	×頗る
すこやかだ	健やかだ	形動	
すじあい	筋合い	名	
すじがき	筋書	名	
すずしい	涼しい	形	
すすはらい	すす払い	名	
すすめる	進める	動	交渉を進める
	勧める	動	×奨める。入会を勧める
	薦める	動	候補者として薦める

(すす)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
すすりなく	すすり泣く	動	×啜り泣く
すそ	裾	名	富士の裾野
すだち	巣立ち	名	
すたれる	廃れる	動	
ずつ	ずつ	助	×宛。少しずつ
すていし	捨て石	名	
すでに	既に	副	
すてば	捨場	名	◎
すてみ	捨て身	名	
すてる	捨てる	名	×棄てる
すどおり	素通り	名	
すなわち	すなわち	接続	×即ち・則ち・乃ち
すばやい	素早い	形	
すべて	全て	副	×総て・凡て。全てよい、全ての国々、これが全て
すべりこむ	滑り込む	動	
すべる	滑る	動	足が滑る
	統べる	動	国を統べる
すまい	住まい	名	
すます	済ます	動	
すみ	済み		使用済み
ずみ	[支出] 済[額]		◎
すみこみ	住み込み	名	
すみやかだ	速やかだ	形動	
すみやかに	速やかに	副	
すむ	住む	動	町に住む
	澄む	動	水が澄む
	済む	動	仕事が早く済む

(すも、せい)

	用字・送り仮名	品詞	備 考
すも	相 撲	名	□
すりきず	擦 り 傷	名	
する	す る	動	×摺る・拘る。墨をする、財布をする
	す る	動	×為る。勉強をする、検討する
	刷 る	動	名刺を刷る、刷り物
	擦 る	動	マッチを擦る
するどい	鋭 い	形	
すわりこみ	座 込 み	名	◎
すわりこむ	座 り 込 む	動	
すわる	座 る	動	×坐る。椅子に座る
	据 わ る	動	目が据わる
せいきよ	逝 去	名	
せいぎよ	制 御	名	×制禦
せいさく	制 作	名	出品作品の制作
	製 作	名	家具の製作
せいさん	清 算	名	借金の清算
	精 算	名	運賃の精算
	凄 惨	名	凄惨な現場
ぜいじゃく	脆 弱	名	(専門用語として使用する)
せいしょう	斉 唱	名	
せいする	制 す る	動	発言を制する、騒ぎを制する
	征 す る	動	敵を征する
	製 す る	動	家具を製する
せいとん	整 頓	名	整理整頓

(せい)

見 出 し	用字・送り仮名	品詞	備 考
せいぼ	歳 暮	名	
せおう	背 負 う	動	
ぜがひでも	是が非でも	連語	
せきずい	脊 髄	名	
せきちゅう	脊 柱	名	
せきつい	脊 椎	名	
せきとめる	せき止める	動	×塞き止める
せきとり	関 取	名	◎
せっかく	せ っ かく	副	×折角
せっしょう	折 衝	名	×接渉
せっする	接 す る	動	境界を接する、急報に接する
	節 す る	動	冗費を節する、食事を節する
	摂 す る	動	政事を摂する
ぜっする	絶 す る	動	言語に絶する、想像を絶する
せつぜん	せ つ 然	名	×截然。せつ然たる差
せつな	刹 那	名	
せつに	切 に	副	
せばまる	狭 ま る	動	
ぜ ひ	是 非	副	是非お願いする
せ ま る	迫 る	動	×逼る
せ め	責 め	名	責めを負う
せ め る	攻 め る	動	敵を攻める
	責 め る	動	過失を責める
せりあう	競 り 合 う	動	
せわしい	せ わ しい	形	×忙しい
せわずき	世 話 好 き	名	
せ ん	腺	名	甲状腺、リンパ腺、前立腺

## (せん, そう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
せんえん	遷 延	名	
ぜんかい	全 壊	名	◎ ×全潰
せんこう	選 考	名	×銓衡
せんさく	詮 索	名	
ぜんじ	漸 次	副	漸次進行しつつある
せんたく	洗 濯	名	
せんだう	扇 動	名	×煽動
せんぬき	栓 抜	名	◎
せんぼう	羨 望	名	
ぜんぼう	全 貌	名	
そ う	そ う	副	そうしてください
	沿 う	動	×副う。意見に沿う
	添 う	動	連れ添う
ぞうあく	増 悪	名	病状が増悪する
ぞうお	憎 悪	名	憎悪の念
そうかつ	総 括	名	
そうくつ	巢 窟	名	
そうごう	総 合	名	×綜合
そうさい	相 殺	名	
そうじて	総 じ て	副	総じて増加の傾向にある
そうぞうしい	騒 々 しい	形	
そうそうたる	そうそうたる	形	×錚々たる
そうそうに	早 々 に	副	早々に御連絡ください
そうてい	装 丁	名	×装幀・装釘
そうにゅう	挿 入	名	

## (そう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
そうめい	そ う 明	名	×聡明
ぞうり	草 履	名	□
そえがき	添 え 書 き	名	
そえる	添 え る	動	
そきゅうこう	遡 及 効	名	
そくする	則 す る	動	法に則して
	即 す る	動	事実に即して
そげき	狙 撃	名	
そ こ	そ こ	代	そこにある本
	底	名	川の底
そ ご	齧 り 齧 り	名	(専門用語として使用する) [食違い]
そこなう	損 な う	動	
そしり	そ し り	名	×謗り・誹り・譏り
そそぐ	注 ぐ	動	×灌ぐ
そそのかす	唆 す	動	
そだつ	育 つ	動	
そち	措 置	名	措置を講ずる
そっせん	率 先	名	×卒先
そっちよく	率 直	名	
そっとう	卒 倒	名	
そで	袖	名	半袖
そてい	措 定	名	
そなえおき	備 置 き	名	◎
そなえおく	備 え 置 く	動	
そなえつけ	備 付 け	名	◎
そなえつけひん	備 付 品	名	◎

## (そな)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
そなえつける	備え付ける	動	
そなえもの	供え物	名	
そなえる	供える	動	花を供える
	備える	動	×具える。電話を備える
その	その	連体	×其。その他、そのほか
そば	そば	名	×側・傍。机のそば
そびえる	そびえる	動	×聳える。山がそびえる
そぼく	素朴	名	
そまつな	粗末な	形	
そむく	背く	動	×叛く
そめ	〔型絵〕染	名	◎友禅染
	染め	名	染め粉、染め色
	初め	名	書き初め、出初め式
そめい	疎明	名	×疏明
そめもの	染物	名	◎
そめる	染める	動	布を染める
	初める	動	見初める、明け初める
そもそも	そもそも	副	×抑も
そらす	反らす	動	体を反らす
	そらす	動	×逸らす。目をそらす、話をそらす
そらだのみ	空頼み	名	
それ	それ	代	×夫・其
それぞれ	それぞれ	副	×夫々・其々
それゆえ	それゆえ	接続	×それ故
そろう	そろう	動	×揃う。人数がそろう
そろえる	そろえる	動	×揃える。資料をそろえる

## (そん、た)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
そんしょく	遜色	名	遜色がない
そんじる	損じる	動	価値を損じる、機嫌を損じる
そんする	存する	動	この世に存する限り
ぞんずる	存ずる	動	それがよいと存じます、御存じの…
た	他		その他、他国
た い	… た い	助動	×度い。参照願いたい
たいあたり	体当たり	名	
たいがい	大概	副	大概大丈夫だろう
たいした	大した	連語	大した腕だ
たいして	大して	副	大して参考にならない
たいしょ	対処	名	適切に対処する
たいしょう	対称	名	左右対称
	対象	名	調査の対象を絞る
	対照	名	本文と対照する
たいする	対する	動	国に対する要求
	体する	動	意を体する
	帯する	動	使命を帯して
たいせい	体制	名	政治の体制、資本主義体制
	体勢	名	体勢を崩す、不利な体勢
	態勢	名	態勢を整える、受け入れ態勢
	大成	名	研究を大成する
	大勢	名	大勢を見通す、大勢に従う
たいせき	堆積	名	火山灰が堆積する
たいせつに	大切に	副	



## (たい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
たいそう	大 層	副	大層明るい
だいたい	大 体	副	大体良い
たいてい	大 抵	副	大抵のことは分かる
だいぶ (だいぶん)	大 分	副	大分元気になった
たいへん	大 変	副	大変気に入った
たいらかだ	平らかだ	形動	
たいらだ	平らだ	形動	
たうえ	田 植	名	◎
だえき	唾 液	名	
たえしのぶ	堪え忍ぶ	動	
たえず	絶えず	副	
たえる	耐える	動	地震に耐える
	堪える	動	困難に堪える
	絶える	動	家系が絶える
たおす	倒す	動	
たか	多 寡	名	金額の多寡を問わない
	高	名	売上高
たかい	高 い	形	
たがい	互 い	副	
たかまる	高 まる	動	
たがやす	耕 す	動	
たからかだ	高らかだ	形動	
だきあわせ	抱き合わせ	名	
だきこむ	抱き込む	動	
たきだし	炊き出し	名	
たきつけ	たき付け	名	×焚付け
たく	炊 く	動	御飯を炊く

## (たく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	た く	動	×焚く・薫く。火をたく、香をたく
だ く	抱 く	動	
たぐい	類 い	名	×比い。類いまれな人物、針葉樹の類い
たくさん	た くさん	副	×沢山
たくみだ	巧 みだ	形動	
たくわえる	蓄 える	動	×貯える
たけ	丈	名	身の丈
だけ	… だ け	助	×…丈。調査しただけである
たし	足 し	名	生活費の足しにする
だし	出 し	名	人を出しにする
だしいれ	出し入れ	名	
たしかさ	確 かさ	名	
たしかだ	確 かだ	形動	
たしかめる	確 かめる	動	
だしもの	出 し物	名	
たしょう	多 少	副	
たす	足 す	動	用を足す
だす	出 す	動	意見を出す
たすけぶね	助 け 船	名	
たすける	助 け る	動	
たずさわる	携 わ る	動	
たずねる	訪 ね る	動	知人を訪ねる
	尋 ね る	動	道を尋ねる、由来を尋ねる、尋ね人
だそく	蛇 足	名	
ただ	た だ	副	×唯・只
たたかう	戦 う	動	敵と戦う

## (たた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	闘 う	動	×斗う。病氣と闘う
たたきあげる	たたき上げる	動	×叩き上げる
たたく	たたく	動	×叩く・敲く。机をたたく
ただし	ただし	接続	×但し
ただしがき	ただし書	名	◎ ×但書
ただしさ	正しさ	名	
ただす	正す	動	誤りを正す、姿勢を正す
	ただす	動	×糺す・質す。罪をただす 真意をただす
ただちに	直ちに	副	
たたみ	畳	名	
ただよう	漂う	動	
たち	………たち	接尾	×…達。若者たち、私たち、 (友達)
	太刀	名	□
たちあい	立会い	名	◎
たちあいえんぜつ	立会演説	名	◎
たちあいにな	立会人	名	◎
たちあう	立ち会う	動	
たちあがる	立ち上がる	動	
たちいふるまい	立ち居振る舞い	名	
たちいり	立入り	名	◎
たちいりきんし	立入禁止	名	
たちいりけんさ	立入検査	名	◎
たちいる	立ち入る	動	
たちうち	太刀打ち	名	とても太刀打ちできない
たちうり	立ち売り	名	
たちおうじょう	立ち往生	名	

## (たち)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
たちおくれ	立ち後れ	名	
たちぎえ	立ち消れ	名	
たちぎき	立ち聞き	名	
たちきる	断ち切る	動	
たちのき	立ち退き	名	
たちのきりょう	立退料	名	
たちのく	立ち退く	動	□
たちば	立場	名	◎
たちまち	たちまち	副	×忽ち
たちまわり	立ち回り	名	立ち回り先
たちみせき	立見席	名	
たつ	立つ	動	×起つ・発つ。席を立つ、見 通しが立つ、旅に立つ
	絶つ	動	消息を絶つ、命を絶つ
	建つ	動	家が建つ、銅像が建つ
	断つ	動	退路を断つ、快刀乱麻を断つ
	裁つ	動	生地を裁つ、紙を裁つ
だっきゅう	脱臼	名	
たつする	達する	動	目的を達する
だつする	脱する	動	危機を脱する
たつせ	立つ瀬	名	
たつとい(とうとい)	貴い	形	貴い体験、貴い資料
	尊い	形	尊い犠牲を払う、尊い神
たつとぶ(とうとぶ)	貴ぶ	動	時間を貴ぶ
	尊ぶ	動	神仏を尊ぶ
たづな	手綱	名	
たつまき	竜巻	名	◎

## (たつ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
だつろう	脱 漏	名	一部に脱漏がある
た て	盾	名	×楯
たてうり	建て売り	名	
たてかえ	立 替 え	名	◎お金の立替え
	建 替 え	名	住宅の建替え
たてかえきん	立 替 金	名	◎
たてかえばらい	立 替 払	名	◎
たてかえる	立て替える	動	代金を立て替える
	建て替える	動	家を建て替える
たてがき	縦 書 き	名	
たてかける	立て掛ける	動	
た て ぐ	建 具	名	◎
たてこむ	立て込む	動	
たてつづけ	立て続け	名	
たてつぽ	建 坪	名	◎
たてなおし	立て直し	名	計画の立て直し
	建て直し	名	家の建て直し
た て ね	建 値	名	◎
たてふだ	立 札	名	◎
たてまえ	建 前	名	◎建前と本音
たてまつる	奉 る	動	会長として奉る
たてもの	建 物	名	◎
た て る	立 て る	動	計画を立てる、顔を立てる
	建 て る	動	ビルを建てる、銅像を建てる
た と い	たとい・たとえ	副	×仮令。たとえ雨が降っても行く
た と え	例 え	名	×譬え・喩え。例え話

## (たと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
たとえば	例 え ば	副	
たとえる	例 え る	動	×譬える・喩える
た ど る	た ど る	動	×辿る。記憶をたどる
たなあげ	棚 上 げ	名	提案を棚上げにする
たなおろし	棚 卸 し	名	
たなおろしさん	棚卸資産	名	◎
たなばた	七 夕	名	□
たねぎれ	種 切 れ	名	
たのしい	楽 し い	形	
た の む	頼 む	動	
たのもし	頼 も し い	形	×頼母しい
た ば こ	た ば こ	名	×煙草
たばねる	束 ね る	動	
た び	……たび		…するたび、一たび
	度	名	度々、この度
	足 袋	名	□
	旅	名	旅先
たびかさなる	度重なる	動	
たびだつ	旅 立 つ	動	
た ぶ ん	多 分	副	
た べ か け	食 べ か け	名	
たべすぎ	食 べ 過 ぎ	名	
たべもの	食 べ 物	名	
た べ る	食 べ る	動	
た ま	玉	名	目の玉、玉にきず、玉を磨く
	球	名	電球の球、球を投げる
	弾	名	鉄砲の弾

## (たま)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	霊	名	霊屋、霊祭り
だます	だます	動	×騙す
たまつき	玉突き	名	
たまもの	たまもの	名	
だまる	黙る	動	
たまわる	賜る	動	×賜・賜物。苦心のたまもの
たむけ	手向け	名	手向けの言葉
ため	ため		×為。雨が降ったため中止となった
だめ	駄目	名	
だめおし	駄目押し	名	
ためす	試す	動	
ためる	矯める	動	角を矯めて牛を殺す
	ためる	動	×溜める。水をためる、金をためる
たもつ	保つ	動	
たやす	絶やす	動	
たやすい	たやすい	形	×容易い
たより	便り	名	風の便り、花便り
	頼り	名	頼りにならない
たらいまわし	たらい回し	名	×盪回し
たらす	垂らす	動	よだれを垂らす
たりる	足りる	動	
たる	足る	動	努力が足らない
だれ	誰	代	
たわむれる	戯れる	動	
だんがい	断崖	名	断崖絶壁
だんじて	断じて	名	断じて勝つ

## (たん, ちい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
たんずる	嘆ずる	動	不運を嘆ずる
だんずる	断ずる	動	犯人と断ずる
	談ずる	動	世相を談ずる
	弾ずる	動	琴を弾ずる
たんてきだ	端的だ	形動	
だんどり	段取り	名	
たんなる	単なる	連体	
たんに	単に	副名	
たんれん	鍛錬	名	
ちいさい	小さい	形	
ちいさな	小さい	連体	
ちかい	誓い	名	
	近い	形	
ちがい	違	名	
ちかう	誓う	動	
ちがう	違	動	
ちがえる	違える	動	服を違える、見通しを違えてしまった
ちかく	近く	副名	近く上京します
	地殻	名	
ちかぢか	近々	副名	近々結婚する
ちかづく	近づく	動	
ちかみち	近道	名	
ちかよる	近寄る	動	
ちから	力	名	

## (ちか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ちからぞえ	力 添 え	名	
ちぎり	契 り	名	
ちくいち	逐 一	副	逐一報告する
ちくじ	逐 次	副	逐次刊行する
ちご	稚 児	名	□
ちしつ	知 し っ	名	×知悉
ちちとして	遅々として	連語	遅々として進まない
ちぢむ	縮 む	動	
ちぢれる	縮 れ る	動	
ちなみに	ちなみに	接続	×因みに
ちなむ	ち な む	動	×因む。記念日にちなんで
ちのみご	乳 飲 み 子	名	
ちまなこ	血 眼	名	
ちまよう	血 迷 う	動	
ちみつ	緻 密	名	
ちゃくばらい	着 払 い	名	
ちゃつみ	茶 摘 み	名	
ちゆ	治 癒	名	
ちゅう	注	名	×註。注解、注文
ちゅうがえり	宙 返 り	名	
ちゅうせん	抽 選	名	
ちゅうちょ	ちゅうちょ	名	×躊躇
ちゅうとんち	駐 屯 地	名	
ちようけし	帳 消 し	名	
ちようしゅうずみ	徴 収 済 額	名	
ちようしょう	嘲 笑	名	嘲笑する

## (ちよ、つい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ちょうじり	帳 尻	名	
ちょうする	徴 す る	動	意見を徴する
	弔 す る	動	衷心より弔する
ちょうだい	頂 戴	名	頂戴物、頂戴する
ちょうど	ちょうど	副	×丁度
ちょうはつ	挑 発	名	
ちょうふ	貼 付	名	「貼付」は「てんぷ」とも。
ちょうぼう	眺 望	名	
ちよっと	ちよっと	副	×一寸
ちらかる	散 ら か る	動	
ちりぢりに	散 り 散 り に	副	
ちりとり	ち り 取 り	名	×塵取り
ちりばめる	ち り ば め る	動	×鏤める。宝石をちりばめる
ちんあげ	賃 上 げ	名	
ちんがし	賃 賃 し	名	
ちんがり	賃 借 り	名	
ついえる	費 え る	動	空しく時が費える
	つ い え る	動	×潰える。夢がついえる
つかんばん	椎 間 板	名	
ついぎゅう	追 及	名	責任の追及
	追 求	名	利潤の追求
	追 究	名	真理の追究
ついこう	追 行	名	訴訟の追行
ついたち	一 日	名	□
ついで	… (に) ついて		※これについて考慮する

## (つい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ついで	ついで	名	×序。ついでがあったら行く
	次いで	副	式に次いで宴会を行う
ついでに	ついでに	副	×序に。ついでに仕事も頼む
ついては	ついては	接続	×就いては
ついに	ついに	副	×遂に
ついやす	費やす	動	
つうこうどめ	通行止め	名	
つうじる	通じる	動	
つかいこなす	使いこなす	動	
つかいこみ	使い込み	名	
つかいこむ	使い込む	動	
つかいはたす	使い果たす	動	
つかう	使う	動	重油を使う
つかえる	遣う	動	気を遣う
	仕える	動	親に仕える
	つかえる	動	×支える・問える。仕事がつかえる、下水がつかえる
つかさどる	つかさどる	動	×司る・掌る。文書事務をつかさどる
つかす	尽かす	動	愛想を尽かす
つかまえる	捕まえる	動	×捉える・掴める。犯人を捕まえる
つかみ合う	つかみ合う	動	×掴み合う
つかれる	疲れる	動	
つかわす	遣わす	動	
つき	…つき	接尾	顔つき、目つき、体つき
	…付き	接尾	折り紙付き、尾頭付き
	…(に)つき		昨日の件につき、1個につき100円
	〔条件〕付〔採用〕		◎

## (つき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	突 き	名	鋭い突き
	尽 き	名	運の尽き
つぎ	次	名	次の人、次の日
つきあう	付き合う	動	
つきあたり	突き当たり	名	
つきおくれ	月後れ・月遅れ	名	
つきおとす	突き落とす	動	
つきがけ	月掛	名	◎
つきがけちょきん	月掛貯金	名	◎
つぎこむ	つぎ込む	動	×注ぎ込む
つきさす	突き刺す	動	
つきそい	付添い	名	◎
つきそいにん	付添人	名	◎
つきそう	付き添う	動	
つぎつぎ	次々	副	
つきつける	突き付ける	動	
つきつめる	突き詰める	動	
つきでる	突き出る	動	
つきとばす	突き飛ばす	動	
つきとめる	突き止める	動	
つきなかば	月半ば	名	
つきなみ	月並み	名	
つぎに	次に	副	
つぎのとおり	次のとおり		※主張は次のとおりである
つきはじめ	月初め	名	
つきばらい	月払	名	◎
つぎめ	継ぎ目	名	

(つき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
つきる	尽きる	動	
つく	突く	動	棒で突く、底を突く
	付く	動	利息が付く、気が付く
	着く	動	手紙が着く、席に着く
	就く	動	職に就く、緒に就く
つぐ	つぐ	動	×注ぐ。酒をつぐ
	次ぐ	動	事件が相次ぐ、取り次ぐ
	接ぐ	動	木を接ぐ、骨を接ぐ
	継ぐ	動	跡を継ぐ、布を継ぐ
つくす	尽くす	動	
つぐなう	償う	動	
つくりばなし	作り話	名	
つくりわらい	作り笑い	名	
つくる	作る	動	規則を作る、米を作る 詩を作る (小規模・無形なものをつくる)
	造る	動	船を造る、酒を造る 庭園を造る (大規模・有形なものをつくる)
	創る	動	新しい文化を創(作)る 画期的な商品を創(作)る (新しく・初めてつくる)
つくろう	繕う	動	
づけ	…づけ	接尾	位置づけ、基礎づけ、理由づけ
	…付け	接尾	7月23日付け、義務付けの訴え
つけぐち	告げ口	名	
つけくわえる	付け加える	動	
つけとどけ	付け届け	名	
つけもの	漬物	名	◎
つける	付ける	動	×附ける。条件を付ける、気を付ける

(つけ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	着ける	動	仕事に手を着ける
	就ける	動	役に就ける
	漬ける	動	野菜を漬ける
つげる	告げる	動	
づける	〔印象〕づける		位置づける、基礎づける、理由づける (義務付ける)
つごう	都合	名	
つじつま	つじつま	名	×辻褄、話のつじつまが合わない
つたえる	伝える	動	
つたない	拙い	形	拙い文章
つちかう	培う	動	
つつがなく	つつがなく	形	×恙無く
つづき	続き	名	
つづきもの	続き物	名	
つづく	続く	動	
つつしむ	謹む	動	謹んで祝意を表する
	慎む	動	言葉を慎む
つつみがみ	包み紙	名	
つつむ	包む	動	
つづり	つづり	名	×綴。単語のつづり
つづる	つづる	動	×綴る。文書をつづる
つど	都度	名	
つどう	集う	動	
つとめ	務め	名	公務員の務め
	勤め	名	永年勤めた人
つとめさき	勤め先	名	
つとめて	努めて	副	

## (つと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
つとめにん	勤め人	名	
つとめる	努める	動	解決に努める
	務める	動	議長を務める
	勤める	動	会社に勤める
つながる	つながる	動	×繋る。電話がつながる
つなぐ	つなぐ	動	×繋ぐ。手をつなぐ
つねづね	常々	副	
つねに	常に	副	
つのる	募る	動	
つば	唾	名	「唾」は、「つばき」とも。
つぶさに	つぶさに	副	×具に・備に
つぶす	潰す	動	暇を潰す
つぶぞろい	粒ぞろい	名	×粒揃い
つぶやく	つぶやく	動	×呟く
つまさき	爪先	名	爪先立つ
つまずく	つまずく	動	×蹠く。石につまずく
つまびらか	つまびらか	形動	×詳らか・審らか
つまり	つまり	副	
つまる	詰まる	動	/
積みあげ	積み上げ	名	◎
積みおろし	積み卸し	名	◎
積みおろしせつ	積み卸施設	名	◎
積みかえ	積み替え	名	◎
積みかえる	積み替える	動	
積みこみ	積み込み	名	◎
積みこむ	積み込む	動	
つみだし	積み出し	名	◎

## (つみ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
つみだしち	積み出地	名	◎
つみだす	積み出す	動	
つみたて	積み立て	名	◎
	積み立〔金〕	名	◎
つみたてる	積み立てる	動	
つみつくり	罪作り	名	
つみつけ	積み付け	名	◎
つみに	積み荷	名	◎
つみのこし	積み残し	名	
つむ	積みむ	動	荷物を積みむ
	摘む	動	芽を摘む
	詰む	動	理論を詰む
つむぐ	紡ぐ	動	
つめ	爪	名	生爪
づめ	〔本省〕詰	名	
つめかえる	詰め替える	動	
つめかける	詰め掛ける	動	
つめこむ	詰め込む	動	
つめしょ	詰所	名	◎
つめしょうぎ	詰め将棋	名	
つめたい	冷たい	形動	
つめる	詰める	動	
つもり	積みもり	名	心積もり、その積もりだ
つもる	積みもる	動	
つゆ	梅雨	名	□
	露	名	
つゆあけ	梅雨明け	名	



(つゆ、てあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
つゆはらい	露 払 い	名	
つ よ い	強 い	形	
つよめる	強 め る	動	
つ ら い	つ ら い	形	×辛い
つらなる	連 な る	動	
つらぬく	貫 く	動	
つらねる	連 ね る	動	
つ り	釣 り	名	◎
つりあい	釣 合 い	名	
つりあう	釣 り 合 う	動	
つりがね	釣 鐘	名	◎
つりせん	釣 銭	名	◎
つりばり	釣 針	名	◎
つりぼり	釣 堀	名	◎
つ る	釣 る	動	
つ れ	連 れ	名	連れ子
つれそう	連 れ 添 う	動	
て あ い	手 合 い	名	
であいがしら	出 会 い 頭	名	
で あ う	出 会 う	動	
であたりしだい	手 当 たり 次 第	副	目につくものは手当たり次第
てあつい	手 厚 い	形	
て あ て	手 当	名	◎手当を支給する
	手 当 て	名	<動> 傷の手当てをする
て あ ら い	手 洗 い	名	

(てあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	手 荒 い	形	
であるく	出 歩 く	動	
てあわせ	手 合 わ せ	名	
ていかん	諦 観	名	
ていさつ	偵 察	名	
て い じ	提 示	名	
ていしゅ	亭 主	名	
ていしゅつ	提 出	名	
ていしょく	抵 触	名	×抵触
ていする	ていする	動	×挺する。身をていする
	呈 す る	動	活況を呈する
てい ない	丁 寧	名	×丁寧
てい ね ん	定 年	名	
ていはく	停 泊	名	×碇泊
で い り	出 入 り	名	
でいりぐち	出 入 口	名	◎
て い れ	手 入 れ	名	
て お い	手 負 い	名	
ておくれ	手後れ・手遅れ	名	
て お ち	手 落 ち	名	
て が かり	手掛かり・手懸かり	名	
て が き	手 書 き	名	
で かけ る	出 掛 け る	動	
で かせ ぎ	出 稼 ぎ	名	
て が た い	手 堅 い	形	
て が る だ	手 軽 だ	形	
で き	出 来	名	出来が良い、上出来

(てき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
できあい	出来合い	名	
できあがり	出来上がり	名	
てきぎ	適宜	副	
できごろ	出来心	名	
できごと	出来事	名	
できし	溺死	名	溺死する、溺死体
てきする	適する	動	年齢に適する運動
	敵する	動	敵するものなし
できそこない	出来損ない	名	
できだかばらい	出来高払	名	◎
てきびしい	手厳しい	形	
できる	できる		×出来る。※誰でも利用ができる、できるだけ
てぎれ	手切れ	名	手切れ金
てぎわ	手際	名	
てこずる	てこずる	動	×手子摺る、梃子摺る
てこたえ	手応え	名	手応えがない
でこぼこ	凸凹	名	□
てさぐり	手探り	名	
てさげ	手提げ	名	手提げ金庫
ですぎ	出過ぎ	名	
でそろう	出そろう	動	×出揃う。資料が出そろう
てだすけ	手助け	名	
でたらめ	でたらめ	名	×出鱈目
てちがい	手違い	名	
てちかだ	手近だ	形	
てつけ	手付け	名	

(てつ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
てつけきん	手付金	名	◎
てっする	徹する	動	骨身に徹する、夜を徹して
	撤する	動	障害物を撤する
てつだう	手伝う	動	□
てつづき	手続	名	◎
てどり	手取り	名	
てなおし	手直し	名	
でなおし	出直し	名	
てなみ	手並み	名	
てならい	手習い	名	
てぬかり	手抜き	名	
てはい	手配	名	
てはず	手はず	名	×手筈
てばなす	手放す	動	
てびかえ	手控え	名	
てびき	手引	名	◎
てびきしょ	手引書	名	◎
てびろい	手広い	形	
てぶり	手振り	名	
てほどき	手ほどき	名	×手解き
てまどる	手間取る	動	
てまわし	手回し	名	
てまわりひん	手回品	名	◎
でまわる	出回る	動	
てむかう	手向かう	動	
でむかえ	出迎え	動	
でむく	出向く	動	

(ても、とあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
てもち	手持ち	名	
てもちひん	手持品	名	◎
てもと	手元	名	×手許
てもり	手盛り	動	
てらしあわす	照らしあわす	動	
てらす	照らす	動	
てる	照る	動	
でる	出る	動	
てわけ	手分け	名	
てわたし	手渡し	名	
てんか	転化	名	転化糖
	転嫁	名	責任の転嫁
でんどう	伝道	名	宗教の伝道
	伝導	名	伝導体
	伝動	名	伝動装置
てんびき	天引き	名	給料天引き
てんぷ	添付	名	地図を添付する
	転付	名	転付命令
	天賦	名	天賦人權説
てんぼ	填補	名	
どあい	度合い	名	
とあい	問	名	◎<表記>
	問い	名	問いに答える
といあわす	問いあわす	動	
といあわせ	問合せ	名	◎

(とい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
といただす	問いただす	動	×問い質す
といつめる	問い詰める	動	
とう	等	接尾	飲む、歌う等の行為
	問う	動	
どうあげ	胴上げ	名	
とうかい	倒壊	名	◎ ×倒潰
とうがい	当該	連体	当該事件
とうかつ	統括	名	
	統轄	名	(総合調整しつつ、指揮監督する、国家行政組織法21。専門用語として使用する)
どうこう	瞳孔	名	
とうさい	搭載	名	無線機を搭載する
	登載	名	論文を登載する
どうさつ	洞察	名	
とうさん	父さん	名	□
とうじょう	搭乗	名	
とうだいもり	灯台守	名	◎
とうてい	到底	副	
とうとい (たつとい)	貴い	形	貴い体験
	尊い	形	尊い犠牲を払う
とうとう	とうとう	副	とうとう成功した
とうとつ	唐突	名	
とうとぶ (たつとぶ)	貴ぶ	動	時間を貴ぶ
	尊ぶ	動	神仏を尊ぶ
とうどり	頭取	名	◎
とえはたえ	十重二十重	名	□
とおい	遠い	形	

## (とお)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
とおざける	遠ざける	動	
とおす	通す	動	
とおる	通り	名	銀座通り
とおりがかり	とおる	動	※次のとおりである
とおるぬけ	通り掛かり	名	
とおる	通り抜け	名	
とかく	通る	動	
とがめる	とかく	副	×兎角。とかく失敗しがちだ
とき	とがめる	動	×咎める
とき	時	名	時の記念日
ときおこす	とき	動	※事故のときは連絡する ('場合'という語と同じ ような意味を表す場合)
ときおり	ときき起こす	動	
ときかた	時折	名	
ときどき	解き方	名	
ときふせる	時々	副	
ときめく	説き伏せる	動	
ときめく	ときめく	動	胸がときめく
ときめく	時めく	動	今を時めく人気者
どきょう	読経	名	□
とく	説く	動	人の道を説く
とく	溶く	動	絵の具を溶く
とく	解く	動	結び目を解く、問題を解く
とぐ	研ぐ	動	刀を研ぐ
とくに	特に	副	
とくめい	匿名	名	
とけあう	解け合う・溶け合う	動	気持ちが解け合う

## (とけ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
とけい	時計	名	□
とける	溶ける	動	砂糖が水に溶ける、地域社会に溶け込む
とげる	解ける	動	ひもが解ける、疑いが解ける
どこ	遂げる	動	目的を遂げる
ところ	どこ	代	×何処・何所
ところ	所	名	×処。遠い所
ところが	ところ	名	※現在のところ差し支えない
ところがき	ところが	接統	×所が
ところで	所書き	名	
とざす	ところで	接統	×所で
どしゃくずれ	閉ざす	名	
どしゃぶり	土砂崩れ	名	
どじょう	土砂降り	名	
としより	土壌	名	
とじる	年寄り	名	
とじる	とじる	動	×綴じる。紙をとじる
とたん	閉じる	動	門を閉じる
どたんば	とたんに	副	×途端に
とつぐ	土壇場	名	
とつぜん	嫁ぐ	動	
とつ	突然	副	
とて	凸		凸レンズ
とどく	とて	副	とても信じられない
とどけ	届く	動	
とどけ	届け	名	届けを忘れる、届け先
	〔欠席〕届	名	◎

(とと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
とどけずみ	届け済み	名	
とどけで	届出	名	◎
とどけでずみ	届出済み	名	
とどけでる	届け出る	動	
とどこおり	滞り	名	滞りなく終了した
とどこおる	滞る	動	事務が滞る
ととのう	整う	動	準備が整う
	調う	動	家具が調う、協議が調う
ととのえる	整える	動	隊列を整える、調子を整える
	調える	動	晴れ着を調える、費用を調える
とどまる	とどまる	動	×止まる・留まる。現職にとどまる、感情論にとどまる
とどめ	とどめ	名	×止め。とどめを刺す
とどめる	とどめる	動	×止める・留める。記録にとどめる
となえる	唱える	動	×称える。新学説を唱える
となり	隣	名	
となりあう	隣り合う	動	
となりむら	隣村	名	
との	殿	名	殿方、殿様
どの	どの	連体	×何の。どの本
	殿	名	○○殿
とばく	賭博	名	
とびかう	飛び交う	動	
とびこむ	飛び込む	動	
とびだす	飛び出す	動	
とびたつ	飛び立つ	動	
とびち	飛び地	名	

(とひ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
とびのる	飛び乗る	動	
とびはねる	飛び跳ねる	動	
とびひ	飛び火	名	
とびまわる	飛び回る	動	
とびら	扉	名	
とぶ	飛ぶ	動	鳥が空を飛ぶ、うわさが飛ぶ
	跳ぶ	動	溝を跳ぶ、かえるが跳ぶ
とぼしい	乏しい	形	
とまどい	戸惑い	名	
とまり	止まり	名	止まり木
	泊まり	名	泊まり客
	留まり	名	歩留まり
とまる	止まる	動	電車が止まる、水道が止まる
	泊まる	動	宿屋に泊まる
	留まる	動	目に留まる、心に留まる
とみ	富	名	
とむ	富む	動	
とむらい	弔い	名	弔い合戦
とめ	止め	名	通行止め
	留め	名	局留め
とめおき	留め置き	名	
とめおきでんぼう	留置電報	名	◎
とめおく	留め置く	動	
とめる	止める	動	息を止める
	泊める	動	友人を家に泊める
	留める	動	ボタンを留める
とも	共	名	共倒れ、共稼ぎ

## (とも)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	………とも		※説明するとともに意見を求める
	供	名	供回り、供に加わる
ど も	………ども	接尾	私ども
ともかく	ともかく	副	×兎も角
ともだち	友 達	名	□
ともども	共 々	副	夫婦共々働きに出る
ともなう	伴 う	動	…に伴って
と も に	共 に	副	夫婦共に働く
ともばたらき	共 働 き	名	
とらえる	捉 え る	動	機会を捉える、要点を捉える
	捕らえる	動	犯人を捕らえる
とりあう	取り合う	動	仕事を取り合う
とりあえず	取りあえず	副	×取り敢えず
とりあげ	取 上 げ	名	◎
とりあげる	取り上げる	動	
とりあつかい	取 扱 い	名	◎
	取扱〔所〕	名	◎
	取扱〔注意〕	名	◎
とりあつかう	取り扱う	動	
とりあわせ	取り合わせ	名	
とりいれぐち	取 入 口	名	◎
とりいれる	取り入れる	動	
と り え	取 り 柄	名	何の取り柄もない
とりおこなう	執 り 行 う	動	叙勲伝達式を執り行う
とりおさえる	取り押さえる	動	
とりおろし	取 卸 し	名	◎
とりかえ	取 替 え	動	◎

## (とり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
とりかえす	取 り 返 す	動	
とりかえひん	取 替 品	名	◎
とりかえる	取り替える	動	
とりかかる	取り掛かる	動	
とりかこむ	取 り 囲 む	動	
とりかわす	取り交わす	動	
とりきめ	取 決 め	名	◎
とりきめる	取り決める	動	
とりくずし	取 崩 し	名	◎
とりくずす	取り崩す	動	
とりくみ	取 組	名	◎
とりくむ	取り組む	動	
とりけし	取 消 し	名	◎処分の取消しを求める
とりけしきじ	取消し記事	名	
とりけししょぶん	取消処分	名	◎
とりけしはんけつ	取消判決	名	
とりけす	取り消す	動	処分を取り消す
とりこむ	取り込む	動	
とりこわし	取 壊 し	名	◎
とりこわす	取り壊す	動	×取り毀す
とりさげ	取 下 げ	名	◎
とりさげしょ	取下書	名	
とりさげる	取り下げる	動	
とりざた	取り沙汰	名	
とりしきる	取り仕切る	動	
とりしまり	取 締 り	名	◎
とりしまりほう	〔麻薬〕取締法	名	◎

(とり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
とりしまりやく	取締役	名	◎
とりしまる	取り締まる	動	
とりしらべ	取調べ	名	◎
とりしらべる	取り調べる	動	
とりそろえる	取りそろえる	動	×取り揃える
とりたて	取立て	名	◎
とりたてきん	取立金	名	◎
とりたてそしょう	取立訴訟	名	◎
とりたてる	取り立てる	動	
とりちがえる	取り違える	動	
とりつぎ	取次ぎ	名	◎
	取次〔店〕	名	◎
とりつぐ	取り次ぐ	動	
とりつくす	取り尽くす	動	
とりつくろう	取り繕う	動	
とりつけ	取付け	名	◎
とりつけこうじ	取付工事	名	◎
とりつける	取り付ける	動	
とりなおす	取り直す	動	
とりのこす	取り残す	動	
とりのぞく	取り除く	動	
とりはからい	取り計らい	名	
とりはからう	取り計らう	動	
とりはこぶ	取り運ぶ	動	
とりはずす	取り外す	動	
とりはらう	取り払う	動	
とりひき	取引	名	◎

(とり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	取引〔所〕	名	◎
とりぶん	取り分	名	
とりまく	取り巻く	名	
とりまとめ	取りまとめ	名	×取り纏め
とりみだす	取り乱す	動	
とりもつ	取り持つ	動	
とりもどし	取戻し	名	◎
とりもどしせいき ゆうけん	取戻請求権	名	◎
とりもどす	取り戻す	動	
とりもなおさず	取りも直さず	副	
とりやめ	取りやめ	名	×取り止め
とりよせ	取り寄せ	名	
とりよせる	取り寄せる	動	
とりわけ	取り分け	副	今年の夏は取り分け暑い
とりわけ	取り分ける	動	
とる	取る	動	資格を取る, 連絡を取る, メ モを取る
	執る	動	事務を執る, 式を執り行う 「措置を執る」…必要な措置 を講ずる, 執行する意味
	採る	動	会議で決を採る, 血を採る 「措置を採る」…いくつかの 措置のうち, 特定の措置を選 択する意味で用いられる
	捕る	動	生け捕る, 捕り物
	撮る	動	写真を撮る, 映画を撮る
どれ	どれ	代	×何
どろじあい	泥仕合	名	
どろぬま	泥沼	名	

(とわ, なあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
どわすれ とん とんや(といや) どんよく	度忘れ トン 問屋 食欲	名 名 名 名	×屯。トン数 ◎ 食欲な性格
なあてにん ない	名宛人 ない 無い ない 亡い	名 助動 形 形	現地には行かない 無い袖は振れない ※欠点がない 亡くなる, 亡き人
ないし なえる なお	ないし 萎える なお	接続 動 接続	×乃至。1日ないし3日
なおがき なおさら なおす	なお書き なおさら 直す	副 副 動	×尚・猶 期日はなお2週間ある
なおる	なお書き なおさら 治す	名 副 動	×尚書き ×尚更・猶更 誤りを直す, 故障を直す, 服装を直す
なおれ なか ながい	直する 治る 名折れ 中 仲 長い 永い	動 動 動 名 名 形 形	ゆがみが直る けがが治る 箱の中, 契約条項の中に 仲がいい, 仲を取り持つ 長い道, 気が長い 永い眠りに就く

(なか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ながいき なががい ながいにん ながさ ながしこむ なかす	長生き 仲買 仲買人 長さ 流し込む 泣かす 鳴かす	名 名 名 名 動 動 動	◎ 子供を泣かす ×啼かす。うぐいすを鳴かす
ながす なかだちぎょう ながつづき なかなか なかば なかばたらき ながびく ながめる ながら ながらえる ながれこむ ながれる ながわずらい なかんずく なきさけぶ なきねいり なきふす なく	流す 仲立業 長続き なかなか 半ば 仲働き 長引く 眺める ながら 長らえる 流れ込む 流れる 長患い なかんずく 泣き叫ぶ 泣き寝入り 泣き伏す 泣く 鳴く	動 名 名 副 名 名 動 動 助 動 動 動 名 副 動 名 動 動 動	◎ ×中々・仲々。なかなか完成しない 橋の半ばに立つ 携帯電話で話しながらの運転は危険だ ×就中



(なく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
なぐさめる	慰める	動	
なくす	無くす	動	財布を無くす
	亡くす	動	父を亡くす
なぐりあう	殴り合う	動	
なぐりこむ	殴り込む	動	
なぐる	殴る	動	
なげいれる	投げ入れる	動	
なげうり	投売り	名	◎
なげうりひん	投売品	名	◎
なげかける	投げ掛ける	動	
なげかわしい	嘆かわしい	形	
なげく	嘆く	動	
なげこむ	投げ込む	動	
なげすてる	投げ捨てる	動	
なげだす	投げ出す	動	
なげやり	投げやり	名	×投げ遣り
なげる	投げる	動	
なこうど	仲人	名	□
なごむ	和む	動	
なごやかだ	和やかだ	形動	
なごり	名残	名	□ 名残が尽きない
なさけ	情け	名	
なさし	名指し	名	
なしくずし	なし崩し	名	×済し崩し
なしとげる	成し遂げる	動	
なじむ	なじむ	動	×馴染む。なじんだ土地
なす	成す	動	財を成す

(なせ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
なぜ	なぜ	副	×何故
なぞ	謎	名	
なだかい	名高い	形	
なだれ	雪崩	名	□
なつかしい	懐かしい	形	
なつく	懐く	動	子供が懐く
なづける	名付ける	動	
なつまけ	夏負け	名	
なつやすみ	夏休み	名	
など	……など	助	×…等。資料などを用意する
なとり	名取り	名	
ななめ	斜め	名	
ななめひだり	斜め左	名	
なに	何	代	
なにがし	なにがし	代	×某
なにとぞ	何とぞ	副	×何卒
なにぶん	何分	副	何分知らない土地なので
なにゆえ	何故	副	何故報告しなかったのか
なのる	名のる	動	
なべ	鍋	名	
なま	生	名	
なまあたたかい	生暖かい	形	
なまえ	名前	名	私の名前は○○です
なまけもの	怠け者	名	
なまける	怠ける	動	
なまなましい	生々しい	形	
なまにえ	生煮え	名	

(なま)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
なまぬるい	生ぬるい	形	×生温い
なまやけ	生焼け	名	
なみ	並	名	並の成績
なみいる	並み居る	動	並み居る人々
なみうちぎわ	波打ち際	名	
なみき	並木	名	◎
なみたいてい	並大抵	名	
なみだぐましい	涙ぐましい	形	
なみだぐむ	涙ぐむ	動	
なみなみ	並々	名	並々ならぬ親切
	なみなみ	副	なみなみと酒をつぐ
なめらかだ	滑らかだ	形動	
なや	納屋	名	
なやましい	悩ましい	形	
なやます	悩ます	動	
なやむ	悩む	動	
ならう	倣う	動	前例に倣う
	習う	動	ピアノを習う、見習う
ならす	慣らす	動	×馴らす。英会話に耳を慣らす、象を慣らす
	鳴らす	動	呼び鈴を鳴らす、強打で鳴らした選手
	ならす	動	×均す・平す。地面をならすならすと成績は70点だ
ならびに	並びに	接続	(a及びb)並びに(c及びd)
ならぶ	並ぶ	動	
ならべる	並べる	動	
ならわし	習わし	名	
なりあがる	成り上がる	動	

(なり、にあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
なりかねない	…なりかねない		×成り兼ねない
なりきん	成金	名	
なりたち	成り立ち	名	
なりたつ	成り立つ	動	
なりひびく	鳴り響く	動	
なりものいり	鳴り物入り	名	
なりゆき	成り行き	名	
なる	成る		×為る。水は酸素と水素から成る
	なる	動	合計すると1万円になる
	鳴る	動	鐘が鳴る、腕が鳴る
なるこ	鳴子	名	
なるべく	なるべく	副	×可成
なるほど	なるほど	副	×成程
なれ	慣れ	名	×馴れ
なれあい	なれ合い	名	×馴れ合い
なれる	慣れる	動	
なわとび	縄跳び	名	
なわばり	縄張	名	◎
なんでもない	何でもない	形	
なんど	納戸	名	
なんら	何ら	副	×何等。何ら得るところがない
なんらか	何らか		×何等か。何らかの処分
にあい	似合い	名	
にあう	似合う	動	
にあげ	荷揚げ	名	

## (にあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
にあつかいば	荷扱場	名	◎
にいさん	兄さん	名	□
にうけ	荷受け	名	
にうけにん	荷受人	名	◎
にえかえる	煮え返る	動	
にえたつ	煮え立つ	動	
にえゆ	煮え湯	名	
にえる	煮える	動	
におい	匂い	名	梅の花の匂い
	臭い	名	魚の腐った臭い
におう	匂う	動	香水がほのかに匂う
	臭う	動	生ごみが臭う
にがい	苦い	形	
にかいだて	二階建て	名	
にかいづくり	二階造り	名	
にがお	似顔	名	似顔絵
にがす	逃がす	動	
にがにがしい	苦々しい	形	
にがむし	苦虫	名	苦虫をかみ潰したような顔
にかよう	似通う	動	
にがわらい	苦笑い	名	苦笑いを浮かべる
にぎやか	にぎやか	名	×賑やか
にぎりつぶす	握り潰す	動	
にぎりめし	握り飯	名	
にぎる	握る	動	
にぎわう	にぎわう	動	×賑う。市がにぎわう
にくい	……にくい	接尾	×難い・悪い。読みにくい、実行しにくい

## (にく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	憎い	形	
にくしみ	憎しみ	名	
にくづき	肉付き	名	肉付きがいい
にくむ	憎む	動	
にげこうじょう	逃げ口上	名	
にげまわる	逃げ回る	動	
にげみち	逃げ道	名	
にげる	逃げる	動	
にこむ	煮込む	動	
にごりみず	濁り水	名	
にごる	濁る	動	
にじみでる	にじみ出る	動	×滲み出る
にじむ	にじむ	動	×滲む
にせ	偽	名	×贋。偽物、偽札
にせる	似せる	動	
につかわしい	似つかわしい	形	
にづくりき	荷造機	名	◎
にづくりひ	荷造費	名	◎
につまる	煮詰まる	動	
につめる	煮詰める	動	
になう	担う	動	×荷う
にのつぎ	二の次	名	
にのまい	二の舞	名	
にぶい	鈍い	形	
にぶる	鈍る	動	
にぼし	煮干し	名	
にやす	煮やす	動	菜を煮やす

(によ, ぬい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
によじつに	如実に	副	如実に示す
にらむ	にらむ	動	×睨む。天井をにらむ
にる	似る	動	子は親に似る
	煮る	動	豆を煮る
にわか	にわか	名	×俄。にわか雨
にわか	にわか	副	にわか
にんずる	任ずる	動	責めに任ずる
ぬい	縫い	名	
ぬいあげる	縫い上げる	動	
ぬう	縫う	動	
ぬかよろこび	ぬか喜び	名	×嬉喜び
ぬかる	抜かる	動	失敗は許されない抜かるなよ
	ぬかる	動	×泥濘る。雪解け道がぬかる
ぬきうち	抜き打ち	名	
ぬきがき	抜き書き	名	
ぬぎすてる	脱ぎ捨てる	動	
ぬきずり	抜き刷り	名	
ぬきとり	抜き取り	名	◎
ぬきとる	抜き取る	動	
ぬく	抜く	動	
ぬぐ	脱ぐ	動	
ぬぐう	拭う	動	汗を拭う
ぬくもり	ぬくもり	動	×温もり。肌のぬくもり
ぬけがけ	抜け駆け	名	
ぬけみち	抜け道	名	

(ぬけ, ねあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ぬけめ	抜け目	名	
ぬすみぎき	盗み聞き	名	
ぬすむ	盗む	動	
ぬらす	ぬらす	動	×濡らす
ぬり	〔春慶〕塗	名	◎
	塗り	名	塗りが悪い
ぬりぐすり	塗り薬	名	
ぬりつぶす	塗り潰す	動	
ぬりもの	塗り物	名	
ぬる	塗る	動	
ぬるい	ぬるい	形	×温い。茶がぬるくなる
ぬれぎぬ	ぬれぎぬ	名	×濡れ衣
ぬれる	ぬれる	動	×濡れる。雨にぬれる
ねあがり	値上がり	名	
ねあげ	値上げ	名	
ねいりばな	寝入りばな	名	
ねうち	値打ち	名	
ねえさん	姉さん	名	□
ねがい	願い	名	一生の願い
	〔休暇〕願	名	◎
ねがいさげ	願い下げ	名	
ねがいで	願い出	名	
ねがいでる	願い出る	動	
ねがう	願う	動	
ねかす	寝かす	動	

## (ねか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ねがわくは	願わくは	副	
ねぎらう	ねぎらう	動	×勞う。勞をねぎらう
ねぎる	値切る	動	
ねくずれ	値崩れ	名	
ねこむ	寝込む	動	
ねころぶ	寝転ぶ	動	
ねさがり	値下がり	名	
ねさげ	値下げ	名	
ねざす	根ざす	動	
ねざや	値ざや	名	
ねじこむ	ねじ込む	動	×振じ込む
ねじまげる	ねじ曲げる	動	×振曲げる
ねじまわし	ねじ回し	名	×螺子回し
ねすごす	寝過ごす	動	
ねずみとり	ねずみ取り	名	×鼠取り
ねたむ	妬む	動	他人の成功を妬む
ねつき	寝付き	名	
ねつぞう	ねつ造	名	×捏造。証拠をねつ造する
ねづよい	根強い	形	
ねとまり	寝泊まり	名	
ねばりづよさ	粘り強さ	名	
ねばる	粘る	動	
ねほりはほり	根掘り葉掘り	副	
ねまわし	根回し	名	
ねむる	眠る	動	
ねらいうち	狙い撃ち	名	
ねらう	狙う	動	隙を狙う

## (ねり、のう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ねりなおす	練り直す	動	
ねる	寝る	動	病気で寝る
	練る	動	×練る・煉る。粉を練る、計画を練る
ねんいり	念入り	名	
ねんごろ	懇ろ	名	懇ろにもてなす
ねんざ	捻挫	名	
ねんしゅつ	捻出	名	
ねんのため	念のため	連語	×念の為
ねんれい	年齢	名	×年令
のうがき	能書き	名	
のうふずみきかん	納付済期間	名	
のうり	脳裏	名	×脳裡
のがす	逃す	動	
のがれる	逃れる	動	
のきなみ	軒並み	名	
のける	のける	動	×除ける。石をのける
のこす	残す	動	
のしあがる	のし上がる	動	×申し上がる。重役へのし上がる
のせる	乗せる	動	飛行機に乗せる
	載せる	動	雑誌に載せる、貨物を載せる
のぞきこむ	のぞき込む	動	×覗き込む
のぞく	のぞく	動	×覗く・覗く。節穴からのぞく
	除く	動	雑草を除く
のぞみうすだ	望み薄だ	形動	

## (のそ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
のぞむ	望む	動	進学を望む
	臨む	動	式場に臨む
のち	後	名	後に説明する
のちほど	後ほど	副	後ほど連絡する
のっとる	のっとる	動	×則る・法る。法令にのっとって
	乗っ取る	動	飛行機を乗っ取る
のど	喉	名	×咽。喉元
ののしる	罵る	動	
のばす	伸ばす	動	勢力を伸ばす
	延ばす	動	開会を延ばす
のばなし	野放し	名	
のびちぢみ	伸び縮み	名	
のびなやむ	伸び悩む	動	
のびりつ	伸び率	名	
のびる	伸びる	動	身長が伸びる
	延びる	動	寿命が延びる
のべじんいん	延べ人員	名	
のべつぼ	延べ坪	名	
のべにっすう	延べ日数	名	
のべばらい	延べ払い	名	
のべる	延べる	動	布団を延べる
	述べる	動	×宣べる・陳べる。意見を述べる
	伸べる	動	救いの手を伸べる
のぼり	上り	名	上り列車、上り坂
	登り	名	山登り
	のぼり	名	×幟。のぼりを立てる

## (のほ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
のぼりくだり	上り下り	名	
のぼりく(ぐ)ち	登り口	名	
のぼる	上る	動	川を上る、坂を上る、損害が1億に上る
	昇る	動	日が昇る、天に昇る
	登る	動	山に登る、木に登る、演壇に登る
のみあかす	飲み明かす	動	
のみくい	飲み食い	名	
のみぐすり	飲み薬	名	
のみこみ	飲み込み	名	×呑み込み
のみこむ	飲み込む	動	
のみほす	飲み干す	動	
のみみず	飲み水	名	
のみもの	飲み物	名	◎
のみや	飲み屋	名	
のむ	飲む	動	水を飲む
	のむ	動	×呑む。条件をのむ
のら	野良	名	□
のり	のり	名	×糊。のりで紙を貼る
	のり	名	×海苔。のり巻き
のりあい	乗り合い	名	
のりあいぶね	乗合船	名	◎
のりあいりよか(きや)く	乗合旅客	名	◎
のりあわせる	乗り合わせる	動	
のりいれ	乗り入れ	名	
のりおり	乗り降り	名	

## (のり, はあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
のりかえ	乗 換 え	名	◎
	乗換〔駅〕	名	◎
のりかえる	乗り換える	動	
のりきる	乗り切る	動	
のりくみ	乗 組 み	名	◎
	乗組〔員〕	名	◎
のりくむ	乗り組む	動	
のりこし	乗り越し	名	
のりすごす	乗り過ごす	動	
のりつぐ	乗り継ぐ	動	
のりづけ	のり付け	名	×糊付け
のりまわす	乗り回す	動	
のりもの	乗 り 物	名	時流に乗る, 相談に乗る
の る	乗 る	動	新聞に載る, 地図に載っている道
	載 る	動	
の れ ん	の れ ん	名	×暖簾
の ろ い	の ろ い	形	×鈍い
の ろ う	呪 う	動	×詛う
の ろ し	の ろ し	名	×烽火
の ん き	の ん き	名	×呑気・暢気
ば あ い	場 合	名	◎
は あ く	把 握	名	
ばあたり	場当たり	名	
ばいえん	ば い 煙	名	×煤煙

## (はい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はいかい	はいかい	名	×徘徊
ばいかい	媒 介	名	
はいする	配 す る	動	人材を配する
	拝 す る	動	尊顔を拝する
	排 す る	動	迷信を排する
	廃 す る	動	虚礼を廃する
ばいせき	陪 席	名	陪席裁判官
はいちがえ	配 置 換	名	
はいでる	はい出る	動	×遣い出る
は い ふ	配 布	名	資料を配布する
	配 付	名	交付税及び譲与税配付金特別会計
は い る	入 る	動	
はえぬき	生え抜き	名	
は え る	生 え る	動	芽が生える
	栄 え る	動	受賞に栄える作品
	映 え る	動	夕日に映える
は お り	羽 織	名	◎
は お る	羽 織 る	動	
はがいじめ	羽交い締め	名	
は が き	は が き	名	×葉書・端書。郵便はがき
は が す	剥 が す	動	
ば か す	化 か す	動	
は か せ	博 士	名	□
はかどる	はかどる	動	×捗る。仕事はかどる
は かな い	は かな い	形	×儂い。はかない望み
はかまいり	基 参 り	名	

## (はか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はからう	計らう	動	
はからずも	図らずも	副	×不図。図らずも受賞の榮に浴し…
ばかり	……ばかり	名	×…許。こればかり…するばかり
はかる	図る	動	合理化を図る, 解決を図る
	計る	動	時間を計る, 計り知れない恩恵
	測る	動	距離を測る, 面積を測る
	量る	動	目方を量る, 容積を量る
	謀る	動	暗殺を謀る, 悪事を謀る
	諮る	動	審議会に諮る
はき	破棄	名	◎ ×破毀。書類を破棄する
はききよめる	掃き清める	動	
はきけ	吐き気	名	
はきだす	吐き出す	動	ガムを吐き出す
	掃き出す	動	ごみを掃き出す
はきもの	履物	名	◎
はぎれ	歯切れ	名	歯切れの悪い返事
	端切れ	名	布の端切れ
はく	吐く	動	唾を吐く
	掃く	動	庭を掃く
	履く	動	げたを履く
はぐくむ	育む	動	子を育む, 学問を育む
はくする	博する	動	名声を博する
ばくぜん	漠然	名	
ばくだい	ばく大	名	×莫大
はくだつ	剝奪	名	
ばくろ	暴露	名	

## (はく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	曝露	名	(さらされる。専門用語として使用する)
はげしい	激しい	名形	×烈しい・劇しい
はげます	励ます	動	
はげむ	励む	動	
ばける	化ける	動	
はこづめ	箱詰め	名	
はこぶ	運ぶ	動	
はさまる	挟まる	動	
はさみうち	挟み打ち	名	
はさむ	挟む	動	
はし	橋	名	橋を渡る
	端	名	道の端を歩く
	箸	名	箸にも棒にもかからない箸箱
	恥	名	
はじ	端書き	名	
はしがき	はじき出す	動	×弾き出す
はじきだす	はしなくも	副	
はしなくも	始まる	動	会が始まる
はじまる	初め	名	初めこう思った
はじめ	始め	名	年の始め, …を始めとして
はじめて	初めて	副	初めての経験
はじめる	始める	動	仕事を始める
はじらう	恥じらう	動	
はしらがき	柱書き	名	
はしりがき	走り書き	名	
はしりまわる	走り回る	動	



(はし)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はしる	走る	動	
はじる	恥じる	動	
はず	はず		×筈。10時に到着するはずだ
はすう	端数	名	
はずかしい	恥ずかしい	形	
はずかしめる	辱める	動	
はずす	外す	動	席を外す
はずむ	弾む	動	話が弾む
はずれる	外れる	動	予想が外れる
ばせい	罵声	名	
はせさんじる	はせ参じる	動	×馳せ参じる
はたけちがい	畑違い	名	×畠違い
はだざわり	肌触り	名	
はたして	果たして	副	
はたす	果たす	動	責任を果たす
はたち	二十・二十歳	名	□
はたらかす	働かす	動	
はたらきて	働き手	名	
はたらきばち	働き蜂	名	
はたらく	働く	動	
はたん	破綻	名	
はちあわせ	鉢合わせ	名	
はちうえ	鉢植え	名	
はちぎれる	はち切れる	動	
はちまき	鉢巻	名	
はつか	二十日	名	□
はっこうずみかぶしき	発行済株式	名	

(はつ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はつだより	初便り	名	
はつらつ	はつらつ	名	×發刺。はつらつとした若者
はて	果て	名	果てのない議論
はで	派手	名	派手な服装
はてる	果てる	動	
ばとう	罵倒	名	罵倒する
はとば	波止場	名	□
はどめ	歯止め	名	
はな	花	名	花の都、花形
	華	名	華々しい、華やか
	鼻	名	鼻血、鼻が高い
はなし	話	名	話の分かる人、土産話
	話し	名	<動>お話しになる
はなしあい	話合い	名	◎
はなしあいて	話し相手	名	
はなしあう	話し合う	動	
はなしがい	放し飼	名	
はなしかた	話し方	名	
はなして	話し手	名	
はなす	話す	動	フランス語を話す
	放す	動	鳥を放す、見放す
	離す	動	間を離す、目を離す
はなだより	花便り	名	
はなはだ	甚だ	副	甚だ残念だ
はなはだしい	甚だしい	形	誤解も甚だしい
はなばなしい	華々しい	形	
はなやかだ	華やかだ	形	

(はな)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はなれざしき	離れ座敷	名	
はなれる	放れる	動	矢が弦を放れる、放れ馬
	離れる	動	職を離れる、離れ鳥
はねる	跳ねる	動	
	はねる	動	×撥ねる。車で人をはねる
はば	幅	名	×巾
はばかり	はばかり	動	×憚る。人目をはばかり
はばたく	羽ばたく	動	×羽撃く
はばむ	阻む	動	
はびこる	はびこる	動	雑草がはびこる
はぶく	省く	動	
はまき	葉巻	名	◎
はみがき	歯磨き	名	
はみでる	はみ出る	動	×食み出る
はめこむ	はめ込む	動	×嵌め込む
はやい	早い	形	時期が早い、気が早い
	速い	形	流れが速い、テンポが速い
はやおき	早起き	名	
はやまる	早まる	動	出発時間が早まる
	速まる	動	スピードが速まる
はらいこみ	払込み	名	◎
	払込〔金〕	名	◎
はらいこみきじつ	払込期日	名	
はらいこみずみしゅっしがく	払込済出資額	名	
はらいこむ	払い込む	動	
はらいさげ	払下げ	名	◎

(はら)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はらいさげひん	払下品	名	◎
はらいさげる	払い下げる	動	
はらいだし	払出し	名	◎
はらいだしきん	払出金	名	◎
はらいだす	払い出す	動	
はらいもどし	払戻し	名	◎
はらいもどしきん	払戻金	名	◎
はらいもどししょうしょ	払戻証書	名	◎
はらいもどす	払い戻す	動	
はらいわたし	払渡し	名	◎
はらいわたしきん	払渡金	名	◎
はらいわたしずみ	払渡済み	名	◎
はらいわたしゆうびんきょく	払渡郵便局	名	◎
はらいわたす	払い渡す	動	
はらう	はらう	動	×駈う。汚れをはらう
	払う	動	税金を払う
はらす	晴らす	動	疑いを晴らす
	腫らす	動	目を泣き腫らす
はらだたい	腹立たしい	形	
はらだち	腹立ち	名	
はらちがい	腹違い	名	
はらむ	はらむ	動	×孕む。不穏な情勢をはらむ
はりあい	張り合い	名	
はりかえる	張り替える	動	
はりきる	張り切る	動	
はりこ	張り子	名	

## (はり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はりこみ	張り込み	名	
はりこむ	張り込む	動	
はりさける	張り裂ける	動	
はりだす	張り出す	動	
はりつけ	貼付け	名	◎
はりつける	貼り付ける	動	紙を貼り付ける
はりつめる	張り詰める	動	神経を張り詰める
はる	貼る	動	切手を貼る
	張る	動	ロープを張る、値が張る
ばる	………ばる	接尾	形式ばる
はるか	はるか	副	×遙か。はるか昔
はるめく	春めく	動	
はれ	腫れ	名	腫れが引く
	晴	名	◎<表記>
	晴れ	名	晴れ着、晴れ間、秋晴れ
はれやかだ	晴れやかだ	形動	
はれる	腫れる	動	指が腫れる
	晴れる	動	気が晴れる
はれんち	破廉恥	名	
ばんぐみ	番組	名	◎
はんけついいわたし	判決冒渡し	名	
はんさ	煩さ	名	×煩瑣
はんちゅう	範ちゅう	名	×範疇
ばんづけ	番付	名	◎
はんでん	斑点	名	
はんばく	反ばく	名	×反駁

## (はん、ひ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
はんぶ	頒布	名	実費で頒布する
はんよう	汎用	名	汎用性
はんらん	汜濫	名	×汎濫。不良出版物が汎濫する
	反乱	名	×叛乱。反乱軍
はんれい	凡例	名	本の凡例を見る
	判例	名	判例を調べる
ひ	火	名	火が燃える、火を見るより明らか
	灯	名	灯がともる、町の灯が見える
	日	名	日付、日頃、日が昇る
ひあがる	干上がる	動	
ひあたり	日当たり	名	
ひいては	ひいては	副	×延いては。ひいては町のために
ひいでる	秀でる	動	
ひえこむ	冷え込む	動	
ひえる	冷える	動	
ひがい	被害	名	
ひかえ	控え	名	
ひかえしつ	控室	名	◎
ひかえめ	控え目	名	
ひがえり	日帰り	名	
ひかえる	控える	動	
ひからす	光らす	動	目を光らして監視する
ひかり	光り	名	
	光り	名	<動>親の七光り

## (ひか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひかる	光る	動	星が光る、光る才能
ひきあげ	引上げ	名	◎運賃の引上げ
	引揚げ	名	◎海外からの引揚げ
ひきあげる	引き上げる	動	価値を引き上げる
	引き揚げる	動	外地から引き揚げる
ひきあてきん	引当金	名	◎
ひきあわせ	引き合わせ	名	
ひきいる	率いる	動	
ひきうけ	引受け	名	◎
	引受〔時刻〕	名	◎
	引受〔人〕	名	◎
ひきうける	引き受ける	動	
ひきおこし	引起し	名	◎
ひきおこす	引き起こす	動	×惹き起こす
ひきかえ	引換え	名	◎
	引換〔券〕	名	◎
	〔代金〕引換	名	◎
ひきかえす	引き返す	動	
ひきかえる	引き換える	動	
ひきがたり	弾き語り	名	
ひきがね	引き金	名	
ひきこみ	引込み	名	◎
ひきこみせん	引込線	名	◎
ひきこむ	引き込む	動	
ひきこもる	引き籠もる	動	
ひきころす	ひき殺す	動	×轢き殺す
ひきさげ	引下げ	名	◎

## (ひき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひきさげる	引き下げる	動	
ひきざん	引き算	名	
ひきしめ	引締め	名	◎
ひきしめる	引き締める	動	
ひきだし	引き出し	名	
ひきだす	引き出す	動	
ひきつぎ	引継ぎ	名	◎
ひきつぎじぎょう	引継事業	名	◎
ひきつぎしょ	引継書	名	
ひきつぎちょうしょ	引継調書	名	◎
ひきつぐ	引き継ぐ	動	
ひきつける	引き付ける	動	
ひきつづき	引き続き	連語	
ひきつづく	引き続く	動	
ひきつれる	引き連れる	動	
ひきて	引き手	名	障子の引き手
	弾き手	名	琴の弾き手
ひきでもの	引き出物	名	
ひきど	引き戸	名	
ひきとめる	引き止める	動	
ひきとり	引取り	名	◎
ひきとりけいひ	引取経費	名	◎
ひきとりぜい	引取税	名	◎
ひきとりにん	引取人	名	
ひきとる	引き取る	動	
ひきぬく	引き抜く	動	

## (ひき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひきのばす	引き伸ばす	動	写真を引き伸ばす
	引き延ばす	動	回答を引き延ばす
ひきよせる	引き寄せる	動	
ひきわけ	引き分け	名	
ひきわたし	引渡し	名	◎
	引渡〔人〕	名	◎
ひきわたす	引き渡す	動	
ひく	ひく	動	×挽く・轢く。のこぎりをひく、人をひく
	引く	動	×曳く・牽く。網を引く、例を引く
	弾く	動	ピアノを弾く
ひくい	低い	形	
ひぐれ	日暮れ	名	
ひけめ	引け目	名	
ひごと	日ごと	名	×日毎
ひざ	膝	名	膝を擦りむく
ひさしい	久しい	形	
ひさしぶり	久しぶり	名	
ひざまづく	ひざまづく	動	×跪く
ひじ	肘	名	肘を張る
ひずみ	ひずみ	名	×歪み
ひそ	砒素	名	
ひそかに	ひそかに	副	×秘かに・密かに
ひそむ	潜む	動	
ひそやか	ひそやか	形動	×密やか
ひたす	浸す	動	
ひたすら	ひたすら	副	×只管

## (ひた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひたむき	ひたむき	形動	×真向き。ひたむきな態度
ひだりきき	左利き	名	
ひっかかる	引っ掛かる	動	
ひっきょう	ひっきょう	副	×畢竟
ひづけ	日付	名	◎
ひっこし	引っ越し	名	
ひっこみじあん	引っ込み思案	名	
ひっす	必須	名	
ひっぱる	引っ張る	動	
ひでり	日照り	名	
ひとえに	ひとえに	副	×偏に。ひとえに努力のたまものだ
ひとかかえ	一抱え	名	一抱えの花束
ひとかたならぬ	一方ならぬ	副	一方ならぬお世話
ひとごみ	人込み・人混み	名	
ひとさわがせ	人騒がせ	名	
ひとしい	等しい	形	
ひとしお	ひとしお	副	×一入。ひとしお身にしみる
ひとしく	ひとしく	副	×等しく、齊しく。全員ひとしく賛成した
ひとしれず	人知れず	副	
ひとそろい	一そろい	名	×一揃
ひとだすけ	人助け	名	
ひとたび	一たび	名	×一度
ひとちがい	人違い	名	
ひとつ	一つ	名	
ひとつかい	人使い	名	人使いが荒い
ひとつき	一突き	名	

## (ひと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひとつきあい	人付きあい	名	
ひととおり	一通り	名	
ひとどおり	人通り	名	人通りが多い
ひとなみ	人並み	名	
ひとにぎり	一握り	名	
ひとべらし	人減らし	名	
ひとまかせ	人任せ	名	
ひとまず	ひとまず	副	×一先ず
ひとまわり	一回り	名	×一廻り
ひとみしり	人見知り	名	
ひとめぐり	一巡り	名	
ひとやすみ	一休み	名	
ひとり	一人	名	□ 一人一人、一人っ子
	独り	名	独り者、独り…ばかりでなく
ひとり	日取り	名	
ひとりごと	独り言	名	
ひとりじめ	独り占め	名	
ひとわたり	ひとわたり	副	×一渡り・一渉り
ひのべ	日延べ	名	
ひびく	響く	動	
ひびわれる	ひび割れる	動	
ひめる	秘める	動	
ひやあせ	冷や汗	名	
ひやす	冷やす	動	
ひやとい	日雇	名	◎
ひやみず	冷や水	名	
ひややかだ	冷ややかだ	形動	

## (ひゅ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひゅ	比喩	名	
ひょうき	表記	名	表記の金額、ローマ字の表記
	標記	名	標記の件について
ひょうする	表する	動	敬意を表する
	評する	動	人物を評する
ひよく	肥沃	名	肥沃な土地
ひより	日和	名	□
ひらあやまり	平謝り	名	
ひらく	開く	動	×拓く
ひらたい	平たい	形	
ひらやだて	平屋建て・平家建て	名	
ひるがえる	翻る	動	
ひるすぎ	昼過ぎ	名	
ひるむ	ひるむ	動	×怯む
ひるやすみ	昼休み	名	
ひろい	広い	形	
ひろいぬし	拾い主	名	
ひろう	拾う	動	ごみを拾う
	披露	名	披露宴
	疲労	名	疲労が蓄積する
ひろがる	広がる	動	×拡がる
ひわい	卑わい	名	×卑猥
ひわり	日割り	名	
ひわりけいさん	日割計算	名	
びんせん	便箋	名	
びんづめ	瓶詰	名	◎

## (ひん, ふあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ひんばん	頻 繁	名	
ぶ あ い ふ う	歩 合 風 ……ふう	名 名	◎ 風力, 洋風 こういうふうに造る
ふうきり ふうきりかん ふうじこめる	封 切 り 封 切 館 封じ込める	名 名 動	◎
ふ え る	増 え る 殖 え る	動 動	人数が増える 財産が増える
ふ え ん	ふ え ん	名	×敷衍。ふえんして述べる
ふ か す	吹 か す 更 か す ふ か す	動 動 動	たばこを吹かす, 先輩風を吹かす 夜を更かす ×蒸す。芋をふかす
ふかなさけ ふかぶか ふかめる ふかん ふき ふきあげる ふきさらし ふきだす	深 情 け 深 々 深 め る 付 款 付 記 吹き上げる 吹きさらし 吹き出す 噴き出す	名 副 動 名 名 動 名 動 動	×吹き曝し 風が吹き出す 湯が噴き出す
ふきだまり ふきぬき	吹きだまり 吹き抜き	名 名	×吹き溜まり

## (ふく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ふ く	拭 く 吹 く 噴 く	動 動 動	床を拭く, 汗を拭く 風が吹く, 笛を吹く 火山が煙を噴く
ふくする	服 す る 復 す る 伏 す る	動 動 動	命令に服する 旧に復する 威に伏する
ふくそう	ふくそう	名	×幅輦・幅湊。事務がふくそうする
ふくびき	福引〔券〕	名	◎
ふくむ	含 む	動	
ふくめる	含 め る	動	
ふくらむ	膨 ら む	動	
ふ け る	ふ け る 老 け る 更 け る	動 動 動	×耽る。読書にふける 老けて見える 夜が更ける, 秋が更ける
ふさがる	塞 が る	動	部屋が塞がる
ふさぐ	塞 ぐ	動	道を塞ぐ
ふさわしい	ふさわしい	形	×相応しい
ふじゅうぶん	不 十 分	名	×不充分
ふ す	付 す	動	意見を付す, 条件を付す
ふせぐ	防 ぐ	動	
ふせじ	伏 せ 字	名	
ふせる	伏 せ る	動	
ふせん	付 箋	名	×附せん・附箋
ふそく	附 則	名	
ふぞく	附 属	名	
ふ た	蓋	名	

## (ふた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ふたい	附 帯	名	
ふたたび	再 び	副	
ふたつ	二 つ	名	
ふたり	二 人	名	□
ふだん	ふ だ ん	名	×普段。ふだんの行い、ふだん着
	不 断	名	不断の努力、優柔不断
ふち	附 置	名	
ふつか	二 日	名	□
ふっしょく	払 拭	名	
ふてくされる	ふて腐れる	動	×不貞腐れる
ふと	ふ と	副	×不図。ふと見上げる
ふとい	太 い	形	
ふとどき	不 届 き	名	◎
ぶどまり	歩 留 り	名	
ふとる	太 る	動	
ふとん	布 団	名	
ふなつき	船 着 き	名	
ふなつきば	船 着 場	名	◎
ふなづみ	船 積 み	名	
ふなづみかもつ	船 積 貨 物	名	◎
ふなよい	船 酔 い	名	
ふなれ	不 慣 れ	名	
ふにあい	不 似 合 い	名	
ふね	舟	名	小舟、ささ舟、渡し舟
	船	名	大船、親船、船の甲板
ふばらい	不 払	名	◎不払運動

## (ふは)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	賦 払	名	◎テレビ代金の賦払
ふひょう	付 表	名	×附表
ふぶき	吹 雪	名	□
ふふくもうしたて	不服申立て	名	
ふほう	卦 報	名	
ふまえる	踏 ま える	動	経験を踏まえた意見
ふみきり	踏 切	名	◎
ふみきりばん	踏 切 番	名	
ふみきる	踏 み 切る	動	
ふみたおす	踏 み 倒 す	動	
ふみとどまる	踏 みとどまる	動	×踏み止まる
ふみはずす	踏 み 外 す	動	
ふむ	踏 む	動	
ふむき	不 向 き	名	
ふやす	増 や す	動	人数を増やす
	殖 や す	動	財産を殖やす
ふゆきとどき	不行き届き	名	
ふよ	付 与	名	権限を付与する
ふりあい	振 り 合 い	名	
ふりかえ	振 替	名	◎
ふりかえる	振 り 返 る	動	学生時代を振り返る
	振り替える	動	電車の不通でバスに振り替える
ふりがな	振 り 仮 名	名	
ふりこみ	振 込 み	名	
ふりこみきん	振 込 金	名	◎
ふりこむ	振 り 込 む	動	



## (ふり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ふりだし	振出し	名	◎
	振出〔人〕	名	◎
ふりだしきよく	振出局	名	
ふりだす	振り出す	動	
ふりわけ	振り分ける	動	
ふる	振る	動	旗を振る、昇進を振る
	降る	動	雨が降る、災難が降ってくる
ぶる	……ぶる	接尾	×…振る。俤ぶる
ふるう	ふるう	動	×篩う・揮う。砂をふるう
	振るう	動	事業が振るわない、士気が振るう
	震う	動	声を震わせる
	奮う	動	勇気を奮う、奮い立つ
ふるえる	震える	動	
ふるって	奮って	副	奮って参加する
ふるびる	古びる	動	
ふるまう	振る舞う	動	
ふるめかしい	古めかしい	形	
ふれあう	触れ合う	動	
ふれまわる	触れ回る	動	悪口を触れ回る
ふれる	触れる	動	法に触れる、目に触れる
	振れる	動	地震計の針が振れる
ふろく	付録	名	×附録
ふろしきづつみ	風呂敷包み	名	
ふわたり	不渡り	名	
ふわたりてがた	不渡手形	名	◎
ふんいき	雰囲気	名	

## (ふん、へい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ぶんかつばらい	分割払	名	◎
ふんべつざかり	分別盛り	名	
へい	塀	名	
へいき	併記	名	
べいじ	ベージ	名	×頁
へいそく	閉塞	名	閉塞する、腸閉塞
へいたん	平坦	名	×平坦
べき	ベキ	助動	×可き。そうすべきである
へきち	僻地	名	(専門用語として使用する)
へた	下手	名	□
へだてる	隔てる	動	
べつに	別に	副	
へや	部屋	名	□
へやわり	部屋割り	名	
へらす	減らす	動	
へる	減る	動	水量が減る
	経る	動	歳月を経た古木
へんさん	編さん	名	×編纂
へんしゅう	編集	名	×編輯
へんする	偏する	動	思想が偏する
へんずる	変ずる	動	心を変ずる
べんする	便する	動	理解に便する
べんずる	弁ずる	動	一席弁ずる
へんせい	編成	名	予算の編成
	編制	名	予備軍の編制

## (へん, ほう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
へんせん	変遷	名	
べんたつ	べんたつ	名	×鞭撻
へんてつ	編綴	名	(専門用語として使用する) 【とじる。とじ合わせる】
へんぱ	偏ぱ	名	×偏頗
へんび	へんび	名	×辺鄙
へんぼう	変貌	名	
へんりん	片りん	名	×片鱗
へんれい	返戻	名	
ほいく	保育	名	×哺育
ほうかい	崩壊	名	◎ ×崩潰
ぼうがい	妨害	名	×妨碍
ほうき	蜂起	名	農民が蜂起する
ほうきゅう	放棄	名	×拋棄。権利を放棄する
ぼうぎょ	俸給	名	
ほうじょ	防禦	名	×防禦
ほうじょう	報奨	名	(専門用語として使用する)
	報奨	名	報奨金〔奨励〕
	褒償	名	予算上の報償費
	褒賞	名	褒賞を受ける
	褒章	名	紫綬褒章
ほうせん	傍線	名	
ほうぜん	ぼう然	形動	×杲然・茫然・惘然
ほうだい	膨大	名	×彪大
ほうちょう	防ちょう	名	×防諜。防ちょう機関

## (ほう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	傍聴	名	傍聴人, 傍聴席
	膨張	名	人口が膨張する
ほうむる	葬る	動	
ぼうよみ	棒読み	名	
ぼうろん	傍論	名	判決の傍論で述べる
	暴論	名	暴論を吐く
ほお	頬	名	「頬」は, 「ほほ」とも。
ほか	ほか		×外・他。ほかの意見, 特別の場合を除くほか, ○○ほか3名, そのほか
ほかならない	ほかならない		×外ならない
ほがらかだ	朗らかだ	形動	
ぼく	僕	代	
ほこ	矛	名	矛先
ほご	ほご	名	×反故。約束をほごにする ほご紙
ほこり	誇り	名	誇り高き人
	ほこり	名	×埃。ほこりが立つ
ほこる	誇る	動	
ほころびる	綻びる	名	着物の袖が綻びる
ほしい	欲しい	形	金が欲しい
	…(て)ほしい		見てほしい
ほしもの	干し物	名	
ほしょう	保証	名	品質を保証する, 保証人
	保障	名	社会保障
	補償	名	損害を補償する, 補償金
ほじょう	ほ場	名	×圃場
ほす	干す	動	

## (ほそ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ほそい	細い	形	
ほそく	捕捉	名	敵を捕捉する
	補足	名	説明を補足する
	補則	名	補則に規定する
ほそる	細る	動	
ほっする	欲する	動	名誉を欲する
ぼっする	没する	動	日が没する
ほったてごや	掘っ建て小屋	名	
ぼっばつ	勃発	名	
ほてん	補填	名	
ほど	程	名	程遠い、程なく、身の程
	ほど	助	三日ほど経過した、少ないほどよい
ほどこす	施す	動	
ほとんど	ほとんど	副	×殆んど
ほにゅうい	哺乳類	名	
ほねおしみ	骨惜しみ	名	
ほねおり	骨折り	名	
ほねぐみ	骨組み	名	
ほねぬき	骨抜き	名	
ほのめかす	ほのめかす	動	×仄めかす
ほぼ	ほぼ	副	×略
ほまれ	誉れ	名	
ほめことば	褒め言葉	名	
ほめる	褒める	動	×誉める
ほり	〔鎌倉〕彫	名	◎
	彫り	名	彫りの深い顔

## (ほり、まあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	堀	名	外堀、釣堀
ほりおこす	掘り起こす	動	
ほりだしもの	掘り出し物	名	
ほりだす	掘り出す	動	
ほりぬきいど	掘抜井戸	名	◎
ほる	掘る	動	井戸を掘る
	彫る	動	仏像を彫る
ぼろ	ぼろ	名	×襦袢。ぼろの服、ぼろを出す
ほろぶ	減ぶ	動	
ほんぎまり	本決まり	名	
ぼんくれ	盆暮れ	名	
ほんだな	本棚	名	
ほんとう	本当	名	本当の話
ほんまつてんとう	本末転倒	名	×本末顛倒
ほんろう	翻弄	名	
まあたらしい	真新しい	形	
まい	舞	名	
まいあがる	舞い上がる	動	
まいこ	舞子	名	
まいご	迷子	名	□
まいこむ	舞い込む	動	
まいひめ	舞姫	名	
まいる	参る	動	神社に参る、私が参ります
	まいる	動	持ってまいります、…してまいります

## (まう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
まう	舞う	動	
まえうけきん	前受金	名	◎
まえうり	前売り	名	
まえおき	前置き	名	
まえがき	前書き	名	
まえがし	前貸し	名	
まえがしきん	前貸金	名	◎
まえがり	前借り	名	
まえばらい	前払	名	◎
まえぶれ	前触れ	名	
まえむき	前向き	名	
まえもって	前もって	連語	×前以って
まえわたし	前渡し	名	
まがし	間貸し	名	
まかす	負かす	動	相手を負かす
	任す	動	×委す。身を任す
まかせる	任せ	動	×委せる。仕事を任せる
まかなう	賄う	動	
まがぬける	間が抜ける	動	
まがり	間借り	名	
まがりかど	曲がり角	名	
まかりとおる	まかり通る	動	×罷り通る。不正がまかり通る
まがる	曲がる	動	
まき	巻	名	
まきあげき	巻上機	名	◎
まきかえす	巻き返す	動	
まきがみ	巻紙	名	◎

## (まき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
まきじた	巻き舌	名	
まきじゃく	巻尺	名	◎
まきぞえ	巻き添え	名	
まきちらす	まき散らす	動	×撒き散らす
まきつけ	巻付け	名	◎
まきつける	巻き付ける	動	
まきとり	巻取り	名	◎
まきとる	巻き取る	動	
まきもの	巻物	名	◎
まぎらわしい	紛らわしい	形	
まぎれこむ	紛れ込む	動	
まぎれる	紛れる	動	
まぎわ	間際	名	
まく	巻く	動	時計のねじを巻く
	まく	動	×蒔く・播く・撒く。種をまく、水をまく
まくあき	幕開き	名	
まくしたてる	まくし立てる	動	×捲くし立てる
まぐれあたり	まぐれ当たり	名	×紛れ当たり
まけ	負け	名	
まけおしみ	負け惜しみ	名	
まける	負ける	動	
まげる	曲げる	動	
まことに	誠に	副	×真に・実に
まごびき	孫引き	名	
まさか	まさか	副	まさか雨は降らないだろう
まさしく	正しく	副	正しく天才である

## (まさ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
まさに	正に	副	×将に・方に。正に指摘のとおり
まさる	勝る	動	×優る
まざる	混ざる	動	酒に水が混ざる
	交ざる	動	麻が交ざっている
まし	増し	名	割増し、水増し
まじえる	交える	動	
まして	まして	副	×況して
まじめ	真面目	名	□
まじる	交じる	動	漢字と仮名が交じった文章
	混じる	動	異物が混じる
まじわる	交わる	動	
ます	増す	動	
まず	まず	副	×先ず
まずしい	貧しい	形	
ますます	ますます	副	×益々
また	また	接続	×又。山また山
	また	副	これもまた美しい
また	股	名	内股、大股
まだ	まだ	副	×未だ。まだ完成しない
またがる	またがる	動	×跨る・股がる
またたく	瞬く	動	星が瞬く
または	又	接続	当事者又は参加人、(a 若しくは b) 又は c
まち	町	名	町と村、町ぐるみの歓迎
	街	名	学生の街、街の明かり
まちあい	待合〔室〕	名	◎
まちあわせ	待ち合わせ	名	

## (まち)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
まちがい	間違 い	名	
まちがう	間違 う	動	
まちがえる	間違 える	動	
まちかだ	間近 だ	形動	
まちどおしい	待ち遠しい	形	
まちのぞむ	待ち望む	動	
まちはずれ	町外 れ	名	
まちびと	待ち人	名	
まちぶせ	待ち伏せ	名	
まちまち	まちまち	名	×区々。年令はまちまちだ
まつ	待 つ	動	
まっか	真っ赤	名	□
まっくろ	真っ黒	名	
まっさお	真っ青	名	□
まっさかり	真っ盛り	名	
まっさき	真っ先	名	
まっしょう	抹消	名	
まっしろ	真っ白	名	
まっすぐ	まっすぐ	副	×真っ直ぐ
まったく	全 く	副	全く関係がない
まっとうする	全うする	動	×完うする
まつり	祭 り	名	
まつりあげる	祭り上げる	動	
まつりごと	政	名	国の政を行う
まつる	祭 る	動	
まで	ま で	助	×迄。15日までに提出すること

## (まと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
まどう	惑う	動	
まとはずれ	的外れ	名	
まとめる	まとめる	動	×纏める。意見をまとめる
まどり	間取り	名	
まどわす	惑わす	動	
まなこ	眼	名	
まなぶ	学ぶ	動	
まにあう	間に合う	動	
まぬか(が)れる	免れる	動	
まね	まね	名	×真似
まねく	招く	動	
まのあたり	目の当たり	名	
まのび	間延び	名	
まばたき	まばたき	名	×瞬き
まびく	間引く	動	
まぶか	目深	名	
まぶしい	まぶしい	形	×眩しい
まぼろし	幻	名	
まま	まま	名	×儘。原文のままとする
まむかい	真向かい	名	
まもなく	間もなく	副	
まもる	守る	動	
まゆ	繭眉	名	繭玉
		名	眉毛
まよい	迷い	名	迷い子
まよう	迷う	動	
まるい	丸い	形	背中が丸くなる、丸く治める

## (まる、み)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
	円い	形	円い窓、円く輪になる
まるめこむ	丸め込む	動	
まるやけ	丸焼け	名	
まれ	まれ	名	×稀・希。近頃まれな
まわす	回す	動	
まわり	回り	名	×廻り。身の回り、胴回り
	周り	名	池の周り、周りの人
まわりみち	回り道	名	
まわる	回る	動	
まんえん	まん延	名	×蔓延
まんぜん	漫然	名	
まんなか	真ん中	名	
まんびき	万引き	名	
み	み…………… ……………み	接頭 接尾	×御・深。み心、み盤 ×…味。弱み、有り難み
みあい	見合い	名	
みあたる	見当たる	動	
みあわせ	見合せ	名	◎
みあわせる	見合わせる	動	
みいだす	見いだす	動	×見出す
みうける	見受ける	動	
みうごき	身動き	名	
みうしなう	見失う	動	
みえ	見え	名	×見栄。見えを張る
みおくる	見送る	動	

## (みお)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
みおさめ	見納め	名	
みおとし	見落とし	名	
みおとり	見劣り	名	
みおぼえ	見覚え	名	
みかえり	見返り	名	
みかえりぶっし	見返物資	名	◎
みかぎる	見限る	動	
みがく	磨く	動	×研ぐ。靴を磨く
みかけだおし	見掛け倒し	名	
みかける	見掛ける	動	
みがまえ	身構え	名	
みがわり	身代わり	名	
みきき	見聞き	名	
みきり	見切り	名	見切り発車
みぎり	みぎり	名	×砌。厳寒のみぎり
みきわめる	見極める	動	
みくびる	見くびる	動	×見送る
みごと	見事	名	×美事。見事な手際
みこみ	見込み	名	
みこみがく	見込額	名	◎
みこみすりょう	見込数量	名	◎
みこみちがい	見込み違い	名	
みこみのうふ	見込納付	名	◎
みこむ	見込む	動	
みごもる	身籠もる	動	×孕る・妊る
みごろ	見頃	名	桜の見頃
	身頃	名	×袴。前身頃、後ろ身頃

## (みさ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
みさだめる	見定める	動	
みじかい	短 い	形	
みじめだ	惨 め だ	形動	
みしる	見知る	動	見知らぬ客
みずあび	水浴び	名	
みずあらい	水洗い	名	
みすえる	見据える	動	
みずかけろん	水掛け論	名	
みすかす	見透かす	動	
みずから	自 ら	副	自ら名のり出る
みずぎわ	水 際	名	
みずけむり	水 煙	名	
みすごす	見過ごす	動	
みずさし	水 差し	名	
みすてる	見捨てる	動	
みずひき	水 引	名	◎
みずびたし	水 浸し	名	
みずまき	水 まき	名	×水撒き
みずまし	水 増し	名	
みせかけ	見せ掛け	名	
みせしめ	見せしめ	名	
みせる	見せる	動	
みぞ	溝	名	
みぞう	未曾有	名	未曾有の珍事
みそこなう	見損なう	動	
みそめる	見初める	動	
みだし	見出し	名	

## (みた)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
みたす	満たす	動	×充たす
みだす	乱す	動	
みだら	淫ら	形動	淫らなふるまい、淫らだ
みだりに	みだりに	副	×濫に・妄に。みだりに話してはいけない
みだれる	乱れる	動	
みち	道	名	×路・途・徑
みちがえる	見違える	動	
みちかだ	身近だ	形動	身近な話題
みちしお	満ち潮	名	
みちづれ	道連れ	名	
みちびきだす	導き出す	動	
みちびく	導く	動	
みちゆき	道行き	名	
みちる	満ちる	動	
みつ(みっつ)	三つ	名	三つ折り
みつぐ	貫ぐ	動	
みつける	見付ける	動	
みつもり	見積り	名	◎
	見積〔書〕	名	◎
みつもる	見積もる	動	
みとおし	見通し	名	
みとがめる	見とがめる	動	×見咎める
みとどける	見届ける	動	
みとめ	認め	名	認め印
みとめる	認める	動	
みとりず	見取図	名	◎

## (みと)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
みとる	みとる	動	×看取る。病気の母をみとる
	見取る	動	その場の状況を見取る
みな	皆	名	皆さん
みなおす	見直す	動	
みなす	みなす	動	×見做す。欠席とみなす
みならい	見習	名	◎
みならいこう	見習工	名	◎
みならう	見習う	動	
みなれる	見慣れる	動	
みにくい	見にくい	形	×見難い。活字が見にくい
	醜い	名	醜い行為
みぬく	見抜く	動	
みのがす	見逃す	動	
みのまわり	身の回り	名	
みのる	実る	動	×稔る
みばえ	見栄え	名	
みはからう	見計らう	動	
みはなす	見放す	動	
みはらい	未払	名	◎
みはらいかんじょう	未払勘定	名	◎
みはらいねんぎん	未払年金	名	◎
みはらし	見晴らし	名	
みはる	見張る	動	門を見張る
	みはる	動	×瞪る。目をみはる
みぶり	身振り	名	
みぶるい	身震い	名	



## (みま、むか)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
みまい	見舞い	名	◎
みまいひん	見舞品	名	
みまちがえる	見間違える	動	
みまもる	見守る	動	
みまわる	見回る	動	
みみざわり	耳障り	名	
みみより	耳寄り	名	
みもち	身持ち	名	身持ちの悪い人
みやげ	土産	名	□
みやぶる	見破る	動	
みより	身寄り	名	
みる	見る	動	×観る・看る・覧る・視る。 景色を見る、面倒を見る
	…(て)みる		※見てみる
	診る	動	患者を診る、脈を診る
みわたす	見渡す	動	
むかい	向かい	名	
むかいあわせ	向かい合わせ	名	
むかいあわせる	向かい合わせる	動	
むかいかぜ	向かい風	名	
むかう	向かう	動	
むかえる	迎える	動	
むかし	昔	名	昔話
むく	向く	動	
むくい	報い	名	

## (むく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
むくいる	報いる	動	×酬いる
むけ	向け	動	子供向けの本
むける	向ける	動	
むこう	向こう	名	向こうの家、向こう側
むこうみず	向こう見ず	名	
むさぼる	食る	動	安逸を食る、食るように本を読む
むしあつい	蒸し暑い	形	
むしかえし	蒸し返し	名	
むしばむ	むしばむ	動	×蝕む。悪にむしばまれる
むしる	むしる	動	×迄る。草をむしる
むしろ	むしろ	副	×寧ろ。むしろ歩いた方がよい
	むしろ	名	×筵・席。むしろ旗
むす	蒸す	動	
むず(つ)かしい	難しい	形	
むすこ	息子	名	□
むすび	結び	名	縁結び、結び目
むすびつく	結び付く	動	
むすぶ	結ぶ	動	
むぞうさ	無造作	名	
むだ	無駄	名	×冗・徒。無駄話、無駄遣い
むちうつ	むち打つ	動	×鞭打つ
むとどけ	無届け	名	
むなさわぎ	胸騒ぎ	名	
むなしい	むなしい	形	×空しい・虚しい
むね	旨	名	その旨了承されたい
むねわりながや	棟割り長屋	名	

## (むや、め)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
むやみ	むやみ	名	×無闇・無暗。むやみに言い触らす
むらがる	群がる	動	
むらす	蒸らす	名	
むりじい	無理強い	名	
むりやり	無理やり	名	×無理遣り
むれ	群れ	名	
むれる	蒸れる	動	足が蒸れる
	群れる	動	鳥が群れる
むろん	無論	副	無論正しい
め	……………め	接尾	少なめ、長め、細め、厚め
	……………目	接尾	三日目、10番目
めあたらしい	目新しい	形	
めあて	目当て	名	
めいぎかきかえ	名義書換	名	◎
めいずる	命ずる	動	報告を命ずる
	銘ずる	動	肝に銘ずる
めいてい	めいてい	名	×酩酊
めいとる	メートル	助数	×米
めいめい	銘々	名	銘々の持ち物
めいわく	迷惑	名	迷惑をかける
めいりょう	明瞭	名	
めかくし	目隠し	名	
めがける	目掛ける	動	的を目掛けて投げる
めがね	眼鏡	名	□

## (めく)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
めくばり	目配り	名	
めぐむ	恵む	動	
	芽ぐむ	動	×萌む
めくる	めくる	動	×捲る。ページをめくる
めぐる	巡る	動	池の周りを巡る
	めぐる	動	×廻る・回る。判決をめぐる諸問題
めざす	目指す	動	
めざましい	目覚ましい	形	目覚ましい活躍ぶり
めざめ	目覚め	名	
めざわり	目障り	名	
めしあがる	召し上がる	動	
めしかかえる	召し抱える	動	
めしたき	飯炊き	名	
めじるし	目印	名	
めじろおし	めじろ押し	名	×目白押し
めずらしい	珍しい	形	
めだつ	目立つ	動	
めつき	目つき	名	目つきが悪い
めった	めった	副	×滅多。めったやたらに、めったにない
めでたい	めでたい	形	×目出度い
めど	めど	名	×目処。めどが立たない
めぬき	目抜き	名	目抜き通り
めばえる	芽生える	動	
めべり	目減り	名	
めぼしい	めぼしい	形	
めまい	めまい	名	×目眩・眩暈

## (めま, もう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
めまぐるしい	目まぐるしい	形	
めめしい	女々しい	形	
めもり	目盛り	名	
めやす	目安	名	
めんずる	免ずる	動	税を免ずる
めんどろ	面倒	名	
もうける	設ける	動	口実を設ける, 酒席を設ける
	もうける	動	×
もうしあげる	申し上げる	動	×
もうしあわせ	申合せ	名	×
もうしあわせじこう	申合せ事項	名	×
もうしあわせる	申し合わせる	動	×
もうしいれ	申入れ	名	×
もうしいれじこう	申入れ事項	名	×
もうしいれる	申し入れる	動	×
もうしうける	申し受ける	動	×
もうしおくり	申し送り	名	×
もうしこみ	申込み	名	×
	申込〔書〕	名	×
もうしこみずみ	申込済	名	×
もうしこむ	申し込む	動	×
もうしたて	申立て	名	×
もうしたてにん	申立人	名	×
もうしたてる	申し立てる	動	×

## (もう)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
もうしで	申出	名	◎
もうしでる	申し出る	動	
もうしのべる	申し述べる	動	
もうしひらき	申し開き	名	
もうしぶん	申し分	名	申し分のない出来栄え
もうしわけ	申し訳	名	申し訳がない
もうしわたし	申し渡し	名	
もうしわたす	申し渡す	動	
もうしん	妄信	名	
もうす	申す	動	
もうら	網羅	名	精鋭を網羅する, 資料を網羅する
もえつきる	燃え尽きる	動	
もえる	燃える	動	
もくする	目する	動	次期社長と目されている
	黙する	動	黙して語らず
もくと	目途	名	年末完成を目途とする
もぐりこむ	潜り込む	動	
もぐる	潜る	動	
もくろみ	もくろみ	名	×
もさ	猛者	名	□
もし	もし	副	×
もしくは	若しくは	接続	(a若しくはb) 又はc
もたらす	もたらす	動	×
もちあげる	持ち上げる	動	
もちあわせる	持ち合わせる	動	
もちいえ	持家	名	◎

## (もち)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
もちいる	用いる	動	
もちかける	持ち掛ける	動	話を持ち掛ける
もちかぶ	持ち株	名	
もちかぶがいしゃ	持株会社	名	×持株会社
もちこす	持ち越す	動	
もちこみ	持込み	名	◎
もちこみきんし	持込禁止	名	◎
もちだし	持ち出し	名	
もちだす	持ち出す	動	
もちなおす	持ち直す	動	
もちにげ	持ち逃げ	名	
もちぬし	持ち主	名	
もちば	持ち場	名	
もちはこぶ	持ち運ぶ	動	
もちぶん	持分	名	◎
もちまえ	持ち前	名	
もちまわり	持ち回り	名	
もちもの	持ち物	名	
もちろん	もちろん	副	×勿論
もつ	持つ	動	荷物を持つ (体がもたない)
もって	もって	接続	×以て。書面をもって通知する
もつと	もつと	副	もつとがんばれ
もつとも	もつとも	接続	×尤も。もつともその考えにも一理ある
	最も	副	最も大切だ
もっぱら	専ら	副	専ら仕事に励む
もてあそぶ	弄ぶ	動	人の心を弄ぶ、政治を弄ぶ

## (もて)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
もてあます	持て余す	動	
もと	もと	名	×素。ケーキのもと
	下	名	法の下に平等、連絡の下に、指揮の下に
	元	名	火の元、元が掛かる、出版元
	本	名	本を正す、本と末
	基	名	資料を基にする、基づく
	基	名	国の基を築く
もとい		名	◎
もとうけ	元請	名	◎
もとうりぎょうしや	元売業者	名	◎
もどしいれ	戻入れ	名	◎
もどしいれる	戻し入れる	動	
もとじめ	元締	名	
もどす	戻す	動	
もとづく	基づく	動	
もどおり	元どおり	名	
もとめる	求める	動	
もともと	もともと	副	もともと怒りっぽい人
	元々	名	失敗して元々だ
もとより	もとより	副	×固より・素より
もとる	もとる	動	×悖る。規約にもとる行為
もどる	戻る	動	
もの	もの……	接頭	もの悲しい、もの静かな人
	者	名	18歳未満の者
	物	名	物を大切にする
	……もの		※正しいものと認める
もののいい	物言い	名	計画に物言いがつく

## (もの)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ものいり	物入り	名	12月は何かと物入りだ
ものうり	物売り	名	
ものおき	物置き	名	◎
ものおぼえ	物覚え	名	
ものおもい	物思い	名	物思いにふける
ものがたり	物語	名	◎
ものがたる	物語る	動	
ものしり	物知り	名	
ものずき	物好き	名	
ものとり	物取り	名	物取りの仕業だ
ものほし	物干し	名	
ものほしば	物干場	名	◎
ものわかれ	物別れ	名	
もはや	もはや	副	×最早。もはや手遅れだ
もみけす	もみ消す	動	×揉み消す
もみじ	紅葉	名	□
もむ	もむ	動	×揉む。肩をもむ、気をもむ
もめごと	もめ事	名	×揉め事
もめん	木綿	名	□
もやす	燃やす	動	
もよおし	催し	名	
もよおしもの	催物	名	◎
もよおす	催す	動	
もより	最寄り	名	□最寄りの駅
もろう	もろう	動	×貰う。金をもらう …してもらう
もらす	漏らす	動	×洩らす・泄らす

## (もり、や)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
もりあがる	盛り上がる	動	
もりかえす	盛り返す	動	
もりつつ	盛土	名	◎
もる	漏る	動	×洩る・泄る。雨が漏る屋根
	盛る	動	土を盛る、毒を盛る
もれる	漏れる	動	×洩れる・泄れる
もろい	もろい	形	×脆い。涙もろい、刃がもろい
もろもろ	もろもろ	名	×諸々。もろもろの事情
もんがまえ	門構え	名	
もんきりがた	紋切り型	名	
もんぜんばらい	門前払い	名	
や	屋	名	屋根、酒屋、屋敷
	家	名	二階家、家主、家賃
やおちょう	八百長	名	□
やおや	八百屋	名	□
やがて	やがて	副	
やかましい	やかましい	形	×喧しい
やき	〔備前〕焼	名	◎
	焼き	名	焼きを入れる、焼きが回る
やきすてる	焼き捨てる	動	
やきつくす	焼き尽くす	動	
やきつけ	焼付け	名	◎
やきつける	焼き付ける	動	
やきなおし	焼き直し	名	
やきまし	焼き増し	名	

## (やき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
やきもの	焼 き 物	名	
や く	焼 く	動	
や く す	訳 す	動	英語に訳す
やくする	約 する	動	再会を約する、複雑な手続を約する
やくだつ	役 立 つ	動	
やくづき	役 付 き	名	
やくどし	厄 年	名	
やくまわり	役 回 り	名	損な役回り
やくわり	役 割	名	◎
やけいし	焼 け 石	名	焼け石に水
や ける	焼 ける	動	
やさしい	易 し い	形	易しい問題
	優 し い	形	優しい心遣い
やしき	屋 敷	名	◎
やしなう	養 う	動	
やすあがり	安 上 がり	名	
や す い	……やすい	接尾	×…易い。書きやすい
	安 い	形	×廉い。値段が安い
やすうけあい	安請け合い	名	
やすうり	安 売 り	名	
やすっぱい	安 っ ぽい	形	
やす み	休 み	名	
やすみやすみ	休み 休み	副	
や す む	休 む	動	
やすらかだ	安 ら かだ	形動	
やせほそる	瘦 せ 細 る	動	

## (やせ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
や せる	瘦 せる	動	体が瘦せる、瘦せた土地
やつあたり	八つ当たり	名	
やつぎばや	矢 継 ぎ 早	名	
やつざき	八つ裂き	名	
や と い	雇 い	名	
やといいれ	雇 入 れ	名	◎
やといいれけいやく	雇入契約	名	◎
やといいれる	雇い入れる	動	
やといにん	雇 人	名	
やといぬし	雇 主	名	◎
や とう	雇 う	動	
や ど り	宿 り	名	雨宿り、宿り木
や ど る	宿 る	動	
やにわに	やにわに	副	×矢庭に。やにわに走り出す
や は り	や は り	副	×矢張り。やはり正しかった
やぶさか	やぶさか	名	×吝か。協力するにやぶさかでない
や ぶ る	破 る	動	約束を破る
やぶれる	破 れ る	動	障子が破れる、平和が破れる
	敗 れ る	動	勝負に敗れる、人生に敗れる
や ま い	病	名	
やまくずれ	山 崩 れ	名	
やまごえ	山 越 え	名	
やまぞい	山 沿 い	名	
やまつづき	山 続 き	名	
やまつなみ	山 津 波	名	
やまづみ	山 積 み	名	

## (やま)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
やまのぼり	山 登 り	名	
やまびらき	山 開 き	名	
やまぶし	山 伏	名	
やまもり	山 盛 り	名	
やみあがり	病み上がり	名	
やみうち	闇 討 ち	名	
やみつぎ	病み付き	名	
や む	病 む	動	肺を病む、気に病む
	や む	動	×止む・已む。雨がやむ、騒 ぎがやむ
やむをえず	やむを得ず	副	×已むを得ず
やむをえない	やむを得ない	連語	
や め る	辞 め る	動	×止める・罷める。会社を辞 める
	病 め る	動	×痛める。病める人
	や め る	動	×止める・已める。旅行をや める、たばこをやめる
や や	や や	副	×稍。やや寒い
ややもすれば	ややもすれば	副	×動もすれば
やりかた	や り 方	名	×遣り方。やり方を間違える
やりこめる	やり込める	動	×遣り込める
やりとげる	やり遂げる	動	×遣り遂げる
やりとり	やり取り	名	×遣り取り
やりなおし	やり直し	名	×遣り直し
や る	や る	動	×遣る。やり方、使いをやる
	… (て) やる		書いてやる
やわらかい	柔 ら か い	形	柔らかい毛布、物柔らかな態度
	軟 ら か い	形	表情が軟らかい、軟らかな土
やわらぐ	和 ら ぐ	動	気持ちが和らぐ

## (ゆあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ゆあがり	湯 上 が り	名	
ゆいいつ	唯 一	名	
ゆいしょ	由 緒	名	
ゆ う	結 う	動	
ゆうぐれ	夕 暮 れ	名	
ゆうしゅつ	湧 出	名	×涌出。温泉が湧出する
ゆうする	有 す る	動	権利を有する
ゆうぜん	悠 然	名	
ゆうだち	夕 立	名	◎
ゆ う に	優 に	副	優に1万を超える観衆
ゆ う ベ	夕 ベ	名	夕べは寒かった、音楽の夕べ
ゆうやけ	夕 焼 け	名	
ゆうゆう	悠 々	名	悠々自適
ゆ え	故	名	故あって、故なく
	……ゆえ		※一部の反対のゆえにはかど らない
ゆ え つ	踰 越	名	(専門用語として使用する) [越える]
ゆ え に	ゆ え に	接続	×故に
ゆ え ン	ゆ え ン	名	×所以
ゆ か た	浴 衣	名	□
ゆ が む	ゆ が む	動	×歪む
ゆ が め る	ゆ が め る	動	×歪める。事実をゆがめる
ゆきかう	行き交う	動	人々が行き交う
ゆきかえり	行き帰り	名	
ゆきさき	行 き 先	名	
ゆきすぎ	行き過ぎ	名	
ゆきちがい	行き違い	名	

## (ゆき)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ゆきづまる	行き詰まる	動	
ゆきとどく	行き届く	動	
ゆきわたる	行き渡る	動	
ゆく (いく)	行く	動	×往く。買物に行く
	逝く	動	〇〇氏逝く、天寿を全うして逝く
ゆくえ	行方	名	□
ゆくさき	行く先	名	
ゆくて	行く手	名	
ゆくゆく	行く行く	副	行く行く社長になる
ゆずりうけ	譲受け	名	◎
ゆずりうけにん	譲受人	名	◎
ゆずりうける	譲り受ける	動	
ゆずりわたし	譲渡し	名	◎
ゆずりわたしにん	譲渡人	名	
ゆずりわたす	譲り渡す	動	
ゆする	揺する	動	
ゆずる	譲る	動	
ゆたか	豊か	名	
ゆだねる	委ねる	動	権限を委ねる
ゆちゃく	癒着	名	
ゆびさす	指さす	動	
ゆりうごかす	揺り動かす	動	
ゆりかご	揺り籠	名	
ゆるい	緩い	形	
ゆるがせ	ゆるがせ	形動	×忽せ。ゆるがせにできない問題
ゆるぎない	揺るぎない	形	揺るぎない地位を築く

## (ゆる、よあ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
ゆるす	許す	動	
ゆるむ	緩む	動	×弛む
ゆれる	揺れる	動	
ゆわえる	結わえる	動	
ゆわかし	湯沸かし	名	
ゆわかしき	湯沸器	名	◎
よあかし	夜明かし	名	
よあけ	夜明け	名	
よい	良い	形	品質が良い、成績が良い
	… (て) よい		※連絡してよい
	善い	形	善い行い
	酔い	名	酔いが回る
	宵	名	宵の明星
ようする	要する	動	注意を要する
	擁する	動	大軍を擁する、巨富を擁する
ようするに	要するに	副	
ようだ	ようだ	助動	×様だ。方法がないようだ
ようだてる	用立てる	動	
ようにん	用人	名	×傭人
ようやく	ようやく	副	×漸く。ようやく間に合った
よく	よく	副	話はよく分かった
よくそう	浴槽	名	
よくばり	欲張り	名	
よけい	余計	名	余計なお世話だ
よこがき	横書き	名	



## (よこ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
よこしま	よこしま	名	×邪。よこしまな考え
よごす	汚す	動	
よこながし	横流し	名	
よこばい	横ばい	名	×横退い
よごれ	汚れ	名	
よごれる	汚れる	動	
よし	由	名	知る由もない
よしあし	善しあし	名	×善し悪し
よせあつめる	寄せ集める	動	
よせがき	寄せ書き	名	
よせる	寄せる	動	
よそおう	装う	動	
よつかど	四つ角	名	
よって	よって	接続	×仍って。起立多数。よって 本案は可決 ×…に依って。前例によって 処理する
	…(に)よって		
よっぱらう	酔っ払う	動	
よどおし	夜通し	副	
よにげ	夜逃げ	名	
よのなか	世の中	名	
よびかけ	呼び掛け	名	
よびだし	呼出し	名	◎
よびだしでんわ	呼出電話	名	
よびだしふう	呼出符号	名	◎
よびだす	呼び出す	動	
よぶ	呼ぶ	動	
よふかし	夜更かし	名	

## (よふ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
よふけ	夜更け	名	
よほど	よほど	副	×余程
よみあわせ	読み合わせ	名	
よみかえ	読替え	名	◎
よみかえぎてい	読替規定	名	◎
よみかえる	読み替える	動	
よみがえる	よみがえる	動	×蘇る・甦る
よみかき	読み書き	名	×読み熟す
よみごたえ	読み応え	名	
よみこなす	読みこなす	動	
よみとる	読み取る	動	
よみもの	読み物	名	
よむ	読む	動	本を読む、人の心を読む
	詠む	動	和歌を詠む、一首詠む
より	より	助	(比較のときだけに使う。時及び場所の起点を示すには「から」を用いる) 私より小さい
よりあい	寄り合い	名	
よりかかる	寄り掛かる	動	
よりごのみ	より好み	名	×選り好み
よりすぐる	よりすぐる	動	×選りすぐる
よりどころ	よりどころ	名	×拠所。心のよりどころ
よりわける	より分ける	動	×選り分ける
よる	よる	動	×因る・依る・拠る・由る 不注意によるミス
	寄る	動	帰りに寄る
	よる	動	×繕る・熬る。こよりをよる
	夜	名	

(よろ, ら)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
よろこばしい	喜ばしい	形	
よろこぶ	喜ぶ	動	×慶ぶ・悦ぶ
よろしい	よろしい	形	×宜しい。帰ってよろしい
よろしく	よろしく	副	×宜しく・宜敷。よろしくお願いします
よろん	世論	名	×輿論・与論
よわい	弱い	形	
	よわい	名	×齢。よわいを重ねる
よわたり	世渡り	名	
よわまる	弱まる	動	
ら	……………ら	接尾	×…等。原告ら, これら, 我ら
らくがき	落書き	名	
らち	拉致	名	拉致する
らつわん	辣腕	名	辣腕家
られつ	羅列	名	
らんがい	欄外	名	
らんかく	濫獲	名	×乱獲
らんさく	濫作	名	×乱作
らんぞう	濫造	名	×乱造
らんどく	濫読	名	×乱読
らんばつ	濫伐	名	×乱伐
らんび	濫費	名	×乱費
らんよう	濫用	名	職権濫用
	乱用	名	(銃砲刀剣類所持等取締法 24条の2 IV)
らんりつ	濫立	名	×乱立

(りあ, るい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
りあげ	利上げ	名	
りかん	罹患	名	(専門用語として使用する)
りきむ	力む	動	
りくあげ	陸揚げ	名	
りくあげち	陸揚地	名	◎
りくあげりょう	陸揚量	名	◎
りぐい	利食い	名	
りくつ	理屈	名	◎ ×理窟
りさい	罹災	名	×罹災
りする	利する	動	敵を利する
りつき	利付き	名	
りつきさいけん	利付債券	名	
りつぜん	慄然	名	慄然とする
りっぱ	立派	名	
りづめ	理詰め	名	
りまわり	利回り	名	
りゅうちょう	流ちょう	名	×流暢
りゅうとうだび	竜頭蛇尾	名	
りょうかい	了解	名	×瞭解
りょうがえ	両替	名	◎
りょうしょう	了承	名	×諒承
りょうだて	両建て	名	
りょうどなり	両隣り	名	
るいすい	類推	名	
るいする	類する	動	本件に類する事案

(るす, れい, ろう, わい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
るす るふ るる	留守 流布 るる	名 名 副	×縷々。るる釈明する
れいにゅう れっする れんか れんが れんけい れんごう れんせい れんにゅう れんらく	戻入 列する 廉価 れんが 連係 連合 鍊成 練乳 連絡	名 動 名 名 名 名 名 名 名	式典に列する  ×煉瓦。れんが造り ×連繫 ×聯合  ×煉乳 ×聯絡
ろうえい ろうじょう ろうする  ろうろうと ろてんぼり	漏洩 籠城 勞する ろうする 朗々と 露天掘り	名 名 動 動 形動 名	(専門用語として使用する) [漏らす] 籠城する 勞して功なし、心身を勞する ×弄する・聾する。策をろうする、耳をろうする爆音
わいきよく わいしょう	歪曲 わい小	名 名	(専門用語として使用する) [ゆがめる] ×矮小

(わい)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
わいせつ わいろ わが わかがえる わかす わかちあう わかつ わかやぐ わかる わかれ わかれみち わかれめ わかれる  わき わきあがる わきたつ わきまえる わく  わくぐみ わくけ  わけまえ わける わこうど	猥褻 賄賂 我が 若返る 沸かす 分かち合う 分かつ 若やぐ 分かる 別れ 別れ道・分かれ道 別れ目・分かれ目 分かれる 別れる 脇 沸き上がる 沸き立つ わきまえる 枠 湧く 沸く 枠組み 訳 わけ 分け前 分ける 若人	名 名 連体 動 動 動 動 動 動 名 名 名 動 動 名 動 名 名 名 動 名	(専門用語として使用する)  ×吾が。我が国、我が家  お湯を沸かす、観衆を沸かす  是非を分かち、利益を分かち  ×判る・解る。意味が分かる 別れの言葉、別れ話  意見が分かれる 友と駅頭で別れる 脇見をする、両脇 ×湧き上がる  ×弁える。礼儀をわきまえる 枠にはめる ×湧く。泉が湧く、勇気が湧く お湯が沸く  内訳、申し訳、訳がある ※賛成するわけにはいかない  □

## (わざ)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
わざと	わざと	副	×態と。わざと負ける
わざわい	災 い	名	×禍い
わざわざ	わざわざ	副	×態々
わずか	僅 か	副	僅かの差
わずらう	患 う	動	胸を患う
	煩 う	動	思い煩う
わずらわしい	煩 わしい	形	
わずらわす	煩 わす	動	人手を煩わす
わすれもの	忘 れ 物	名	
わすれる	忘 れ る	動	
わたくし・わたし	私	代	私事、私たち
わたくしする	私 す る	動	公の施設を私する
わたしぶね	渡 し 船	名	
わたす	渡 す	動	
わたって	… (に) わたって		×…に亘って。1週間にわたって開催する
わたる	渡 る	動	
わびる	わ び る	動	×詫びる
わらいごえ	笑 い 声	名	
わらう	笑 う	動	
わり	割	名	
わりあい	割 合	名	◎
わりあて	割 当 て	名	◎
わりあてがく	割 当 額	名	◎
わりあてる	割り当てる	動	
わりいん	割 り 印	名	
わりかん	割 り 勘	名	

## (わり)

見出し	用字・送り仮名	品詞	備考
わりきる	割 り 切 る	動	
わりこむ	割 り 込 む	動	
わりざん	割 り 算	名	
わりだか	割 高	名	◎
わりに	割 に	副	
わりびき	割 引	名	◎
わりびく	割り引く	動	
わりふる	割り振る	動	
わりまし	割 増 し	名	◎
わりましきん	割 増 金	名	◎
わりましきんつき	割増金付	名	
わりましきんつき ちようく	割増金付貯蓄	名	
わりもどし	割 戻 し	名	◎
わりもどしきん	割 戻 金	名	◎
わりもどす	割り戻す	動	
わりやす	割 安	名	◎
わる	割 る	動	
わるい	悪 い	形	
わるもの	悪 者	名	
われ	我	代	我々、我勝ちに
われめ	割 れ 目	名	
われら	我 ら	代	×我等・吾ら
われる	割 れ る	動	
われわれ	我 々	代	

## 資 料

### 1 常用漢字表等関係

- 常用漢字表 (抄) .....203
- 送り仮名の付け方 .....242
- 現代仮名遣い .....253
- 外来語の表記 .....267
- 外来語・外国語の使用について .....285

### 2 公用文, 法令用語関係

- 公文書用の紙の規格及び左横書きに関する訓令 .....286
- 公文書用の紙の規格及び左横書きに関する訓令の  
実施について .....287
- 公用文における漢字使用等について .....291
- 法令における漢字使用等について .....297
- 公用文作成の要領 .....310
- 法令における<sup>しやう</sup>拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の  
表記について .....321
- 内閣に係る公用文における<sup>しやう</sup>拗音及び促音に用いる  
「や・ゆ・よ・つ」の表記について .....323
- 国民にわかりやすい適切な用語の使用について .....324

### 3 同音漢字, 異字同訓漢字関係

- 同音の漢字による書きかえ .....325
- 「異字同訓」の漢字の用法 .....332
- 「異字同訓」の漢字の用法例 (追加字種・追加音訓関連) .....349

## 1 常用漢字表等関係

### ○常用漢字表 (抄)

#### ○内閣告示第二号

一般の社会生活において現代の国語を書き表すための漢字使用の目安を、次の表のように定める。

なお、昭和五十六内閣告示第一号は、廃止する。

平成二十二年十一月三十日

内閣総理大臣 菅 直人

#### 常用漢字表

##### 前書き

- 1 この表は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示すものである。
- 2 この表は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個人人の表記にまで及ぼそうとするものではない。ただし、専門分野の語であっても、一般の社会生活と密接に関連する語の表記については、この表を参考とすることが望ましい。
- 3 この表は、都道府県名に用いる漢字及びそれに準じる漢字を除き、固有名詞を対象とするものではない。
- 4 この表は、過去の著作や文書における漢字使用を否定するものではない。
- 5 この表の運用に当たっては、個々の事情に応じて適切な考慮を加える余地のあるものである。

##### 表の見方及び使い方

- 1 この表は、「本表」と「付表」とから成る。

- 2 「本表」には、字種2136字を掲げ、字体、音訓、語例等を併せ示した。
- 3 漢字欄には、字種と字体を示した。字種は字音によって五十音順に並べた。同音の場合はおおむね字画の少ないものを先にした。字音を取り上げていないものは、字訓によった。
- 4 字体は文字の骨組みであるが、便宜上、明朝体のうちの一種を例に用いて「印刷文字における現代の通用字体」を示した。
- 5 「しんにゅう／しょくへん」に関係する字のうち、「し／食」の字形が通用字体である字については、「し／食」の字形を角括弧に入れて許容字体として併せ示した。当該の字に関して、現に印刷文字として許容字体を用いている場合、通用字体である「し／食」の字形に改める必要はない。これを「字体の許容」と呼ぶ。
- なお、当該の字の備考欄には、角括弧に入れたものが許容字体であることを注記した。また、通用字体の「謎」における「謎」についても「しんにゅう／しょくへん」の扱いに準じるものとして、同様の注記を加えてある。
- 6 丸括弧に入れて添えたものは、いわゆる康熙字典体である。これは、明治以来行われてきた活字の字体とのつながりを示すために参考として添えたものであるが、著しい差異のないものは省いた。
- 7 音訓欄には、音訓を示した。字音は片仮名で、字訓は平仮名で示した。1字下げで示した音訓は、特別なものか、又は用法のごく狭いものである。なお、1字下げで示した音訓のうち、備考欄に都道府県名を注記したものは、原則として、当該の都道府県名にのみ用いる音訓であることを示す。
- 8 派生の関係にあって同じ漢字を使用する習慣のある次のような類は、適宜、音訓欄又は例欄に主なものを示した。

けむる	煙る	わかる	分ける
けむり	煙	わかれる	分かれる
けむい	煙い、煙たい、煙たがる	わかる	分かる
		わかっ	分かっ

なお、次のような類は、名詞としてだけ用いるものである。

しるし | 印

こおり | 氷

- 9 例欄には、音訓使用の目安として、その字の当該音訓における使用例の一部を示した。なお、「案じる」「信じる」「力む」等のように字音を動詞として用いることのできるものについては、特に必要な場合を除き、示していない。
- 10 例欄の語のうち、副詞的用法、接続詞的用法として使うものであって、紛らわしいものには、特に〔副〕、〔接〕という記号を付けた。
- 11 他の字又は語と結び付く場合に音韻上の変化を起こす次のような類は、音訓欄又は備考欄に示しておいたが、全ての例を尽くしているわけではない。

納得 (ナツトク)	格子 (コウシ)
手網 (タツナ)	金物 (カナモノ)
音頭 (オンド)	夫婦 (フウフ)
順応 (ジュンノウ)	因縁 (インネン)
春雨 (ハルサメ)	

- 12 備考欄には、個々の音訓の使用に当たって留意すべき事項などを記した。
- (1) 異字同訓のあるものを適宜で示し、また、付表にある語でその漢字を含んでいるものを注記した。
- (2) 都道府県名については、音訓欄に「1字下げで掲げた音訓」が、原則として、当該の都道府県名を表記するために掲げた音訓であることを明示する場合に、「埼玉県」「栃木県」のように注記した。

また、都道府県名に用いられる漢字の読み方が、当該の音訓欄にない場合 (例えば、大分県の「分」、愛媛県の「愛」「媛」など)、その都道府県の読み方を備考欄に「大分 (おおいた) 県」「愛媛 (えひめ) 県」という形で注記した。

したがって、全ての都道府県名を備考欄に掲げるものではない。

- (3) 備考欄にある「\*」は、「(付) 字体についての解説」「第2 明朝体と筆写の楷書との関係について」の「3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの」の中に参照すべき具体例があること

を示す。当該字が具体例として挙げられている場合は、\*の後に、〔付〕第2の3参照〕と掲げたが、具体例が挙げられていない場合は〔付〕第2の3【剝】参照〕のように、同様に考えることができる具体例を併せ掲げた。

また、しんにゅうの字、及びしんにゅうを構成要素として含む字のうち通用字体が「し」で示されている字については、上記「第2 明朝体と筆写の楷書との関係について」の「1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの」の中に「し・しーし」が示され、「し」も筆写では「し」と同様に「し」と書くことから、上の「3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの」の例に準じて、備考欄に「\*」を付し、\*の後に、〔付〕第2の1参照〕と掲げた。

なお、「\*」の付いた字の多くは、昭和56年の制定当初から常用漢字表に入っていた字体とは、「臭⇄嗅」「歩⇄歩」「狭⇄頬」「道⇄遡」「幣⇄蔽」などのように、同じ構成要素を持ちながら、通用字体の扱いに字体上の差異があるものである。

- 13 「付表」には、いわゆる当て字や熟字訓など、主として1字1字の音訓としては挙げにくいものを語の形で掲げた。便宜上、その読み方を平仮名で示し、五十音順に並べた。

付 情報機器に搭載されている印刷文字字体の関係で、本表の通用字体とは異なる字体（通用字体の「頬・賭・剝」に対する「頬・賭・剥」など）を使用することは差し支えない。

# （付）字体についての解説

## 第1 明朝体のデザインについて

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。現在、一般に使用されている明朝体の各種書

体には、同じ字でありながら、微細なところで形の相違の見られるものがある。しかし、各種の明朝体を検討してみると、それらの相違はいずれも書体設計上の表現の差、すなわちデザインの違いに属する事柄であって、字体の違いではないと考えられるものである。つまり、それらの相違は、字体の上からは全く問題にする必要のないものである。以下に、分類して、その例を示す。

なお、ここに挙げているデザイン差は、現実異なる字形がそれぞれ使われていて、かつ、その実態に配慮すると、字形の異なりを字体の違いと考えなくてもよいと判断したものである。すなわち、実態として存在する異字形を、デザインの差と、字体の差に分けて整理することがその趣旨であり、明朝体字形を新たに作り出す場合に適用し得るデザイン差の範囲を示したものではない。また、ここに挙げているデザイン差は、おおむね「筆写の楷書字形において見ることができる字形の異なり」と捉えることも可能である。

## 1 へんとつくり等の組合せ方について

### （1）大小、高低などに関する例

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓  
硬 硬 吸 吸 頃 頃

### （2）はなれているか、接触しているかに関する例

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓  
睡 睡 異 異 挨 挨

## 2 点画の組合せ方について

### （1）長短に関する例

→ 雪 → 雪 → 雪 満 満 無 無 斎 斎 ←



(2) つけるか、はなすかに関する例

発 発 備 備 奔 奔 溺 溺  
空 空 湿 湿 吹 吹 冥 冥

(3) 接触の位置に関する例

岸 岸 家 家 脈 脈 脈  
蚕 蚕 印 印 蓋 蓋

(4) 交わるか、交わらないかに関する例

聴 聴 非 非 祭 祭  
存 存 孝 孝 射 射

(5) その他

芽 芽 芽 夢 夢 夢

3 点画の性質について

(1) 点か、棒（画）かに関する例

帰 帰 班 班 均 均 麗 麗 蔑 蔑

(2) 傾斜、方向に関する例

考 考 値 値 望 望

(3) 曲げ方、折り方に関する例

勢 勢 競 競 頑 頑 頑 災 災

(4) 「筆押さえ」等の有無に関する例

芝 芝 更 更 伎 伎  
八 八 八 公 公 公 雲 雲

(5) とめるか、はらうかに関する例

環 環 泰 泰 談 談  
医 医 継 継 園 園

(6) とめるか、ぬくかに関する例

耳 耳 邦 邦 街 街 餌 餌

(7) はねるか、とめるかに関する例

四 四 配 配 換 換 灣 灣

(8) その他

次 次 姿 姿

4 特定の字種に適用されるデザイン差について

「特定の字種に適用されるデザイン差」とは、以下の(1)～(5)それぞれの字種にのみ適用されるデザイン差のことである。したがって、それぞれに具体的な字形として示されているデザイン差を他の字種にまで及ぼすことはできない。なお、(4)に掲げる「叱」と「叱」は本来別字とされるが、その使用実態から見て、異体の関係にある同字と認めることができる。

(1) 牙 牙 牙

(2) 韓・韓・韓

(3) 茨・茨・茨

(4) 叱・叱

(5) 枋・枋

## 第2 明朝体と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、1、2に示すように明朝体の字形と筆写の楷書の字形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。

さらに、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差は、3に示すように、字体（文字の骨組み）の違いに及ぶ場合もある。

以下に、分類して、それぞれの例を示す。いずれも「明朝体—手書き（筆写の楷書）」という形で、左側に明朝体、右側にそれを手書きした例を示す。

### 1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

#### (1) 折り方に関する例

衣—衣 去—去 玄—玄

#### (2) 点画の組合せ方に関する例

人—人 家—家 北—北

### (3) 「筆押さえ」等に関する例

芝—芝 史—史  
入—入 八—八

### (4) 曲直に関する例

子—子 手—手 了—了

### (5) その他

之—之 々—々 心—心

## 2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

### (1) 長短に関する例

雨—雨 雨 戸—戸 戸 戸  
無—無 無

### (2) 方向に関する例

風—風 風 比—比 比  
仰—仰 仰  
糸—糸 糸 ネ—ネ ネ ネ—ネ ネ  
主—主 主 言—言 言 言  
年—年 年 年

(3) つけるか、はなすかに関する例

又 - 又 又  
月 - 月 月  
条 - 条 条

文 - 文 文  
保 - 保 保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥 - 奥 奥  
角 - 角 角

公 - 公 公  
骨 - 骨 骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切 - 切 切 切  
酒 - 酒 酒  
宀 - 宀 宀 宀  
木 - 木 木  
糸 - 糸 糸  
環 - 環 環

改 - 改 改 改  
陸 - 陸 陸 陸  
来 - 来 来  
牛 - 牛 牛

(6) その他

令 - 令 令  
女 - 女 女

外 - 外 外 外  
叱 - 叱 叱 叱

3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの

以下に示す例で、括弧内は印刷文字である明朝体の字形に倣って書いたものであるが、筆写の楷書ではどちらの字形で書いても差し支えない。なお、括弧内の字形の方が、筆写字形としても一般的な場合がある。

(1) 方向に関する例

淫 - 淫 (淫)      恣 - 恣 (恣)  
煎 - 煎 (煎)      嘲 - 嘲 (嘲)  
溺 - 溺 (溺)      蔽 - 蔽 (蔽)

(2) 点画の簡略化に関する例

葛 - 葛 (葛)      嗅 - 嗅 (嗅)  
僅 - 僅 (僅)      餌 - 餌 (餌)  
箋 - 箋 (箋)      填 - 填 (填)  
賭 - 賭 (賭)      頰 - 頰 (頰)

(3) その他

惧 - 惧 (惧)      稽 - 稽 (稽)  
詮 - 詮 (詮)      抄 - 抄 (抄)  
剥 - 剥 (剥)      喻 - 喻 (喻)

本 表 (抄)

〔あ〕	〔い〕	偉	印	唄
亜	以	椅	因	鬱
哀	衣	巢	咽	畝
挨	位	意	姻	浦
愛	圀	違	員	運
暖	医	維	院	雲
惡	依	慰	淫	〔え〕
握	委	遣	陰	永
压	威	緯	飲	泳
扱	為	域	隱	英
宛	畏	育	韻	映
嵐	胃	一	〔う〕	栄
安	尉	壺	右	営
案	異	逸	宇	詠
暗	移	茨	羽	影
	菱	芋	雨	鋭
		引		

衛	煙	欧	温	苛
易	猿	毆	穩	科
疫	遠	桜	〔か〕	架
益	鉛	翁	下	夏
液	塩	奥	カ	家
駅	演	横	カ	荷
悦	縁	岡	カ	華
越	艶	屋	カ	菓
謁	〔お〕	億	化	貨
閱	汚	憶	火	渦
円	王	臆	加	過
延	凹	虞	可	嫁
沿	央	乙	仮	暇
炎	応	俺	何	禍
怨	往	卸	花	靴
宴	押	音	佳	寡
媛	旺	恩	価	歌
援			果	箇
園			河	

稼 カカセグ  
課 カ  
蚊 カ  
牙 ガゲキバ  
瓦 ガカワラ  
我 ガワレワ  
画 ガカク  
芽 ガメ  
賀 ガ  
雅 ガ  
餓 ガ  
介 カイ  
回 カイエワラス  
ママカイ  
灰 カイアウ  
会 カイアウ  
快 カイコロヨイ  
戒 カイシメ  
改 カイアタメ  
あるあたる

怪 カイヤシイ  
ム  
拐 カイ  
悔 カイイ  
ムヤシイ  
海 カイ  
界 カイ  
皆 カイナ  
械 カイ  
絵 カイエ  
開 カイ  
ヒラける  
あける  
階 カイ  
塊 カイカ  
タマリ  
楷 カイ  
解 カイ  
ゲトとける  
潰 カイ  
ツブれる  
壊 カイ  
コわれる

懷 カイ  
コロシ  
イ  
ナツ  
カシ  
ム  
ツ  
ケル  
カイ  
諧 カイ  
貝 カイ  
外 ガイ  
セ  
ト  
ホ  
サ  
ズ  
ス  
ル  
効 ガイ  
害 ガイ  
崖 ガイ  
ガキ  
涯 ガイ  
街 ガイ  
カイ  
マチ  
慨 ガイ  
蓋 ガイ  
フタ  
該 ガイ  
概 ガイ  
骸 ガイ  
垣 ガイ  
カキ  
柿 ガイ  
カキ  
各 ガイ  
カ  
オ  
の  
オ

角 カク  
カ  
ツ  
の  
拈 カク  
革 カク  
カ  
ワ  
格 カク  
コウ  
核 カク  
殻 カク  
カラ  
郭 カク  
覺 カク  
オ  
ハ  
ス  
ル  
カク  
較 カク  
ヘ  
ダ  
テ  
ル  
隔 カク  
ヘ  
ダ  
テ  
ル  
閣 カク  
確 カク  
カ  
タ  
シ  
カ  
メ  
ル  
獲 カク  
カ  
エ  
ル  
嚇 カク  
穫 カク  
学 ガク  
マ  
ナ  
ブ  
岳 ガク  
タ  
ケ  
楽 ガク  
ラ  
ク  
の  
し  
む  
額 ガク  
ヒ  
タ  
イ

顎 ガク  
ア  
ゴ  
掛 ガケ  
ル  
カ  
カ  
リ  
渴 カ  
タ  
括 カ  
ツ  
活 カ  
ツ  
喝 カ  
ツ  
渴 カ  
ツ  
カ  
ワ  
ク  
割 カ  
ツ  
ワ  
レ  
ル  
カ  
ツ  
葛 カ  
ツ  
ク  
ザ  
滑 カ  
ツ  
コ  
ツ  
ベ  
ル  
カ  
ツ  
褐 カ  
ツ  
轄 カ  
ツ  
且 カ  
ツ  
株 カ  
ブ  
釜 カ  
マ  
鎌 カ  
マ  
刈 カ  
ル  
干 カ  
ン  
ハ  
ス  
ビ  
ル

刊 カ  
ン  
甘 カン  
ア  
マ  
イ  
ス  
カ  
マ  
ス  
汗 カン  
ア  
セ  
缶 カン  
完 カン  
肝 カン  
キ  
モ  
官 カン  
冠 カン  
カ  
ン  
ム  
リ  
卷 カン  
マ  
キ  
看 カン  
陷 カン  
オ  
チ  
イ  
ル  
カ  
ン  
乾 カン  
カ  
ワ  
ク  
カ  
ワ  
カ  
ス  
勘 カン  
患 カン  
ワ  
ズ  
ラ  
ウ  
貫 カン  
ツ  
ラ  
ぬ  
ク  
寒 カン  
サ  
む  
イ  
喚 カン  
堪 カン  
タ  
え  
ル

換 カン  
カ  
エ  
ル  
カ  
ン  
敢 カン  
棺 カン  
款 カン  
間 カン  
ケ  
ア  
イ  
ダ  
カ  
ン  
閑 カン  
勸 カン  
サ  
ズ  
メ  
ル  
寬 カン  
幹 カン  
ミ  
キ  
感 カン  
漢 カン  
慣 カン  
ナ  
レ  
ル  
カ  
ン  
管 カン  
ダ  
関 カン  
セ  
カ  
カ  
ワ  
ル  
飲 カン  
監 カン  
緩 カン  
ユ  
ル  
カ  
ン  
ユ  
ル  
カ  
ン  
ユ  
ル  
カ  
ン  
憾 カン

還 カン  
館 カン  
ヤ  
カ  
タ  
環 カン  
簡 カン  
観 カン  
韓 カン  
艦 カン  
鑑 カン  
カ  
ン  
ガ  
ミ  
ル  
丸 ガン  
マ  
ル  
イ  
メ  
ル  
カ  
ン  
フ  
ク  
ム  
ル  
含 ガン  
シ  
岸 ガン  
シ  
岩 ガン  
イ  
ワ  
玩 ガン  
眼 ガン  
ゲ  
ナ  
コ  
頑 ガン  
顔 ガン  
カ  
オ  
願 ガン  
ネ  
ガ  
ウ  
[き]

企 キ  
ク  
ワ  
デ  
テ  
ル  
伎 キ  
危 キ  
ア  
バ  
イ  
ブ  
キ  
ツ  
ク  
エ  
机 キ  
ケ  
岐 キ  
希 キ  
忌 キ  
イ  
マ  
ワ  
シ  
イ  
汽 キ  
奇 キ  
祈 キ  
イ  
の  
ル  
季 キ  
紀 キ  
軌 キ  
既 キ  
ス  
デ  
ニ  
記 キ  
シ  
ル  
ス  
起 キ  
オ  
キ  
オ  
コ  
ス  
飢 キ  
ウ  
エ  
ル  
鬼 キ  
オ  
ニ

帰 キ  
カ  
エ  
ス  
基 キ  
モ  
ト  
イ  
寄 キ  
ヨ  
ル  
セ  
ル  
規 キ  
亀 キ  
カ  
メ  
喜 キ  
ヨ  
ロ  
コ  
ブ  
幾 キ  
イ  
ク  
揮 キ  
期 キ  
ゴ  
棋 キ  
貴 キ  
タ  
ト  
ウ  
ト  
ウ  
ト  
ウ  
棄 キ  
毀 キ  
旗 キ  
ハ  
タ  
器 キ  
ウ  
ツ  
ワ  
畿 キ  
輝 キ  
カ  
ガ  
ヤ  
ク  
機 キ  
ハ  
タ

啓 ケイ  
掲 ケイ  
かかげる  
溪 ケイ  
経 ケイ  
キョウ  
キエ  
蚩 ケイ  
ヒたる  
敬 ケイ  
ウやまう  
景 ケイ  
輕 ケイ  
かるい  
からやか  
傾 ケイ  
かたむく  
かたむける  
携 ケイ  
たずさえる  
たずさわる  
繼 ケイ  
つぐ  
詣 ケイ  
もうでる  
慶 ケイ  
憬 ケイ  
稽 ケイ  
憩 ケイ  
いこい  
いこう  
警 ケイ  
鷄 ケイ  
にわとり

訓 クン  
勲 クン  
薫 クン かおる  
軍 グン  
郡 グン  
群 グン むれる むれ むら  
〔け〕  
兄 ケイ キョウ あに  
刑 ケイ  
形 ケイ ギョウ かたち  
系 ケイ  
徑 ケイ  
莖 ケイ き  
係 ケイ かかる かかり  
型 ケイ た  
契 ケイ ちぎる  
計 ケイ はかる はからう  
恵 ケイ エ めぐむ

句 ク  
苦 クくる ししめ  
驅 クかける  
具 グ  
惧 グ  
愚 グおろか  
空 クウそらくあけるから  
偶 グウ  
遇 グウ  
隅 グウすみ  
串 くし  
屈 クツ  
掘 クツほる  
窟 クツ  
熊 くま  
繰 くる  
君 クンきみ

斤 キン  
均 キン  
近 キン  
金 キン  
菌 カナ  
勤 キン  
琴 ツ  
筋 キン  
僅 キン  
禁 キン  
緊 キン  
錦 キン  
謹 キン  
襟 キン  
吟 キン  
銀 キン  
〔く〕  
区 ク

〔さ〕.

左 サ ひだり  
佐 サ  
沙 サ  
査 サ  
砂 サ シヤ すな  
唆 サ ソ その か す  
差 サ さす  
詐 サ  
鎖 サ ク さり  
座 ザ すわる

告	コク つげる
谷	コク たに
刻	コク ぎざむ
国	コク くに
黒	コク くろくろい
穀	コク
酷	コク
獄	ゴク
骨	コツ ほね
駒	こま
込	こむる
頃	ころ
今	コン きい ま
困	コン こまる
昆	コン
恨	コン らむ うらい
根	コン ね
婚	コン

鉉 コウ  
構 コウ まえる  
綱 コウ つな  
醇 コウ  
稿 コウ  
興 コウ ウヨウ  
衡 コウ キョウ  
鋼 コウ はがね  
講 コウ  
購 コウ  
乞 こう  
号 コウ  
合 コウ ガッ  
拷 コウ カッ  
剛 コウ あう  
傲 コウ あわ  
豪 コウ す  
克 コク あわせ

候	コウ そうろう
校	コウ
耕	コウ たがやす
航	コウ
貢	コウ ク みつぐ
降	コウ おりる おふる
高	コウ たかい たかまる たかめる
康	コウ
控	コウ ひかえる
梗	コウ
黄	コウ オキ
喉	コウ のど
慌	コウ あわてる あわたたしい
港	コウ みなと
硬	コウ かたい
絞	コウ しほめる ししめる
項	コウ
溝	コウ みぞ

坑 コウ  
孝 コウ  
抗 コウ  
攻 コウ  
更 コウ  
効 コウ  
幸 コウ  
拘 コウ  
肯 コウ  
侯 コウ  
厚 コウ  
恒 コウ  
洪 コウ  
皇 コウ  
紅 コウ  
荒 コウ  
郊 コウ  
香 コウ

公 コウ おおやけ  
 勾 コウ  
 孔 コウ  
 功 コウ ク  
 巧 コウ たくみ  
 広 コウ いま みる  
ひろ まめる  
ひろ かる  
ひろ げる  
 甲 コウ カン  
 交 コウ じ わる  
ま じ える  
ま じ ざる  
ま じ ざる  
ま か ず  
か コウ かり  
ひ かり  
 光 コウ かり  
 向 コウ むく ける  
む け かう  
む こ う  
 后 コウ  
 好 コウ この む  
す く  
 江 コウ え  
 考 コウ カん がえ  
る  
 行 コウ ギョウ  
アン いく  
く おこなう

雇	コヤとう
誇	コほこる
鼓	コつづみ
鋤	コ
顧	コかえりみる
五	ゴいついつ
互	ゴたがひ
午	ゴ
呉	ゴ
後	ゴウのうしろあと おくれる
娛	ゴ
悟	ゴさとる
碁	ゴ
語	ゴかたる かたらう
誤	ゴあやまる
護	ゴ
口	コウくち
工	コウク

減 ゲンへらす  
源 ゲンみなもと  
嚴 ゲンゴンおごそかき  
〔こ〕  
己 コキおのれ  
戸 コト  
古 コふるいふるす  
呼 コよぶ  
固 コかためるかたいた  
股 コまた  
虎 コトラ  
孤 コ  
弧 コ  
故 コゆえ  
枯 コかれるからす  
個 コ  
庫 コク  
湖 コみずうみ

遣 ケン つかう つかわす  
権 ケン ゴン  
憲 ケン  
賢 ケン かしこい  
謙 ケン  
鍵 ケン かけ  
繭 ケン まゆ  
頭 ケン  
験 ケン ケン  
懸 ケン ケ かける  
元 ケン かの かん もと  
幻 ケン まぼろし  
玄 ケン  
言 ケン ゴン いこと  
弦 ケン つる  
限 ケン かぎる  
原 ケン はら  
現 ケン あらわれ  
絃 ケン あらわす

見	ケン
券	みるる みえせる みみける ケン
肩	ケン かた
建	ケン コン
研	たつ たつ ケン
県	ケン
儉	ケン
兼	ケン かねる
劍	ケン つるぎ
拳	ケン こぶし
軒	ケン のき
健	ケン すこやか
險	ケン けわしい
圈	ケン
堅	ケン かたい
檢	ケン
嫌	ケン ゲン
獻	ケン げん きらい ケン コン
絹	ケン ぬめ

借 シヤク  
かりる  
酌 シヤク  
くむ  
釈 シヤク  
爵 シヤク  
若 ジャク  
ニヤク  
わかしくは  
弱 もジャク  
わるまる  
よわるめ  
よわるめ  
寂 ジャク  
セキ  
さびしい  
さびれる  
手 シュ  
てた  
主 シュ  
スし  
ぬお  
守 シュ  
しも  
スる  
朱 まり  
シュ  
取 シュ  
とる  
狩 シュ  
かり  
首 シュ  
くび  
殊 シュ  
こと  
珠 シュ  
酒 シュ  
けさ  
さか

漆 シツうるし  
質 シツシチ  
実 ジツみのる  
芝 しば  
写 シヤうつ  
社 シヤし  
車 シヤくるま  
舎 シヤ  
者 シヤもの  
射 シヤいる  
捨 シヤすて  
赦 シヤ  
斜 シヤなめ  
煮 シヤるえや  
遮 シヤさざる  
謝 シヤあやまる  
邪 ジャ  
蛇 ジャダへび  
尺 シヤク

時	ジとき
滋	ジ
慈	ジいづくし
辞	ジやめる
磁	ジ
餌	ジさえ
璽	ジ
鹿	しかか
式	シキ
識	シキ
軸	ジク
七	シチ
叱	シツ
失	シツうしなう
室	シツむろ
疾	シツ
執	シツシュウとる
湿	シツしめるしめす
嫉	シツ

飼	シかう
誌	シ
雌	シめめす
摯	シ
賜	シたまわる
諮	シはかる
示	ジシしめす
字	ジあざ
寺	ジてら
次	ジシぐつ
耳	ジみ
自	ジシみずから
似	ジにる
児	ジニ
事	ジスこと
侍	ジさむらい
治	ジチめめる ささるる おさおさ おなる な
持	ジもつ

枝 シエダ  
祉 シ  
肢 シ  
姿 シすがた  
思 シおもふ  
指 シゆびさす  
施 シセほどこす  
師 シ  
恣 シ  
紙 シかみ  
脂 シあぶら  
視 シ  
紫 シむらさき  
詞 シ  
齒 シは  
嗣 シ  
試 シこころみ  
詩 シこるためす  
資 シ

仕 シ  
史 シ  
司 シ  
四 シよつ  
よん  
市 シいち  
矢 シヤ  
旨 シむね  
死 シしぬ  
糸 シいと  
至 シいたる  
伺 シうかがう  
志 シこころざ  
す  
こころざし  
私 シわたくし  
わたし  
使 シつかう  
刺 シささる  
始 シはじめる  
はじまる  
姉 シあね

蚕 サンかいこ  
慘 サンザンみじめ  
産 サンむれる  
傘 サンうまぶさ  
散 サンちらす  
算 サン  
酸 サンすい  
賛 サン  
残 ザンこる  
斬 ザンきる  
暫 ザン  
〔し〕  
士 シ  
子 シスこ  
支 シささえる  
止 シととまる  
氏 シうじ

酢 サク  
す  
搾 サク  
しはる  
錯 サク  
咲 さく  
冊 サツ  
サク  
札 サツ  
ふだ  
刷 サツ  
する  
刹 サツ  
セツ  
拶 サツ  
殺 サツ  
サイ  
セツ  
ころす  
察 サツ  
撮 サツ  
とる  
擦 サツ  
する  
れる  
雑 ザツ  
ゾウ  
皿 さら  
三 サン  
みつ  
みみ  
つ  
や  
山 サン  
参 サン  
まい  
棧 サン

債 サイ  
催 サイもよおす  
塞 サイソクぐさがる  
歳 ふさいセイ  
載 サイのせる  
際 サイさわ  
埼 さい  
在 ザイある  
材 ザイ  
剂 ザイ  
財 ザイサイ  
罪 ザイつみ  
崎 さき  
作 サクサつくる  
削 サクけずる  
昨 サク  
柵 サク  
索 サク  
策 サク

挫 サ  
才 サイ  
再 サイ  
災 サイ  
妻 サイ  
采 サイ  
碎 サイ  
宰 サイ  
栽 サイ  
彩 サイ  
採 サイ  
濟 サイ  
祭 サイ  
齋 サイ  
細 サイ  
菜 サイ  
最 サイ  
裁 サイ



## 225

224

狙 ソ ねらう  
 阻 ソ はばむ  
 祖 ソ  
 租 ソ  
 素 ソ ス  
 措 ソ  
 粗 ソ あらい  
 組 ソ くみ  
 疎 ソ うといむ  
 訴 ソ うったえる  
 塑 ソ  
 遡 ソ さかのほ  
 礎 ソ いしづえ  
 双 ソウ ふた  
 壮 ソウ  
 早 ソウ サツ はやい はやまる はやめる  
 争 ソウ あらそう  
 走 ソウ はしる

箋 セン  
 錢 セン ぜに  
 潜 セン ひそむ  
 線 セン  
 遷 セン  
 選 セン えらぶ  
 薦 セン すめる  
 織 セン  
 鮮 セン あざやか  
 全 セン まつて  
 前 セン まえ  
 善 セン よい  
 然 セン ネン  
 禪 セン  
 漸 セン  
 膳 セン  
 繕 セン つくろう

[そ]

占 セン めるなう  
 先 セン さき  
 宣 セン  
 專 セン もっぱら  
 泉 セン いずみ  
 浅 セン あさい  
 洗 セン あらう  
 染 セン めるるしみ  
 扇 セン おうぎ  
 栓 セン  
 旋 セン  
 船 セン ふね  
 戦 セン いくさ  
 煎 セン いる  
 羨 セン うらやまし  
 腺 セン  
 詮 セン  
 踐 セン

跡 セキ あと  
 積 セキ つつもる  
 績 セキ  
 籍 セキ  
 切 セツ さい  
 折 セツ さい  
 拙 セツ さい  
 窃 セツ  
 接 セツ せつ  
 設 セツ もうける  
 雪 セツ ゆき  
 撰 セツ  
 節 セツ セチ ふし  
 説 セツ セイ とく  
 舌 ゼツ した  
 絶 ゼツ るす  
 千 セン たた  
 川 セン かわ  
 仙 セン

静 セイ ヨウ  
 請 セイ シン  
 整 セイ シン  
 醒 セイ シン  
 税 セイ  
 夕 セキ ヨウ  
 斥 セキ  
 石 セキ シヤク  
 赤 セキ シヤク  
 昔 セキ シヤク  
 析 セキ  
 席 セキ  
 脊 セキ  
 隻 セキ  
 惜 セキ い  
 戚 セキ  
 責 セキ せめる

政 セイ ヨウ  
 星 セイ シン  
 牲 セイ  
 省 セイ ヨウ  
 凄 セイ  
 逝 セイ  
 清 セイ ヨウ  
 盛 セイ ヨウ  
 婿 セイ ヨウ  
 晴 セイ  
 勢 セイ  
 聖 セイ  
 誠 セイ  
 精 セイ  
 製 セイ  
 誓 セイ

瀬 セイ  
 是 セイ  
 井 セイ  
 世 セイ  
 正 セイ  
 生 セイ  
 成 セイ  
 西 セイ  
 声 セイ  
 制 セイ  
 姓 セイ  
 征 セイ  
 性 セイ  
 青 セイ  
 齊 セイ

帥 スイ  
 粹 スイ  
 衰 スイ  
 推 スイ  
 醉 スイ  
 遂 スイ  
 睡 スイ  
 穗 スイ  
 随 ズイ  
 髓 ズイ  
 枢 スウ  
 崇 スウ  
 数 スウ  
 据 スウ  
 杉 スギ  
 裾 スソ  
 寸 スン

[せ]

薪 シン  
 親 シン  
 人 ジン  
 刃 ジン  
 仁 ジン  
 尽 ジン  
 迅 ジン  
 甚 ジン  
 陣 ジン  
 尋 ジン  
 腎 ジン  
 [す]  
 須 ス  
 図 ズ  
 水 スイ  
 吹 スイ  
 垂 スイ  
 炊 スイ

神 シン  
 唇 シン  
 娠 シン  
 振 シン  
 浸 シン  
 真 シン  
 針 シン  
 深 シン  
 紳 シン  
 進 シン  
 森 シン  
 診 シン  
 寝 シン  
 慎 シン  
 新 シン  
 審 シン  
 震 シン

沖	チュウ おき
宙	チュウ
忠	チュウ
抽	チュウ
注	チュウ そそぐ
昼	チュウ ひる
柱	チュウ はしら
衷	チュウ
酎	チュウ
鑄	チュウ いる
駐	チュウ
著	チヨ あらわす いぢる しい
貯	チヨ
丁	チヨウ テイ
弔	チヨウ とむらう
庁	チヨウ
兆	チヨウ さきざし
町	チヨウ まち
長	チヨウ ながい

遅痴稚置綴竹畜逐蓄築秩窆茶着嫡中仲虫

団	ダン トン
男	ダン ナとおとこ
段	ダン
断	ダン たつことわる
彈	ダン ひくはずむ
暖	ダン あたたか あたたかい あたたまる あたためる
談	ダン
壇	ダン タン
〔ち〕	
地	チ ジ
池	チ いけ
知	チ しる
値	チ ねあたい
恥	チ はじめる はじはし はじけらう はじかし しい
致	チ いたす

達 タツ  
脱 ダツ  
奪 ダツ  
棚 たな  
誰 だれ  
丹 タン  
旦 タン  
担 タン  
単 タン  
炭 タン  
胆 タン  
探 タン  
淡 タン  
短 タン  
嘆 タン  
端 タン  
綻 タン  
誕 タン  
鍛 タン

戴 タイ  
大 ダイ  
代 ダイ  
台 ダイ  
第 ダイ  
題 ダイ  
滝 たき  
宅 タク  
沢 タク  
沢 タク  
卓 タク  
拓 タク  
託 タク  
濯 タク  
諾 ダク  
濁 ダク  
但 ただし

駄	ゲ
太	タイ
対	タイ ふとい ふとい ツイ
体	タイ テイ からだ
耐	タイ たえる
待	タイ まつ
怠	タイ おたる なまける
胎	タイ
退	タイ りし しる ぞく ける
帶	タイ おび おび
泰	タイ
堆	タイ
袋	タイ ふくろ
逮	タイ
替	タイ かえる かわる
貸	タイ かす
隊	タイ
滯	タイ とこ こる
態	タイ

卒 ソツ  
率 ソツ  
存 ソン  
村 ソン  
孫 ソン  
尊 ソン  
損 ソン  
遜 ソン  
〔た〕  
他 タ  
多 タ  
汰 タ  
打 タ  
妥 タ  
唾 タ  
墮 タ  
惰 タ

贈 ソウ  
ソウ  
おくる  
臓 ソウ  
即 ソク  
束 ソク  
たば  
足 ソク  
あたる  
たる  
たす  
促 ソク  
うながす  
則 ソク  
息 ソク  
いき  
捉 ソク  
とらえる  
速 ソク  
はやい  
はやめる  
はやまる  
すみやか  
側 ソク  
がわ  
測 ソク  
はかる  
俗 ソク  
族 ソク  
属 ソク  
賊 ソク  
続 ソク  
つづく  
つづける

装	ソウ ショウ よう
僧	ソウ
想	ソウ ソ
層	ソウ
総	ソウ
遭	ソウ あう
槽	ソウ
踪	ソウ
操	ソウ さ お あ やつる
燥	ソウ
霜	ソウ しも
騷	ソウ さわぐ
藻	ソウ も
造	ゾウ つくる
像	ゾウ
増	ゾウ ます ふ か やす る
憎	ゾウ にく む いら し い にく しみ
蔵	ゾウ くら

奏 ソウかなでる  
相 ソウショウあい  
莊 ソウ  
草 ソウくさ  
送 ソウおくる  
倉 ソウくら  
搜 ソウさがす  
挿 ソウさす  
桑 ソウくわ  
巢 ソウす  
掃 ソウはく  
曹 ソウ  
曾 ソウゾ  
爽 ソウさわやか  
窓 ソウまど  
創 ソウつくる  
喪 ソウも  
瘦 ソウやせる  
葬 ソウほうむる

挑 チョウ いどむ  
帳 チョウ  
張 チョウ はる  
彫 チョウ はる  
眺 チョウ なかめる  
釣 チョウ つる  
頂 チョウ いただく  
鳥 チョウ どり  
朝 チョウ あさ  
貼 チョウ はる  
超 チョウ ウる  
腸 チョウ こ  
跳 チョウ ウはねる  
徴 チョウ とぶ  
嘲 チョウ あざける  
潮 チョウ しお  
澄 チョウ ウす  
調 チョウ ウべのえ

聴 チョウ きく  
懲 チョウ ころす  
直 チョウ ちがひ  
勅 チョウ  
抄 チョウ  
沈 チョウ しずめる  
珍 チョウ ずい  
朕 チョウ  
陳 チョウ  
賃 チョウ  
鎮 チョウ しずめる  
〔つ〕  
追 ツイ おう  
椎 ツイ  
墜 ツイ

通 ツウ おとす  
痛 ツウ いたむ  
塚 ツウ つか  
漬 ツウ つける  
坪 ツウ つば  
爪 ツウ つめ  
鶴 ツウ つる  
〔て〕  
低 テイ ひく  
呈 テイ びく  
廷 テイ  
弟 テイ タイ  
定 テイ テイ  
底 テイ テイ  
抵 テイ  
邸 テイ

亭 テイ  
貞 テイ  
帝 テイ  
訂 テイ  
庭 テイ  
通 テイ  
停 テイ  
偵 テイ  
堤 テイ  
提 テイ  
程 テイ  
艇 テイ  
締 テイ  
諦 テイ  
泥 テイ  
的 テイ  
笛 テイ  
摘 テイ  
滴 テイ

適 テキ  
敵 テキ  
溺 テキ  
迭 テツ  
哲 テツ  
鉄 テツ  
徹 テツ  
撤 テツ  
天 テン  
典 テン  
店 テン  
点 テン  
展 テン  
添 テン  
転 テン  
墳 テン  
田 テン

伝 デン  
殿 デン  
電 デン  
〔と〕  
斗 ト  
吐 ト  
妬 ト  
徒 ト  
途 ト  
都 ト  
渡 ト  
塗 ト  
賭 ト  
土 ト  
奴 ト  
努 ト  
度 ト  
怒 ト

刀 トウ  
冬 トウ  
灯 トウ  
当 トウ  
投 トウ  
豆 トウ  
東 トウ  
到 トウ  
逃 トウ  
倒 トウ  
凍 トウ  
唐 トウ  
島 トウ  
桃 トウ  
討 トウ  
透 トウ  
党 トウ  
悼 トウ

盗 トウ  
陶 トウ  
塔 トウ  
搭 トウ  
棟 トウ  
湯 トウ  
痘 トウ  
登 トウ  
答 トウ  
等 トウ  
筒 トウ  
統 トウ  
稻 トウ  
踏 トウ  
糖 トウ  
頭 トウ  
膳 トウ  
藤 トウ

闕 トウ  
騰 トウ  
同 トウ  
洞 トウ  
胴 トウ  
動 トウ  
堂 トウ  
童 トウ  
道 トウ  
働 トウ  
銅 トウ  
導 トウ  
瞳 トウ  
峠 トウ  
匿 トウ  
特 トウ  
得 トウ  
督 トウ  
德 トウ

篤 トク  
毒 トク  
独 トク  
読 トク  
栃 トク  
凸 トク  
突 トク  
届 トク  
屯 トク  
豚 トク  
頓 トク  
貪 トク  
鈍 トク  
曇 トク  
井 トク  
〔な〕  
那 ナ  
奈 ナ

内	ナイ うち	任	ニン まかせ まかす	脳	ノウ	配	ハイ くばる	剥	ハク はがす はくは はける はげる
梨	なし	妊	ニン	農	ノウ	排	ハイ	舶	ハク
謎	なぞ	忍	ニン しのばせ る ニミとめる	濃	ノウ こい	敗	ハイ やぶれる	博	ハク バク
鍋	なべ	認		[は]		廃	ハイ すたれる すたる	薄	ハク うすめる うすまる うすする うすれる
南	ナン みなみ	[ね]		把	ハ	輩	ハイ	麦	バク むぎ
軟	ナン やわらか い	寧	ネイ	波	ハ なみ	売	バイ うる うれる	漠	バク
難	ナン かたし い	熱	ネツ あつい	派	ハ	倍	バイ	縛	バク しばる
[に]		年	ネン とし	破	ハ やぶる やぶれる	梅	バイ うめ	爆	バク
二	ニ ふたつ	念	ネン	覇	ハ	培	バイ つちかう	箱	はこ
尼	ニ あま	捻	ネン	馬	バ うま	陪	バイ	箸	はし
式	ニ	粘	ネン ねばる	婆	バ	媒	バイ	畑	はたけ
勾	におう	燃	ネン もえる もやす	罵	バ ののしる	買	バイ かう	肌	はだ
肉	ニク	[の]		拝	ハイ おがむ	賠	バイ	八	ハチ ややつ つよう
虹	にじ			杯	ハイ さかずき	白	ハク しろ しろい	鉢	ハチ ハツ
日	ニジツ ひか	惱	ノウ なやます	背	ハイ せせい そむける	伯	ハク	鉢	ハチ ハツ
入	ユウ いれる はニ ちち	納	ノウ ナツ ナン ウ おさめる おさまる	肺	ハイ	拍	ハク ヒョウ	発	ハツ ホツ
乳	ニョウ	能	ノウ	俳	ハイ	泊	ハク とまる とめる	髪	ハツ かみ
尿						迫	ハク せまる		

伐	バツ	畔	ハン	皮	ヒ かわ	罷	ヒ	俵	ヒョウ たわら
拔	バツ ぬける ぬかす ぬかる	般	ハン	妃	ヒ	避	ヒ さける	票	ヒョウ
罰	バツ バチ	販	ハン	否	ヒ いな	尾	ビ お	評	ヒョウ
閥	バツ	斑	ハン	批	ヒ	眉	ビ ミ まゆ	漂	ヒョウ ただよう
反	ハン ホン そらす そらす	飯	ハン めし	彼	ヒ かれ かの	美	ビ うつく しい	標	ヒョウ
半	ハン なかば	搬	ハン	披	ヒ	備	ビ そなえる そなわる	苗	ビョウ なわ
汜	ハン	煩	ハン ボン わづら わづらす	肥	ヒ こころ こころ こころ	微	ビ	秒	ビョウ
犯	ハン おかす	頒	ハン	非	ヒ	鼻	ビ はな	病	ビョウ やまい うく かく
帆	ハン ほ	範	ハン	卑	ヒ いやし いむ いむ いむ	膝	ヒ ひざ	描	ビョウ えがく
汎	ハン	繁	ハン	飛	ヒ とばす	肘	ヒ ひじ	猫	ビョウ ねこ
伴	ハン ともなう	藩	ハン	疲	ヒ つかれる	匹	ヒ ひき	品	ヒン しな
判	ハン	晩	バン	秘	ヒ ひめる	必	ヒ かならず	浜	ヒン はま
坂	ハン さか	番	バン	被	ヒ こむる	泌	ヒ び	貧	ヒン まずしい
阪	ハン	蛮	バン	悲	ヒ かなしい む	筆	ヒ ふで	賓	ヒン
板	ハン いた	盤	バン	扉	ヒ とびら	姫	ヒメ	頻	ヒン
版	ハン	[ひ]		費	ヒ ついで ついで	百	ヒャク	敏	ビン
班	ハン	比	ヒ くらべる	碑	ヒ	水	スイ みづ	瓶	ビン
						表	ヒョウ う あらわ れる	[ふ]	

麻	マ あさ
摩	マ
磨	マ みがく
魔	マ
每	マイ
妹	マイ いもうと
枚	マイ
味	マイ
埋	マイ うめる うまれる
幕	マク
膜	マク
枕	まくら
又	また
末	マツ まつえ
抹	マツ
万	マン バン
満	マン るみ みたす

謀 ボウム はかる  
 頬 ほお  
 北 ホキ た  
 木 ボク モキ  
 朴 ホク コク  
 牧 ボク マキ  
 睦 ボク  
 僕 ボク  
 墨 ボク スミ  
 撲 ボク  
 没 ボツ  
 勃 ボツ  
 堀 ほり  
 本 ホン もと  
 奔 ホン  
 翻 ホン ひるがえ  
る ひるがえ  
す  
 凡 ボン ハン  
 盆 ボン

忙 ボウ いそがし  
坊 ボウ ボツ  
妨 ボウ またげ  
さる  
忘 ボウ わすれる  
防 ボウ ふせぐ  
房 ボウ ふさ  
肪 ボウ  
某 ボウ  
冒 ボウ おかす  
剖 ボウ  
紡 ボウ つむぐ  
望 ボウ モウ  
のぞむ  
傍 ボウ かたわら  
帽 ボウ  
棒 ボウ  
貿 ボウ  
貌 ボウ  
暴 ボウ バク  
あばく  
あばれる  
膨 ボウ ふくらむ  
ふくれる

放	ホウ はなす はなれる ほう
法	ホウ ハツ ホツ
泡	ホウ あわ
胞	ホウ
棒	ホウ
倣	ホウ ならう
峰	ホウ みね
砲	ホウ
崩	ホウ くずれる くずす
訪	ホウ おとずれる
報	ホウ おとずれる たずねる ホウ むくいる
蜂	ホウ はち
豊	ホウ ゆたか
飽	ホウ あきる あかす
褒	ホウ ほめる
縫	ホウ ぬう
亡	ボウ モウ ない
乏	ボウ とほしい

哺 ホ  
捕 ホとらえらるゝ  
補 ホとるゝ  
舗 ホ  
母 ホはは  
募 ホつゝ  
墓 ホはか  
慕 ホしたう  
暮 ホくらす  
簿 ホ  
方 ホウかた  
包 ホウつつむ  
芳 ホウかんばしい  
邦 ホウ  
奉 ホウフ  
宝 ホウたてまつ  
抱 ホウだく

壁　ヘキ  
癖　ヘキ  
　　くせ  
別　ベツ  
　　わかれる  
蔑　ベツ  
　　さげすむ  
片　ヘン  
　　かた  
辺　ヘン  
　　あたり  
　　べ  
返　ヘン  
　　かえす  
　　かえる  
変　ヘン  
　　かわる  
　　かえる  
偏　ヘン  
　　かたよる  
遍　ヘン  
編　ヘン  
　　あむ  
弁　ベン  
便　ベン  
　　ぴん  
　　たより  
勉　ベン  
〔ほ〕  
歩　ホフ  
　　フ  
　　あるく  
　　あゆむ  
保　ホ  
　　たもつ

〔へ〕

丙	ヘイ
平	ヘイ
兵	ウイ ヒョ ヒラ ヒ ヒョウ
併	ヘイ あむせる
並	ヘイ み なら べる ぶ なら びに
柄	ヘイ が え
陸	ヘイ
閉	ヘイ じ と し る する しまる
堀	ヘイ
幣	ヘイ
弊	ヘイ
蔽	ヘイ
餅	ヘイ もち
米	ベイ マイ こめ
壁	ヘキ かべ

覆	フク おおく つがえ すくがえ る
払	フツ はらう
沸	フツ わくわく す
仏	ブツ ほとけ
物	ブツ モノ
粉	フン こな
紛	フン まぎれ るすわ らわい し
雰	フン
噴	フン ふく
墳	フン
憤	フン いきる どお
奮	フン ふるう
分	ブン フン わける わかれ るわかつ
文	ブン モン ふみ
聞	ブン モン きこ え

腐敷膚賦譜侮武部舞封風伏服副幅復福腹複

不 フ  
夫 フ フウ  
父 フち  
付 フ つける  
布 フぬの  
扶 フ  
府 フ  
怖 フこわい  
阜 フ  
附 フ  
訃 フ  
負 フ まける  
赴 フ まかす  
浮 フ おう  
婦 フ おもむく  
符 フ  
富 フ フウ  
普 フ ととみ

旅 リョ 虜 リョ 慮 リョ 了 リョウ 兩 リョウ 良 リョウ 料 リョウ 涼 リョウ 獵 リョウ 陵 リョウ 量 リョウ 僚 リョウ 領 リョウ 寮 リョウ 療 リョウ 瞭 リョウ 糧 リョウ 力 リョク 綠 リョク

理 リ 痢 リ 裏 リウ 履 リハク 璃 リ 離 リハナス 陸 リク 立 リツ 律 リツ 慄 リツ 略 リヤク 柳 リュウ 流 リュウ 留 リュウ 竜 リュウ 粒 リュウ 隆 リュウ 硫 リュウ 侶 リョ

来 ライ 雷 ライ 頼 ライ 絡 ラク 落 ラク 酪 ラク 辣 ラツ 乱 ラン 卵 ラン 覽 ラン 濫 ラン 藍 ラン 欄 ラン [リ] 吏 リ 利 リキ 里 リサト

様 ヨウ 瘍 ヨウ 踊 ヨウ 窯 ヨウ 養 ヨウ 擁 ヨウ 謡 ヨウ 曜 ヨウ 抑 ヨク 沃 ヨク 浴 ヨク 欲 ヨク 翌 ヨク 翼 ヨク [ら] 拉 ラ 裸 ラ 羅 ラ

予 ヨ 余 ヨ 誉 ヨ 預 ヨ 幼 ヨウ 用 ヨウ 羊 ヨウ 妖 ヨウ 洋 ヨウ 要 ヨウ 容 ヨウ 庸 ヨウ 揚 ヨウ 搖 ヨウ 葉 ヨウ 陽 ヨウ 溶 ヨウ 腰 ヨウ

唯 ユイ 友 ユウ 有 ユウ 勇 ユウ 幽 ユウ 悠 ユウ 郵 ユウ 湧 ユウ 猶 ユウ 裕 ユウ 遊 ユウ 雄 ユウ 誘 ユウ 憂 ユウ 融 ユウ 優 ユウ [よ] 与 ユ

夜 ヤ 野 ヤ 弥 ヤ 厄 ヤク 役 ヤク 約 ヤク 訳 ヤク 薬 ヤク 躍 ヤク 闇 ヤミ [ゆ] 由 ユウ 油 ユウ 喻 ユ 愉 ユ 諭 ユ 輸 ユ 癒 ユ

麵 メン [も] 茂 モ 模 モ 毛 モウ 妄 モウ 盲 モウ 耗 モウ 猛 モウ 網 モウ 目 モク 默 モク 門 モン 紋 モン 問 モン [や] 冶 ヤ

夢 ム 霧 ム 娘 ム [め] 名 メイ 命 メイ 明 メイ 迷 メイ 冥 メイ 盟 メイ 銘 メイ 鳴 メイ 滅 メイ 免 メン 面 メン 綿 メン

慢 マン 漫 マン [み] 未 ミ 味 ミ 魅 ミ 岬 ミ 密 ミツ 蜜 ミツ 脈 ミヤク 妙 ミョウ 民 ミン 眠 ミン [む] 矛 ム 務 ム 無 ム

付 表

※以下に挙げられている語を構成要素の一部とする熟語に用いてもかまわない。

例「河岸(かし)」→「魚河岸(うおがし)」

「居士 (こじ)」→「一言居士 (いちげんこじ)」

あす	明日	かし	河岸
あずき	小豆	かじ	鍛冶
あま	{海女 海士	かぜ	風邪
いおう	硫黄	かたず	固唾
いくじ	意気地	かな	仮名
いなか	田舎	かや	蚊帳
いぶき	息吹	かわせ	為替
うなばら	海原	かわら	{河原 川原
うば	乳母	きのう	昨日
うわき	浮気	きょう	今日
うわつく	浮つく	くだもの	果物
えがお	笑顔	くろうと	玄人
おじ	{叔父 伯父	けさ	今朝
おとな	大人	けしき	景色
おとめ	乙女	ここち	心地
おば	{叔母 伯母	こじ	居士
おまわりさん	お巡りさん	ことし	今年
おみき	お神酒	さおとめ	早乙女
おもや	{母屋 母家	ざこ	雑魚
かあさん	母さん	さじき	栈敷
かぐら	神楽	さしつかえる	差し支える

林	リンはやし	冷	レイつめたい ひやひやす ひやくさす ひやくさす レいはげます	連	レンらつる なる なねる レン	漏	ロウもれらす ろくもろかこ ロクむむい
厘	リン	励	レイどとる	廉	レンぬる	籠	ロクむむい
倫	リン	戾	レイたええる	練	レン	六	ロク
輪	リンわ	例	レイリンスズ	鍊	〔ろ〕	録	ロクふもと
隣	リンとなり	鈴	レイ		呂	麓	ロン
臨	リンのぞむ	零	レイヨウたま		炉	論	
		靈	レイ		路		〔わ〕
		隸	レイ		露		
		齡	レイ		老		和
		麗	レイうるわしい		勞		ワオ やわらぐ やわらけ なごやか
		曆	レイキよみ		弄		話
		歴	レイキ		郎		ワはなす はなし
		列	レイツ		朗		ワイまかなう
		劣	レイツおとる		浪		脇
		烈	レイツ		廊		わき
		裂	レイツさける		樓		惑
		恋	レイういしい				ワクまどう
							梓
							わく
							湾
							ワン
							腕
							ワンで



さつき	五月	つゆ	梅雨
さなえ	早苗	でこぼこ	凸凹
さみだれ	五月雨	てつだう	手伝う
しぐれ	時雨	てんません	伝馬船
しっぱ	尻尾	とあみ	投網
しない	竹刀	とうさん	父さん
しにせ	老舗	とえはたえ	十重二十重
しばふ	芝生	どきょう	読経
しみず	清水	とけい	時計
しゃみせん	三味線	ともだち	友達
じゃり	砂利	なこうど	仲人
じゅず	数珠	なごり	名残
じょうず	上手	なだれ	雪崩
しらが	白髪	にいさん	兄さん
しろうと	素人	ねえさん	姉さん
しわす 〔「しはす」とも言う。〕	師走	のら	野良
すきや	{数寄屋 数奇屋}	のりと	祝詞
すもう	相撲	はかせ	博士
ぞうり	草履	はたち	{二十 三十}歳
だし	山車	はつか	二十日
たち	太刀	はとば	波止場
たちのく	立ち退く	ひとり	一人
たなばた	七夕	ひより	日和
たび	足袋	ふたり	二人
ちご	稚児	ふつか	二日
ついたち	一日	ふぶき	吹雪
つきやま	築山	へた	下手

へや	部屋	もめん	木綿
まいご	迷子	もより	最寄り
まじめ	真面目	やおちょう	八百長
まっか	真っ赤	やおや	八百屋
まっさお	真っ青	やまと	大和
みやげ	土産	やよい	弥生
むすこ	息子	ゆかた	浴衣
めがね	眼鏡	ゆくえ	行方
もさ	猛者	よせ	寄席
もみじ	紅葉	わこうど	若人

## ○送り仮名の付け方

### ○内閣訓令第2号

各行政機関

「送り仮名の付け方」の実施について

さきに、政府は、昭和34年内閣告示第1号をもって「送りがなのつけ方」を告示したが、その後の実施の経験等にかんがみ、これを改定し、本日、内閣告示第2号をもって、新たに「送り仮名の付け方」を告示した。

今後、各行政機関においては、これを送り仮名の付け方のよりどころとするものとする。

なお、昭和34年内閣、訓令第1号は、廃止する。

昭和48年6月18日 内閣総理大臣 田中 角榮

### ○内閣告示第2号

一般の社会生活において現代の国語を書き表すための送り仮名の付け方のよりどころを、次のように定める。

なお、昭和34年内閣告示第1号は、廃止する。

昭和48年6月18日 内閣総理大臣 田中 角榮

### 送り仮名の付け方

(改正昭和56年10月1日内閣告示第3号)

(改正平成22年11月30日内閣告示第3号)

前書き

- 一 この「送り仮名の付け方」は、法令・公用文書・新聞・雑誌・放送など、一般の社会生活において、「常用漢字表」の音訓によって現代の国語を書き表す場合の送り仮名の付け方のよりどころを示すものである。
- 二 この「送り仮名の付け方」は、科学・技術・芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。

### 送り仮名の付け方

- 三 この「送り仮名の付け方」は、漢字を記号的に用いたり、表に記入したりする場合や、固有名詞を書き表す場合を対象としていない。

「本文」の見方及び使い方

- 一 この「送り仮名の付け方」の本文の構成は、次のとおりである。

単独の語

- 1 活用のある語

通則1 (活用語尾を送る語に関するもの)

通則2 (派生・対応の関係を考慮して、活用語尾の前の部分から送る語に関するもの)

- 2 活用のない語

通則3 (名詞であって、送り仮名を付けない語に関するもの)

通則4 (活用のある語から転じた名詞であって、もとの語の送り仮名の付け方によって送る語に関するもの)

通則5 (副詞・連体詞・接続詞に関するもの)

複合の語

通則6 (単独の語の送り仮名の付け方による語に関するもの)

通則7 (慣用に従って送り仮名を付けない語に関するもの)

付表の語

- 1 (送り仮名を付ける語に関するもの)

- 2 (送り仮名を付けない語に関するもの)

- 二 通則とは、単独の語及び複合の語の別、活用のある語及び活用のない語の別等に応じて考えた送り仮名の付け方に関する基本的な法則をいい、必要に応じ、例外的な事項又は許容的な事項を加えてある。

したがって、各通則には、本則のほか、必要に応じて例外及び許容を設けた。ただし、通則7は、通則6の例外に当たるものであるが、該当する語が多数に上るので、別の通則として立てたものである。

- 三 この「送り仮名の付け方」で用いた用語の意義は、次のとおりである。  
単独の語……漢字の音又は訓を単独に用いて、漢字一字で書き表す語を

いう。

複合の語……漢字の訓と訓、音と訓などを複合させ、漢字二字以上を用いて書き表す語をいう。

付表の語……「常用漢字表」の付表に掲げてある語のうち、送り仮名の付け方が問題となる語をいう。

活用のある語……動詞・形容詞・形容動詞をいう。

活用のない語……名詞・副詞・連体詞・接続詞をいう。

本 則……送り仮名の付け方の基本的な法則と考えられるものをいう。

例 外……本則には合わないが、慣用として行われていると認められるものであって、本則によらず、これによるものをいう。

許 容……本則による形とともに、慣用として行われていると認められるものであって、本則以外に、これによってよいものをいう。

四 単独の語及び複合の語を通じて、字音を含む語は、その字音の部分には送り仮名を要しないのであるから、必要のない限り触れていない。

五 各通則において、送り仮名の付け方が許容によることのできる語については、本則又は許容のいずれに従ってもよいが、個々の語に適用するに当たって、許容に従ってよいかどうか判断し難い場合には、本則によるものとする。

## 本 文

### 単独の語

#### 1 活用のある語

##### 通則1

本則 活用のある語（通則2を適用する語を除く。）は、活用語尾を送る。

〔例〕 憤る 承る 書く 実る 催す

生きる 陥れる 考える 助ける

荒い 潔い 賢い 濃い

### 主だ

例外 (1) 語幹が「し」で終わる形容詞は、「し」から送る。

〔例〕 著しい 惜しい 悔しい 恋しい 珍しい

(2) 活用語尾の前に「か」、「やか」、「らか」を含む形容動詞は、その音節から送る。

〔例〕 暖かだ 細かだ 静かだ

穏やかだ 健やかだ 和やかだ

明らかだ 平らかだ 滑らかだ 柔らかだ

(3) 次の語は、次に示すように送る。

明らむ 味わう 哀れむ 慈しむ 教わる 脅かす (おどかす) 脅かす (おびやかす) 関わる 食らう 異なる

逆らう 捕まる 群がる 和らぐ 揺する

明るい 危ない 危うい 大きい 少ない 小さい 冷たい 平たい

新ただ 同じだ 盛んだ 平らだ 懇ろだ 惨めだ

哀れだ 幸いだ 幸せだ 巧みだ

許容 次の語は、( ) の中に示すように、活用語尾の前の音節から送ることができる。

表す (表わす) 著す (著わす) 現れる (現われる)

行う (行なう) 断る (断わる) 賜る (賜わる)

(注意) 語幹と活用語尾との区別がつかない動詞は、例えば、「着る」、「寝る」、「来る」などのように送る。

##### 通則2

本則 活用語尾以外の部分に他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る。(含まれている語を〔 〕の中に示す。)

〔例〕

(1) 動詞の活用形又はそれに準ずるものを含むもの。

動かす〔動く〕 照らす〔照る〕

語らう〔語る〕 計らう〔計る〕 向かう〔向く〕

浮かぶ〔浮く〕

生まれる〔生む〕 押さえる〔押す〕 捕らえる〔捕る〕

勇ましい〔勇む〕 輝かしい〔輝く〕 喜ばしい〔喜ぶ〕

晴れやかだ〔晴れる〕

及ぼす〔及ぶ〕 積もる〔積む〕 聞こえる〔聞く〕

頼もしい〔頼む〕

起こる〔起きる〕 落とす〔落ちる〕

暮らす〔暮れる〕 冷やす〔冷える〕

当たる〔当てる〕 終わる〔終える〕 変わる〔変える〕

集まる〔集める〕 定まる〔定める〕 連なる〔連ねる〕

交わる〔交える〕

混ざる・混じる〔混ぜる〕

恐ろしい〔恐れる〕

(2) 形容詞・形容動詞の語幹を含むもの。

重んずる〔重い〕 若やぐ〔若い〕

怪しむ〔怪しい〕 悲しむ〔悲しい〕 苦しがる〔苦しい〕

確かめる〔確かだ〕

重たい〔重い〕 憎らしい〔憎い〕 古めかしい〔古い〕

細かい〔細かだ〕 柔らかい〔柔らかだ〕

清らかだ〔清い〕 高らかだ〔高い〕 寂しげだ〔寂しい〕

(3) 名詞を含むもの。

汗ばむ〔汗〕 先んずる〔先〕 春めく〔春〕

男らしい〔男〕 後ろめたい〔後ろ〕

許容 読み間違えるおそれのない場合は、活用語尾以外の部分について、次の( )の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

〔例〕 浮かぶ〔浮ぶ〕 生まれる〔生れる〕 押さえる〔押える〕

捕らえる〔捕える〕

晴れやかだ〔晴やかだ〕

積もる〔積る〕 聞こえる〔聞える〕

起こる〔起る〕 落とす〔落す〕 暮らす〔暮す〕

当たる〔当る〕 終わる〔終る〕 変わる〔変る〕

(注意) 次の語は、それぞれ〔 〕の中に示す語を含むものとは考えず、

通則1によるものとする。

明るい〔明ける〕 荒い〔荒れる〕 悔しい〔悔いる〕

恋しい〔恋う〕

2 活用のない語

通則3

本則 名詞(通則4を適用する語を除く。)は、送り仮名を付けない。

〔例〕 月 鳥 花 山

男 女

彼 何

例外 (1) 次の後は、最後の音節を送る。

辺り 哀れ 勢い 幾ら 後ろ 傍ら 幸い 幸せ 互い

便り 半ば 情け 斜め 独り 眷れ 自ら 災い

(2) 数をかぞえる「つ」を含む名詞は、その「つ」を送る。

〔例〕 一つ 二つ 三つ 幾つ

通則4

本則 活用のある語から転じた名詞及び活用のある語に「さ」、「み」、「げ」などの接尾語が付いて名詞になったものは、もとの語の送り仮名の付け方によって送る。

〔例〕

(1) 活用のある語から転じたもの。

動き 仰せ 恐れ 薫り 曇り 調べ 届け 願い 晴れ

当たり 代わり 向かい

狩り 答え 問い 祭り 群れ  
憩い 愁い 憂い 香り 極み 初め  
近く 遠く

(2) 「さ」、「み」、「げ」などの接尾語が付いたもの。

暑さ 大きさ 正しさ 確かさ  
明るみ 重み 憎しみ  
惜しげ

例外 次の語は、送り仮名を付けない。

謡 虞 趣 永 印 頂 帶 量  
卸 煙 恋 志 次 隣 富 恥 話 光 舞  
折 係 掛 (かかり) 組 肥 並 (なみ) 巻 割

(注意) ここに掲げた「組」は、「花の組」、「赤の組」などのように使った場合の「くみ」であり、例えば、「活字の組みがゆるむ。」などとして使う場合の「くみ」を意味するものではない。「光」、「折」、「係」なども、同様に動詞の意識が残っているような使い方の場合は、この例外に該当しない。したがって、本則を適用して送り仮名を付ける。

許容 読み間違えるおそれのない場合は、次の( )の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

[例] 曇り (曇) 届け (届) 願い (願) 晴れ (晴)  
当たり (当り) 代わり (代り) 向かい (向い)  
狩り (狩) 答え (答) 問い (問) 祭り (祭)  
群れ (群) 憩い (憩)

#### 通則5

本則 副詞・連体詞・接続詞は、最後の音節を送る。

[例] 必ず 更に 少し 既に 再び 全く 最も  
来る 去る  
及び 且つ 但し

#### 送り仮名の付け方

例外 (1) 次の語は、次に示すように送る。

明るく 大いに 直ちに 並びに 若しくは

(2) 次の語は、送り仮名を付けない。

又

(3) 次のように、他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る。(含まれている語を〔 〕の中に示す。)

[例] 併せて [併せる] 至って [至る] 恐らく [恐れる]

従って [従う] 絶えず [絶える] 例えば [例える]

努めて [努める]

辛うじて [辛い] 少なくとも [少ない]

互いに [互い]

必ずしも [必ず]

#### 複合の語

##### 通則6

本則 複合の語 (通則7を適用する語を除く。) の送り仮名は、その複合の語を書き表す漢字の、それぞれの音訓を用いた単独の語の送り仮名の付け方による。

[例]

(1) 活用のある語

書き抜く 流れ込む 申し込む 打ち合わせる

向かい合わせる 長引く 若返る 裏切る 旅立つ

聞き苦しい 薄暗い 草深い 心細い 待ち遠しい 軽々しい 若々しい 女々しい

気軽だ 望み薄だ

(2) 活用のない語

石橋 竹馬 山津波 後ろ姿 斜め左 花便り 独り言

卸商 水煙 目印

田植え 封切り 物知り 落書き 雨上がり 墓参り

日当たり 夜明かし 先駆け 巣立ち 手渡し

入り江 飛び火 教え子 合わせ鏡 生き物 落ち葉

預かり金

寒空 深情け

愚か者

行き帰り 伸び縮み 乗り降り 抜け駆け 作り笑い

暮らし向き 売り上げ 取り扱い 乗り換え 引き換え

歩み寄り 申し込み 移り変わり

長生き 早起き 苦し紛れ 大写し

粘り強さ 有り難み 待ち遠しさ

乳飲み子 無理強い 立ち居振る舞い 呼び出し電話

次々 常々

近々 深々

休み休み 行く行く

許容 読み間違えるおそれのない場合は、次の（ ）の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

〔例〕 書き抜く（書抜く） 申し込む（申込み） 打ち合わせ

る（打ち合せる・打合せる） 向かい合わせる（向い合せ

る） 聞き苦しい（聞苦しい） 待ち遠しい（待遠しい）

田植え（田植） 封切り（封切） 落書き（落書）

雨上がり（雨上り） 日当たり（日当り） 夜明かし（夜明し）

入り江（入江） 飛び火（飛火） 合わせ鏡（合せ鏡）

預かり金（預り金）

抜け駆け（抜駆け） 暮らし向き（暮し向き）

売り上げ（売上げ・売上） 取り扱い（取扱い・取扱）

送り仮名の付け方

乗り換え（乗換え・乗換） 引き換え（引換え・引換）

申し込み（申込み・申込） 移り変わり（移り変り）

有り難み（有難み） 待ち遠しさ（待遠しさ）

立ち居振る舞い（立ち居振舞い・立ち居振舞・立居振舞）

呼び出し電話（呼出し電話・呼出電話）

（注意）「こけら落とし（こけら落し）」、「さび止め」、「洗いざらし」、「打ちひも」のように前又は後ろの部分を仮名で書く場合は、他の部分については、単独の語の送り仮名の付け方による。

## 通則7

複合の語のうち、次のような名詞は、慣用に従って、送り仮名を付けない。

〔例〕

（1）特定の領域の語で、慣用が固定していると認められるもの。

ア 地位・身分・役職等の名。

関取 頭取 取締役 事務取扱

イ 工芸品の名に用いられた「織」、「染」、「塗」等。

《博多》織 《型絵》染 《春慶》塗 《鎌倉》彫 《備前》

焼

ウ その他。

書留 気付 切手 消印 小包 振替 切符 踏切

請負 売値 買値 仲買 歩合 両替 割引 組合 手当

倉敷料 作付面積

売上《高》 貸付《金》 借入《金》 繰越《金》 小売《商》

積立《金》 取扱《所》 取扱《注意》 取次《店》 取引《所》

乗換《駅》 乗組《員》 引受《人》 引受《時刻》 引換《券》

《代金》 引換 振出《人》 待合《室》 見積《書》 申込《書》

（2）一般に、慣用が固定していると認められるもの。

奥書 木立 子守 献立 座敷 試合 字引 場合 羽織 葉

巻 番組 番付 日付 水引 物置 物語 役割 屋敷 夕立  
割合

合図 合間 植木 置物 織物 貸家 敷石 敷地 敷物 立  
場 建物 並木 巻紙

受付 受取

浮世絵 絵巻物 仕立屋

(注意)

- (1) 「《博多》織」, 「売上《高》」などのようにして掲げたものは、( )の中を他の漢字で置き換えた場合にも、この通則を適用する。
- (2) 通則7を適用する語は、例として挙げたものだけで尽くしてはいない。したがって、慣用が固定していると認められる限り、類推して同類の語にも及ぼすものである。通則7を適用してよいかどうか判断し難い場合には、通則6を適用する。

付表の語

「常用漢字表」の「付表」に掲げてある語のうち、送り仮名の付け方が問題となる次の語は、次のようにする。

- 1 次の語は、次に示すように送る。

浮つく お巡りさん 差し支える 立ち退く 手伝う 最寄り

なお、

次の語は、( )の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

差し支える (差支える) 立ち退く (立退く)

- 2 次の語は、送り仮名を付けない。

息吹 棧敷 時雨 築山 名残 雪崩 吹雪 迷子 行方

現代仮名遣い

## ○現代仮名遣い

### ○内閣訓令第1号

各行政機関

「現代仮名遣い」の実施について

政府は、本日、内閣告示第1号をもって、「現代仮名遣い」を告示した。

今後、各行政機関においては、これを現代の国語を書き表すための仮名遣いのよりどころとするものとする。

なお、昭和21年内閣訓令第8号は、廃止する。

昭和61年7月1日

内閣総理大臣 中曽根康弘

### ○内閣告示第1号

一般の社会生活において現代の国語を書き表すための仮名遣いのよりどころを、次のように定める。

なお、昭和21年内閣告示第33号は、廃止する。

昭和61年7月1日

内閣総理大臣 中曽根康弘

## 現代仮名遣い

(改正平成22年11月30日内閣告示第4号)

前 書 き

- 1 この仮名遣いは、語を現代語の音韻に従って書き表すことを原則とし、一方、表記の慣習を尊重して一定の特例を設けるものである。
- 2 この仮名遣いは、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための仮名遣いのよりどころを示すものである。
- 3 この仮名遣いは、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。
- 4 この仮名遣いは、主として現代文のうち口語体のものに適用する。原

文の仮名遣いによる必要のあるもの、固有名詞などでこれによりがたいものは除く。

5 この仮名遣いは、擬声・擬態的描写や嘆声、特殊な方言音、外来語、外来音などの書き表し方を対象とするものではない。

6 この仮名遣いは、「ホオ・ホホ（類）」「テキカク・テツカク（的確）」のような発音にゆれのある語について、その発音をどちらかに決めようとするものではない。

7 この仮名遣いは、点字、ローマ字などを用いて国語を書き表す場合のきまりとは必ずしも対応するものではない。

8 歴史的仮名遣いは、明治以降、「現代かなづかい」（昭和21年内閣告示第33号）の行われる以前には、社会一般の基準として行われていたものであり、今日においても、歴史的仮名遣いで書かれた文献等を読む機会が多い。歴史的仮名遣いが、我が国の歴史や文化に深いかわりをもつものとして、尊重されるべきことは言うまでもない。また、この仮名遣いにも歴史的仮名遣いを受け継いでいるところがあり、この仮名遣いの理解を深める上で、歴史的仮名遣いを知ることは有用である。付表において、この仮名遣いと歴史的仮名遣いとの対照を示すのはそのためである。

## 本文

### 凡 例

1 原則に基づくきまりを第1に示し、表記の慣習による特例を第2に示した。

2 例は、おおむね平仮名書きとし、適宜、括弧内に漢字を示した。常用漢字表に掲げられていない漢字及び音訓には、それぞれ\*印及び△印をつけた。

第1 語を書き表すのに、現代語の音韻に従って、次の仮名を用いる。

ただし、下線を施した仮名は、第2に示す場合にだけ用いるものである。

### 1 直音

あ	い	う	え	お					
か	き	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご
さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
た	ち	つ	て	と	だ	ぢ	づ	で	ど
な	に	ぬ	ね	の					
は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ
					ば	び	ぶ	べ	ぼ
ま	み	む	め	も					
や		ゆ		よ					
ら	り	る	れ	ろ					
わ				を					

例 あさひ（朝日） きく（菊） さくら（桜） ついやす（費） にわ（庭） ふで（筆） もみじ（紅葉） ゆずる（譲） れきし（歴史） わかば（若葉）

えきか（液化） せいがくか（声楽家） さんぽ（散歩）

### 2 拗音

きゃ	きゅ	きょ	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
しゃ	しゅ	しよ	じゃ	じゅ	じょ
ちゃ	ちゅ	ちよ	<u>ぢゃ</u>	<u>ぢゅ</u>	<u>ぢょ</u>
にゃ	にゅ	にょ			
ひゃ	ひゅ	ひょ	びゃ	びゅ	びょ
			びゃ	びゅ	びょ
みゃ	みゅ	みょ			



りゃ りゅ りょ

例 シャかい (社会) しゅくじ (祝辞) かいじょ (解除) りゃくが  
(略画)

〔注意〕 拗音に用いる「や、ゆ、よ」は、なるべく小書きにする。

## 3 撥音

ん

例 まなんで (学) みなさん しんねん (新年) しゅんぶん (春分)

## 4 促音

っ

例 はしって (走) かっき (活気) がっこう (学校) せっけん (石  
鹸\*)

〔注意〕 促音に用いる「っ」は、なるべく小書きにする。

## 5 長音

## (1) ア列の長音

ア列の仮名に「あ」を添える。

例 おかあさん おばあさん

## (2) イ列の長音

イ列の仮名に「い」を添える。

例 にいさん おじいさん

## (3) ウ列の長音

ウ列の仮名に「う」を添える。

例 おさむうございます (寒) くうき (空気) ふうふ (夫婦)

うれしゅう存じます きゅうり ぼくじゅう (墨汁) ちゅうもん

(注文)

## (4) エ列の長音

エ列の仮名に「え」を添える。

例 ねえさん ええ (応答の語)

## (5) オ列の長音

オ列の仮名に「う」を添える。

例 おとうさん とうだい (灯台)

わこうど (若人) おうむ

かおう (買) あそほう (遊) おはよう (早)

おうぎ (扇) ほうる (放) とう (塔)

よいでしょう はっぴょう (発表)

きょう (今日) ちょうちょう (蝶\*々)

## 第2 特定の語については、表記の慣習を尊重して、次のように書く。

## 1 助詞の「を」は、「を」と書く。

例 本を読む 岩をも通す 失礼をばいたしました  
やむをえない いわんや…をや よせばよいものを  
てにをは

## 2 助詞の「は」は、「は」と書く。

例 今日は日曜です 山では雪が降りました  
あるいは または もしくは  
いずれは さては ついては ではさようなら とはいえ  
惜しむらくは 恐らくは 願わくは  
これはこれは こんにちは こんばんは  
悪天候もものかは

〔注意〕 次のようなものは、この例にあたらないものとする。

いまわの際 すわ一大事

雨も降るわ風も吹くわ 来るわ来るわ きれいだわ

3 助詞の「へ」は、「へ」と書く。

例 故郷へ帰る …さんへ 母への便り 駅へは数分

4 動詞の「いう(言)」は、「いう」と書く。

例 ものをいう(言) いうまでもない 昔々あったという  
 どういうふうに 人というもの こういうわけ

5 次のような語は、「ぢ」「づ」を用いて書く。

(1) 同音の連呼によって生じた「ぢ」「づ」

例 ちぢみ(縮) ちぢむ ちぢれる ちぢこまる  
 つづみ(鼓) つづら つづく(続) つづめる(約\*) つづる  
 (綴\*)

[注意] 「いちじく」「いちじるしい」は、この例にあたらない。

(2) 二語の連合によって生じた「ぢ」「づ」

例 はなぢ(鼻血) そえぢ(添乳) もらいぢち そこぢから(底力) ひぢりめん

いれぢえ(入知恵) ちゃのみぢゃわん

まちか(間近) こぢんまり

ちかぢか(近々) ちりぢり

みかづき(三日月) たけづつ(竹筒) たづな(手綱) ともづな  
 にいづま(新妻) けづめ ひづめ ひげづら

おこづかい(小遣) あいそづかし わしづかみ こころづくし  
 (心尽) てづくり(手作) こづつみ(小包) ことづて はこづめ

(箱詰) はたらきづめ みちづれ(道連)

かたづく こづく(小突) どくづく もとづく うらづける ゆきづまる  
 ねばりづよい

つねづね(常々) つくづく つれづれ

現代仮名遣い

なお、次のような語については、現代語の意識では一般に二語に分解しにくいもの等として、それぞれ「じ」「ず」を用いて書くことを本則とし、「せかいぢゅう」「いなづま」のように「ぢ」「づ」を用いて書くこともできるものとする。

例 せかいじゅう(世界中)

いなづま(稲妻) かたず(固唾) きずな(絆\*) さかづき  
 (杯) ときわず ほおずき みみずく

うなずく おとずれる(訪) かしづく つまづく ぬかづく ひ  
 ざまづく

あせみずく くんずほぐれつ さしづめ でずっぱり

なかんづく

うでづく くろづくめ ひとりずつ

ゆうずう(融通)

[注意] 次のような語の中の「じ」「ず」は、漢字の音読みでもともと濁っているものであって、上記(1)、(2)のいずれにもあたらず、「じ」「ず」を用いて書く。

例 じめん(地面) ぬのじ(布地)

ずが(図画) りやくず(略図)

6 次のような語は、オ列の仮名に「お」を添えて書く。

例 おおかみ おおせ(仰) おおやけ(公) こおり(氷・郡\*) こ

おろぎ ほお(頬・朴\*) ほおずき ほのお(炎) とお(十)

いきどおる(憤) おおう(覆) こおる(凍) しおおせる とお  
 る(通) とどこおる(滞) もよおす(催)

いとoshii おおい(多) おおきい(大) とおい(遠)

おおむね おおよそ

これらは、歴史的仮名遣いでオ列の仮名に「ほ」又は「を」が続くも

のであって、オ列の長音として発音されるか、オ・オ、コ・オのように発音されるかにかかわらず、オ列の仮名に「お」を添えて書くものである。

#### 付記

次のような語は、エ列の長音として発音されるか、エイ、ケイなどのように発音されるかにかかわらず、エ列の仮名に「い」を添えて書く。

例 かれい せい (背)

かせいで (稼) まねいて (招) 春めいて

へい (塀) めい (銘) れい (例)

えいが (映画) とけい (時計) ていねい (丁寧)

#### 付 表

#### 凡 例

- 1 現代語の音韻を目印として、この仮名遣いと歴史的仮名遣いとの主要な仮名の使い方を対照させ、例を示した。
- 2 音韻を表すには、片仮名及び長音符号「ー」を用いた。
- 3 例は、おおむね漢字書きとし、仮名の部分は歴史的仮名遣いによった。常用漢字表に掲げられていない漢字及び音訓には、それぞれ\*及び△印をつけ、括弧内に仮名を示した。
- 4 ジの音韻の項には、便宜、拗音の例を併せ挙げた。

#### 現代仮名遣い

現代語の音韻	この仮名遣いで用いる仮名	歴史的仮名遣いで用いる仮名	例
イ	い	い ゐ ひ	石 報いる 赤い 意図 愛 井戸 居る 参る 胃 権威 貝 合図 費やす 思ひ出 恋しさ
ウ	う	う ふ	歌 馬 浮かぶ 雷雨 機運 買ふ 吸ふ 争ふ 危ふい
エ	え	え ゑ へ	柄 枝 心得 見える 榮譽 声 植ゑる 絵 円 知恵 家 前 考へる 帰る 救へ
	へ	へ	西へ進む
オ	お	お を ほ ふ	奥 大人 起きる お話 雑音 男 十日 踊る 青い 悪寒 顔 氷 滞る 直す 大きい 仰ぐ 倒れる
	を	を	花を見る
カ	か	か くわ	蚊 紙 静か 家庭 休暇 火事 歓迎 結果 生活 愉快

ガ	が	が ぐわ	石垣 学問 岩石 生涯 発芽 画家 外国 丸薬 正月 念願
ジ	じ	じ ぢ	初め こじあける 字 自慢 術語 味 恥ぢる 地面 女性 正直
	ぢ	ぢ	縮む 鼻血 底力 近々 入れ知恵
ズ	ず	ず づ	鈴 物好き 知らずに 人数 洪水 水 珍しい 一つづつ 図画 大豆
	づ	づ	鼓 続く 三日月 塩漬け 常々
ワ	わ	わ は	輪 泡 声色 弱い 和紙 川 回る 思はず 柔らか 琵琶* (びは)
	は	は	我は海の子 又は
ユー	ゆう	ゆう ゆふ いう いふ	勇氣 英雄 金融 夕方 遊戯 郵便 勧誘 所有 都邑* (といふ)
	いう	いふ	言ふ
オー	おう	おう あう あふ わう はう	負うて 応答 欧米 桜花 奥義 中央 扇 押収 凹凸 弱う 王子 往来 卵黄 買はう 舞はう 怖うございます

コー	こう	こう こふ かう  かふ くわう	功績 拘束 公平 気候 振興 劫* (こふ) 咲かう 赤う かうして 講義 健康 甲乙 太閤* (たいかふ) 光線 広大 恐慌 破天荒
ゴー	ごう	ごう ごふ がう がふ ぐわう	皇后 業 永劫* (えいごふ) 急がう 長う 強引 豪傑 番号 合同 轟*音 (ぐわうおん)
ソー	そう	そう さう  さふ	僧 総員 競走 吹奏 放送 話さう 浅う さうして 草案 体操 挿話
ゾー	ぞう	ぞう ざう ざふ	増加 憎悪 贈与 象 蔵書 製造 内臓 仏像 雑煮
トー	とう	とう たう たふ	弟 統一 冬至 暴投 北東 峠 勝たう 痛う 刀剣 砂糖 塔 答弁 出納
ドー	どう	どう だう だふ	どうして 銅 童話 運動 空洞 堂 道路 葡*萄* (ぶだう) 問答
ノー	のう	のう のふ なう  なふ	能 農家 濃紺 昨日 死なう 危なうございます 脳 苦惱 納入

ホー	ほう	ほう ほう ほう はふ	奉祝 俸給 豊年 靈峰 法会 葬る 包囲 芳香 解放 はふり投げる はふはふの体 法律
ポー	ほう	ほう ほう ほう ばふ	某 貿易 解剖 無謀 正法 遊ぼう 飛ぼう 紡績 希望 堤防 貧乏
ポー	ほう	ほう ほう ほう ばふ	本俸 連峰 説法 鉄砲 奔放 立方 立法
モー	もう	もう まう	もう一つ 啓蒙* (けいもう) 申す 休まう 甘う 猛獣 本望
ヨー	よう	よう  やう えう えふ	見よう ようございます 用 容易 中庸 八日 早う 様子 洋々 太陽 幼年 要領 童謡 日曜 紅葉
ロー	ろう	ろう ろふ らう らふ	樓 漏電 披露 かげろふ ふくろふ 祈らう 暗う 廊下 労働 明朗 候文 蠟*燭* (らふそく)
キュー	きゅう	きゅう きう きふ	弓術 宮殿 貧窮 休養 丘陵 永久 要求 及第 急務 給与 階級
ギュー	ぎゅう	ぎう	牛乳

シュー	しゅう	しゅう しう しふ	宗教 衆知 終了 よろしう 周囲 収入 晩秋 執着 習得 襲名 全集
ジュー	じゅう	じゅう じう じふ ぢゅう	充実 従順 臨終 猟銃 柔軟 野獣 十月 渋滞 墨汁 住居 重役 世界中
チュー	ちゅう	ちゅう ちう	中学 衷心 注文 昆虫 抽出 鑄造 宇宙 白昼
ニュー	にゅう	にゅう にう にふ	乳酸 柔和 埴*生* (はにふ) 入学
ヒュー	ひゅう	ひう	日*向* (ひうが)
ビュー	びゅう	びう	誤謬* (ごびう)
リュー	りゅう	りゅう りう りふ	龍 隆盛 留意 流行 川柳 粒子 建立
キョー	きょう	きょう きやう けう けふ	共通 恐怖 興味 吉凶 兄弟 鏡台 経文 故郷 熱狂 教育 矯正 絶叫 鉄橋 今日 脅威 協会 海峡
ギョー	ぎょう	ぎょう ぎやう げう げふ	凝集 仰天 修行 人形 今晚 業務
ショー	しょう	しょう しやう せう せふ	昇格 承諾 勝利 自称 訴訟 詳細 正直 商売 負傷 文章 見ませう 小説 消息 少年 微笑 交渉

ジョー	じょう	じょう じやう ぜう ぢやう でう でふ	冗談 乗馬 過剰 成就 上手 状態 感情 古城 饒舌 (ぜうぜつ) 定石 丈夫 市場 令嬢 簡条 一帖 (いちでふ) 六畳
	ちょう	ちやう でう	盆提灯 (ぼんちやうちん) 一本調子
チョー	ちょう	ちよう ちやう てう てふ	徴収 清澄 尊重 腸 町会 聴取 長短 手帳 調子 朝食 弔電 前兆 野鳥 蝶 (てふ)
ニョー	にょう	によう ねう	女房 尿
ヒョー	ひょう	ひよう ひやう へう	氷山 拍子 評判 兵糧 表裏 土俵 投票
ビョー	びょう	びやう べう	病気 平等 秒読み 描写
ビョー	びょう	びよう びやう べう	結氷 信憑性 (しんびようせい) 論評 一票 本表
ミョー	みょう	みやう めう	名代 明日 寿命 妙技
リョー	りょう	りよう りやう れう れふ	丘陵 領土 両方 善良 納涼 分量 寮 料理 官僚 終了 漁 獵

## ○外来語の表記

### ○内閣訓令第1号

各行政機関

『外来語の表記』の実施について

政府は、本日、内閣告示第2号をもって、『外来語の表記』を告示した。

今後、各行政機関においては、これを現代の国語を書き表すための「外来語の表記」のよりどころとするものとする。

平成3年6月28日

内閣総理大臣 海部 俊樹

### ○内閣告示第2号

一般の社会生活において現代の国語を書き表すための「外来語の表記」のよりどころを、次のように定める。

平成3年6月28日

内閣総理大臣 海部 俊樹

### 外来語の表記

前書き

- 1 この『外来語の表記』は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための「外来語の表記」のよりどころを示すものである。
- 2 この『外来語の表記』は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。
- 3 この『外来語の表記』は、固有名詞など (例えば、人名、会社名、商品名等) でこれによりがたいものは及ぼさない。
- 4 この『外来語の表記』は、過去に行われた様々な表記 (「付」参照) を否定しようとするものではない。

5 この『外来語の表記』は、「本文」と「付録」から成る。「本文」には「外来語の表記」に用いる仮名と符号の表を掲げ、これに留意事項その1（原則的な事項）と留意事項その2（細則的な事項）を添えた。「付録」には、用例集として、日常よく用いられる外来語を主に、留意事項その2に例示した語や、その他の地名・人名の例などを五十音順に掲げた。

## 本文

「外来語の表記」に用いる仮名と符号の表

- 1 第1表に示す仮名は、外来語や外国の地名・人名を書き表すのに一般的に用いる仮名とする。
- 2 第2表に示す仮名は、外来語や外国の地名・人名を原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる仮名とする。
- 3 第1表・第2表に示す仮名では書き表せないような、特別な音の書き表し方については、ここでは取決めを行わず、自由とする。
- 4 第1表・第2表によって語を書き表す場合には、おおむね留意事項を適用する。

第1表					第2表				
ア	イ	ウ	エ	オ					
カ	キシ	クス	ケセ	コソ				シェ	
サ	チ	ツ	テ	ト	ツア			チュ	
タ	ニ	ヌ	ネ	ノ		テイ		ツエ	ツオ
ナ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ファ	フィ		フェ	フォ
ハ	ミ	ム	メ	モ				ジェ	
マ		ユ		ヨ		ディ			
ヤ	リ	ル	レ	ロ			デュ		
ラ									
ワ									
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ					
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ					
ダ			デ	ド					
バ	ビ	ブ	ベ	ボ					
パ	ピ	プ	ペ	ポ				イエ	
キヤ		キユ		キヨ		ウイ		ウエ	ウオ
シヤ		シユ		シヨ	クア	クイ		クエ	クオ
チャ		チュ		チヨ		ツイ			
ニヤ		ニユ		ニヨ			トゥ		
ヒヤ		ヒユ		ヒヨ	グア				
ミヤ		ミユ		ミヨ			ドウ		
リヤ		リユ		リヨ	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
ギヤ		ギユ		ギヨ			テュ		
ジャ		ジュ		ジヨ			フュ		
ピヤ		ピユ		ピヨ			ヴュ		
ピャ		ピュ		ピョ					
ン <small>はっ</small>	(撥音)								
ッ	(促音)								
ー	(長音符号)								

## 留意事項その1 (原則的な事項)

- 1 この「外来語の表記」では、外来語や外国の地名・人名を片仮名で書き表す場合のことを扱う。
- 2 「ハンカチ」と「ハンケチ」、「グローブ」と「クラブ」のように、語形にゆれのあるものについて、その語形をどちらかに決めようとはしていない。
- 3 語形やその書き表し方については、慣用が定まっているものはそれによる。分野によって異なる慣用が定まっている場合には、それぞれの慣用によって差し支えない。
- 4 国語化の程度の高い語は、おおむね第1表に示す仮名で書き表すことができる。一方、国語化の程度がそれほど高くない語、ある程度外国語に近く書き表す必要のある語——特に地名・人名の場合——は、第2表に示す仮名を用いて書き表すことができる。
- 5 第2表に示す仮名を用いる必要がない場合は、第1表に示す仮名の範囲で書き表すことができる。

例 イェ→イエ ウォ→ウオ トウ→ツ, ト ヴァ→バ

- 6 特別な音の書き表し方については、取決めを行わず、自由とすることとしたが、その中には、例えば、「スイ」「ズイ」「グイ」「グエ」「グォ」「キエ」「ニエ」「ヒエ」「フョ」「ヴョ」等の仮名が含まれる。

## 留意事項その2 (細則的な事項)

以下の各項に示す語例は、それぞれの仮名の用法の一例として示すものであって、その語をいつもそう書かなければならないことを意味するものではない。語例のうち、地名・人名には、それぞれ(地)、(人)の文字を添えた。

### I 第1表に示す「シェ」以下の仮名に関するもの

- 1 「シェ」「ジェ」は、外来音シェ、ジェに対応する仮名である。

## 外来語の表記

〔例〕 シェーカー シェード ジェットエンジン ダイジェスト

シェフィールド(地) アルジェリア(地)

シェークスピア(人) ミケランジェロ(人)

注 「セ」「ゼ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ミルクセーキ ゼラチン

- 2 「チェ」は、外来音チェに対応する仮名である。

〔例〕 チェーン チェス チェック マンチェスター(地) チューホフ(人)

- 3 「ツァ」「ツェ」「ツォ」は、外来音ツァ、ツェ、ツォに対応する仮名である。

〔例〕 コンツェルン シャンツェ カンツォーネ

フィレンツェ(地) モーツァルト(人) ツェッペリン(人)

- 4 「ティ」「ディ」は、外来音ティ、ディに対応する仮名である。

〔例〕 ティーパーティー ボランティア ディーゼルエンジン ビルディング

アトランティックシティー(地) ノルマンディー(地)

ドニゼッティ(人) ディズニー(人)

注1 「チ」「ジ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 エチケット スチーム プラスチック スタジアム  
スタジオ ラジオ チロル(地) エジソン(人)

注2 「テ」「デ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ステッキ キャンデー デザイン

- 5 「ファ」「フィ」「フェ」「フォ」は、外来音ファ、フィ、フェ、フォに対応する仮名である。

〔例〕 ファイル フィート フェンシング フォークダンス

バッファロー(地) フィリピン(地) フェアバンクス(地)

カリフォルニア(地)

ファール(人) マンスフィールド(人) エッフェル(人)



フォスター (人)

注1 「ハ」「ヒ」「ヘ」「ホ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 セロハン モルヒネ プラットホーム ホルマリン メガホン

注2 「ファン」「フィルム」「フェルト」等は、「フアン」「フィルム」「フェルト」と書く慣用もある。

6 「デュ」は、外来音デュに対応する仮名である。

〔例〕 デュエット プロデューサー デュッセルドルフ (地)  
デューイ (人)

注 「ジュ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ジュース (deuce) ジュラルミン

## II 第2表に示す仮名に関するもの

第2表に示す仮名は、原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる仮名で、これらの仮名を用いる必要がない場合は、一般的に、第1表に示す仮名の範囲で書き表すことができる。

1 「イエ」は、外来音イエに対応する仮名である。

〔例〕 イエルサレム (地) イエーツ (人)

注 一般的には、「イエ」又は「エ」と書くことができる。

〔例〕 エルサレム (地) イエーツ (人)

2 「ウイ」「ウエ」「ウオ」は、外来音ウイ、ウエ、ウオに対応する仮名である。

〔例〕 ウイスキー ウエディングケーキ ストップウォッチ  
ウィーン (地) スウェーデン (地) ミルウォーキー (地)  
ウィルソン (人) ウェブスター (人) ウォルポール (人)

注1 一般的には、「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書くことができる。

〔例〕 ウイスキー ウイット ウエディングケーキ ウエハース  
ストップウォッチ

注2 「ウ」を省いて書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 サンドイッチ スイッチ スイートピー

注3 地名・人名の場合は、「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書く慣用が強い。

3 「クア」「クイ」「クエ」「クオ」は、外来音クア、クイ、クエ、クオに対応する仮名である。

〔例〕 クアルテット クインテット クエスチョンマーク クォーター

注1 一般的には、「クア」「クイ」「クエ」「クオ」又は「カ」「キ」「ケ」「コ」と書くことができる。

〔例〕 クアルテット クインテット クエスチョンマーク クォーター  
カルテット レモンスカッシュ キルティング イコー

注2 「クア」は「クワ」と書く慣用もある。

4 「グア」は、外来音グアに対応する仮名である。

〔例〕 グアテマラ (地) パラグアイ (地)

注1 一般的には、「グア」又は「ガ」と書くことができる。

〔例〕 グアテマラ (地) パラグアイ (人) ガテマラ (地)

注2 「グア」は、「グワ」と書く慣用もある。

5 「ツイ」は、外来音ツイに対応する仮名である。

〔例〕 ソルジェニーツィン (人) ティツィアーノ (人)

注 一般的には、「チ」と書くことができる。

〔例〕 ライプチヒ (地) ティチアーノ (人)

6 「トゥ」「ドゥ」は、外来音トゥ、ドゥに対応する仮名である。

〔例〕 トゥールーズ (地) ハチャトゥリヤン (人) ヒンドゥー教

注 一般的には、「ツ」「ズ」又は「ト」「ド」と書くことができる。

〔例〕 ツアー (tour) ツーピース ツールーズ (地) ヒン  
ズー教 ハチャトリヤン (人) ドビュッシー (人)

7 「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」は、外来音ヴァ、ヴィ、ヴ、  
ヴェ、ヴォに対応する仮名である。

〔例〕 ヴァイオリン ヴィーナス ヴェール  
ヴィクトリア (地) ヴェルサイユ (地) ヴォルガ (地)  
ヴィヴァルディ (人) ヴラマンク (人) ヴォルテール (人)

注 一般的には、「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」と書くことができる。

〔例〕 バイオリン ビーナス ベール  
ビクトリア (地) ベルサイユ (地) ボルガ (地)  
ビバルディ (人) ブラマンク (人) ボルテール (人)

8 「テュ」は、外来音テュに対応する仮名である。

〔例〕 テューバ (楽器) テュニジア (地)

注 一般的には、「チュ」と書くことができる。

〔例〕 コスチューム スチュワードス チューバ チューブ  
チュニジア (地)

9 「フュ」は、外来音フュに対応する仮名である。

〔例〕 フュージョン フュン島 (地・デンマーク) ドレフュス (人)

注 一般的には、「ヒュ」と書くことができる。

〔例〕 ビューズ

10 「ヴュ」は、外来音ヴュに対応する仮名である。

〔例〕 インタヴュー レヴュー ヴュイヤール (人・画家)

注 一般的には、「ビュ」と書くことができる。

〔例〕 インタビュー レビュー ビュイヤール (人)

### III 撥音、促音、長音その他に関するもの

1 撥音は、「ン」を用いて書く。

〔例〕 コンマ シャンソン トランク メンバー ランニング ラン  
ブ ロンドン (地) レンブラント (人)

注1 撥音を入れない慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 イニング (←インニング) サマータイム (←サンマー  
タイム)

注2 「シンポジウム」を「シムボジウム」と書くような慣用もある。

2 促音は、小書きの「ッ」を用いて書く。

〔例〕 カップ シャッター リュックサック ロッテルダム (地)  
バッハ (人)

注 促音を入れない慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 アクセサリー (←アクセッサリー) フィリピン (地)  
(←フィリッピン)

3 長音は、原則として長音は符号「ー」を用いて書く。

〔例〕 エネルギー オーバーコート グループ ゲーム ショー  
テーブル パーティー  
ウェールズ (地) ポーランド (地) ローマ (地) ゲーテ  
(人) ニュートン (人)

注1 長音符号の代わりに母音字を添えて書く慣用もある。

〔例〕 バレエ (舞踏) ミイラ

注2 「エー」「オー」と書かず、「エイ」「オウ」と書くような慣用  
のある場合は、それによる。

〔例〕 エイト ペイント レイアウト スペイン (地) ケイ  
ンズ (人)

サラダボウル ボウリング (球技)

注3 英語の語末の-er, -or, -arなどに当たるものは、原則として  
ア列の長音とし長音符号「ー」を用いて書き表す。ただし、慣  
用に依じて「ー」を省くことができる。

〔例〕 エレベーター ギター コンピューター マフラー  
エレベータ コンピュータ スリッパ

付録

用 例 集

凡 例

- 1 ここには、日常よく用いられる外来語を主に、本文の留意事項その2（細則的な事項）の各項に例示した語や、その他の地名・人名の例などを五十音順に掲げた。地名・人名には、それぞれ（地）、（人）の文字を添えた。
- 2 外来語や外国の地名・人名は、語形やその書き表し方の慣用が一つに定まらず、ゆれのあるものが多い。この用例集においても、ここに示した語形やその書き表し方は、一例であって、これ以外の書き方を否定するものではない。なお、本文の留意事項その2に両様の書き方が例示してある語のうち主なものについては、バイオリン／ヴァイオリンのような形で併せ掲げた。

【ア】		
アーケード	アパート	イエナ（地）
アイスクリーム	アフリカ（地）	イエローストン（地）
アイロン	アメリカ（地）	イギリス（地）
アインシュタイン	アラビア（地）	イコール
（人）	アルジェリア（地）	イスタンブール（地）
アカデミー	アルバム	イタリア（地）
アクセサリー	アルファベット	イニング
アジア（地）	アルミニウム	インタビュー／イン
アスファルト	アンケート	タビュー
アトランティックシ	【イ】	インド（地）
ティー（地）	イエーツ／イエーツ	インドネシア（地）
アナウンサー	（人）	インフレーション
	イエスベルセン（人）	

- 4 イ列・エ列の音の次のアの音に当たるものは、原則として「ア」と書く。

【例】 グラビア ピアノ フェアプレー アジア（地） イタリア（地） ミネアポリス（地）

注1 「ヤ」と書く慣用のある場合は、それによる。

【例】 タイヤ ダイヤモンド ダイヤル ベニヤ板

注2 「ギリシャ」「ベルシャ」について「ギリシア」「ベルシア」と書く慣用もある。

- 5 語末（特に元素名等）の-(i)umに当たるものは、原則として「-（イ）ウム」と書く。

【例】 アルミニウム カルシウム ナトリウム ラジウム  
サナトリウム シンボジウム プラネタリウム

注 「アルミニウム」を「アルミニウム」と書くような慣用もある。

- 6 英語のつづりのxに当たるものを「クサ」「クシ」「クス」「クソ」と書くか、「キサ」「キシ」「キス」「キソ」と書くかは、慣用に従う。

【例】 タクシー ボクシング ワックス オックスフォード（地）  
エキストラ タキシード ミキサー テキサス（地）

- 7 拗音に用いる「ヤ」「ユ」「ヨ」は小書きにする。また、「ヴァ」「ヴィ」「ヴェ」「ヴォ」や「トゥ」のように組み合わせて用いる場合の「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」も、小書きにする。

- 8 複合した語であることを示すための、つなぎの符号の用い方については、それぞれの分野の慣用に従うものとし、ここでは取決めを行わない。

【例】 ケース バイ ケース ケース・バイ・ケース ケースー  
バイーケース  
マルコ・ボーロ マルコ＝ボーロ

【ウ】  
 ウイークデー  
 ウィーン (地)  
 ウイスキー／ウイスキー  
 ウイット  
 ウィルソン (人)  
 ウェールズ (地)  
 ウエスト waist  
 ウエディングケーキ／ウエディングケーキ  
 ウエハース  
 ウェブスター (人)  
 ウォルポール (人)  
 ウラニウム  
 【エ】  
 エイト  
 エキス  
 エキストラ  
 エジソン (人)  
 エジプト (地)  
 エチケツト  
 エッフェル (人)  
 エネルギー  
 エブロン  
 エルサレム／イエルサレム (地)

エレベーター／エレベーター  
 【オ】  
 オーエン (人)  
 オーストラリア (地)  
 オートバイ  
 オーバーコート  
 オックスフォード (地)  
 オフィス  
 オホーツク (地)  
 オリンピック  
 オルガン  
 オレンジ  
 【カ】  
 ガーゼ  
 カーテン  
 カード  
 カーブ  
 カクテル  
 ガス  
 ガソリン  
 カタログ  
 カット  
 カップ  
 カバー  
 カムチャツカ (地)  
 カメラ

ガラス  
 カリフォルニア (地)  
 カルシウム  
 カルテツト  
 カレンダー  
 カロリー  
 ガンジー (人)  
 カンツォーネ  
 【キ】  
 ギター  
 キムチ  
 キャベツ  
 キャンデー  
 キャンプ  
 キュリー (人)  
 ギリシャ／ギリシア (地)  
 キリマンジャロ (地)  
 キルティング  
 【ク】  
 グアテマラ／グアテマラ (地)  
 クイーン  
 クイズ  
 クインテツト  
 クーデター  
 クーボン  
 クエスチョンマーク

クォーター／クォーター  
 グラビア  
 クラブ  
 グランドキャニオン (地)  
 クリスマスツリー  
 グリニツジ (地)  
 グループ  
 グレゴリウス (人)  
 クレジット  
 クレヨン  
 【ケ】  
 ケインズ (人)  
 ゲーテ (人)  
 ケープタウン (地)  
 ケーブルカー  
 ゲーム  
 ケンタッキー (地)  
 ケンブリッジ (地)  
 【コ】  
 コーヒー  
 コールタール  
 コスチューム  
 コップ  
 コピー  
 コペルニクス (人)  
 コミュニケーション

コロンブス (人)  
 コンクール  
 コンクリート  
 コンツェルン  
 コンピューター／コンピュータ  
 コンマ  
 【サ】  
 サークス  
 サービス  
 サナトリウム  
 サハラ (地)  
 サファイア  
 サマータイム  
 サラダボウル  
 サラブレッド  
 サンドイッチ  
 サンパウロ (地)  
 【シ】  
 シーボルト (人)  
 シューカー  
 シェークスピア (人)  
 シェード  
 ジェットエンジン  
 シェフィールド (地)  
 ジェンナー (人)  
 シドニー (地)  
 ジブラルタル (地)

ジャカルタ (地)  
 ジャツ  
 シャッター  
 シャベル  
 シャンソン  
 シャンツェ  
 シュークリーム  
 ジュース juice, deuce  
 シューベルト (人)  
 ジュラルミン  
 ショー  
 ショパン (人)  
 シラー (人)  
 シンフォニー  
 シンボジウム  
 【ス】  
 スイートピー  
 スイッチ  
 スイング  
 スウェーデン (地)  
 スーツケース  
 スープ  
 スカート  
 スキー  
 スケート  
 スケール  
 スコール  
 スコップ

スター  
スタジアム  
スタジオ  
スタンダード (人)  
スチーム  
スチュワードス  
ステージ  
ステッキ  
ステレオ  
ステンドグラス  
ステンレス  
ストーブ  
ストックホルム (地)  
ストップウォッチ /  
ストップウォッチ  
スプーン  
スペイン (地)  
スペース  
スポーツ  
ズボン  
スリッパ  
【セ】  
セーター  
セーラー (～服)  
セメント  
ゼラチン  
ゼリー  
セルバンテス (人)

セロハン  
センター  
セントローレンス  
(地)  
【ソ】  
ソウル (地)  
ソーセージ  
ソファ  
ソルジェニーツイン  
(人)  
【タ】  
ダーウィン (人)  
ターナー (人)  
ダイジェスト  
タイヤ  
ダイヤモンド  
ダイヤル  
タオル  
タキシード  
タクシー  
タヒチ (地)  
ダンス  
【チ】  
チーズ  
チーム  
チェーホフ (人)  
チェーン  
チェス

チェック  
チケット  
チップ  
チフス  
チャイコフスキー  
(人)  
チューバ / テューバ  
チューブ  
チューリップ  
チュニジア / テュニ  
ジア (地)  
チョコレート  
チロル (地)  
【ツ】  
ツアー tour  
ツーピース  
ツールズ / トウ  
ルズ (地)  
ツェッペリン (人)  
ツンドラ  
【テ】  
ティー  
ディーゼルエンジン  
ディズニー (人)  
ティチャーノ / ティ  
チャーノ (人)  
ディドロ (人)  
テープ

テーブル  
デカルト (人)  
テキサス (地)  
テキスト  
デザイン  
テスト  
テニス  
テネシー (地)  
デパート  
デューイ (人)  
デューラー (人)  
デュエット  
デュッセルドルフ  
(地)  
テレビジョン  
テント  
テンボ  
【ト】  
ドア  
ドーナツ  
ドストエフスキー  
(人)  
ドニゼッティ (人)  
ドビュッシー (人)  
トマト  
ドライブ  
ドライヤー  
トラック

ドラマ  
トランク  
トルストイ (人)  
ドレス  
ドレフュス (人)  
トロフィー  
トンネル  
【ナ】  
ナイアガラ (地)  
ナイフ  
ナイル (地)  
ナトリウム  
ナポリ (地)  
【ニ】  
ニーチェ (人)  
ニュース  
ニュートン (人)  
ニューヨーク (地)  
【ネ】  
ネーブル  
ネオンサイン  
ネクタイ  
【ノ】  
ノーベル (人)  
ノルウェー (地)  
ノルマンディー (地)  
【ハ】  
パーティー

バイオリン / ヴァイ  
オリン  
ハイキング  
ハイドン (人)  
ハイヤー  
バケツ  
バス  
パスカル (人)  
バター  
ハチャトリヤン / ハ  
チャトゥリヤン  
(人)  
バッハ (人)  
バッファロー (地)  
バドミントン  
バトン  
バナナ  
ハノイ (地)  
バラグアイ / バラ  
グアイ (地)  
バラフィン  
バリ (地)  
バルブ  
バレエ (舞踊)  
バレーボール  
ハンドル  
【ヒ】  
ピアノ

ビーナス/ヴィーナス  
ス  
ビール  
ビクトリア/ヴィクトリア (地)  
バスケット  
ビスマルク (人)  
ビゼー (人)  
ビタミン  
ビニール  
ビバルディ/ヴィヴァルディ (人)  
ビュイヤール/ヴュイヤール (人)  
ヒューズ  
ビルディング  
ヒンズー教/ヒンドゥー教  
ピンセット  
【フ】  
ファーブル (人)  
ファイル  
ファッション  
ファラデー (人)  
ファン  
フィート  
フィクション  
フィラデルフィア

(地)  
フィリピン (地)  
フィルム  
フィレンツェ (地)  
フィンランド (地)  
プール  
フェアバンクス (地)  
フェアプレー  
ブエノスアイレス (地)  
フェルト  
フェンシング  
フォーク  
フォークダンス  
フォード (人)  
フォーム  
フォスター (人)  
ブディング  
フュージョン  
フュン島 (地)  
ブラームス (人)  
ブラシ  
プラスチック  
ブラットホーム  
ブラネタリウム  
ブラマンク/ヴラマンク (人)  
フランクリン (人)

ブレーキ  
フロイト (人)  
プログラム  
プロデューサー  
【ヘ】  
ヘアピン  
ペイント  
ペーカリー  
ヘーゲル (人)  
ペーコン  
ページ  
ベール/ヴェール  
ベストセラー  
ベダル  
ベニヤ [~版]  
ベランダ  
ペリー (人)  
ヘリウム  
ヘリコプター  
ベルサイユ/ヴェルサイユ (地)  
ベルシャ/ベルシア (地)  
ヘルシンキ (地)  
ヘルメット  
ベルリン (地)  
ペンギン  
ヘンデル (人)

【ホ】  
ホイットマン (人)  
ボウリング [球技]  
ホース  
ボートレース  
ポーランド (地)  
ボーリング boring  
ボクシング  
ポケット  
ポスター  
ボストン (地)  
ボタン  
ボディー  
ホテル  
ホノルル (地)  
ボランティア  
ボルガ/ヴォルガ (地)  
ボルテール/ヴォルテール (人)  
ポルトガル (地)  
ホルマリン  
【マ】  
マージャン  
マイクロホン  
マカオ (地)  
マッターホーン (地)  
マドリード (地)

マニラ (地)  
マフラー  
マラソン  
マンション  
マンスフィールド (人)  
マンチェスター (地)  
マンモス  
【ミ】  
ミイラ  
ミキサー  
ミケランジェロ (人)  
ミシシッピ (地)  
ミシン  
ミッドウェー (地)  
ミネアポリス (地)  
ミュンヘン (地)  
ミルウォーキー (地)  
ミルクセーキ  
【メ】  
メーカー  
メーキャップ  
メーデー  
メガホン  
メッセージ  
メロディー  
メロン  
メンデル (人)

外来語の表記  
メンデルスゾーン (人)  
メンバー  
【モ】  
モーター  
モーツァルト (人)  
モスクワ (地)  
モデル  
モリエール (人)  
モルヒネ  
モンテーニュ (人)  
モントリオール (地)  
【ヤ】  
ヤスパース (人)  
【ユ】  
ユーラシア (地)  
ユニホーム  
ユングフラウ (地)  
【ヨ】  
ヨーロッパ (地)  
ヨット  
【ラ】  
ライバル  
ライブチヒ (地)  
ラジウム  
ラジオ  
ラファエロ (人)  
ランニング

ランプ	【レ】	ロケット
【リ】	レイアウト	ロシア (地)
リオデジャネイロ	レール	ロダン (人)
(地)	レギュラー	ロッテルダム (地)
リズム	レコード	ロマンス
リノリウム	レスリング	ロマンチック
リボン	レニングラード(地)	ロンドン (地)
リュックサック	レビュー／レヴュー	【ワ】
リレー	レフェリー	ワイマール (地)
リンカーン (人)	レベル	ワイヤ
【ル】	レモンスカッシュ	ワシントン (地)
ルーベンス (人)	レンズ	ワックス
ルーマニア (地)	レンブラント (人)	ワット (人)
ルクス lux	【ロ】	
ルソー (人)	ローマ (地)	

付

前書きの4で過去に行われた表記のことについて述べたが、例えば、明治以来の文芸作品等においては、下記のような仮名表記も行われている。

キ：スキフトの「ガリバー旅行記」 エ：エルテル  
 ラ：ラルポール プ：ヴァイオリン ギ：ギオロン  
 ゼ：エルレエヌ デ：デルガ デ：ケンブリッジ  
 ツ：ワーズワース

## ○外来語・外国語の使用について (通知)

〔平成15年6月10日法務省秘総第551号〕  
 秘書課長から本省局部課長、所管各庁の長あて

この度、本月6日に開催された各府省文書課長等会議において、別添（添付省略）のとおり、「外来語・外国語の使用について」の申合せ（以下「申合せ」という。）をしました。

今回の申合せは、各府省が作成する文書をより理解しやすいものとするとの観点から、各府省が国会や国民向けに作成する各種文書については、一般になじみの薄いと考えられる外来語・外国語を、他の分かりやすい語に言い換えたり、必要に応じ注記等により語の説明を行うように努めることなどとしたものであり、今後は申合せの趣旨に沿って文書を作成するように配意願います。

特に白書や広報文書などのように法務省の施策を広く周知することを目的として作成するものについては、注意願います。

なお、申合せにおいて引用されている平成14年5月17日付け14文国語第7号文化庁文化語部国語課長依頼「外来語・外国語の取扱いについて」を参考のため添付（添付省略）します。

おって、今回の会議の際配付された資料「第1回「外来語」言い換え提案」（平成15年4月25日国立国語研究所「外来語」委員会）については、本省LANの全省電子掲示板及び法務省WANの全省共有（官房秘書課）に掲載しましたので、これを参照願います。

（編注）この後、言い換え例の追加・変更あり

## 2 公用文，法令用語関係

### ○公文書用の紙の規格及び左横書きに関する訓令

〔平成5年3月19日秘組訓第238号〕  
大臣訓令 本省局部課長，所管各庁の長あて

(文書用の紙の規格)

第1条 法務省において作成する文書の紙の規格は，日本工業規格A列とする。

ただし，A列の紙によることが相当でないものは，この限りでない。

(文書の左横書き)

第2条 文書は，左横書きとする。ただし，法令案その他左横書きとすることが相当でないものは，この限りでない。

(実施要領)

第3条 この訓令の実施に関する要領は，秘書課長が定める。

附 則

- 1 この訓令は，平成5年4月1日から施行する。
- 2 公文書の左横書きの実施に関する訓令（昭和58年法務省秘能訓第304号大臣訓令）は，廃止する。

### ○公文書の紙の規格及び左横書きに関する 訓令の実施について（依命通達）

〔平成5年3月19日秘組第237号〕  
秘書課長から本省局部課長，所管各庁の長あて

この度，公文書の紙の規格及び左横書きに関する訓令（平成5年3月19日法務省秘組訓第238号大臣訓令）第3条の規定に基づき，次のとおり実施要領を定めたので，その円滑な運用に配慮願います。

なお，昭和58年4月22日付け法務省秘能第305号当職依命通達「公文書の左横書きの実施について」は，廃止します。

公文書の紙の規格及び左横書きに関する訓令実施要領

(文書の紙の規格)

- 1 法務省において作成する文書の紙の規格は，原則として，日本工業規格A列4番又はA列3番とする。ただし，郵送に直接用いるはがき大の通知書又は小型の刊行物等特定の文書でA列4番又はA列3番により難いものについては，できる限りA列5番又はA列6番を使用するものとする。

(A列の紙によることが相当でない文書)

- 2 次に掲げる文書は，A列の紙によることが相当でない文書として取り扱うものとする。
  - (1) 地図，図面，写真，ポスター等特定の紙規格が必要であるもの
  - (2) 表彰状，感謝状，免許状等掲示等の用途に用いられるもの
  - (3) 身分証明書等特に小型のもの
  - (4) 伝票，住所録，出勤簿等一般の文書とのファイルの混在が起こりにくいもの，大量の文書で仕掛り中のもの及び一覧性が損なわれる等のもの

(実施の時期)



3 A列への移行は、平成5年4月1日から実施し、できる限り速やかに移行を完了するものとする。ただし、次に掲げる文書のように同日から実施することが困難な特別の事情のある文書については、早期に実施のための条件整備を行い、又は、他の行政機関若しくは行政機関以外の機関における実施のための条件整備をまって、逐次実施するものとする。

- (1) 既にコンピュータ処理されているもののうち、その様式等の変更に多大の費用及び労力を要するもの
- (2) 書き足しを行う様式、加除式の台帳・法令集等のうち、その様式等の変更に多大の費用及び労力を要し、又は、様式等の中途での変更が当該文書の利用及び管理に多大の支障を及ぼすもの
- (3) 立法機関、司法機関等関係機関が国の行政機関でないことにより、A列への移行の調整に時間を要するもの
- (4) 様式の改正、システムの改正等を行って間がなく、早急にA列への移行が業務の混乱につながるおそれがあり、制度の改正時等の合理的な時期に見直すべきもの
- (5) 通常、前各号に掲げる文書と一体として使用するもの  
(文書の左横書き)

4 文書は、次に掲げる文書を除き、左横書きとする。

- (1) 法令案及びこれに関係のある文書
- (2) 省外に提出する文書で、提出先の要請又は従前からの慣例により縦書きとされているもの
- (3) 本省局部課長及び外局の長が左横書きとすることが相当でないと認めた文書

(訓令施行日以降の左横書きに関する措置)

5 公文書の用紙の規格及び左横書きに関する訓令施行日以降において、縦書きの訓令、通達等の一部を改正する必要があるときは、その全文を左横書きに改めるものとする。ただし、全文を改めることが困難な場合は、この限りでない。この場合において、当該改正訓令、通達等は従前ど

おり縦書きとする。

(文書の用紙の用い方)

6 用紙は、縦長に用いるものとする。ただし、縦長に用いることが相当でないものは、この限りでない。

なお、A列3番の用紙を用いる場合には、横長二つ折りで左右に、又は縦長二つ折りで上下に分けて書くものとする。

(実施計画の策定等)

7 本省局部課長、法務総合研究所長、矯正研修所長及び外局の長（以下「本省局部課長等」という。）は、毎年、各文書ごとにA列への移行の実施時期を具体的に定めた「公文書の用紙規格のA判化実施計画」（以下「実施計画」という。）を別紙様式1により作成し、A列への移行を計画的に実施するものとする。この場合、管下各庁を所管する本省局部課長等は、管下各庁（法務総合研究所及び矯正研修所にあつては、支所）の文書を含めた実施計画を作成し、管下各庁に周知させて、計画の推進を図るものとする。

なお、実施計画の策定に当たっては、おおむね3年以内にA列への移行の完了を図るものとし、政省令等の改正を要するものは、平成7年度末までに改正を行うよう努めるものとする。

(実施計画及び実施状況の報告)

8 本省局部課長等は、前項により策定した実施計画に基づく「公文書の用紙規格のA判化実施状況」（以下「実施状況」という。）を別紙様式2により作成の上、翌年度以降の実施計画とともに、毎年2月15日までに当職あて報告するものとする。

なお、上記実施状況の作成に資するため、前項により実施計画を示された管下各庁の長は、当該実施計画に基づく実施状況を所管の本省局部課長等から指定された日までに、所管の本省局部課長等あて報告するものとする。

(関係機関との調整)

- 9 他の行政機関又は行政機関以外の関係機関とのA列への移行に係る調整については、これらの機関との調整を要する文書を所管する部局が秘書課と連絡を取りつつ個別に行うものとし、必要に応じ、秘書課において総合的な調整を行うものとする。

(予算措置)

- 10 A列への移行に要する経費については、当面予算措置は行われない。

(経過措置)

- 11 この訓令施行の際、現に存するB列の用紙類については、別に定めのあるものを除き、当分の間、これを使用することができるものとする。

(別紙様式1 及び 別紙様式2 略)

## ○公用文における漢字使用等について

法務省秘総第1171号  
平成22年11月30日

本省局部課長殿

所管各庁の長殿

法務省大臣官房秘書課長

小川 秀樹

### 公用文及び法令における漢字使用等について (通知)

本日付けで「常用漢字表」が内閣告示第2号をもって告示されるとともに、関係告示の一部改正が同告示第3号及び第4号をもって行われ、また、同日付け内閣訓令第1号をもって各行政機関に対し公用文における漢字使用等について訓令されました(内閣告示及び内閣訓令については、同日付け官報号外第250号を参照)。

これに伴い、内閣官房長官から、「常用漢字表」に関する内閣告示及び内閣訓令等について(依命通知)(別添1)が、内閣法制次長から、「法令における漢字使用等について(通知)(別添2)がそれぞれ発出されました。今後、公用文及び法令の作成、表記に当たっては、これらの告示、訓令等によられたく、この旨貴管下職員に周知方願います。

なお、昭和56年10月14日付け秘総第652号当職通知「公用文及び法令における漢字使用等について」の取扱いとは本通知によって廃止しますので、併せて通知します。

内閣文第13号属-1  
平成22年11月30日

法務大臣殿

内閣官房長官

「常用漢字表」に関する内閣告示及び内閣訓令等について(依命通知)

本日、一般の社会生活において現代の国語を書き表すための漢字使用の目安を内閣告示により、また、各行政機関において作成する公用文における漢字使用等について内閣訓令により、それぞれ示すこととしたので、通知します。

貴管下職員への周知方につき、よろしく御配意願います。

なお、「公用文における漢字使用等について（昭和56年10月1日事務次官等会議申合せ）」は、上記内閣訓令により自然消滅したものとして取り扱うことといたします。

## ○内閣訓令第1号

### 各行政機関

#### 公用文における漢字使用等について

政府は、本日、内閣告示第2号をもって、「常用漢字表」を告示した。

今後、各行政機関が作成する公用文における漢字使用等については、別紙によるものとする。

なお、昭和56年内閣訓令第1号は、廃止する。

平成22年11月30日

内閣総理大臣 菅 直人

（別 紙）

#### 公用文における漢字使用等について

### 1 漢字使用について

（1）公用文における漢字使用は、「常用漢字表」（平成22年内閣告示第2号）の本表及び付表（表の見方及び使い方を含む。）によるものとする。

なお、字体については通用字体を用いるものとする。

（2）「常用漢字表」の本表に掲げる音訓によって語を書き表すに当たっては、次の事項に留意する。

ア 次のような代名詞は、原則として、漢字で書く。

例 俺 彼 誰 何 僕 私 我々

## 公用文における漢字使用等

イ 次のような副詞及び連体詞は、原則として、漢字で書く。

例（副詞）

余り 至って 大いに 恐らく 概して 必ず  
必ずしも 辛うじて 極めて 殊に 更に 実に  
少なくとも 少し 既に 全て 切に 大して  
絶えず 互いに 直ちに 例えば 次いで 努めて  
常に 特に 突然 初めて 果たして 甚だ  
再び 全く 無論 最も 専ら 僅か 割に

（連体詞）

明くる 大きな 来る 去る 小さな 我が（国）  
ただし、次のような副詞は、原則として、仮名で書く。

例 かなり ふと やはり よほど

ウ 次の接頭語は、その接頭語が付く語を漢字で書く場合は、原則として、漢字で書き、その接頭語が付く語を仮名で書く場合は、原則として、仮名で書く。

例 御案内（御+案内） 御挨拶（御+挨拶）

ごもっとも（ご+もっとも）

エ 次のような接尾語は、原則として、仮名で書く。

例 げ（惜しげもなく） ども（私ども） ぶる（偉ぶ  
る） み（弱み） め（少なめ）

オ 次のような接続詞は、原則として、仮名で書く。

例 おって かつ したがって ただし ついては  
ところが ところで また ゆえに

ただし、次の4語は、原則として、漢字で書く。

及び 並びに 又は 若しくは

カ 助動詞及び助詞は、仮名で書く。

例 ない（現地には、行かない。）

ようだ（それ以外に方法がないようだ。）

ぐらい (二十歳ぐらいの人)

だけ (調査しただけである。)

ほど (三日ほど経過した。)

キ 次のような語句を、( ) の中に示した例のように用いるときは、原則として、仮名で書く。

例 ある (その点に問題がある。)

いる (ここに関係者がいる。)

こと (許可しないことがある。)

できる (だれでも利用ができる。)

とおり (次のとおりである。)

とき (事故のときは連絡する。)

ところ (現在のところ差し支えない。)

とも (説明するとともに意見を聞く。)

ない (欠点がない。)

なる (合計すると1万円になる。)

ほか (そのほか…, 特別の場合を除くほか…)

もの (正しいものと認める。)

ゆえ (一部の反対のゆえにはかどらない。)

わけ (賛成するわけにはいかない。)

…かもしれない (間違いかもしれない。)

…てあげる (図書を貸してあげる。)

…ていく (負担が増えていく。)

…ていただく (報告していただく。)

…ておく (通知しておく。)

…てください (問題点を話してください。)

…てくる (寒くなってくる。)

…てしまう (書いてしまう。)

…てみる (見てみる。)

…てよい (連絡してよい。)

…にすぎない (調査だけにすぎない。)

…について (これについて考慮する。)

## 2 送り仮名の付け方について

(1) 公用文における送り仮名の付け方は、原則として、「送り仮名の付け方」(昭和48年内閣告示第2号)の本文の通則1から通則6までの「本則」・「例外」、通則7及び「付表の語」(1のなお書きを除く。)によるものとする。

ただし、複合の語(「送り仮名の付け方」の本文の通則7を適用する語を除く。)のうち、活用のない語であって読み間違えるおそれのない語については、「送り仮名の付け方」の本文の通則6の「許容」を適用して送り仮名を省くものとする。なお、これに該当する語は、次のとおりとする。

明渡し	預り金	言渡し	入替え	植付け	魚釣用具
受入れ	受皿	受持ち	受渡し	渦巻	打合せ
打合せ会	打切り	内払	移替え	埋立て	売上げ
売借しみ	売出し	売場	売払い	売渡し	売行き
縁組	追越し	置場	贈物	帯留	折詰
買上げ	買入れ	買受け	買換え	買占め	買取り
買戻し	買物	替換え	格付	掛金	貸切り
貸金	貸越し	貸倒れ	貸出し	貸付け	借入れ
借受け	借換え	刈取り	缶切	期限付	切上げ
切替え	切下げ	切捨て	切土	切取り	切離し
靴下留	組合せ	組入れ	組替え	組立て	くみ取便所
繰上げ	繰入れ	繰替え	繰越し	繰下げ	繰延べ
繰戻し	差押え	差止め	差引き	差戻し	砂糖漬
下請	締切り	条件付	仕分	据置き	据付け
捨場	座込み	栓抜	備置き	備付け	染物

○法令における漢字使用等について

内閣法制局総令第208号  
平成22年11月30日

法務事務次官殿

内閣法制次長

山本 庸幸

法令における漢字使用等について（通知）

平成22年11月30日付け内閣告示第2号をもって「常用漢字表」が告示され、同日付け内閣訓令第1号「公用文における漢字使用等について」が定められたことに伴い、当局において、法令における漢字使用等について検討した結果、別紙のとおり「法令における漢字使用等について」（平成22年11月30日付け内閣法制局長官決定）を定め、実施することとしましたので、通知します。

なお、昭和29年11月25日付け法制局総発第89号の「法令用語改善の実施要領」（同実施要領の別紙「法令用語改正要領」を含む。）及び昭和56年10月1日付け内閣法制局総発第141号の「法令における漢字使用等について」は、本日付けで廃止しますので、併せて通知します。

（別紙）

平成22年11月30日付け内閣告示第2号をもって「常用漢字表」が告示され、同日付け内閣訓令第1号「公用文における漢字使用等について」が定められたことに伴い、法令における漢字使用等について、次のように定める。

平成22年11月30日

内閣法制局長官 梶田 信一郎

田植	立会い	立入り	立替え	立札	月掛
付添い	月払	積卸し	積替え	積込み	積出し
積立て	積付け	釣合い	釣鐘	釣銭	釣針
手続	問合せ	届出	取上げ	取扱い	取卸し
取替え	取決め	取崩し	取消し	取壊し	取下げ
取締り	取調べ	取立て	取次ぎ	取付け	取戻し
投売り	抜取り	飲物	乗換え	乗組み	話合い
払込み	払下げ	払出し	払戻し	払渡し	払渡済み
貼付け	引上げ	引揚げ	引受け	引起し	引換え
引込み	引下げ	引締め	引継ぎ	引取り	引渡し
日雇	歩留り	船着場	不払	賦払	振出し
前払	巻付け	巻取り	見合せ	見積り	見習
未払	申合せ	申合せ事項	申入れ	申込み	申立て
申出	持家	持込み	持分	元請	戻入れ
催物	盛土	焼付け	雇入れ	雇主	譲受け
譲渡し	呼出し	読替え	割当て	割増し	割戻し

- (2) (1)にかかわらず、必要と認める場合は、「送り仮名の付け方」の本文の通則2、通則4及び通則6（(1)のただし書の適用がある場合を除く。）の「許容」並びに「付表の語」の1のなお書きを適用して差し支えない。

3 その他

- 1及び2は、固有名詞を対象とするものではない。
- 専門用語又は特殊用語を書き表す場合など、特別な漢字使用等を必要とする場合には、1及び2によらなくてもよい。
- 専門用語等で読みにくいと思われるような場合は、必要に応じて、振り仮名を用いる等、適切な配慮をするものとする。

4 法令における取扱い

法令における漢字使用等については、別途、内閣法制局からの通知による。

## 法令における漢字使用等について

## 1 漢字使用について

- (1) 法令における漢字使用は、次の(2)から(6)までにおいて特別の定めをするもののほか、「常用漢字表」(平成22年内閣告示第2号。以下「常用漢字表」という。)の本表及び付表(表の見方及び使い方を含む。)並びに「公用文における漢字使用等について」(平成22年内閣訓令第1号)の別紙の1「漢字使用について」の(2)によるものとする。また、字体については、通用字体を用いるものとする。

なお、常用漢字表により漢字で表記することとなったものとしては、次のようなものがある。

挨拶	宛先	椅子	咽喉	隠蔽	鍵	覚醒
崖	玩具	毀損	亀裂	禁錮	絃	拳銃
勾留	柵	失踪	焼酎	処方箋	腎臓	進捗
整頓	脊柱	遡及	堆積	貼付	賭博	剝奪
破綻	汎用	氾濫	膝	肘	払拭	閉塞
捕捉	補填	哺乳類	蜜蜂	明瞭	湧出	拉致
賄賂	関わる	鑑みる	遡る	全て		

- (2) 次のものは、常用漢字表により、( )の中の表記ができることとなったが、引き続きそれぞれ下線を付けて示した表記を用いるものとする。

壊滅(潰滅)	壊乱(潰乱)	決壊(決潰)
広範(広汎)	全壊(全潰)	倒壊(倒潰)
破棄(破毀)	崩壊(崩潰)	理屈(理窟)

- (3) 次のものは、常用漢字表により、下線を付けて示した表記ができることとなったので、( )の中の表記に代えて、それぞれ下線を付けて示した表記を用いるものとする。

臆説(憶説)	臆測(憶測)	肝腎(肝心)
--------	--------	--------

- (4) 次のものは、常用漢字表にあるものであっても、仮名で表記するも

のとする。

虞	}	→ おそれ
恐れ		
且つ		→ かつ
従って(接続詞)		→ したがって
但し		→ ただし
但書		→ ただし書
外	}	→ ほか
他		
又		→ また(ただし、「または」は「又は」と表記する。)
因る		→ よる

- (5) 常用漢字表にない漢字で表記する言葉及び常用漢字表にない漢字を構成要素として表記する言葉並びに常用漢字表にない音訓を用いる言葉の使用については、次によるものとする。

ア 専門用語等であって、他に言い換える言葉がなく、しかも仮名で表記すると理解することが困難であると認められるようなものについては、その漢字をそのまま用いてこれに振り仮名を付ける。

## 【例】

暗渠	接分	蛾	瑕疵	管渠	滴養	強姦
砒素	埠頭					

- イ 次のものは、仮名で表記する。

拘わらず	→ かかわらず
此	→ この
之	→ これ
其	→ その
煙草	→ たばこ
為	→ ため

以て → もって  
等(ら) → ら  
猥褻 → わいせつ

ウ 仮名書きにする際、単語の一部だけを仮名に改める方法は、できるだけ避ける。

【例】

幹旋 → あっせん(「あっ旋」は用いない。)  
煉瓦 → れんが(「れん瓦」は用いない。)

ただし、次の例のように一部に漢字を用いた方が分かりやすい場合は、この限りでない。

【例】

あへん煙 えん堤 救じゅつ 橋りょう し尿  
出えん じん肺 ため池 ちんでん池 でん粉  
てん末 と畜 ばい煙 排せつ 封かん  
へき地 らく印 漏えい

エ 常用漢字表にない漢字又は音訓を仮名書きにする場合には、仮名の部分に傍点を付けることはしない。

(6) 次のものは、( ) の中に示すように取り扱うものとする。

匕 首(用いない。「あいくち」を用いる。)  
委 棄(用いない。)  
慰藉料(用いない。「慰謝料」を用いる。)  
溢 水(用いない。)  
違 背(用いない。「違反」を用いる。)  
印 顆(用いない。)  
湮 滅(用いない。「隠滅」を用いる。)  
苑 地(用いない。「園地」を用いる。)  
汚 穢(用いない。)  
解 止(用いない。)

戒 示(用いない。)  
灰 燼(用いない。)  
改 訂・改 定(「改訂」は書物などの内容に手を加えて正すことという意味についてののみ用いる。それ以外の場合は「改定」を用いる。)  
開 披(用いない。)  
牙 保(用いない。)  
勸 解(用いない。)  
監 守(用いない。)  
管 守(用いない。「保管」を用いる。)  
陷 穽(用いない。)  
干 与・干 預(用いない。「関与」を用いる。)  
義 捐(用いない。)  
汽 鐘(用いない。「ボイラー」を用いる。)  
技 監(特別な理由がある場合以外は用いない。)  
規 正・規 整・規 制(「規正」はある事柄を規律して公正な姿に当てはめることという意味についてののみ、「規整」はある事柄を規律して一定の枠に納め整えることという意味についてののみ、それぞれ用いる。それ以外の場合は「規制」を用いる。)  
羈 束(用いない。)  
吃 水(用いない。「喫水」を用いる。)  
規 程(法令の名称としては、原則として用いない。「規則」を用いる。)  
欺 瞞(用いない。)  
欺 罔(用いない。)  
狹 隘(用いない。)  
饗 応(用いない。「供応」を用いる。)

驚愕 (用いない。)

魚 艙 (用いない。「魚倉」を用いる。)

紀 律 (特別な理由がある場合以外は用いない。「規律」を用いる。)

空気槽 (用いない。「空気タンク」を用いる。)

具 有 (用いない。)

繫 船 (用いない。「係船」を用いる。)

繫 属 (用いない。「係属」を用いる。)

計 理 (用いない。「経理」を用いる。)

繫 留 (用いない。「係留」を用いる。)

懈 怠 (用いない。)

牽 連 (用いない。「関連」を用いる。)

溝 渠 (特別な理由がある場合以外は用いない。)

交叉点 (用いない。「交差点」を用いる。)

更 代 (用いない。「交代」を用いる。)

弘 報 (用いない。「広報」を用いる。)

骨 牌 (用いない。「かるた類」を用いる。)

戸 扉 (用いない。)

誤 謬 (用いない。)

詐 偽 (用いない。「偽り」を用いる。)

鑿 井 (用いない。)

作 製・作 成 (「作製」は製作 (物品を作ること) という意味についてのみ用いる。それ以外の場合は「作成」を用いる。)

左 の (「次の」という意味では用いない。)

鎖 鑰 (用いない。)

撒水管 (用いない。「散水管」を用いる。)

旨 趣 (用いない。「趣旨」を用いる。)

枝 条 (用いない。)

首 魁 (用いない。「首謀者」を用いる。)

酒 精 (用いない。「アルコール」を用いる。)

鬚 髯 (用いない。)

醇 化 (用いない。「純化」を用いる。)

竣 功 (特別な理由がある場合以外は用いない。「完成」を用いる。)

傷 痕 (用いない。)

焼 燬 (用いない。)

銷 却 (用いない。「消却」を用いる。)

情 況 (特別な理由がある場合以外は用いない。「状況」を用いる。)

檣 頭 (用いない。「マストトップ」を用いる。)

証 標 (用いない。)

証 憑・憑 拠 (用いない。「証拠」を用いる。)

牆 壁 (用いない。)

塵 埃 (用いない。)

塵 芥 (用いない。)

侵 蝕 (用いない。「侵食」を用いる。)

成 規 (用いない。)

窃 用 (用いない。「盗用」を用いる。)

船 渠 (用いない。「ドック」を用いる。)

洗 滌 (用いない。「洗浄」を用いる。)

僭 窃 (用いない。)

総 轄 (用いない。「総括」を用いる。)

齟 齬 (用いない。)

疏 明 (用いない。「疎明」を用いる。)

稠 密 (用いない。)

通 事 (用いない。「通訳人」を用いる。)

定 繫 港 (用いない。「定係港」を用いる。)

呈 示 (用いない。「提示」を用いる。)

停 年 (用いない。「定年」を用いる。)



捺 印 (用いない。「押印」を用いる。)

売 淫 (用いない。「売春」を用いる。)

配 付・配 布 (「配付」は交付税及び譲与税配付金特別会計の  
ような特別な場合についてのみ用いる。それ以外の場合は  
「配布」を用いる。)

蕃 殖 (用いない。「繁殖」を用いる。)

版 図 (用いない。)

誹 毀 (用いない。)

彼 此 (用いない。)

標 示 (特別な理由がある場合以外は用いない。「表示」を用いる。)

紊 乱 (用いない。)

編 綴 (用いない。)

房 室 (用いない。)

膨 脹 (用いない。「膨張」を用いる。)

法 例 (用いない。)

輔 助 (用いない。「補助」を用いる。)

満限に達する (特別な理由がある場合以外は用いない。「満了す  
る」を用いる。)

宥 恕 (用いない。)

輸 贏 (用いない。)

踰 越 (用いない。)

油 槽 (用いない。「油タンク」を用いる。)

落 盤 (用いない。「落盤」を用いる。)

臨 検・立入検査 (「臨検」は犯則事件の調査の場合についてのみ  
用いる。それ以外の場合は「立入検査」を用いる。)

鄰 佑 (用いない。)

狼 狽 (用いない。)

和 諧 (用いない。「和解」を用いる。)

## 2 送り仮名の付け方について

### (1) 単独の語

ア 活用のある語は、「送り仮名の付け方」(昭和48年内閣告示第2号  
の「送り仮名の付け方」をいう。以下同じ。)の本文の通則1の「本  
則」・「例外」及び通則2の「本則」の送り仮名の付け方による。

イ 活用のない語は、「送り仮名の付け方」の本文の通則3から通則5  
までの「本則」・「例外」の送り仮名の付け方による。

【備考】 表に記入したり記号的に用いたりする場合には、次の例に示  
すように、原則として、( ) の中の送り仮名を省く。

【例】

晴 (れ) 曇 (り) 問 (い) 答 (え) 終 (わり)  
生 (まれ)

### (2) 複合の語

ア イに該当する語を除き、原則として、「送り仮名の付け方」の本文  
の通則6の「本則」の送り仮名の付け方による。ただし、活用のない  
語で読み間違えるおそれのない語については、「送り仮名の付け  
方」の本文の通則6の「許容」の送り仮名の付け方により、次の例  
に示すように送り仮名を省く。

【例】

明渡し	預り金	言渡し	入替え	植付け	魚釣用具
受入れ	受皿	受持ち	受渡し	渦巻	打合せ
打合せ会	打切り	内払	移替え	埋立て	売上げ
売惜しみ	売出し	売場	売払い	売渡し	売行き
縁組	追越し	置場	贈物	帯留	折詰
買上げ	買入れ	買受け	買換え	買占め	買取り
買戻し	買物	書換え	格付	掛金	貸切り
貸金	貸越し	貸倒れ	貸出し	貸付け	借入れ
借受け	借換え	刈取り	缶切	期限付	切上げ

切替え	切下げ	切捨て	切土	切取り	切離し
靴下留	組合せ	組入れ	組替え	組立て	くみ取便所
繰上げ	繰入れ	繰替え	繰越し	繰下げ	繰延べ
繰戻し	差押え	差止め	差引き	差戻し	砂糖漬
下請	締切り	条件付	仕分	据置き	据付け
捨場	座込み	栓抜	備置き	備付け	染物
田植	立会い	立入り	立替え	立札	月掛
付添い	月払	積卸し	積替え	積込み	積出し
積立て	積付け	釣合い	釣鐘	釣銭	釣針
手続	問合せ	届出	取上げ	取扱い	取卸し
取替え	取決め	取崩し	取消し	取壊し	取下げ
取締り	取調べ	取立て	取次ぎ	取付け	取戻し
投売り	抜取り	飲物	乗換え	乗組み	話合い
払込み	払下げ	払出し	払戻し	払渡し	払渡済み
貼付け	引上げ	引揚げ	引受け	引起し	引換え
引込み	引下げ	引締め	引継ぎ	引取り	引渡し
日雇	歩留り	船着場	不払	賦払	振出し
前払	巻付け	巻取り	見合せ	見積り	見習
未払	申合せ	申合せ事項	申入れ	申込み	申立て
申出	持家	持込み	持分	元請	戻入れ
催物	盛土	焼付け	雇入れ	雇主	譲受け
譲渡し	呼出し	読替え	割当て	割増し	割戻し

イ 活用のない語で慣用が固定していると認められる次の例に示すような語については、「送り仮名の付け方」の本文の通則7により、送り仮名を付けない。

【例】

合図	合服	合間	預入金	編上靴	植木
(進退)伺	浮袋	浮世絵	受入額	受入先	受入年月日

法令における漢字使用等

請負	受付	受付係	受取	受取人	受払金
打切補償	埋立区域	埋立事業	埋立地	裏書	売上(高)
売掛金	売出發行	売手	売主	売値	売渡価格
売渡先	絵巻物	襟巻	沖合	置物	奥書
奥付	押売	押出機	覚書	(博多)織	折返線
織元	織物	卸売	買上品	買受人	買掛金
外貨建債権	概算払	買手	買主	買値	書付
書留	過誤払	貸方	貸越金	貸室	貸席
貸倒引当金	貸出金	貸出票	貸付(金)	貸主	貸船
貸本	貸間	貸家	箇条書	貸渡業	肩書
借入(金)	借受人	借方	借越金	刈取機	借主
仮渡金	缶詰	気付	切手	切符	切替組合員
切替日	くじ引	組合	組入金	組立工	倉敷料
繰上償還	繰入金	繰入限度額	繰入率	繰替金	繰越(金)
繰延資産	消印	月賦払	現金払	小売	小売(商)
小切手	木立	小包	子守	献立	先取特権
作付面積	挿絵	差押(命令)	座敷	指図	差出人
差引勘定	差引簿	刺身	試合	仕上機械	仕上工
仕入価格	仕掛花火	仕掛品	敷網	敷居	敷石
敷金	敷地	敷布	敷物	軸受	下請工事
仕出屋	仕立券	仕立物	仕立屋	質入証券	支払
支払元受高	字引	仕向地	事務取扱	事務引継	締切日
所得割	新株買付契約書	据置(期間)	(支出)済額	関取	
備付品	(型絵)染	ただし書	立会演説	立会人	立入検査
立場	竜巻	立替金	立替払	建具	建坪
建値	建前	建物	棚卸資産	(条件)附(保用)	月掛貯金
付添人	漬物	積卸施設	積出地	積立(金)	積荷
詰所	釣堀	手当	出入口	出来高払	手付金

手引	手引書	手回品	手持品	灯台守	頭取
(欠席)届	留置電報	取扱(所)	取扱(注意)	取入口	取替品
取組	取消処分	(廃棄)取替法	取締役	取立金	取立訴訟
取次(店)	取付工事	取引	取引(所)	取戻請求権	間屋
仲買	仲立業	投売品	並木	縄張	荷扱場
荷受人	荷造機	荷造費	(春慶)塗	(休暇)願	乗合船
乗合旅客	乗換(駅)	乗組(員)	場合	羽織	履物
葉巻	払込(金)	払下品	払出金	払戻金	払戻証書
払渡金	払渡郵便局	番組	番付	控室	引当金
引受(時刻)	引受(人)	引換(券)	(代金)引換	引継事業	引継調書
引取経費	引取税	引渡(人)	日付	引込線	瓶詰
歩合	封切館	福引(券)	船積貨物	踏切	振替
振込金	振出(人)	不渡手形	分割払	(鎌倉)彫	掘抜井戸
前受金	前貸金	巻上機	巻紙	巻尺	巻物
待合(室)	見返物資	見込額	見込数量	見込納付	水張検査
水引	見積(書)	見取図	見習工	未払勘定	未払年金
見舞品	名義書換	申込(書)	申込人	持込禁止	元売業者
物置	物語	物干場	(備前)焼	役割	屋敷
雇入契約	雇止手当	夕立	譲受人	湯沸器	呼出符号
読替規定	陸揚地	陸揚量	両替	割合	割当額
割高	割引	割増金	割戻金	割安	

[備考1] 下線を付けた語は、「送り仮名の付け方」の本文の通則7において例示された語である。

[備考2] 「売上(高)」, 「(博多) 織」などのようにして掲げたものは、( ) の中を他の漢字で置き換えた場合にも、「送り仮名の付け方」の本文の通則7を適用する。

### (3) 付表の語

「送り仮名の付け方」の本文の付表の語(1のなお書きを除く。)の送

り仮名の付け方による。

### 3 その他

- (1) 1及び2は、固有名詞を対象とするものではない。
- (2) 1及び2については、これらを専門用語及び特殊用語に適用するに当たって、必要と認める場合は、特別の考慮を加える余地があるものとする。

### 附 則

- 1 この決定は、平成22年11月30日から施行する。
- 2 この決定は、法律については次回国会(常会)に提出するものから、政令については平成23年1月1日以後最初の閣議に提出するものから、それぞれ適用する。
- 3 新たな法律又は政令を起案する場合のほか、既存の法律又は政令の改正について起案する場合(文語体の法律又は勅令を文体を変えないで改正する場合を除く。)にも、この決定を適用する。なお、この決定を適用した結果、改正されない部分に用いられている語の表記と改正される部分に用いられるこれと同一の内容を表す語の表記とが異なることとなっても、差し支えない。
- 4 署名の閣議に提出される条約については平成23年1月1日以後最初の閣議に提出されるものから、国会に提出される条約(平成23年1月1日以後最初の閣議より前に署名の閣議に提出された条約であって日本語が正文であるものを除く。)については次回国会(常会)に提出するものから、それぞれこの決定を適用する。なお、条約の改正についても、この決定を適用した結果、改正されない部分に用いられている語の表記と改正される部分に用いられるこれと同一の内容を表す語の表記とが異なることとなっても、差し支えない。

## ○公用文作成の要領

### 内閣官房注

この要領のうち、昭和56年10月1日の事務次官等会議において申合せされた「公用文における漢字使用等について」によって当然改められることとなる部分については、必要な読替えを行い、又は収録を省略する措置を講じた。

※編注 平成22年内閣告示第2号をもって「常用漢字表」が告示されたことにより、内容の一部に変更があるが、読替え等を行わず、そのまま掲載した。

内閣閣甲第16号  
昭和27年4月4日

各省庁次官あて

内閣官房長官

公用文改善の趣旨徹底について（依命通知）

標記の件について、客年国語審議会から、別紙のとおり建議がありましたが、そのうち同会の審議決定した「公用文作成の要領」は、これを関係の向に周知徹底せしめることは、公用文改善の実をはかるため適當のことと思われるので、貴部内へ周知方しかるべく御配意願います。

（別紙）

文調国第369号  
昭和26年10月30日

内閣総理大臣 } あて  
文部大臣 }

公用文改善の趣旨徹底について

公用文の改善について、実施状況ならびに意見を調査しましたところ、別冊1「公用文の改善についての調査の結果」のとおり、まだ一般にはその趣

## 公用文作成の要領

旨はじゅうぶん徹底しているとはいえない状態にあります。それで、このことについての理解に資するため、公用文改善関係の諸通達を整理総合し、さらに検討を加え、別冊2「公用文作成の要領」を審議決定しました。ついては、公用文改善の実をはかるため、この「公用文作成の要領」が関係方面に周知徹底するよう適当な処置をとられることを要望いたします。

別冊1 「公用文の改善についての調査の結果」（省略）

別冊2

公用文作成の要領

昭和27年

## も く じ

まえがき

第1 用語用字について

1 用語について

2 用字について

3 法令の用語用字について

4 地名の書き表わし方について

5 人名の書き表わし方について

第2 文体について

第3 書き方について

付録 公用文の「送りがな」用例（省略）

## ま え が き

公用文の新しい書き方については、昭和21年6月17日に「官庁用語を平易にする標準」が次官会議で申し合わせ事項となった。その後、次官会議および閣議では、公用文改善協議会の報告「公用文の改善」を了解事項とし、昭和24年4月5日にそれを「公用文作成の基準について」として内閣官房長官から各省大臣に依命通達した。この「公用文の改善」は、いうま

でもなく、さきに出た「官庁用語を平易にする標準」の内容を拡充したものである。しかし、具体的な準則としては、なお、「官庁用語を平易にする標準」その他から採って参照すべき部分が少なくない。そこで、国語審議会では、これらを検討し、必要な修正を加え、「公用文の改善」の内容を本文とし、他から採ったものを補注の形式でまとめ、ここに「公用文作成の要領」として示すこととした。

公用文を、感じのよく意味のとおりやすいものとするとともに、執務能率の増進をはかるため、その用語用字・文体・書き方などについて、特に次のような点について改善を加えたい。

## 第1 用語用字について

### 1 用語について

- 1 特殊なことばを用いたり、かたくりしいことばを用いることをやめて、日常一般に使われているやさしいことばを用いる。(×印は、常用漢字表にない漢字であることを示す。)

たとえば

×  
稟請→申請 措置→処置・取り扱い

救援する→救う 懇請する→お願いする

一環として→一つとして 充当する→あてる

即応した→かなった

- 2 使い方の古いことばを使わず、日常使いなれていることばを用いる。

たとえば

×  
牙保→周旋・あっせん 彩紋→模様・色模様

- 3 言にくいことばを使わず、口調のよいことばを用いる。

たとえば

拒否する→受け入れない はばむ→さまたげる

- 4 音読することばはなるべくさけ、耳で聞いて意味のすぐわかることばを用いる。

たとえば

×  
橋梁→橋 ××  
塵埃→ほこり ×  
眼瞼→まぶた

充填する→うめる・つめる 堅持する→かたく守る

陳述する→のべる

- 5 音読することばで、意味の二様にとれるものは、なるべくさける。

たとえば

協調する(強調するとまぎれるおそれがある。)→歩調を合わせる

勸奨する(干渉する)→すすめる 衷心(中心)→心から

潜行する(先行する)→ひそむ 出航(出講)→出帆・出発

- 6 漢語をいくつもつないでできている長いことばは、むりのない略し方をきめる。

たとえば

経済安定本部→経本 中央連絡調整事務局→連調

- 7 同じ内容のものを違ったことばで言い表わすことのないように統一する。

たとえば

提起・起訴・提訴 口頭弁論・対審・公判

### 2 用字について

- 1 漢字は、常用漢字表による。

(1) 常用漢字表を使用するにあたっては、特に次のことがらに留意する。

1 (省略)

2 外国の地名・人名および外来語は、かたかな書きにする。(一部省略)

たとえば

イタリア スウェーデン フランス ロンドン等

エジソン ヴィクトリア等

ガス ガラス ソーダ ビール ポート マー جان

マッチ等

ただし、外来語でも「かるた」「さらさ」「たばこ」などのように、  
外来語の意識のうすくなっているものは、ひらがなで書いてよい。

- 3 動植物の名称は、常用漢字表で認めている漢字は使ってもよい。  
(一部省略)

たとえば

ねずみ らくだ いぐさ からむし等

犬 牛 馬 桑 桜等

- 4 (省略)

- (2) 常用漢字表で書き表わせないものは、次の標準によって書きかえ、  
言いかえをする。(言いかえをするときは、「1 用語について」によ  
る。)

- 1 かな書きにする。

たとえば (一部省略)

ア 遡<sup>×</sup>→さかのぼる 名<sup>×</sup>宛<sup>×</sup>→名あて 佃<sup>×</sup>煮<sup>×</sup>→つくだ煮  
脬<sup>×</sup>→はしけ

看<sup>×</sup>倣<sup>×</sup>す<sup>×</sup>→みなす 委<sup>×</sup>ねる (常用漢字表の音訓にはずれる。)→  
ゆだねる

- イ 漢語でも、漢字をはずしても意味のとおり使いなれたものは、  
そのままかな書きにする。

たとえば

でんぶん めいりょう あっせん等

- ウ 他によい言いかえがなく、または言いかえをしてはふつごうな  
ものは、常用漢字表にはずれた漢字だけをかな書きにする。

たとえば

右<sup>×</sup>舷<sup>×</sup>→右げん 改<sup>×</sup>竄<sup>×</sup>→改ざん 口<sup>×</sup>腔<sup>×</sup>→口こう

この場合、読みにくければ、音読する語では、横に点をうつ  
てもよい。(縦書きの場合)

- 2 常用漢字表中の、音が同じで、意味の似た漢字で書きかえる。

たとえば

車<sup>×</sup>輛<sup>×</sup>→車両 煽<sup>×</sup>動<sup>×</sup>→扇動 碇<sup>×</sup>泊<sup>×</sup>→停泊 編<sup>×</sup>輯<sup>×</sup>→編集  
哺<sup>×</sup>育<sup>×</sup>→保育 抛<sup>×</sup>棄<sup>×</sup>→放棄 傭<sup>×</sup>人<sup>×</sup>→用人 聯<sup>×</sup>合<sup>×</sup>→連合  
煉<sup>×</sup>乳<sup>×</sup>→練乳

- 3 同じ意味の漢語で言いかえる。

ア 意味の似ている、用い慣れたことばを使う。

たとえば (一部省略)

彙<sup>×</sup>報<sup>×</sup>→雑報 印<sup>×</sup>顆<sup>×</sup>→印形 改<sup>×</sup>悛<sup>×</sup>→改心

- イ 新しいことばをくふうして使う。

たとえば

嬰<sup>×</sup>学校<sup>×</sup>→口話学校 罹<sup>×</sup>災<sup>×</sup>救助金<sup>×</sup>→災害救助金 剪<sup>×</sup>除<sup>×</sup>→切除  
毀<sup>×</sup>損<sup>×</sup>→損傷 擾<sup>×</sup>乱<sup>×</sup>→騷乱 溢<sup>×</sup>水<sup>×</sup>→出水 譴<sup>×</sup>責<sup>×</sup>→戒告  
濱<sup>×</sup>職<sup>×</sup>→汚職

- 4 漢語をやさしいことばで言いかえる。

たとえば (一部省略)

隱<sup>×</sup>蔽<sup>×</sup>する<sup>×</sup>→隠す 庇<sup>×</sup>護<sup>×</sup>する<sup>×</sup>→かばう 牴<sup>×</sup>觸<sup>×</sup>する<sup>×</sup>→ふれる  
漏<sup>×</sup>洩<sup>×</sup>する<sup>×</sup>→漏らす 破<sup>×</sup>毀<sup>×</sup>する<sup>×</sup>→破る 酩<sup>×</sup>酊<sup>×</sup>する<sup>×</sup>→酔う  
趾<sup>×</sup>→あしゆび

- 2 かなは、ひらがなを用いることとする。かたかなは特殊な場合に用い  
る。

注1. 地名は、さしつかえのないかぎり、かな書きにしてもよい。

2. 事務用書類には、さしつかえのない限り、人名をかな書きに  
してもよい。

3. 外国の地名・人名および外来語・外国語は、かたかな書き  
にする。

4. 左横書きに用いるかなは、かたかなによることができる。

- 3 (省略)

### 3 法令の用語用字について

- 1 法令の用語用字についても、特にさしつかえのない限り、「1 用語について」および「2 用字について」に掲げた基準による。
- 2 法令の一部を改正する場合および法令名を引用する場合には、特に、次のような取り扱いをする。

#### (1) 法令の一部を改正する場合について

- 1 文語体・かたかな書きを用いている法令を改正する場合は、改正の部分が一つのまとまった形をしているときは、その部分は、口語体を用い、ひらがな書きにする。
- 2 にごり読みをすべきかなに、にごり点をつけていない法令を改正する場合は、改正の部分においては、にごり点をつける。
- 3 常用漢字表の通用字体を用いていない法令を改正する場合は、改正の部分においては、常用漢字表の通用字体を用いる。
- 4 旧かなづかいによる口語体を用いている法令を改正する場合は、改正の部分においては、現代かなづかいを用いる。

#### 5 (省略)

#### (2) 法令名を引用する場合について

題名のつけられていない法令で、件名のある法令を引用する場合には、件名の原文にかかわらずその件名をひらがなおよび現代かなづかいによる口語体を用い、漢字は、常用漢字表による。

### 4 地名の書き表わし方について

- 1 地名はさしつかえのない限り、かな書きにしてもよい。  
地名をかな書きにするときは、現地の呼び名を基準とする。ただし、地方的ななまりは改める。
- 2 地名をかな書きにするときは、現代かなづかいを基準とする。(ふりがなの場合も含む。)
- 3 特に、ジ・ヂ、ズ・ヅについては、区別の根拠のつけにくいものは、ジ・ズに統一する。

- 4 さしつかえのない限り、常用漢字表の通用字体を用いる。常用漢字表以外の漢字についても、常用漢字表の通用字体に準じた字体を用いてもよい。

### 5 人名の書き表わし方について

- 1 人名もさしつかえのない限り、常用漢字表の通用字体を用いる。
- 2 事務用書類には、さしつかえのない限り、人名をかな書きにしてもよい。人名をかな書きにするときは、現代かなづかいを基準とする。

### 第2 文体について

- 1 公用文の文体は、原則として「である」体を用いる。ただし、公告・告示・掲示の類ならびに往復文書（通達・通知・供覧・回章・伺い・願い・届け・申請書・照会・回答・報告等を含む。）の類はなるべく「ます」体を用いる。

注1. 「だ、だろう、だった」の形は、「である、であろう、であった」の形にする。

2. 「ますが、ますけれども」は、「ますが、ますけれども」とする。「ますれば、くださいませ（—まし）」の表現は用いない。

3. 打ち消しの「ぬ」は、「ない」の形にする。「ん」は、「ません」のほかは用いない。「せねば」は、「しなければ」とする。

- 2 文語脈の表現はなるべくやめて、平明なものとする。

#### 注1. 口語化の例

これが処理→その処理

せられんことを→されるよう

ごとく・ごとき→のよう・のよう

進まんとする→進もうとする

貴管下にして→貴管下で（あって）

2. 「おもなる・必要なる・平等なる」などの「なる」は、「な」とする。ただし、「いかなる」は用いてもよい。

3. 「べき」は、「用いるべき手段」「考えるべき問題」「論ずべきではない」「注目すべき現象」のような場合には用いてもよい。「べく」「べし」の形は、どんな場合にも用いない。「べき」がサ行変格活用動詞に続くときには、「するべき」としないで「すべき」とする。

4. 漢語につづく「せられる、せさせる、せぬ」の形は、「される、させる、しない」とする。「せない、せなければ」を用いず、「しない、しなければ」の形を用いる。

5. 簡単な注記や表などの中では、「あり、なし、同じ」などを用いてもよい。

例 「配偶者・・・あり」

「ムシバ・・・上1, 下なし」

「現住所・・・本籍地に同じ」

- 3 文章はなるべくくぎって短くし、接続詞や接続助詞などを用いて文章を長くすることをさける。

- 4 文の飾り、あいまいなことば、まわりくどい表現は、できるだけやめて、簡潔な、論理的な文章とする。

敬語についても、なるべく簡潔な表現とする。

注1. 時および場所の起点を示すには、「から」を用いて、「より」は用いない。「より」は、比較を示す場合にだけ用いる。

例 東京から京都まで。

午後1時から始める。

恐怖から解放される。

長官から説明があった。

2. 推量を表わすには「であろう」を用い、「う、よう」を用いない。「う、よう」は意思を表わす場合にだけ用いる。

例 役に立つであろう

そのように思われるであろうか } 推量

対等の関係に立とうとする } 意志  
思われようとして

3. 並列の「と」は、まぎらわしいときには最後の語句にもつける。

例 横浜市と東京都の南部との間

4. 「ならば」の「ば」は略さない。

- 5 文書には、できるだけ、一見して内容の趣旨がわかるように、簡潔な標題をつける。また、「通達」「回答」のような、文書の性質を表わすことばをつける。

注 例 公団の性質に関する件→公団の性質について（依命通達）

閣議付議事項の取り扱いについて→1月27日閣甲第19号第

8項の責任者について（回答）

- 6 内容に応じ、なるべく箇条書きの方法をとりいれ、一読して理解しやすい文章とする。

### 第3 書き方について

執務能率を増進する目的をもって、書類の書き方について、次のことを実行する。

- 1 一定の猶予期間を定めて、なるべく広い範囲にわたって左横書きとする。

- 2 左横書きに用いるかなは、かたかなにすることができる。

- 3 左横書きの場合は、特別の場合を除き、アラビア数字を使用する。

注1. 横書きの文書の中でも「一般に、一部分、一間（ひとま）、三月（みつき）」のような場合には漢字を用いる。

「100億、30万円」のような場合には、億・万を漢字で書くが、千・百は、たとえば「5千」「3百」としないで、「5,000」「300」と書く。

2. 日付は、場合によっては、「昭和24.4.1」のように略記してもよい。



3. 大きな数は、「5,000」「62,250円」のように三けたごとにコンマでくぎる。

4. タイプライタの活用を期するため、タイプライタに使用する漢字は、常用漢字表のうちから選んださらに少数の常時必要なものに限り、それ以上の漢字を文字盤から取り除くことなどに努める。ぜひとも文字盤にない漢字を使用する必要がある場合には、手書きする。

5. 人名・件名の配列は、アイウエオ順とする。

注1. 文の書き出しおよび行を改めたときには1字さげて書き出す。

2. 句読点は、横書きでは「、」および「。」を用いる。

事物を列挙するときには「・」（なかてん）を用いることができる。

3. 同じ漢字をくりかえすときには「々」を用いる。

4. 項目の細別は、たとえば次のような順序を用いる。

(横書きの場合) 第1 { 1 { (1) { ア { (ア)  
第2 { 2 { (2) { イ { (イ)  
第3 { 3 { (3) { ウ { (ウ)

(縦書きの場合) 第一 { 一 { (一) { (1) { ア  
第二 { 二 { 2 { (二) { (2) { イ  
第三 { 三 { 3 { (三) { (3) { ウ

5. 文書のあて名は、たとえば「東京都知事殿」「文部大臣殿」のように官職名だけを書いて、個人名は省くことができる。

## ○法令における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記について

内閣法制局総発第125号  
昭和63年7月20日

法務大臣官房秘書課 殿

内閣法制局長官総務室

法令における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記について（通知）

標記の件については、従来原則として大書きにすることが慣行になつていところ、「現代仮名遣い」において「なるべく小書きにする」ものとされていることにもかんがみ、当局における取扱いを別紙のとおりとすることに決定しましたので、参考までにお知らせします。

別紙

(法令審査例規)

(昭63・7・18 決裁)

法令における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記について

一 法令における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記については、次に掲げる規定の部分を除き、昭和63年12月に招集される通常国会に提出する法律及び昭和64年1月以後の最初の閣議に提案する政令（以下「新基準法令」という。）から、小書きにする。

1 新基準法令以外の法律又は政令（以下「旧基準法令」という。）の一部を改正する場合において、その施行時に旧基準法令の一部として溶け込む部分

2 旧基準法令の規定を読み替えて適用し、又は準用する規定における読替え後の部分

3 漢字に付ける振り仮名の部分

二 条約についても、一に準ずる取扱いとする。

三 一及び二は、固有名詞を対象とするものではない。

(備考) (1) 一の実施により、法律に用いられている語と当該法律に基づく政令に用いるこれと同一の語とが書き表し方において異なることとなっても差し支えない。

(2) 旧基準法令の一部を改正する場合又は読替え適用若しくは読替え準用を規定する場合に旧基準法令の規定の一部を引用するときは、その表記により引用することは当然である。

(3) 旧基準法令において例外的に小書きを用いている場合には、一1は適用せず、当該旧基準法令の表記に従って改正する。

(4) 小書きにした「や、ゆ、よ、つ」は、タイプ又は印刷の配字の上では一文字分として取り扱うものとし、(注)に示すように、上下の中心に置き、右端を上下の字の線にそろえる。

(5) 拗音及び促音に用いるカタカナの「ヤ、ユ、ヨ、ツ」については従来から原則として小書きが行われてきており、今後も従来どおりの取扱いとする。

(注) (略)

法令における拗音及び促音

○内閣に係る公用文における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記について

内閣閣第145号  
昭和63年9月1日

法務大臣官房秘書課長殿

内閣官房内閣参事官室  
首席内閣参事官

内閣に係る公用文における拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」の表記について

表記について、従来、大書きにするか小書きにするか、必ずしも統一されておりましたが、「現代仮名遣い」の実施について(昭和61年内閣訓令第1号)において「なるべく小書きにする」とされていること、及び法令について、昭和63年7月20日付け内閣法制局総発第125号をもって内閣法制局から通知がなされていることにかんがみ、次期通常国会以降、内閣から国会に提出する報告書等、及び昭和64年1月以降、閣議に付議する案件は、漢字に付ける振り仮名(ルビ)を除き、拗音及び促音に用いる「や・ゆ・よ・つ」はすべて小書きとすることといたしますので、よろしく御協力願います。

## ○国民にわかりやすい適切な用語の使用について（依命通知）

平成12年1月25日秘総第82号  
法務大臣官房秘書課長から本省局  
部課長、法務総合研究所長、公安  
審査委員会委員長、公安調査庁長  
官あて

標記については、内閣官房副長官から別添のとおり通知がありましたので、各局部課等においては、その趣旨を踏まえ、国民にわかりやすい適切な用語の使用について徹底願います。

別添

国民にわかりやすい適切な用語の使用について

平成12年1月20日  
内閣官房副長官から各省庁事務次官あて

本日、第147回国会が開会し、今後予算や法案等の審議が進められていくこととなりますが、今般、与党から、予算や法案、各種施策等の説明資料において一般に通用していない外国語や造語（横文字等）の使用が見られ、極めて不適切であるとの指摘がありました。

つきましては、各省庁におかれては、各種文書の作成に当たり、上記の趣旨を踏まえ、国民にわかりやすい適切な用語の使用を徹底するようお願いいたします。

## 3 同音漢字，異字同訓漢字関係

※編注 平成22年内閣告示第2号をもって「常用漢字表」が告示されたことにより、内容の一部に変更があるが、読替え等を行わず、そのまま掲載した。

### ○同音の漢字による書きかえ

（昭和31年7月5日第32回国語審議会総会において文部大臣に報告）

「同音の漢字による書きかえ」について（報告）

国語審議会は、当用漢字の適用を円滑にするため、当用漢字表にない漢字を含んで構成されている漢語を処理する方法の一つとして、表中同音の別の漢字に書きかえることを審議し、その結果、別紙「同音の漢字による書きかえ」を決定した。

当用漢字を使用する際、これが広く参考として用いられることを希望する。

同音の漢字による書きかえ

- 1 当用漢字の使用を円滑にするため、当用漢字表以外の漢字を含んで構成されている漢語を処理する方法の一つとして、表中同音の別の漢字に書きかえることが考えられる。ここには、その書きかえが妥当であると認め、広く社会に用いられることを希望するものを示した。
- 2 同字で、単に字体の異なるだけのものも掲げてある。  
(例 糺<sup>×</sup>明 → 糾<sup>×</sup>明)
- 3 字音の中には、いわゆる慣用音によったものもある。  
(例 撒<sup>×</sup>水 → 散<sup>×</sup>水)

矢印の左は当用漢字表にない漢字で書かれる漢語、右は書きかえである。

1字のものは、左の字は右の字に書きかえてさしつかえないことを示す。

(法) 法令用語改正例

国語審議会建議

(物) 学術用語集 (物理学編)

文部省編

(土) 〃 (土木工学編)

(鉱) 〃 (採鉱や金学編)

(化) 〃 (化学編)

(船) 〃 (船舶工学編)

(建) 〃 (建築学編)

(医) 医学用語集 (第一次選定) 日本医学会用語整理委員会編

よび現在文部省学術用語分科審議会医学用語専門部会で採用のもの。

×……………当用漢字表にない漢字 ([編注] その後の「常用漢字表」(昭和56年10月1日付け内閣告示第1号) の制定に伴い、常用漢字表に掲げる漢字になったものについては、○印を付した)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

同音の漢字による書きかえ

潰	減	→	壊	減	稀	積	→	希	積	漁	撈	→	漁	勞
潰	乱	→	壊	乱	稀	少	→	希	少	稀	硫酸	→	希	硫酸
廻	廊	→	回	廊	微	章	→	記	章	技	倆	→	技	量
火	焔	→	火	炎	奇	蹟	→	奇	跡	吟	誦	→	吟	唱
劃	→	画			奇	稀	代	→	希	代				
廓	→	郭			綺	談	→	奇	談					
劃	然	→	画	然	機	智	→	機	知					
廓	大	→	郭	大	吃	水	→	喫	水					
格	闊	→	格	闊	稀	薄	→	希	薄					
劃	期的	→	画	期的	紮	→	糾							
活	潑	→	活	発	紮	彈	→	糾	彈					
旱	害	→	干	害	紮	明	→	糾	明					
間	歇	→	間	欠	旧	蹟	→	旧	跡					
管	絃	→	管	弦	駁	兇	→	凶	兇					
肝	腎	→	肝	心	兇	惡	→	凶	惡					
旱	天	→	干	天	兇	惡	→	凶	惡					
乾	溜	→	乾	留	兇	惡	→	凶	惡					
				(化)										
				き										
				奇										
				希										
				炎										
				飢										
				企										
				奇										
				希										
				元素										

ち

→ 扇 情  
→ 洗 淨  
(法)(医)  
→ 戰 々 恐 々  
→ 船 倉  
(船)  
→ 先 端  
→ 專 断  
→ 扇 動  
→ 戰 没  
そ  
→ 阻  
→ 総  
→ 象 眼  
→ 倉 皇  
→ 総 合  
→ 相 克  
→ 総 菜  
( ) 装 丁  
→ 掃 滅  
→ 族 生  
→ 阻 止  
→ 疎 水  
→ 阻 喪  
→ 疎 通  
→ 疎 明  
(法)

情×滌×競×艚端斷動×歿  
 燭洗戰船×尖×擅×燭戰  
 象×蒼×綜相×惣裝×剿×簇×沮×疏×沮×疏×疏  
 沮×惣嵌×惶合×剋菜×頓減生止水喪通明

書	翰	→	書	簡
蝕	甚	→	食	盡
食	慾	→	食 <sub>(医)</sub>	欲
抒	情	→	叙	情
試	煉	→	試	練
鍼	術	→	針	術
侵	蝕	→	侵	食
浸	蝕	→	浸 <sub>(法)</sub>	食
真	蹟	→	真	跡 <sub>(化)</sub>
伸	暢	→	伸	長
滲	透	→	浸	透
侵	掠	→	侵	略
訊	問	→	尋	問
			す	
衰	頹	→	衰	退
			せ	
制	馭 <sub>(禦)</sub>	→	制	御
棲	栖 <sub>(栖)</sub>	→	生	息
性	慾	→	性	欲
	蹟	→		跡 <sub>(医)</sub>
絶	讚	→	絶	賛
尖	銳	→	先	銳
全	潰	→	全	壞
銓	衡	→	選	考

史	蹟	→	史	跡
屍	體	→	死	體
七	顛	→	七	轉
死	殍	→	死	沒
射	倖	→	射	幸
車	輻	→	車	兩
	洲	→		州
	輯	→		集
蒐	荷	→	集	荷
蒐	集	→	收	集
終	熄	→	終	息
聚	落	→	集	落
手	蹟	→	手	跡
駿	才	→	俊	才
	陞	→		昇
	銷	→		消
銷	夏	→	消	夏
銷	却	→	消	却
障	碍	→	障	害
情	誼	→	情	義
稱	讚	→	稱	贊
陞	叙	→	昇	叙
焦	躁	→	焦	燥
銷	沈	→	消	沈
牆	壁	→	障	壁
蒸	溜	→	蒸	溜

[illegible]

×儼	然	→	嚴	然
			二	
×倖	×宏	→	幸	広
×礦		→	広	鉦
×驢	業	→	交	欲
×礦	骨	→	鉦	業
×鯁	×又	→	硬	骨
交	除	→	交	差
×扣	生	→	(法)控	(法)除
×甦	石	→	更	生
×礦	石	→	鉦	石
×宏	壯	→	(鉦)広	壯
×宏	大	→	広	大
×奠	典	→	香	典
×昂	騰	→	高	騰
×汎	範	→	広	範
×亢	奮	→	興	奮
×弘	報	→	広	報
×曠	野	→	(法)広	(法)野
×昂	揚	→	高	揚
×慾	欲	→	強	欲
×懣	和	→	講	和
×涸	渴	→	枯	渴
古	稀	→	古	希

沈<sup>×</sup>澱 → 沈<sup>股</sup>  
(化)  
て  
×<sup>低</sup>×<sup>徊</sup> → 低<sup>回</sup>  
×<sup>抵</sup>×<sup>(抵)</sup>触 → 抵<sup>触</sup>  
(法)  
×<sup>鄭</sup>×<sup>重</sup> → 丁<sup>重</sup>  
×<sup>叮</sup>×<sup>寧</sup> → 丁<sup>寧</sup>  
×<sup>淀</sup>×<sup>泊</sup> → 停<sup>泊</sup>  
×<sup>手</sup>×<sup>帖</sup> → 手<sup>帳</sup>  
×<sup>顛</sup>×<sup>倒</sup> → 転<sup>倒</sup>  
×<sup>顛</sup>×<sup>覆</sup> → 転<sup>覆</sup>  
(法)  
と  
×<sup>蹈</sup> → 踏  
×<sup>潰</sup> → 倒<sup>壊</sup>  
×<sup>蹈</sup>×<sup>製</sup> → 踏<sup>襲</sup>  
×<sup>特</sup>×<sup>輯</sup> → 特<sup>集</sup>  
×<sup>杜</sup>×<sup>絶</sup> → 途<sup>絶</sup>  
に  
×<sup>日</sup>×<sup>蝕</sup> → 日<sup>食</sup>  
は  
×<sup>悖</sup>×<sup>德</sup> → 背<sup>德</sup>  
×<sup>破</sup>×<sup>毀</sup> → 破<sup>棄</sup>  
×<sup>曝</sup>×<sup>露</sup> → 暴<sup>露</sup>  
(法)

破<sup>×</sup>摧 → 破<sup>碎</sup>  
×<sup>醞</sup>×<sup>醇</sup> → 発<sup>酵</sup>  
×<sup>薄</sup>×<sup>倖</sup> → 薄<sup>幸</sup>  
×<sup>拔</sup>×<sup>萃</sup> → 拔<sup>粹</sup>  
×<sup>叛</sup> → 反  
×<sup>叛</sup>×<sup>旗</sup> → 反<sup>旗</sup>  
×<sup>叛</sup>×<sup>逆</sup> → 反<sup>逆</sup>  
×<sup>蕃</sup>×<sup>殖</sup> → 繁<sup>殖</sup>  
×<sup>蕃</sup>×<sup>族</sup> → 蛮<sup>族</sup>  
(法)  
×<sup>反</sup>×<sup>撥</sup> → 反<sup>発</sup>  
×<sup>叛</sup>×<sup>乱</sup> → 反<sup>乱</sup>  
ひ  
×<sup>蜚</sup>×<sup>語</sup> → 飛<sup>語</sup>  
×<sup>筆</sup>×<sup>蹟</sup> → 筆<sup>跡</sup>  
×<sup>病</sup>×<sup>殍</sup> → 病<sup>没</sup>  
ふ  
×<sup>諷</sup>×<sup>刺</sup> → 風<sup>刺</sup>  
×<sup>腐</sup>×<sup>蝕</sup> → 腐<sup>食</sup>  
×<sup>符</sup>×<sup>牒</sup> → 符<sup>丁</sup>  
×<sup>物</sup>×<sup>慾</sup> → 物<sup>欲</sup>  
×<sup>腐</sup>×<sup>爛</sup> → 腐<sup>乱</sup>  
へ  
×<sup>篇</sup> → 編

辺<sup>×</sup>疆 → 辺<sup>境</sup>  
×<sup>編</sup>×<sup>輯</sup> → 編<sup>集</sup>  
ほ  
×<sup>輔</sup> → 補  
×<sup>哺</sup>×<sup>育</sup> → 保<sup>育</sup>  
×<sup>崩</sup>×<sup>潰</sup> → 崩<sup>壊</sup>  
×<sup>妨</sup>×<sup>碍</sup> → 妨<sup>害</sup>  
×<sup>拋</sup>×<sup>棄</sup> → 放<sup>棄</sup>  
(法)  
×<sup>防</sup>×<sup>禦</sup> → 防<sup>御</sup>  
×<sup>縹</sup>×<sup>帶</sup> → 包<sup>帶</sup>  
(医)  
×<sup>龐</sup>×<sup>大</sup> → 膨<sup>大</sup>  
×<sup>庖</sup>×<sup>丁</sup> → 包<sup>丁</sup>  
×<sup>拋</sup>×<sup>物</sup>線 → 放<sup>物</sup>線  
(物)  
×<sup>輔</sup>×<sup>佐</sup> → 補<sup>佐</sup>  
×<sup>鋪</sup>×<sup>装</sup> → 鋪<sup>装</sup>  
×<sup>殍</sup> → 没  
×<sup>輔</sup>×<sup>導</sup> → 補<sup>導</sup>  
×<sup>保</sup>×<sup>姆</sup> → 保<sup>母</sup>  
ま  
○<sup>磨</sup>×<sup>滅</sup> → 摩<sup>滅</sup>  
(土)  
む  
×<sup>智</sup>×<sup>慾</sup> → 無<sup>知</sup>  
×<sup>無</sup>×<sup>慾</sup> → 無<sup>欲</sup>

め  
×<sup>名</sup>×<sup>譽</sup>慾 → 名<sup>譽</sup>欲  
×<sup>棉</sup>×<sup>花</sup> → 綿<sup>花</sup>  
も  
×<sup>摸</sup> → 模  
×<sup>妄</sup>×<sup>動</sup> → 盲<sup>動</sup>  
×<sup>摸</sup>×<sup>索</sup> → 模<sup>索</sup>  
や  
×<sup>野</sup>×<sup>鄙</sup> → 野<sup>卑</sup>  
よ  
×<sup>熔</sup>×<sup>鎔</sup> → 溶  
×<sup>鎔</sup>×<sup>解</sup> → 溶<sup>解</sup>  
×<sup>熔</sup>×<sup>岩</sup> → 溶<sup>(鉍)</sup>岩  
×<sup>鎔</sup>×<sup>鉍</sup>炉 → 溶<sup>(鉍)</sup>鉍炉  
×<sup>熔</sup>×<sup>接</sup> → 溶<sup>(鉍)</sup>接  
(船)  
×<sup>慾</sup> → 欲  
ら  
×<sup>落</sup>×<sup>磐</sup> → 落<sup>盤</sup>  
(鉍)  
(法)  
り  
×<sup>理</sup>×<sup>窟</sup> → 理<sup>屈</sup>

×<sup>惻</sup>×<sup>理</sup> → 利<sup>口</sup>  
×<sup>巧</sup>×<sup>智</sup> → 理<sup>知</sup>  
×<sup>離</sup>×<sup>叛</sup> → 離<sup>反</sup>  
×<sup>掠</sup> → 略  
×<sup>掠</sup>×<sup>奪</sup> → 略<sup>奪</sup>  
×<sup>徕</sup>×<sup>謠</sup> → 里<sup>謠</sup>  
×<sup>諒</sup>×<sup>輻</sup> → 了<sup>両</sup>  
×<sup>諒</sup>×<sup>輻</sup> → 了<sup>解</sup>  
×<sup>諒</sup>×<sup>承</sup> → 了<sup>承</sup>  
×<sup>諒</sup>×<sup>廓</sup> → 輪<sup>郭</sup>  
れ  
×<sup>聯</sup> → 連  
×<sup>連</sup>×<sup>繫</sup> → 連<sup>係</sup>  
×<sup>聯</sup>×<sup>合</sup> → 連<sup>合</sup>  
×<sup>連</sup>×<sup>坐</sup> → 連<sup>座</sup>  
×<sup>聯</sup>×<sup>想</sup> → 連<sup>想</sup>  
×<sup>聯</sup>×<sup>珠</sup> → 連<sup>珠</sup>  
×<sup>聯</sup>×<sup>炭</sup> → 練<sup>炭</sup>  
(化)  
×<sup>煉</sup>×<sup>乳</sup> → 練<sup>乳</sup>  
(医)  
×<sup>聯</sup>×<sup>邦</sup> → 連<sup>邦</sup>  
×<sup>聯</sup>×<sup>盟</sup> → 連<sup>盟</sup>  
×<sup>聯</sup>×<sup>絡</sup> → 連<sup>絡</sup>  
×<sup>聯</sup> → 連<sup>立</sup>

わ  
×<sup>彎</sup> → 湾  
×<sup>彎</sup>×<sup>曲</sup> → 湾<sup>曲</sup>  
(法)  
×<sup>彎</sup>×<sup>入</sup> → 湾<sup>入</sup>

## ○「異字同訓」の漢字の用法

(昭和47年6月28日)  
(国語審議会漢字部会資料)

- 1 この表は、同音で意味の近い語が、漢字で書かれる場合、その慣用上の使い分けの大体を、用例で示したものである。
  - 2 その意味を表すのに、二つ以上の漢字のどちらを使うかが一定せず、どちらを用いてもよい場合がある。又、一方の漢字が広く一般的に用いられるのに対して、他方の漢字はある限られた範囲にしか使われないものもある。
  - 3 その意味を表すのに、適切な漢字のない場合、又は漢字で書くことが適切でない場合がある。このときは、当然仮名で書くことになる。  
(編注)「常用漢字表」(昭和56年10月1日付け内閣告示第1号)の制定に伴い、必要な読替え等を行った。
- ※編注 平成22年内閣告示第2号をもって告示された「常用漢字表」については、読替え等を行っていない。

### あう

合う——計算が合う。目が合う。服が体に合う。好みに合う。割に合わない仕事。駅で落ち合う。

会う——客と会う時刻。人に会いに行く。

遭う——災難に遭う。にわか雨に遭う。

### あがる・あげる

上がる・上げる——地位が上がる。物価が上がる。腕前を上げる。お祝いの品物を上げる。

揚がる・揚げる——花火が揚がる。歓声が揚がる。たこを揚げる。船荷を揚げる。てんぶらを揚げる。

挙げる——例を挙げる。全力を挙げる。国を挙げて。犯人を挙げる。

## 「異字同訓」の漢字の用法

### あく・あける

明く・明ける——背の明いた服。夜が明ける。

空く・空ける——席が空く。空き箱。家を空ける。時間を空ける。

開く・開ける——幕が開く。開いた口がふさがらない。店を開ける。窓を開ける。

### あし

足——足の裏。手足。足しげく通う。客足。

脚——机の脚(足)。えり脚(足)。船脚(足)。

### あたい

価——価が高くて買えない。商品に価を付ける。

値——そのものの値。未知数 $x$ の値を求める。称賛に値する。

### あたたかい・あたたかだ・あたたまる・あたためる

暖かい・暖かだ・暖まる・暖める——暖かい心。暖かな毛布。暖まった空気。室内を暖める。

温かい・温かだ・温まる・温める——温かい料理。温かな家庭。心温まる話。スープを温める。

### あたる・あてる

当たる・当てる——ボールが体に当たる。任に当たる。予報が当たる。出発に当たって。胸に手を当てる。日光に当てる。当て外れ。

充てる——建築費に充(当)てる。保安要員に充(当)てる。

### あつい

暑い——今年の夏は暑い。暑い部屋。暑がり屋。

熱い——熱い湯。

厚い——厚い壁で隔てる。支持者の層が厚い。手厚いもてなし。

### あと

跡——足の跡。苦心の跡が見える。容疑者の跡を追う。跡目を継ぐ。

後——後の祭り。後を頼んで行く。後から行く。後になり先になり。

### あぶら

油——油を流したような海面。ごまの油で揚げる。水と油。火に油を注ぐ。

脂——脂が乗る年ごろ。牛肉の脂。脂ぎった顔。

あやまる

誤る——適用を誤る。誤りを見付ける。

謝る——謝って済ます。手落ちを謝る。

あらい

荒い——波が荒い。気が荒い。金遣いが荒い。

粗い——網の目が粗い。きめが粗い。仕事が粗い。

あらわす・あらわれる

表す・表れる——言葉に表す。喜びを顔に表す。喜びの表れ。

現す・現れる——姿を現す。太陽が現れる。怪獣が現れる。

著す——書物を著す。

ある

有る——財源が有る。子が有る。有り合わせ。有り金。有様。

在る——日本はアジアの東に在る。在り方。

あわせる

合わせる——手を合わせて拝む。時計を合わせる。調子を合わせる。力を合わせる。

併せる——二つの会社を併せる。両者を併せて考える。併せて健康を祈る。

いたむ・いためる

痛む・痛める——足が痛む。腰を痛める。

傷む・傷める——家が傷む。傷んだ果物。建物を傷める。

悼む——死を悼む。故人を悼む。

いる

入る——念の入った話。気に入る。仲間入り。恐れ入る。

要る——金が要る。保証人が要る。親の承諾が要る。何も要らない。

うける

受ける——注文を受ける。命令を受ける。保護を受ける。相談を受ける。

請ける——請け負う。下請け。

うつ

打つ——くぎを打つ。碁を打つ。電報を打つ。心を打つ話。打ち消す。

討つ——賊を討つ。義士の討ち入り。相手を討ち取る。

撃つ——鉄砲を撃つ。いのししを猟銃で撃つ。

うつす・うつる

写す・写る——書類を写す。写真を写す。風景を文章に写す。写真の中央に写っている人。

映す・映る——幻灯を映す。スクリーンに映す。壁に影が映る。鏡に姿が映る。着物がよく映る。

うむ・うまれる

生む・生まれる——新記録を生む。傑作を生む。下町生まれ。京都に生まれる。

産む・産まれる——卵を産み付ける。産みの苦しみ。産み月。予定日が来てもなかなか産まれない。

うれしい・うれえ

憂い・憂え——後顧の憂い(え)。災害を招く憂い(え)がある。

愁い——春の愁い。愁いに沈む。

える

得る——勝利を得る。許可を得る。得物を振り回す。

獲る——獲物をねらう。

おかす

犯す——過ちを犯す。法を犯す。

侵す——権利を侵(犯)す。国境を侵(犯)す。

冒す——危険を冒す。激しい雨を冒して行く。



おくる

送る——荷物を送る。卒業生を送る。順に席を送る。送り状。  
贈る——お祝いの品を贈る。感謝状を贈る。故人に位を贈る。

おくれる

遅れる——完成が遅れる。列車が遅れる。会合に遅れる。  
後れる——気後れする。人に後れを取る。後れ毛。

おこす・おこる

起こす・起こる——体を起こす。訴訟を起こす。朝早く起こす。事件  
が起こる。持病が起こる。物事の起こり。  
興す・興る——産業を興す。国が興る。

おさえる

押さえる——紙の端を押さえる。証拠を押さえる。要点を押さえる。差  
し押さえる。

抑える——物価の上昇を抑える。要求を抑える。怒りを抑える。

おさまる・おさめる

収まる・収める——博物館に収まる。争いが収まる。効果を収める。成  
功を収める。目録に収める。  
納まる・納める——品物が納まった。国庫に納まる。税を納める。注文  
の品を納める。  
治まる・治める——国内がよく治まる。痛みが治まる。領地を治める。  
修まる・修める——身持ちが修まらない。学を修める。

おす

押す——ベルを押す。横車を押す。押し付けがましい。  
推す——会長に推す。推して知るべしだ。

おどる

踊る——リズムに乗って踊る。踊らされて動く。盆踊り。踊り子。  
躍る——馬が躍り上がる。小躍りして喜ぶ。胸が躍る。

おもて

表——表と裏。表で遊ぶ。表向き。

面——面も振らずまっしぐらに。矢面に立つ。

おりる・おろす

降りる・降ろす——電車を降りる。高所から飛び降りる。月面に降り  
立つ。霜が降りる。次の駅で降ろして下さい。主役から降ろさ  
れた。

下りる・下ろす——幕が下りる。錠が下りる。許可が下りる。枝を下ろ  
す。貯金を下ろす。

卸す——小売りに卸す。卸値。棚卸し。

かえす・かえる

返す・返る——もとの持ち主に返す。借金を返す。恩返し。貸した金  
が返る。正気に返る。返り咲き。

帰す・帰る——親もとへ帰す。故郷へ帰る。帰らぬ人となる。帰り道。

かえりみる

顧みる——過去を顧みる。顧みて他を言う。

省みる——自らを省みる。省みて恥じるところがない。

かえる・かわる

変える・変わる——形を変える。観点を変える。位置が変わる。心変  
わりする。声変わり。変わり種。

換える・換わる——物を金に換える。名義を書き換える。車を乗り換  
える。金に換わる。

替える・替わる——振り替える。替え地。替え歌。二の替わり。入れ替  
わる。社長が替わる。

代える・代わる——書面をもってあいさつに代える。父に代わって言  
う。身代わりになる。

かおる

薫る——風薫る。

香り——茶の香り。

かかる・かける

掛かる・掛ける——迷惑が掛かる。腰を掛ける。保険を掛ける。壁掛け。掛け売り。

懸かる・懸ける——月が中天に懸かる。優勝が懸かる。賞金を懸ける。命を懸けて。

架かる・架ける——橋が架かる。橋を架ける。電線を架ける。  
係る——本件に係る訴訟。係り結び。係員。

かけ

陰——山の陰。陰の声。陰口を利く。

影——障子に影が映る。影を隠す。影も形もない。影が薄い。

かた

形——自由形。跡形もなく。

型——型にはまる。1970年型。血液型。鋳型。

かたい

堅い——堅い材木。堅炭。手堅い商売。

固い——団結が固い。固練り。頭が固い。固く信じる。

硬い——硬い石。硬い表現。

かわ

皮——皮をはぐ。とらの皮。木の皮。面の皮。化けの皮。

革——革の靴。なめし革。

かわく

乾く——空気が乾く。干し物が乾く。乾いた土。

渴く——のどが渴く。渴きを覚える。

きく

聞く——物音を聞いた。話し声を聞く。うわさを聞く。聞き流しにする。

聴く——音楽を聴く。国民の声を聴く。

きく

効く——薬が効く。宣伝が効く。効き目がある。

利く——左手が利く。目が利く。機転が利く。

きわまる・きわめる

窮まる・窮める——進退窮まる。窮まりなき宇宙。真理を窮（究）める。

極まる・極める——不都合極まる言動。山頂を極める。栄華を極める。  
見極める。極めて優秀な成績。

究める——学を究（窮）める。

くら

倉——倉敷料。倉荷証券。

蔵——蔵座敷。蔵払い。

こえる・こす

越える・越す——山を越える。峠を越す。年を越す。引越す。

超える・超す——現代を超（越）える。人間の能力を超（越）える。百万円を超（越）える額。一千万人を超（越）す人口。

こおる・こおり

凍る——湖水が凍る。土が凍る。

氷——氷が張った。氷をかく。氷砂糖。

さがす

捜す——うちの中を捜す。犯人を捜す。

探す——空き家を探（捜）す。あらしを探（捜）す。

さく

裂く——布を裂く。仲を裂く。引き裂く。

割く——時間を割く。紙面を割く。人手を割く。

さげる

下げる——値段を下げる。軒を下げる。

提げる——手に提げる。手提げかばん。

さす

差す——腰に刀を差す。傘を差す。差しつ差されつ。行司の差し違え。

抜き差しならぬ。差し支え。差し出す。

指す——目的地を指して進む。名指しをする。指し示す。

刺す——人を刺す。布を刺す。本塁で刺される。とげが刺さる。

挿す——かんざしを挿す。花瓶に一輪の菊を挿す。挿絵。挿し木。

さます・さめる

覚ます・覚める——太平の眠りを覚ます。迷いを覚ます。目が覚める。

寝覚めが悪い。

冷ます・冷める——湯冷まし。湯が冷める。料理が冷める。熱が冷める。

しずまる・しずめる

静まる・静める——心が静まる。あらしが静まる。鳴りを静める。気を静める。

鎮まる・鎮める——内乱が鎮まる。反乱を鎮める。痛みを鎮める。

沈める——船を沈める。

しぼる

絞る——手ぬぐいを絞る。絞り染め。

搾る——乳を搾る。搾り取る。

しまる・しめる

締まる・締める——ひもが締まる。引き締まった顔。帯を締める。ねじ

を締める。心を引き締める。申し込みの締め切り。

絞まる・絞める——首が絞まる。首を絞める。羽交い絞め。

閉まる・閉める——戸が閉まる。ふたを閉める。店を閉める。

すすめる

進める——前へ進める。時計を進める。交渉を進める。

勧める——入会を勧める。転地を勧める。

薦める——候補者として薦める。

する

刷る——名刺を刷る。刷り物。

擦る——転んでひざを擦りむく。擦り傷。洋服が擦り切れる。

そう

沿う——川沿いの家。線路に沿って歩く。

添う——影の形に添うように。連れ添う。付き添い。

そなえる・そなわる

備える・備わる——台風に備える。調度品を備える。老後の備え。必

要品はすべて備わっている。人徳が備わる。

供える——お神酒を供える。お供え物。

たえる

堪える——任に堪える。鑑賞に堪えない。遺憾に堪えない。

耐える——重圧に耐（堪）える。風雪に耐（堪）える。困苦欠乏に耐（堪）える。

たずねる

尋ねる——道を尋ねる。由来を尋ねる。尋ね人。

訪ねる——知人を訪ねる。史跡を訪ねる。明日お訪ねします。

たたかう

戦う——敵と戦う。

闘う——病氣と闘う。

たつ

断つ——退路を断つ。快刀乱麻を断つ。茶断ち。

絶つ——命を絶つ。縁を絶つ。消息を絶つ。後を絶たない。

裁つ——布地を裁つ。紙を裁つ。裁ちばさみ。

たつ・たてる

立つ・立てる——演壇に立つ。席を立つ。使者に立つ。危機に立つ。見

通しが立つ。うわさが立つ。立ち合う。柱を立てる。計画を立てる。

手柄を立てる。顔を立てる。立て直す。

建つ・建てる——家が建つ。ビルを建てる。銅像を建てる。建て前。

たっとい・とうとい

尊い——尊い神。尊い犠牲を払う。

貴い——貴い資料。貴い体験。

たま

玉——玉にきず。目の玉。玉を磨く。

球——電気の球。球を投げる。

弾——ピストルの弾。

つかう

使う——機械を使って仕事をする。重油を使う。

遣う——気遣う。心遣い。小遣い銭。仮名遣い。

つく・つける

付く・付ける——墨が顔に付く。味方に付く。利息が付く。名を付ける。気を付ける。条件を付ける。付け加える。

着く・着ける——席に着く。手紙が着く。東京に着く。船を岸に着ける。仕事に手を着ける。衣服を身に着ける。

就く・就ける——床に就く。緒に就く。職に就く。役に就ける。

つぐ

次ぐ——事件が相次ぐ。富士山に次ぐ山。取り次ぐ。次の間。

継ぐ——布を継ぐ。跡を継ぐ。引き継ぐ。継ぎ目。継ぎを当てる。

接ぐ——木を接ぐ。骨を接ぐ。接ぎ木。

つくる

作る——米を作る。規則を作る。小説を作る。まぐろを刺身に作る。生け作り。

造る——船を造る。庭園を造る。酒を造る。

つつしむ

慎む——身を慎む。酒を慎む。言葉を慎む。

謹む——謹んで聞く。謹んで祝意を表する。

つとめる

努める——完成に努める。解決に努める。努めて早起きする。

勤める——会社に勤める。永年勤め上げた人。本堂でお勤めをする。勤め人。

務める——議長を務める。主役を務める。主婦の務めを果たす。

とく・とける

解く・解ける——結び目を解く。包囲を解く。問題を解く。会長の任を解かれる。ひもが解ける。雪解け。疑いが解ける。

溶く・溶ける——絵の具を溶く。砂糖が水に溶ける。地域社会に溶け込む。

ととのう・ととのえる

整う・整える——整った文章。隊列を整える。身辺を整える。調子を整える。

調う・調える——嫁入り道具が調う。晴れ着を調える。味を調える。費用を調える。

とぶ

飛ぶ——鳥が空を飛ぶ。アフリカに飛ぶ。うわさが飛ぶ。海に飛び込む。家を飛び出す。飛び石。

跳ぶ——みぞを跳ぶ。三段跳び。跳びはねる。

とまる・とめる

止まる・止める——交通が止まる。水道が止まる。笑いが止まらない。息を止める。通行止め。

留まる・留める——小鳥が木の枝に留(止)まる。ボタンを留める。留め置く。書留。

泊まる・泊める——船が港に泊まる。宿直室に泊まる。友達を家に泊める。

とる

取る——手に取る。着物の汚れを取る。資格を取る。メモを取る。連絡を取る。年を取る。

採る——血を採る。高校の卒業生を採る。会議で決を採る。

執る——筆を執る。事務を執る。式を執り行う。

捕る——ねずみを捕る。生け捕る。捕り物。

撮る——写真を撮る。映画を撮る。

ない

無い——金が無い。無い物ねだり。

亡い——亡き父をしのぶ。

なおす・なおる

直す・直る——誤りを直す。機械を直す。服装を直す。故障を直す。ゆがみが直る。

治す・治る——風邪を治(直)す。けがが治(直)る。治(直)らない病氣。

なか

中——箱の中。両者の中に入る。

仲——仲がいい。仲を取り持つ。仲働き。

ながい

長い——長い髪の毛。長い道。気が長い。枝が長く伸びる。

永い——ついに永い眠りに就く。永の別れ。末永く契る。

ならう

習う——先生にピアノを習う。見習う。

倣う——前例に倣う。

のせる・のる

乗せる・乗る——母を飛行機に乗せて帰す。電波に乗せる。計略に乗せる。電車に乗って行く。馬に乗る。風に乗って飛ぶ。時流に乗る。相談に乗る。

載せる・載る——自動車に貨物を載せる。棚に本を載せる。雑誌に広告を載せる。机に載っている本。新聞に載った事件。

のばす・のびる

伸ばす・伸びる——手足を伸ばす。勢力を伸ばす。草が伸びる。身長が伸びる。学力が伸びる。伸び伸びと育つ。

延ばす・延びる——出発を延ばす。開会を延ばす。地下鉄が郊外まで延びる。寿命が延びる。支払いが延び延びになる。

のぼる

上る——水銀柱が上る。損害が一億円に上る。川を上る。坂を上る。上り列車。

登る——山に登る。木に登る。演壇に登る。

昇る——日が昇(上)る。天に昇(上)る。

はえ・はえる

映え・映える——夕映え。紅葉が夕日に映える。

栄え——栄えある勝利。見事な出来栄え。見栄えがする。

はかる

図る——合理化を図る。解決を図る。便宜を図る。

計る——時間を計る。計り知れない恩恵。まんまと計られる。

測る——水深を測る。標高を測る。距離を測る。面積を測る。測定器で測る。

量る——目方を量る。升で量る。容積を量る。

謀る——暗殺を謀る。悪事を謀る。

諮る——審議会に諮る。

はじまる・はじめ・はじめて・はじめる

初め・初めて——初めこう思った。初めての経験。

始まる・始め・始める——会が始まる。始めと終わり。御用始め。仕事を始める。

はな

花——花も実もない。花の都。花形。

華——華やか。華々しい。

はなす・はなれる

離す・離れる——間を離す。駅から遠く離れた町。離れ島。職を離れる。離れ離れになる。

放す・放れる——鳥を放す。見放す。放し飼い。矢が弦を放れる。放れ馬。

はやい

早い——時期が早い。気が早い。早く起きる。早変わり。早口。矢継ぎ早。

速い——流れが速い。投手の球が速い。テンポが速い。車の速さ。

ひ

火——火が燃える。火に掛ける。火を見るより明らか。

灯——灯がともる。遠くの町の灯が見える。

ひく

引く——網を引く。線を引く。例を引く。車を引く。

弾く——ピアノを弾く。ショパンの曲を弾く。

ふえる・ふやす

殖える・殖やす——財産が殖える。財産を殖やす。

増える・増やす——人数が増える。水かさが増える。人数を増やす。

ふく

吹く——風が吹く。笛を吹く。

噴く——火を噴き出す。火山が煙を噴く。

ふける

更ける——夜が更ける。秋が更ける。

老ける——老けて見える。老け込む。

ふた

二——二重。二目と見られない。二つ折り。

双——双子。双葉。

ふね

舟——舟をこぐ。小舟。ささ舟。

船——船の甲板。船で帰国する。船旅。親船。

ふるう

振るう——士気が振るう。事業が振るわない。刀を振るう。

震う——声を震わせる。身震い。武者震い。

奮う——勇気を奮って立ち向かう。奮って参加する。奮い立つ。

まざる・まじる・まぜる

交ざる・交じる・交ぜる——麻が交ざっている。漢字仮名交じり文。交ぜ織り。

混ざる・混じる・混ぜる——酒に水が混ざる。西洋人の血が混じる。異物が混じる。雑音が混じる。セメントに砂を混ぜる。絵の具を混ぜる。

まち

町——町と村。町ぐるみの歓迎。町役場。下町。

街——街を吹く風。学生の街。街の明かり。

まるい

丸い——背中が丸くなる。丸く治める。丸ごと。丸太。日の丸。

円い——円（丸）い窓。円（丸）く輪になる。

まわり

回り——身の回り。胴回り。

周り——池の周り。周りの人。

みる

見る——遠くの景色を見る。エンジンの調子を見る。面倒を見る。

診る——患者を診る。脈を診る。

もと

下——法の下に平等。一撃の下に倒した。

元——火の元。出版元。元が掛かる。

本——本を正す。本と末。

基——資料を基にする。基づく。

や

屋——屋根。酒屋。屋敷。

家——二階家。家主。家賃。

やぶる・やぶれる

破る・破れる——約束を破る。障子が破れる。平和が破れる。

敗れる——競技に敗れる。勝負に敗れる。人生に敗れる。

やわらかい・やわらかだ

柔かい・柔かだ——柔かい毛布。身のこなしが柔かだ。物柔らかな態度。

軟かい・軟かだ——表情が軟(柔)かい。軟(柔)かい話。軟(柔)らかな土。

ゆく

行く——買物に行く。行き届く。行く末。

逝く——〇〇氏逝く。天寿を全うして逝く。

よい

良い——品質が良い。成績が良い。手際が良い。

善い——善い行い。世の中のために善いことをする。

よむ

読む——本を読む。字を読む。人の心を読む。秒読み。

詠む——和歌を詠む。一首詠む。

わかれる

分かれる——道が二つに分かれる。意見が分かれる。勝敗の分かれ目。

別れる——幼い時に両親と別れる。友と駅頭で別れる。家族と別れて住む。

わざ

業——至難の業。離れ業。軽業。業師。

技——柔道の技。技を磨く。

わずらう・わずらわす

煩う・煩わす——思い煩う。人手を煩わす。心を煩わす。

患う——胸を患う。三年ほど患う。

平成22年6月7日付け文化審議会答申「改定常用漢字表」

Ⅲ 参考 3「異字音訓」の漢字の用法例(追加字種・追加音訓関連)

あたる・あてる

当たる・当てる——ボールが体に当たる。任に当たる。予報が当たる。

出発に当たって。胸に手を当てる。日光に当てる。当て外れ。

充てる——建築費に充(当)てる。保安要員に充(当)てる。

宛てる——恩師に宛てて手紙を書く。本社に宛てられた書類。

あと

跡——車輪の跡。苦心の跡が見える。父の跡を継ぐ。

痕——傷痕が痛む。壁に残る弾丸の痕。手術の痕(跡)。

あやしい

怪しい——挙動が怪しい。空模様が怪しい。怪しい人影を見る。

妖しい——妖しい魅力。妖しく輝く瞳。

いく

行く——電車で行く。早く行こう。仕事帰りに図書館に行った。

逝く——彼が逝って3年たつ。多くの人に惜しまれながら逝った。

うた

歌——歌を歌う。美しい歌声が響く。

唄——小唄の師匠。長唄を習う。馬子唄が聞こえる。

おそれる

恐れる——死を恐れる。報復を恐れて逃亡する。失敗を恐れるな。

畏れる——師を畏れ敬う。神を畏(恐)れる。畏(恐)れ多いお言葉。

かかる・かける

掛かる・掛ける——迷惑が掛かる。腰を掛ける。保険を掛ける。壁掛

け。掛け売り。

懸かる・懸ける——月が中天に懸かる。優勝が懸かる。賞金を懸ける。

命を懸けて。

架かる・架ける——橋が架かる。橋を架ける。電線を架ける。

係る——本件に係る訴訟。係り結び。係員。

賭ける——大金を賭ける。人生を賭(懸)けた勝負。名誉を賭(懸)けて誓う。

かく

書く——小説を書く。日記を書く。小さな字で書かれた本。

描く——油絵を描く。ノートに地図を描く。

きる

切る——野菜を切る。期限を切る。電源を切る。縁を切る。

斬る——刀で斬(切)る。敵を斬(切)り殺す。世相を斬(切)る。

こう

請う——許可を請(乞)う。紹介を請(乞)う。案内を請(乞)う。

乞う——乞う御期待。命乞いをする。雨乞いの儀式。慈悲を乞う。

こたえる

答える——質問に答える。正確に答える。

応える——期待に応える。時代の要請に応える。

こむ

混む——電車が混(込)む。混(込)み合う店内。人混(込)みを避ける。

込む——負けが込む。手の込んだ細工を施す。仕事が立て込む。

つくる

作る——米を作る。規則を作る。詩を作る。刺身に作る。生け作り。

造る——船を造る。庭園を造る。酒を造る。

創る——新しい文化を創(作)る。画期的な商品を創(作)り出す。

つとまる

「異字同訓」の漢字の用法

勤まる——私にはこの会社は勤まらない。彼にも十分勤(務)まる仕事だ。

務まる——彼には主役は務まらないだろう。会長が務まるかどうか不安だ。

とらえる

捕らえる——犯人を捕らえる。獲物の捕らえ方。

捉える——文章の要点を捉える。問題の捉え方が難しい。

におい・におう

匂い・匂う——梅の花の匂い。香水がほのかに匂う。

臭い・臭う——魚の腐った臭い。生ごみが臭う。

のべる

延べる——出発の期日を延べる。布団を延べる。金の延べ棒。

伸べる——手を伸べて助け起こす。救いの手を伸べる。

はやまる

早まる——出発時間が早まる。順番が早まる。早まった行動。

速まる——回転のスピードが速まる。脈拍が速まる。

はる

張る——氷が張る。テントを張る。策略を張り巡らす。張りのある声。

貼る——ポスターを貼る。切手を貼り付ける。タイル貼(張)りの壁。

ほか

外——思いの外に到着が早かった。想像の外の事件が起こる。

他——この他に用意するものはあるか。他の人にも尋ねる。

わく

沸く——湯が沸く。風呂が沸く。すばらしい演技に場内が沸く。

湧く——温泉が湧く。勇気が湧く。盛大な拍手が湧(沸)く。